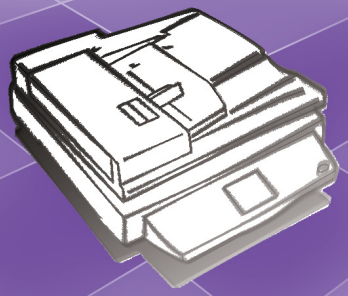
NEC

スキャナユニット
PR-MW-SC50/PR-MW-SC40



オンラインマニュアル

ME3464J9-1
第 1 版

はじめに

このたびはスキャナユニット PR-MW-SC50/PR-MW-SC40 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本書は、本機でスキャンするための準備、操作方法、使用上の注意事項などについて記載してあります。製品の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、製品をご使用になる前に、必ず本書をお読みください。

本書は、読んだあとも必ず保管してください。

本書の内容は、お使いのコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を理解されていることを前提に説明しています。

日本電気株式会社

「NEC」「NEC ロゴ」は、日本電気株式会社の登録商標です。
「Adobe」「Reader」は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の各国での登録商標または商標です。
「Microsoft」「Windows」「Windows NT」は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
画面の使用に際して米国マイクロソフト社の許諾を得ています。
「MULTIWRITER」「Ethernet（イーサネット）」「CentreWare」「DocuWorks」は、米国ゼロックス社または富士ゼロックス株式会社の登録商標または商標です。
その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

この取扱説明書のなかで⚠と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。
必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。

本機には偽造防止機能が搭載されているため、まれに原稿によっては適切なコピーが得られないことがあります。

本機器は 2 次電池を使用しておりません。

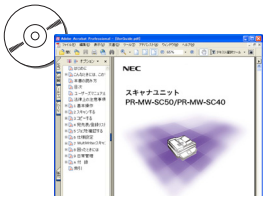
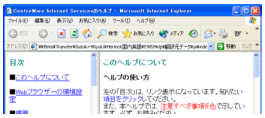
本機器は JIS C 61000-3-2（高調波電流発生限度値）に適合しています。

ご注意

① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

こんなときには、このマニュアルを参照してください

本機に同梱されているマニュアルと記載内容

最初に読むマニュアル	スキャナーを設置したい スキャナーを使ってみたい	ユーザーズマニュアル (製本 /PDF) 	本機の設置手順、原稿のセット方法、スキャン / コピーの基本操作、困ったときの対処方法などを説明しています。 「ユーザーズマニュアル目次（参考）」(P. 10) を参照してください。 →このマニュアルの PDF は、ソフトウェア CD-ROM に収録されています。
	同梱 CD-ROM について知りたい MultiWriter スキャンマネージャをインストールしたい	ソフトウェアCD-ROM操作ガイド(DocuWorks自己解凍文書形式) 	ソフトウェア CD-ROM の内容や、ソフトウェア CD-ROM から MultiWriter スキャンマネージャをインストールする方法などを説明しています。 →このマニュアルは、ソフトウェア CD-ROM に収録されています。
スキャナーを使用中に読むマニュアル	スキャナーのすべての機能を知りたい エラーメッセージの対処方法を知りたい 清掃の方法を知りたい	オンラインマニュアル（PDF）（本書） 	スキャン / コピー機能の操作方法、困ったときの対処方法、日常の管理方法、各種設定項目、および使用上の注意事項などについて説明しています。 なお、最初に本機を設置する手順以外は、ユーザーズマニュアルの内容をすべて含んでいます。 →このマニュアルは、ソフトウェア CD-ROM に収録されています。
	宛先表に宛先を登録したい スキャンデータの画像を編集したい	MultiWriter スキャンマネージャのオンラインヘルプ 	MultiWriter スキャンマネージャの項目や各機能の設定方法を説明しています。 →このマニュアルは、MultiWriter スキャンマネージャの［ヘルプ］メニューから表示します。
	Web ブラウザーでスキャナーを管理したい	CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ 	CentreWare Internet Servicesの項目や各機能の設定方法を説明しています。 →このマニュアルは、CentreWare Internet Services の [ヘルプ] ボタンから表示します。

オプション製品に同梱されているマニュアル

スキャナテーブル設置手順書	スキャナテーブルの設置手順を説明しています。

補足
・PDF 文書を表示するには、お使いのコンピューターに Adobe® Reader® がインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、ソフトウェア CD-ROM を使って、まず Adobe® Reader® をインストールしてください。

本書の読み方

本書の構成

本書は、次のような章で構成されています。各章の概要を説明します。

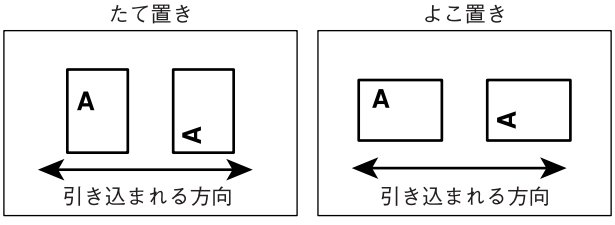
1 基本操作	本機の各部の名称と働き、操作パネルの使い方や原稿のセット方法など、基本的な操作について説明しています。
2 スキャンする	スキャンの基本的な操作やスキャンの中止方法、スキャンの各種設定方法について説明しています。
3 コピーする	コピーの基本的な操作やコピーの中止方法、コピーの各種設定方法について説明しています。
4 宛先表 / 登録リストを使用する	宛先表の操作方法について説明しています。
5 ジョブを確認する	スキャンジョブ / コピージョブの確認方法について説明しています。
6 仕様設定	仕様設定の操作方法について説明しています。
7 MultiWriter スキャンマネージャ	MultiWriter スキャンマネージャの基本的な操作方法について説明しています。
8 困ったときには	本機になんらかのトラブルが発生した場合の対処方法について説明します。
9 日常管理	本機の状態を確認 / 管理する方法や本機の清掃方法、本機を移動するときの手順について説明しています。
A 付　録	主な仕様や、オプション製品、製品情報の入手方法、注意 / 制限事項などを説明しています。

本書の表記

1. 本書で使用しているイラストおよび画面は、スキャナユニット PR-MW-SC50 をカラープリンターに接続した場合を例に記載しています。また、Microsoft® Windows® XP の画面や操作を例に説明しています。

2. 本文中では、次の記号を使用しています。
   [　　]　：コンピューターや操作パネルのタッチパネルディスプレイに表示される項目を表します。
   〈　　〉　：キーボード上のキーや、スキャナーのハードウエアボタン、ランプなどを表します。

3. 本文中では、原稿または用紙の向きを、以下のように表しています。
   、 たて置き：長い側が引き込まれる向きを表しています。
   、 よこ置き：短い側が引き込まれる向きを表しています。



目次

はじめに ····· 2
こんなときには、このマニュアルを参照してください ····· 3
本機に同梱されているマニュアルと記載内容 ····· 3
オプション製品に同梱されているマニュアル ····· 3
本書の読み方 ····· 4
目次 ····· 5
ユーザーズマニュアル目次（参考） ····· 10
法律上の注意事項 ····· 11

1 基本操作 ····· 12
1.1 各部の名称と働き ····· 12
前面 ····· 12
右側面部および背面 ····· 13
自動原稿送り装置 ····· 14
操作パネル ····· 15
1.2 文字の入力方法 ····· 17
入力モード ····· 17
数字ボタンの使い方 ····· 18
文字を確定する ····· 20
カーソルを移動する ····· 20
文字を削除する ····· 20
文字を修正する ····· 20
文字入力の流れ ····· 20
1.3 電源を入れる / 切る ····· 23
電源を入れる ····· 23
電源を切る ····· 23
1.4 節電モードを設定 / 解除する ····· 24
1.5 原稿をセットする ····· 25
使用できる原稿 ····· 25
自動検知できる原稿サイズ ····· 25
原稿セットの注意 ····· 26
原稿セットのヒント ····· 27
原稿をセットする ····· 29

2 スキャンする ····· 32
2.1 スキャン操作の流れ ····· 32
Step1 準備する ····· 32
Step2 原稿やメディアをセットする ····· 32
Step3 スキャンの種類を選択する ····· 33
Step4 スキャン条件を設定する ····· 34
Step5 スキャンを開始する ····· 35
Step6 ジョブの状態を確認する ····· 37
Step7 スキャンデータを利用する ····· 38
2.2 スキャンを中止する ····· 39
2.3 スキャン設定項目一覧 ····· 40
2.4 メールで送信する ····· 42
操作のポイント ····· 42
メールの設定をする ····· 43

2.5 PC に保存する ····· 51
操作のポイント ····· 52
PC 保存の設定をする ····· 53
2.6 メディアに保存する ····· 60
メディア保存の設定をする ····· 60
2.7 基本スキャン項目を設定する ····· 63
カラーモード（スキャンする色を選択する） ····· 64
出力ファイル形式（スキャンデータのファイル形式を選択する） ····· 65
両面原稿送り（原稿の両面をスキャンする） ····· 66
原稿の画質（原稿の画質タイプを選択する） ····· 68
読み込み濃度（原稿の読み込み濃度を調整する） ····· 70
2.8 その他のスキャン項目を設定する ····· 71
読み取りサイズ（原稿の読み取りサイズを指定してスキャンする） ····· 72
読み取り倍率（原稿を読み取る倍率を指定してスキャンする） ····· 73
読み取り解像度（読み取る解像度を指定してスキャンする） ····· 75
画像圧縮率（画像の圧縮率を指定してスキャンする） ····· 75
ミックスサイズ原稿送り（サイズが異なる原稿を一度に読み取る）
（スキャナユニット PR-MW-SC50 のみ） ····· 76
原稿セット向き指定（セットした原稿の向きを指定する） ····· 77
シャープネス（画像のシャープさを調整する） ····· 78
地色除去（原稿の下地を除去する） ····· 79
コントラスト（コントラストを調整する） ····· 80

3 コピーする ····· 81
3.1 コピー操作の流れ ····· 81
Step1 準備する ····· 81
Step2 原稿をセットする ····· 81
Step3 コピー操作を選択する ····· 82
Step4 コピー条件を設定する ····· 82
Step5 部数を入力する ····· 83
Step6 コピーを開始する ····· 83
Step7 ジョブの状態を確認する ····· 85
3.2 コピーを中止する ····· 85
3.3 コピー設定項目一覧 ····· 86
3.4 基本コピー項目を設定する ····· 87
用紙選択（コピーする用紙を選択する） ····· 88
倍率選択（拡大縮小してコピーする） ····· 90
カラーモード（コピーする色を選択する） ····· 92
両面 / 片面選択（両面 / 片面にコピーする） ····· 94
コピー濃度（コピー濃度を調整する） ····· 97
3.5 画質調整のコピー項目を設定する ····· 98
おまかせ画質調整（画質イメージを選択する） ····· 98
原稿の画質（原稿の画質タイプを選択する） ····· 100
地色除去（原稿の下地を除去する） ····· 101
カラーバランス（カラーバランスを調整する） ····· 102
シャープネス（画像のシャープさを調整する） ····· 104
彩度（画質の彩度を調整する） ····· 105
3.6 その他のコピー項目を設定する ····· 106
仕分け ····· 107
まとめて 1 枚 -2 アップ（2 ページの原稿を 1 枚にまとめてコピーする） ··· 108
原稿セット向き指定（セットした原稿の向きを指定する） ····· 109
ミックスサイズ原稿送り（サイズが異なる原稿を一度に読み取る）
（スキャナユニット PR-MW-SC50 のみ） ····· 111
わく消し（原稿の枠やとじしろの影を消してコピーする） ····· 112
原稿サイズ入力（原稿の読み取りサイズを指定してコピーする） ····· 113

4 宛先表 / 登録リストを使用する ····· 116
4.1 宛先表 / 登録リストの概要 ····· 116
宛先表とは ····· 116
登録リストとは ····· 117
宛先、件名、コメントを登録するには ····· 117
宛先表と登録リストを使うには ····· 123
4.2 スキャナーでの宛先表の使い方 ····· 124
宛先表を表示する ····· 124
宛先を選択する ····· 127
宛先を検索する ····· 128
宛先の詳細を表示する ····· 129

5 ジョブを確認する ····· 130
5.1 操作パネルで確認する ····· 130
5.2 CentreWare Internet Services を使う ····· 131

6 仕様設定 ····· 132
6.1 仕様設定の流れ ····· 132
Step1 ［仕様設定］画面を表示する ····· 132
Step2 機械管理者暗証番号を入力する ····· 132
Step3 項目を選択して設定する ····· 133
Step4 仕様設定を終了する ····· 133
6.2 仕様設定項目一覧 ····· 134
6.3 画面コントラスト調整 ····· 136
6.4 共通設定 ····· 136
システム時計 / タイマー設定 ····· 136
音の設定 ····· 140
初期画面の設定 ····· 143
原稿サイズボタン ····· 144
機能の使用許可 ····· 146
機能認証 ····· 148
その他の設定 ····· 150
保守 / 診断 ····· 152
6.5 ネットワーク設定 ····· 157
ポート設定 ····· 157
プロトコル設定 ····· 158
6.6 コピー設定 ····· 161
基本コピー画面 ····· 161
コピー機能設定初期値 ····· 163
地色除去レベル ····· 169
プリンター認証の設定 ····· 172
6.7 スキャナー設定 ····· 173
スキャナー機能設定初期値 ····· 173
ファイル名重複時の処理 ····· 179
PC 保存プロトコル ····· 179
6.8 機械管理者情報の設定 ····· 180
暗証番号の設定 ····· 180

7 MultiWriter スキャンマネージャ ····· 181
7.1 MultiWriter スキャンマネージャとは ····· 181
MultiWriter スキャンマネージャでできること ····· 181
MultiWriter スキャンマネージャとスキャン操作の流れ ····· 182

7.2 宛先を登録する ····· 183
スキャナーを選択する ····· 183
宛先表フォルダーを登録する ····· 184
PC 保存で使用する宛先を登録する ····· 185
7.3 スキャンデータを取り込む ····· 189
スキャナーで原稿をスキャンする ····· 189
スキャンデータを取り込む ····· 189
7.4 画像をまとめて編集する ····· 190
画像編集アイコンを用意する ····· 190
画像編集を実行する ····· 191
7.5 画像を 1 つずつ編集する ····· 193
画像を表示する ····· 193
画像を編集する ····· 194
7.6 画像を印刷する ····· 196
7.7 画像を保存する ····· 196

8 困ったときには ····· 197
8.1 どのような症状で困っていますか ····· 197
トラブル対処の流れ ····· 197
8.2 原稿が詰まったときは ····· 198
スキャナユニット PR-MW-SC50 の場合 ····· 198
スキャナユニット PR-MW-SC40 の場合 ····· 200
8.3 機械本体のトラブル ····· 202
8.4 画質のトラブル ····· 206
8.5 スキャナー機能使用時のトラブル ····· 208
8.6 ネットワーク関連のトラブル ····· 209
CentreWare Internet Services 使用時のトラブル ····· 209
8.7 エラーコード ····· 211
その他のエラーについて ····· 217

9 日常管理 ····· 218
9.1 Web ブラウザーでスキャナーの状態を確認 / 管理する ····· 218
CentreWare Internet Services を使用するための設定 ····· 218
使用方法 ····· 219
CentreWare Internet Services で設定できる項目について ····· 221
オンラインヘルプの使い方 ····· 221
9.2 スキャナーの清掃 ····· 222
本体外部の清掃 ····· 222
本体内部の清掃 ····· 222
9.3 スキャナーを移動するときは ····· 228

A 付 録 ····· 231
A.1 主な仕様 ····· 231
スキャナーの主な仕様 ····· 231
自動両面原稿送り装置の主な仕様 ····· 232
スキャン機能の主な仕様 ····· 233
MultiWriter スキャンマネージャの動作環境 ····· 233
倍率一覧表 ····· 234
A.2 オプション品の紹介 ····· 235
オプション品 ····· 235
A.3 補修用性能部品について ····· 235
A.4 製品情報の入手方法 ····· 235
本機のファームウエアのバージョンアップについて ····· 235

A.5 注意 / 制限事項 ····· 236
スキャン機能使用上の注意 / 制限 ····· 236
コピー機能使用上の注意 / 制限 ····· 236
A.6 用語集 ····· 238
A.7 保証について ····· 242
保証書について ····· 242
保守サービスについて ····· 243
スキャナーの寿命について ····· 243
補修用性能部品および消耗品について ····· 243
ユーザーズマニュアルの再購入について ····· 244
情報サービスについて ····· 244

索引 ····· 245

ユーザーズマニュアル目次（参考）

◎ 安全にかかわる表示
はじめに
目次
◎ 本機はこんなことができます
こんなときには、このマニュアルを参照してください
オンラインマニュアル目次（参考）
◎ 安全にお使いいただくために

◎ 1 設置について・・・・・・・・・・・・・・・ 19
同梱品を確認してスキャナーを取り出す
各部の名称と働き
キャリッジロックを解除する
電源コードを接続して電源を入れる
ネットワークに接続する
プリンターと接続する

◎ 2 ネットワーク環境の設定・・・・・ 25
ネットワーク環境の設定からスキャンまでの流れ
IP アドレスを設定する
CentreWare Internet Services を起動する
メール送信の設定をする
PC 保存の設定をする
宛先表に宛先を登録する

3 基本操作・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
電源を入れる / 切る
節電モードを設定 / 解除する
原稿をセットする
操作パネルのボタンの働き
◎ 画面の使い方

4 スキャンする・・・・・・・・・・・・・・・ 45
メールで送信する
PC に保存する
メディアに保存する
プレビューを表示する
スキャンを中止する

5 コピーする・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59
コピーする
コピーを中止する

6 困ったときには・・・・・・・・・・・・・ 63
どのような症状で困っていますか
原稿が詰まったときは
機械本体のトラブル
画質のトラブル
スキャナー機能使用時のトラブル
ネットワーク関連のトラブル
エラーコード

A 付録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 82
◎ 各画面の働きと入力規則
文字の入力方法
オプション製品の紹介
補修用性能部品について
製品情報の入手方法
主な仕様
注意 / 制限事項
保証について

索引

商標について

◎：ユーザーズマニュアルだけで説明している内容です。

法律上の注意事項

1. 本物と偽って使用する目的で次の通貨や有価証券を複製することは、犯罪として厳しく処罰されます。
   - ❑ 紙幣（外国紙幣を含む）、国債証書、地方債証書、郵便為替証書、郵便切手、印紙。これらは、本物と偽って使用する意図がなくても、本物と紛らわしいものを作ること自体が犯罪になります。
   - ❑ 株券、社債、手形、小切手、貨物引換証、倉荷証券、クーポン券、商品券、鉄道乗車券、定期券、回数券、サービス券、宝くじ・勝馬投票券・車券の当たり券などの有価証券。
2. 次の文書や記名捺印などを複製・加工して、正当な権限なく新たな証明力を加えることは、犯罪として厳しく処罰されます。
   - ❑ 各種の証明書類など、公務員または役所を作成名義人とする文書・図画。
   - ❑ 契約書、遺産分割協議書など私人を名義人とする権利義務に関する文書。
   - ❑ 推薦状、履歴書、あいさつ状など、私人を名義人とする事実証明に関する文書。
   - ❑ 役所または公務員の印影、署名、記名。
   - ❑ 私人の印影または署名。
3. 著作権が存在する書籍、新聞、雑誌、冊子、絵画、図画、版画、図面、地図、写真、映像、映画、音楽、コンピュータープログラムなどの著作物は、権利者の許諾なく、次の行為はできません。

   (1) 複製　紙に定着させた著作物を複写機でコピーすること、磁気テープに記録した映像や音楽をダビングすること、電子的に読み取った著作物のデータをハードディスクや外部メディアに記録すること、記録した著作物のデータをプリンターで出力すること、ネットワークを介してダウンロードすることなど。

   (2) 改変　紙に定着させた著作物を加工や修正すること、電子的に読み取った著作物のデータを切除、書き換え、切り貼りすることなど。

   (3) 送信　電子的に読み取った著作物のデータを、公衆の電気通信回線（インターネットを含む）を通じてファクシミリや電子メールで送信すること、ホームページへの掲載など、公衆の電気通信回線に接続したネットワークサーバーに著作物のデータを搭載することなど。

   権利者の許諾なく複製・改変・送信したときは、使用の差止、損害賠償の請求、刑事罰を受けることがあります。ただし、次の場合は例外的に権利者の許諾なく著作物を複製することができます。
   - ❑ 個人的または家庭内、その他これに準ずる生活範囲での私的な使用を目的とした複製。
   - ❑ 国立図書館、私立図書館、学校付属施設、公立の博物館、公立の各種資料センター、公益目的の研究機関など、公衆利用への提供を目的とする図書館等における複製。
   - ❑ 公正な慣行に合致し、報道・批評・研究など、目的に照らして、正当な範囲内での引用。
   - ❑ 国または地方公共団体が発行する公報資料・調査統計資料・報告書の新聞・雑誌・その他刊行物への転載。
     ただし、複製禁止の表示がある著作物は除かれます。
   - ❑ 学校教科書への掲載。
     ただし、権利者への補償金が必要です。
   - ❑ 学校その他教育機関における複製。
     ただし、種類・用途・部数・態様に照らして、権利者の利益を不当に害しない範囲内に限ります。
   - ❑ 試験問題としての複製。
     ただし、権利者への補償金が必要です。

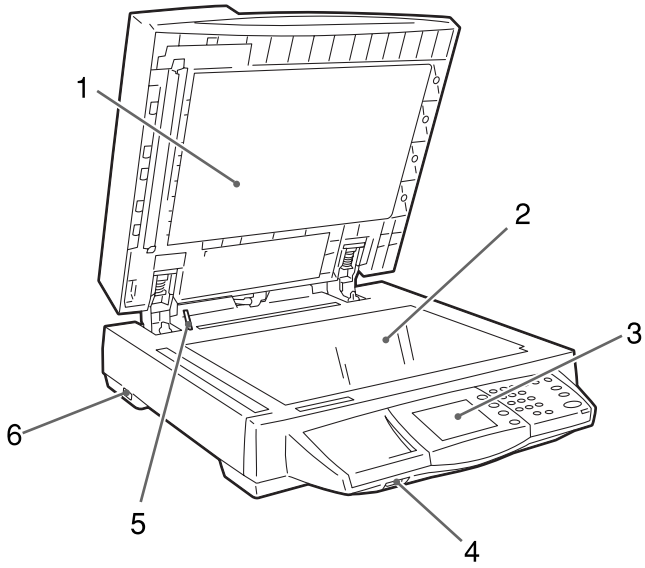
1 基本操作

1.1 各部の名称と働き

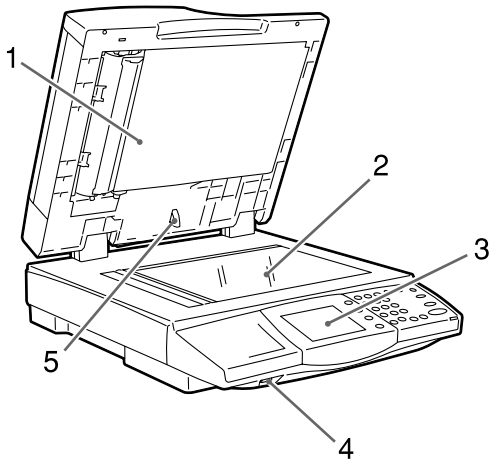
スキャナユニット PR-MW-SC50/PR-MW-SC40（以降、本機と呼びます）の、各部の名称と働きについて説明します。

補足
・ スキャナユニット PR-MW-SC50、スキャナユニット PR-MW-SC40 それぞれの固有の機能や操作などを説明する場合は、機種名を記載しています。

前面



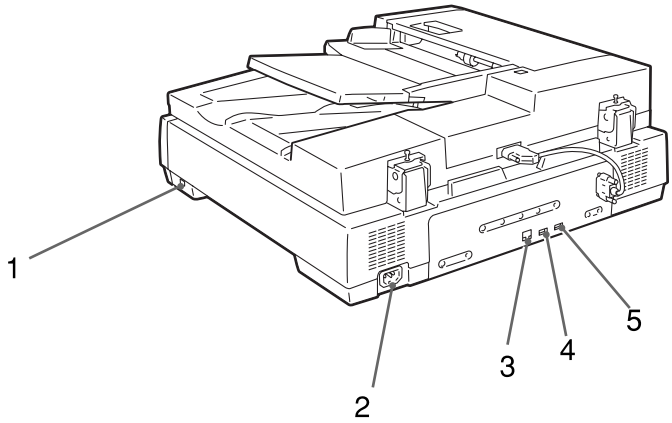
スキャナユニット PR-MW-SC50



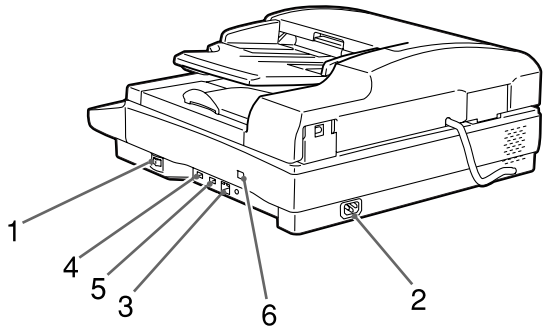
スキャナユニット PR-MW-SC40

No.	名称	説明
1	原稿カバー	原稿を押さえます。
2	原稿ガラス	原稿をセットします。
3	操作パネル	操作に必要なボタン、ランプ、タッチパネルディスプレイがあります。 参照 ・「操作パネル」(P. 15)
4	USB コネクター	USB フラッシュメモリーを接続します。 補足 ・ 本機の USB インターフェイスは、USB2.0（Hi-Speed）に対応しています。 ・ USB ハブは接続できません。
5	原稿カバー開閉センサー	セットされた原稿のサイズを検知します。
6	キャリッジロック（スキャナユニット PR-MW-SC50）	キャリッジ（読み取りヘッド）を固定 / 解除するスイッチです。固定（ロック）すると、移動中の振動からキャリッジを保護できます。

右側面部および背面



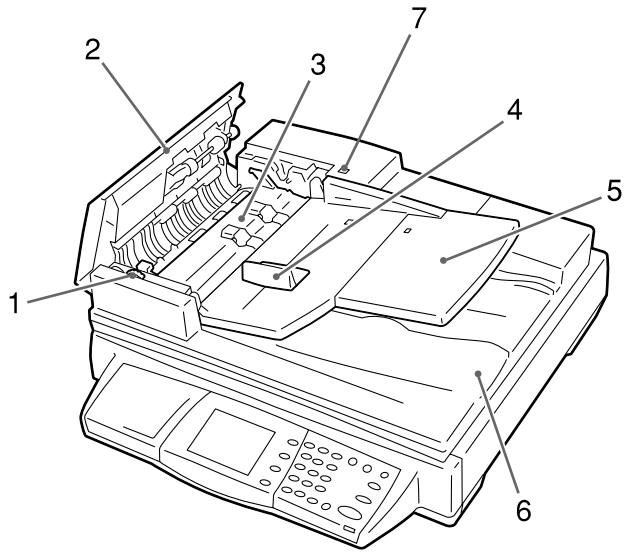
スキャナユニット PR-MW-SC50



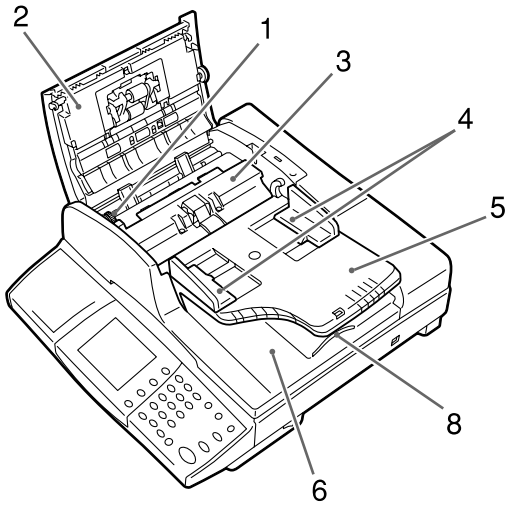
スキャナユニット PR-MW-SC40

No.	名称	説明
1	電源スイッチ	機械の電源を入 / 切するスイッチです。
2	電源コードコネクター	電源コードを接続します。
3	Ethernetインターフェイスコネクター	ネットワークケーブルを接続します。 補足 ・ 本機の Ethernet インターフェイスは、100BASE-TX/10BASE-T に対応しています。
4、5	USB コネクター	USB ケーブルを接続します。 補足 ・ 本機の USB インターフェイスは、USB2.0（Hi-Speed）に対応しています。 ・ USB ハブは接続できません。
6	キャリッジロック（スキャナユニット PR-MW-SC40）	キャリッジ（読み取りヘッド）を固定 / 解除するスイッチです。固定（ロック）すると、移動中の振動からキャリッジを保護できます。

自動原稿送り装置



スキャナユニット PR-MW-SC50

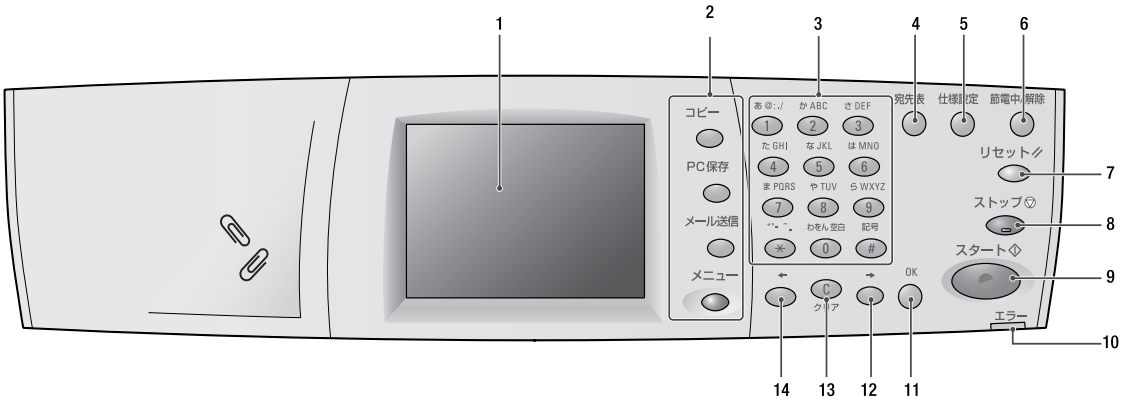


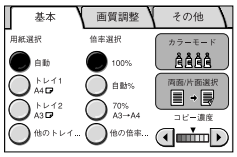
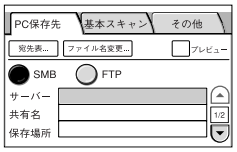
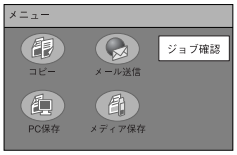
スキャナユニット PR-MW-SC40

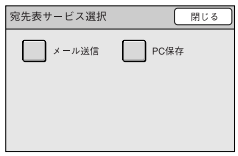
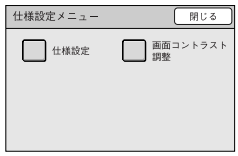
No.	名称	説明
1	ノブ	原稿づまりを処置するときに回します。
2	左側カバー	原稿づまりを処置するときに開けます。
3	内カバー	原稿づまりを処置するときに開けます。
4	原稿ガイド	原稿の端をそろえるガイドです。
5	原稿送りトレイ	原稿をセットします。
6	原稿受け	原稿が排出されます。
7	原稿検知ランプ （スキャナユニット PR-MW-SC50 のみ）	原稿が正しくセットされるとランプが点灯します。
8	延長ガイド （スキャナユニット PR-MW-SC40 のみ）	長い原稿が排出されるときに引き出します。

操作パネル

補足
・ 操作パネルは、スキャナユニット PR-MW-SC50 とスキャナユニット PR-MW-SC40 で共通です。



	名　称		働　き
1	タッチパネルディスプレイ		操作に必要なメッセージや各機能のボタンが表示されます。タッチパネルディスプレイに直接触れて、画面の指示や機能の設定をします。
2	機能ボタン 補足 ・ 機能の割り当てを変更できます。詳しくは「6.4 共通設定」の「初期画面の設定」(P. 143) を参照してください。	〈コピー〉ボタン	コピー機能の画面を表示するときに押します。 
		〈PC 保存〉ボタン	PC 保存機能の画面を表示するときに押します。 
		〈メール送信〉ボタン	メール送信機能の画面を表示するときに押します。
	〈メニュー〉ボタン		[メニュー] 画面を表示するときに押します。 
3	数字ボタン		数字や文字を入力するときに押します。

	名　称	働　き
4	〈宛先表〉ボタン	宛先表の画面を表示するときに押します。次の画面が表示されるので、[メール送信]、[PC 保存] のどちらかを選択すると、宛先表の画面が表示されます。 
5	〈仕様設定〉ボタン	本機の初期設定などを行う仕様設定の画面を表示するときに押します。 
6	〈節電中 / 解除〉ボタン	節電モードを解除するときに押します。 しばらく本機を使用しないと、本機は消費電力量を下げて節電モードに入ります。節電中は、ボタンが点灯します。 参照 ・「1.4 節電モードを設定 / 解除する」(P. 24)
7	〈リセット〉ボタン	表示されている機能の設定を初期状態に戻すときに押します。
8	〈ストップ〉ボタン	スキャンやコピーを中止するときに押します。
9	〈スタート〉ボタン	原稿の読み込みを開始するときに押します。
10	〈エラー〉ランプ	エラーが発生したときに点灯します。
11	〈OK〉ボタン	文字入力のときに使います。文字の入力を確定します。
12	〈→〉ボタン	文字入力のときに使います。カーソルを移動します。または文字を確定します。
13	〈C〉（クリア）ボタン	部数の入力を取り消します（1 に戻す）。 また、文字入力のときに使います。文字を削除したり、文字の確定を取り消したりします。
14	〈←〉ボタン	文字入力のときに使います。カーソルを移動します。または文字の入力順序を逆にします。

1.2　文字の入力方法

文字の入力には、操作パネルの数字ボタンを使います。
入力できる文字は、全角のひらがな、カタカナ、記号、半角の数字、英字、記号です。漢字は入力できません。

入力モード

入力モードによって、入力できる文字の種類が切り替わります。
入力モードには、次の 3 種類があります。

- ひらがなモード
- カタカナモード
- 英数モード

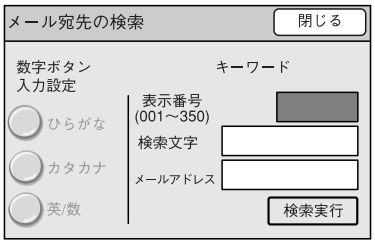
補足
・ 入力する項目によって、使用できる入力モードは異なります。

入力モードを切り替えるには、タッチパネルディスプレイに表示される［数字ボタン入力設定］の入力モードボタンを押します。

［数字ボタン入力設定］が淡いグレーで表示されていて使用できないときは、数字だけが入力できます。
［数字ボタン入力設定］が表示されていないときは、英数字または数字だけが入力できます。

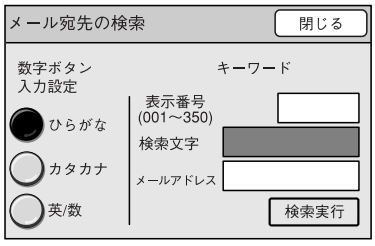
■［数字ボタン入力設定］が表示されている場合（例：［メール宛先の検索］）

［表示開始番号］の入力欄が選択されているとき
→［数字ボタン入力設定］が淡いグレーで表示される



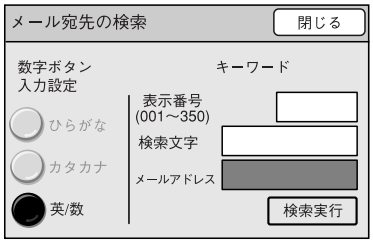
数字ボタンで入力できるのは、
数字だけ

［検索文字］の入力欄が選択されているとき
→［数字ボタン入力設定］では、すべてのモードが選択できる



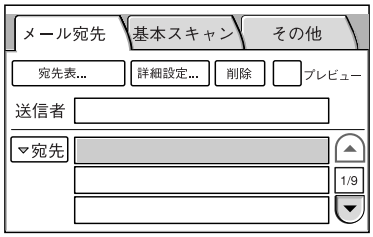
数字ボタンで入力できるのは、
ひらがな、カタカナ、英数字、
記号

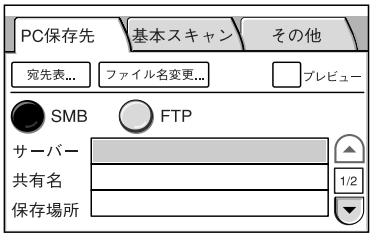
［メールアドレス］の入力欄が選択されているとき
→［数字ボタン入力設定］では、［英 / 数］のみ選択できる



英数モード：
数字ボタンで入力できるのは、
英数字、記号

■［数字ボタン入力設定］が表示されていない場合
（例：［メール宛先］/［PC 保存先］画面）





数字ボタンで入力できるのは、英数字、記号

数字ボタンの使い方

1 つの数字ボタンには、複数の文字が割り当てられています。
数字ボタンを複数回押すことによって、現在のモードで入力できる文字が順に切り替わります。
入力中 (確定前) に〈←〉ボタンを押すと、押すごとに入力候補が逆順に表示されます。

■ ひらがなモード
あ、い、う、え、おの順番で切り替わります。
割り当てられている文字がすべて表示されると、最初の文字に戻り、繰り返されます。

補足
・〈1〉ボタンの場合、「お」のあとは小さい「ぁ」になります。
・〈8〉ボタンの場合、「よ」のあとは小さい「ゃ」になります。
【例】〈1〉ボタンの場合　　あ→い→う→え→お→ぁ→ぃ→ぅ→ぇ→ぉ→あ→い・・・

■ カタカナモード
ア、イ、ウ、エ、オの順番で切り替わります。
割り当てられている文字がすべて表示されると、最初の文字に戻り、繰り返されます。

補足
・〈1〉ボタンの場合、「オ」のあとは小さい「ァ」になります。
・〈8〉ボタンの場合、「ヨ」のあとは小さい「ャ」になります。
【例】〈1〉ボタンの場合　　ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ→ア→イ・・・

■ 英数モード
数字から英字の順番で切り替わります。英字は、小文字のあと大文字になります。
割り当てられている文字がすべて表示されると、最初の文字に戻り、繰り返されます。
【例】〈2〉ボタンの場合　　2 → a → b → c → A → B → C → 2 → a →・・・

■［数字ボタン入力設定］がグレー表示で使用できないとき
押したボタンの数字が入力されます。
【例】〈2〉ボタンの場合　　「2」が入力されます。

■［数字ボタン入力設定］が表示されていないとき

英数モードと同じです。
数字から英字の順番で切り替わります。英字は、小文字のあと大文字になります。
割り当てられている文字がすべて表示されると、最初の文字に戻り、繰り返されます。
【例】〈2〉ボタンの場合　　２→ａ→ｂ→ｃ→Ａ→Ｂ→Ｃ→２→ａ→・・・

入力モード	ひらがなモード	カタカナモード	英数モード	［数字ボタン入力設定］がグレー表示で使用できない
			［数字ボタン入力設定］が表示されていない	
〈1〉ボタン	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	１＠：．／	1
〈2〉ボタン	かきくけこ	カキクケコ	２ abcＡＢＣ	2
〈3〉ボタン	さしすせそ	サシスセソ	３ defDEF	3
〈4〉ボタン	たちつてと	タチツテト	４ ghiGHI	4
〈5〉ボタン	なにぬねの	ナニヌネノ	５ jklJKL	5
〈6〉ボタン	はひふへほ	ハヒフヘホ	６ mnoMNO	6
〈7〉ボタン	まみむめも	マミムメモ	７ pqrsPQRS	7
〈8〉ボタン	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	８ tuvTUV	8
〈9〉ボタン	らりるれろ	ラリルレロ	９ wxyzWXYZ	9
〈0〉ボタン	わをん（SP）	ワヲン（SP）	０（SP）	0
〈＊〉ボタン	゛゜ー＿～・、。「」	゛゜ー＿～・、。「」	-＿~	――――――
〈＃〉ボタン	！”＃＄％＆’～＾ ￥｜｀；：？＠＿，． ＋－＊／＝（）［］ ｛｝＜＞	！”＃＄％＆’～＾ ￥｜｀；：？＠＿，． ＋－＊／＝（）［］ ｛｝＜＞	！”＃＄％＆’～＾ ￥｜｀；：？＠＿，． ＋－＊／＝（）［］ ｛｝＜＞	――――――

補足
・（SP）は、スペース（空白）を表します。

文字を確定する

数字ボタンで文字を表示し、別の数字ボタンを押すと、最初に表示されていた文字が確定されて、あとから押した数字ボタンの文字が入力されます。

また、〈OK〉ボタンを押して文字を確定することもできます。〈OK〉ボタンで確定すると、I 字型のカーソルが文字の直後に表示されます。

カーソルを移動する

文字を修正したり削除したりするときには、カーソルを修正 / 削除したい文字の直後（右側）に移動します。

カーソルを移動するには、〈←〉ボタンまたは〈→〉ボタンを押します。

文字を削除する

文字を削除するには、カーソルを削除したい文字の直後に移動して、〈C〉（クリア）ボタンを押します。

また、入力した文字の確定前は、入力した文字が反転した状態になっています。この状態で〈C〉（クリア）ボタンを押すと、入力した文字を取り消すことができます。

補足
- 入力欄によっては、〈C〉（クリア）ボタンや画面上の［削除］ボタンで入力欄内のすべての文字を一度に消すことができます。

文字を修正する

文字を修正するには、カーソルを修正したい文字の直後に移動して、〈C〉（クリア）ボタンで文字を削除し、数字ボタンで新たに文字を入力します。

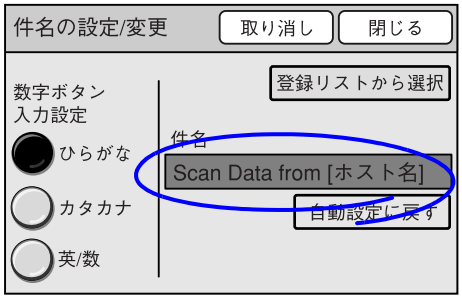
文字入力の流れ

文字入力は、次のような流れで操作します。

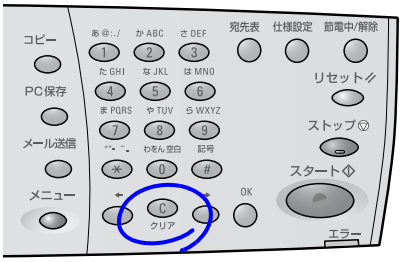
メール送信の［件名］に「カタログです」と入力する場合の操作を説明します。

1. タッチパネルディスプレイの［件名］の入力欄を押します。

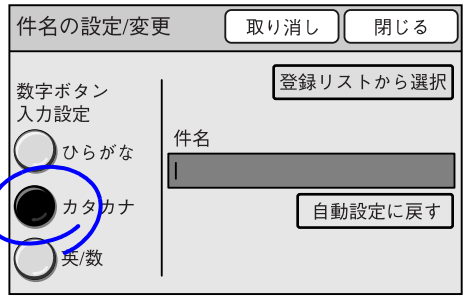
2. 〈→〉ボタンで、表示されている初期値の直後にカーソルを移動します。



3. 〈C〉（クリア）ボタンを必要な回数だけ押して、表示されている初期値を消します。

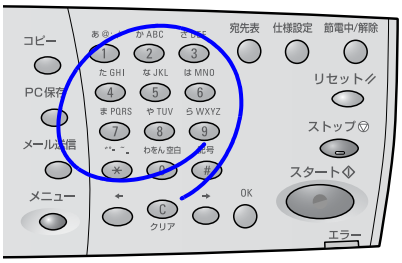


4. ［数字ボタン入力設定］の［カタカナ］ボタンを押します。

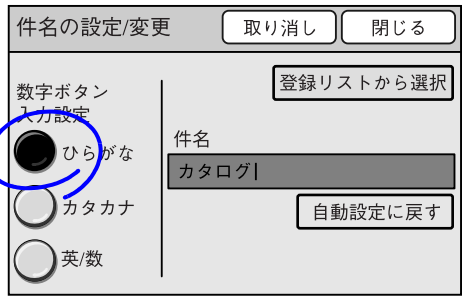


5. 数字ボタンを、次のように押します。
〈2〉ボタンを 1 回→
〈4〉ボタンを 1 回→
〈9〉ボタンを 5 回→
〈2〉ボタンを 3 回→
〈*〉ボタンを 1 回

「カタログ」と入力されます。

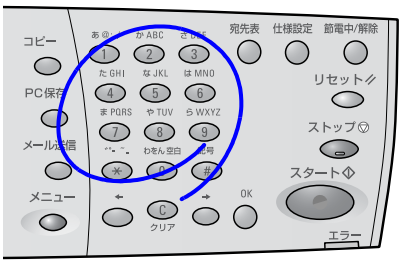


6. ［数字ボタン入力設定］の［ひらがな］ボタンを押します。

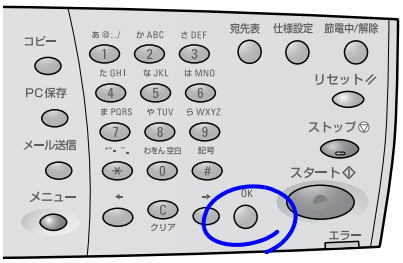


7. 数字ボタンを、次のように押します。
〈4〉ボタンを 4 回→
〈*〉ボタンを 1 回→
〈3〉ボタンを 3 回

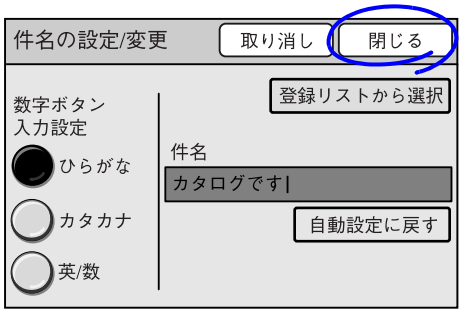
「です」と入力されます。



8. 〈OK〉ボタンを押して、文字を確定します。



9. ［閉じる］を押します。

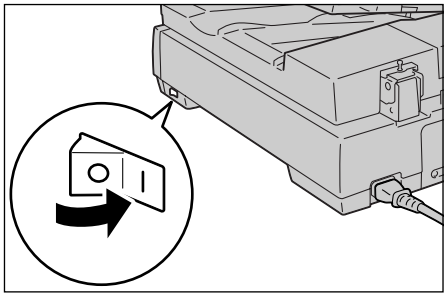


1.3 電源を入れる / 切る

電源を入れる

1. スキャナーの電源スイッチの〈 | 〉側を押します。

2. 電源を入れると、操作パネルのタッチパネルディスプレイに起動画面が表示されます。



注記

・ エラーメッセージが表示された場合は、表示されている指示に従って対処してください。エラーコードが表示された場合は、「8.7 エラーコード」(P. 211) を参照して対処してください。

補足

・ 本製品は、電源プラグがコンセントに差し込まれていても、電源スイッチが切れた状態では電力の消費はありません。

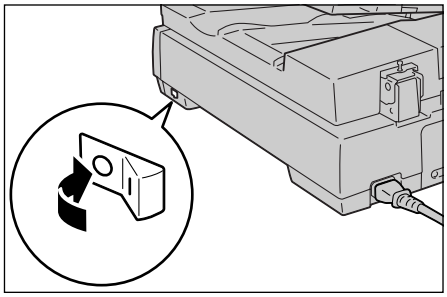
電源を切る

注記

・ スキャン中は本機の電源を切らないでください。電源を切ると、本機内に残っているスキャンデータや本機のメモリー上に蓄えられた情報は消去されます。

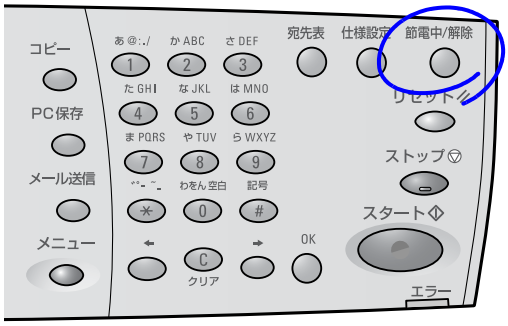
1. 操作パネルのタッチパネルディスプレイ表示などで、スキャナーが処理中でないことを確認します。

2. スキャナーの電源スイッチの〈○〉側を押し、電源を切ります。



1.4 節電モードを設定 / 解除する

本機は、待機しているときの電力の消費を抑えるために、節電モードを備えています。
工場出荷時は、10 分間操作しない状態が続くと、節電モードに移行する設定になっています。
節電モードになると、〈節電中 / 解除〉ボタンだけが点灯し、ほかのランプは消灯します。タッチパネルディスプレイも消灯し、何も表示されません。



節電モードに切り替わるまでの時間は、1 ～ 60 分の間で設定できます。節電モード時の消費電力は、9W 以下で、節電モードからスキャンできる状態になるまでの時間は、約 12 秒です。

補足
・ 節電モードは、移行しないように設定することもできます。

参照
・ 節電モードの詳細および設定の変更手順：「節電モード設定」(P. 139)

節電モードを解除する

節電モードを解除するには、操作パネルの〈節電中 / 解除〉ボタンを押します。

1.5 原稿をセットする

原稿は、原稿ガラスまたは自動原稿送り装置にセットします。
自動原稿送り装置は、複数枚の原稿をまとめてセットできます。

補足
- ジョブの途中で原稿の読み取りを追加して行う場合、最初に読み取りを行った位置に、原稿を置いてください。
- ジョブの途中で、原稿ガラスから自動原稿読取装置に、切り替えて読み込ませることはできません。また、自動原稿送り装置から原稿ガラスに、切り替えて読み込ませることもできません。

使用できる原稿

原稿ガラス、または自動原稿送り装置に原稿をセットしてスキャン / コピーする場合、以下の範囲の原稿を使用してください。

		原稿ガラス	自動原稿送り装置
セットできる原稿サイズ	PR-MW-SC50	[最大] 334.5 × 452.0mm	[最小] 100.0 × 148.5mm [最大] 297.0 × 432.0mm
	PR-MW-SC40	[最大] 220.0 × 300.0mm	[最小] 140.0 × 140.0mm [最大] 215.9 × 355.6mm
読み取り可能エリア	PR-MW-SC50	[最小] 15.0 × 15.0mm [最大] 297.0 × 432.0mm	[最小] 100.0 × 148.5mm [最大] 297.0 × 432.0mm)
	PR-MW-SC40	[最小] 15.0 × 15.0mm [最大] 215.9 × 297.0mm	[最小] 140.0 × 140.0mm [最大] 215.9 × 355.6mm
原稿の質量 (メートル坪量＊1)	PR-MW-SC50	―	35 ～ 120g/ ㎡ (片面原稿) 50 ～ 120g/ ㎡ (両面原稿＊2)
	PR-MW-SC40	―	60 ～ 105g/ ㎡ (片面原稿) 60 ～ 105g/ ㎡ (両面原稿＊2)
原稿セット可能枚数		1 枚	50 枚 (普通紙の場合：60 ～ 100g/ ㎡)

＊1　メートル坪量とは、1 ㎡の用紙 1 枚の質量をいいます。

＊2　両面原稿のおもて面 / うら面両方を読み込ませてスキャン / コピーする場合の値です。

自動検知できる原稿サイズ

本機は、スキャンするときに原稿サイズを自動で検知します。原稿が次の表の定形サイズの場合、原稿サイズを指定する必要はありません。

補足
- 表は、AB 系の場合の定形原稿サイズです。AB 系（八開 / 十六開）、インチ系の場合の原稿サイズ、およびサイズ検知の切り替えについては、「サイズ検知切り替え」(P. 151) を参照してください。
- 原稿が非定形サイズの場合は、[その他] 画面の [読み取りサイズ]（スキャン時）または [原稿サイズ入力]（コピー時）で原稿のサイズを指定してください。原稿サイズの入力は、「読み取りサイズ（原稿の読み取りサイズを指定してスキャンする)」(P. 72) または「原稿サイズ入力（原稿の読み取りサイズを指定してコピーする)」(P. 113) を参照してください。

	原稿ガラス	自動原稿送り装置
PR-MW-SC50	B5、B5、A5、A5、A4、A4、8.5 × 11 インチ、B4、A3、11 × 17 インチ、A6、B6	B5、B5、A5、A5、A4、A4、B4、A3
PR-MW-SC40	B5、A5、A5、A4、A6、B6	B5、A5、A5、A4

原稿セットの注意

原稿をセットするときの注意点について説明します。

■ 使用できない原稿

原稿ガラスの場合

次のような原稿の場合、原稿のサイズを自動検知できずにエラーメッセージが表示されたり、スキャンデータの画像が切れたりすることがあります。

以下の方法で対処してください。

原稿	対処方法
非定形サイズの原稿	[その他] 画面の [読み取りサイズ] (スキャン時) または [原稿サイズ入力] (コピー時) で原稿のサイズを指定してください。
光沢のある原稿	
厚みのある原稿 (冊子など)	
透過度が高い原稿 (OHP フィルムなど)	原稿の上に同じサイズの白紙をのせてください。または、[その他] 画面の [読み取りサイズ] (スキャン時) または [原稿サイズ入力] (コピー時) で原稿のサイズを指定してください。
破れ、しわ、穴あき、激しいカールがある原稿	

注記

- 多量の水分を含んだ原稿は、セットしないでください。機械内部に水分が入り、機械が故障するおそれがあります。
- 5kg 以上の原稿は、セットしないでください。原稿ガラス、および機械が破損するおそれがあります。

補足

- 写真ホルダーを用いた原稿の場合、フィルムの波打ち状態によっては、正しくスキャン / コピーされないことがあります。

参照

- [読み取りサイズ]:「2.8 その他のスキャン項目を設定する」(P. 71)
- [原稿サイズ入力]:「3.6 その他のコピー項目を設定する」(P. 106)

自動原稿送り装置の場合

次のような原稿は、原稿づまりや原稿破損の原因になります。原稿ガラスにセットしてください。

折り目、しわ、やぶれた原稿　切り貼り原稿　薄紙　カールした原稿　裏カーボン紙　穴の多い原稿

そのほか、以下の原稿は原稿ガラスにセットしてください。

- 光沢がある原稿 (写真など)
- クリップ、ホチキス、のり付けなどで留めた原稿
- 厚みがある原稿
- 透過度が高い原稿 (OHP フィルムなど)
- 感熱紙

また、スキャナユニット PR-MW-SC40 は、ミックスサイズ原稿（異なるサイズの混在する原稿）を自動原稿送り装置にセットできません。

原稿セットのヒント

■ 原稿セットの向きについて

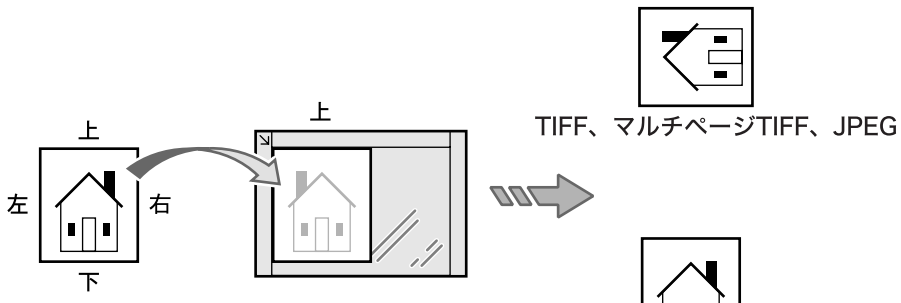
スキャン / コピーするときは、原稿の上部を指示するために、原稿のセット向きを設定する必要があります。

スキャン画面またはコピー画面の［その他］画面にある［原稿セット向き指定］で、［読める向き］、または［左向き］を選択してください。

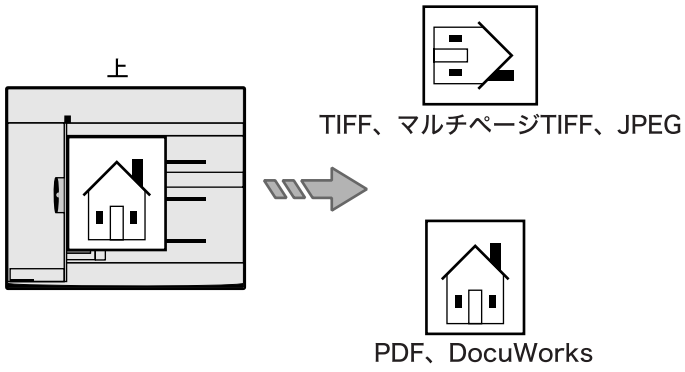
出力ファイル形式が TIFF、マルチページ TIFF、JPEG の場合、通常は原稿を「左向き」にセットしてください。

また、両面原稿を読み込む場合は、［両面原稿送り］（スキャン時）または［両面 / 片面選択］（コピー時）の［原稿セット向き指定］とセットされた原稿の向きが合っているかを確認してください。

読める向き

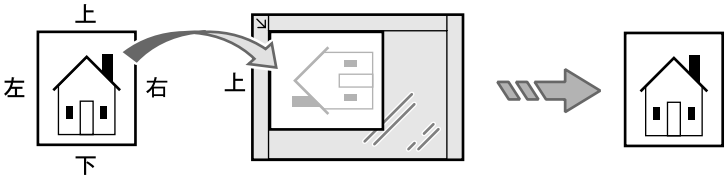


原稿ガラスにセットする　スキャン結果

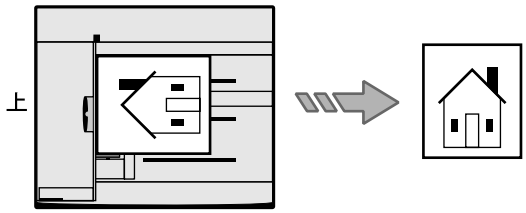


自動原稿送り装置にセットする　　スキャン結果

左向き



原稿ガラスにセットする　　スキャン結果



自動原稿送り装置にセットする　　スキャン結果

参照
・スキャン時の［原稿セット向き指定］:「両面原稿送り（原稿の両面をスキャンする）」(P. 66)、「原稿セット向き指定（セットした原稿の向きを指定する）」(P. 77)
・コピー時の［原稿セット向き指定］:「両面 / 片面選択（両面 / 片面にコピーする）」(P. 94)、「原稿セット向き指定（セットした原稿の向きを指定する）」(P. 109)

■ 定形サイズでない原稿の場合には

非定形サイズの原稿や、付箋が貼られている原稿を付箋をはがさずスキャンしたいときなど、原稿が定形サイズでない場合は、［その他］画面で原稿サイズを設定します。

・スキャンの場合

［その他］画面：［読み取りサイズ］の［任意指定］

・コピーの場合

［その他］画面：［原稿サイズ入力］の［任意指定］

参照
・［読み取りサイズ］:「2.8 その他のスキャン項目を設定する」(P. 71)
・［原稿サイズ入力］:「3.6 その他のコピー項目を設定する」(P. 106)

■ サイズがいろいろある原稿の場合には（PR-MW-SC50 のみ）

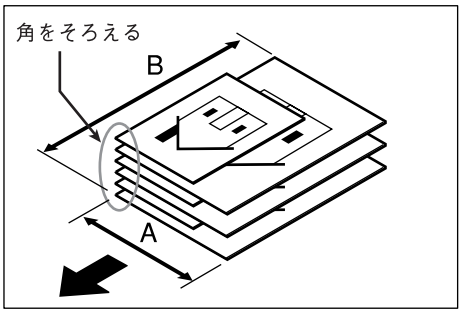
いろいろなサイズの原稿が混在しているときには、［ミックスサイズ原稿送り］を［する］に設定します。

参照
・［ミックスサイズ原稿送り］:「その他のスキャン項目を設定する」(P. 71) または「3.6 その他のコピー項目を設定する」(P. 106)

ミックスサイズ原稿の場合は、次の点に留意して原稿をセットしてください。

・ A5 は必ずよこ置きにします。

・ 原稿は左上の角をそろえます。そろえないと原稿が詰まります。



原稿をセットする

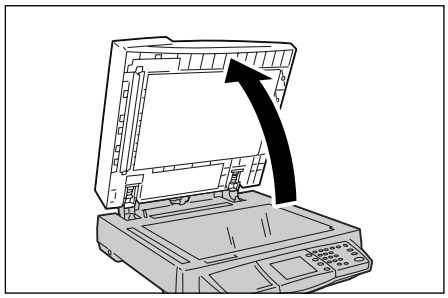
原稿のセット方法について説明します。

■ 原稿ガラスにセットする

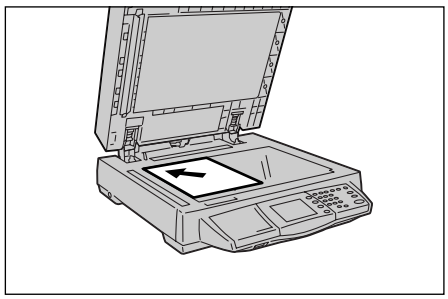
原稿を原稿ガラスにセットする方法を説明します。

1. 原稿カバーを開けます。

注記
・ 原稿カバーは原稿カバー開閉センサーが離れる位置まで開けてください。センサーが一度離れないと、原稿サイズの自動検知機能が働きません。



2. スキャンする面を下に向けて、原稿ガラス左奥の角に合わせて原稿をセットします。



補足
・ OHP フィルムやトレーシングペーパーなど透過度の高い原稿は、原稿の上に白紙をのせてください。

3. 原稿カバーを閉じます。

補足
・ 原稿カバーは静かに閉めてください。原稿ガラス破損の原因となるおそれがあります。

注記
- 厚手の原稿をスキャンするとき、原稿を強く押さえないでください。原稿ガラスが割れてケガをする原因となるおそれがあります。
- 原稿カバーを開けたままスキャンするとき、ランプ光を見つめないでください。目の疲れや痛みの原因となるおそれがあります。

■ 自動原稿送り装置にセットする（PR-MW-SC50 の場合）

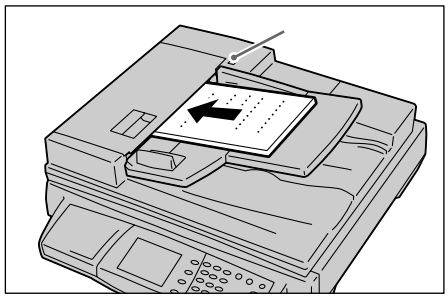
自動原稿送り装置は、100.0 × 148.5mm ～ 297.0 × 432.0mm の範囲の原稿を、50 枚（普通紙：60 ～ 100g/m^2）までまとめてセットすることができます。50 枚以上セットするときは、50 枚ずつ（50 枚単位＋端数）セットしてください。

補足
- 50　枚以上セットする場合、スキャン操作時に画面上の［次原稿あり］を押してスキャンを続けます。操作については、「 Step5　スキャンを開始する」(P. 35) または「 Step6　コピーを開始する」(P. 83)を参照してください。

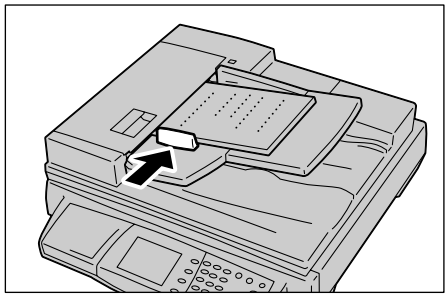
セットした複数枚の原稿をいちばん上から順に送り込んでスキャンし、スキャン面を下にして排出します。ここでは、原稿を自動原稿送り装置にセットする方法を説明します。

1. 原稿の端をそろえます。原稿をクリップやホチキスで留めている場合は外します。

2. スキャンする面 (両面原稿の場合は表面) を上に向けて、自動原稿送り装置の左奥側に原稿を沿わせて、矢印方向にセットします。原稿が正しくセットされると、原稿検知ランプが点灯します。



3. 原稿ガイドを移動して、原稿の端に軽く押し当てます。



注記
- 原稿づまりや原稿破損の原因になるので、以下の事項に注意してください。
  - 原稿搬送中に原稿を押さえないでください。
  - 排出された原稿を原稿受けにためすぎないでください。
  - 原稿受けにものを置かないでください。

■ 自動原稿送り装置にセットする（PR-MW-SC40 の場合）

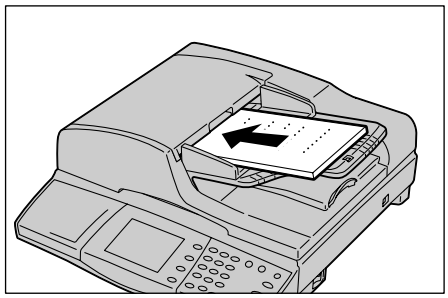
自動原稿送り装置は、140.0 × 140.0mm ～ 215.9 × 355.6mm の範囲の原稿を、50 枚（普通紙：60 ～ 100g/m^2）までまとめてセットすることができます。50 枚以上セットするときは、50 枚ずつ（50 枚単位＋端数）セットしてください。

補足
・ 50　枚以上セットする場合、スキャン操作時に画面上の［次原稿あり］を押してスキャンを続けます。操作については、「 Step5　スキャンを開始する」(P. 35) または「 Step6　コピーを開始する」(P. 83) 参照してください。

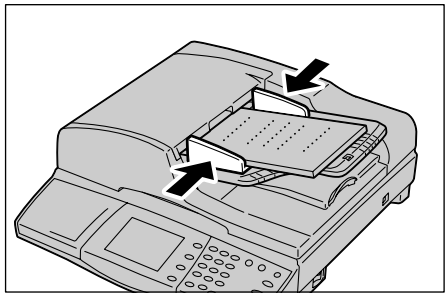
セットした複数枚の原稿をいちばん上から順に送り込んでスキャンし、スキャン面を下にして排出します。ここでは、原稿を自動原稿送り装置にセットする方法を説明します。

1. 原稿の端をそろえます。原稿をクリップやホチキスで留めている場合は外します。

2. スキャンする面 (両面原稿の場合は表面) を上に向けて、自動原稿送り装置の中央に原稿を沿わせて、矢印方向にセットします。原稿が奥に突き当たるまで、しっかりセットしてください。



3. 原稿ガイドを移動して、原稿の両端に軽く押し当てます。



注記
・ 原稿づまりや原稿破損の原因になるので、以下の事項に注意してください。
  ・ 原稿搬送中に原稿を押さえないでください。
  ・ 排出された原稿を原稿受けにためすぎないでください。
  ・ 原稿受けにものを置かないでください。

2　スキャンする

2.1　スキャン操作の流れ

原稿を読み取って電子データにするスキャン操作の流れを説明します。詳細は、各操作の説明箇所を参照してください。

Step1　準備する

スキャンするには、ネットワーク環境の設定などの準備が必要です。

スキャンの種類	準備する項目	設定方法
メール送信	□ IP アドレスの設定 □ポートの起動	操作パネル （または CentreWare Internet Services）
	□メール環境の設定	CentreWare Internet Services
	□宛先の登録	MultiWriter スキャンマネージャ （または CentreWare Internet Services）
PC 保存	□ IP アドレスの設定 □ポートの起動	操作パネル （または CentreWare Internet Services）
	□転送先のフォルダーの作成	スキャンデータを保存するコンピューター
	□ログインユーザーの登録	スキャンデータを保存するコンピューター
	□宛先の登録	MultiWriter スキャンマネージャ （または CentreWare Internet Services）
メディア保存	□ USB フラッシュメモリー	―

参照
・ スキャンのための準備：『ユーザーズマニュアル』「2 ネットワーク環境の設定」

Step2　原稿やメディアをセットする

原稿ガラスまたは自動原稿送り装置に、原稿をセットします。
メディア保存の場合は、USB フラッシュメモリーを本機の USB コネクターにセットします。

参照
・ 原稿のセット方法：「1.5 原稿をセットする」(P. 25)
・ USB フラッシュメモリーのセット方法：「2.6 メディアに保存する」(P. 60)

Step3　スキャンの種類を選択する

STEP 1 ▶ 2 ▶ 3 スキャンの種類を選択する ▶ 4 ▶ 5 ▶ 6 ▶ 7

スキャンデータを保存する場所に応じて、スキャンの種類をメニューから選択します。次の 3 種類があります。

メール送信

スキャンデータを、メールに添付して送ります。

参照
・詳しい操作方法：「2.4 メールで送信する」(P. 42)

PC 保存

スキャンデータを、FTP または SMB プロトコルを使ってネットワーク上のコンピューターに転送します。

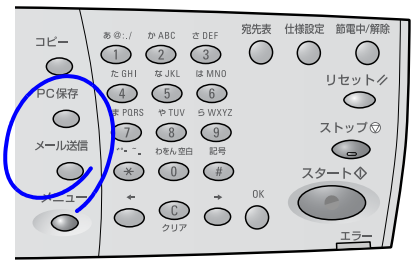
参照
・詳しい操作方法：「2.5 PC に保存する」(P. 51)

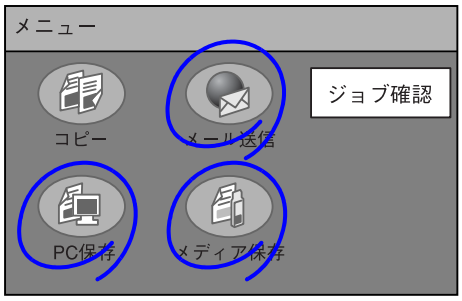
メディア保存

スキャンデータを、USB フラッシュメモリーに保存します。

参照
・詳しい操作方法：「2.6 メディアに保存する」(P. 60)

1. 操作パネルの〈メール送信〉/〈PC　保存〉ボタンまたは［メニュー］画面の［メール送信］/［PC 保存］/［メディア保存］を押します。





補足
・操作パネルの機能ボタンの働きは、変更することができます。変更方法については、「登録ボタン 1 ～ 3」(P. 143) を参照してください。
・暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力する画面が表示されます。その場合は、数字ボタンを押して、暗証番号を入力し、［確定］を押します。暗証番号の設定方法は、「機能認証」(P. 148) を参照してください。
・機能が使用禁止の設定になっている場合は、その旨を知らせるメッセージが表示されます。機能の使用許可 / 禁止の設定方法は、「機能の使用許可」(P. 146) を参照してください。

2. 保存先などを設定します。
設定を行う画面は、［メール送信］の場合は［メール宛先］画面、［PC　保存］の場合は［PC 保存先］画面です。

補足
・メディア保存の場合、保存先の設定は行いません。常に USB フラッシュメモリーのルートディレクトリーの直下に保存されます。
・前の設定が残っている場合は、操作パネルの〈リセット〉ボタンを押すと初期値に戻ります。

Step4　スキャン条件を設定する

STEP 1 ▶ 2 ▶ 3 ▶ 4 スキャン条件を設定する ▶ 5 ▶ 6 ▶ 7

原稿の画質、出力ファイル形式などを、必要に応じて設定します。設定画面は、2 種類あります。

基本スキャン

原稿を読み取るときの色、画質、濃度や、スキャンデータのファイル形式を設定します。

参照
・詳しい操作方法：「2.7 基本スキャン項目を設定する」(P. 63)

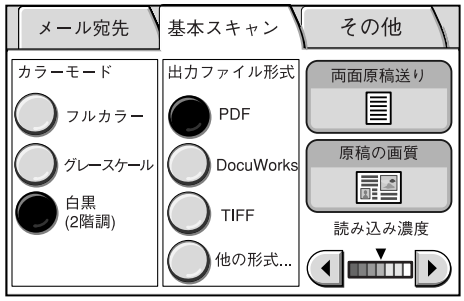
その他

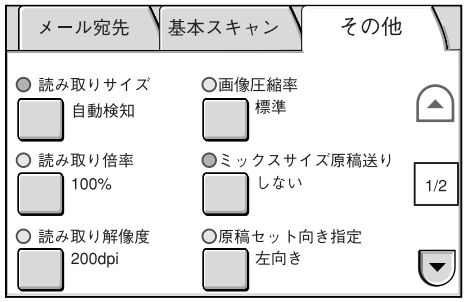
原稿を読み取るときのサイズ、倍率などを設定します。

参照
・詳しい操作方法：「2.8 その他のスキャン項目を設定する」(P. 71)

1. ［基本スキャン］タブまたは［その他］タブを押して各画面を表示し、設定します。

補足
・前の設定が残っている場合は、操作パネルの〈リセット〉ボタンを押すと初期値に戻ります。





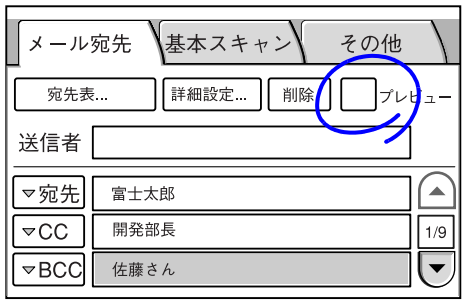
Step5　スキャンを開始する

STEP 1 ▶ 2 ▶ 3 ▶ 4 ▶ 5 スキャンを開始する ▶ 6 ▶ 7

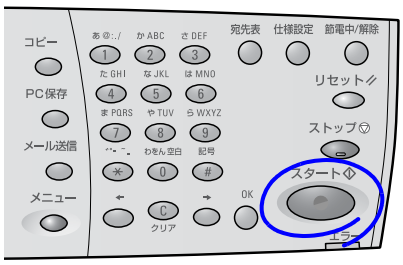
スキャンは、「Step3　スキャンの種類を選択する」(P. 33) で保存先を設定した画面に戻ってから開始します。

1. ［メール宛先］/［PC　保存先］/［保存先］画面を表示します。

2. プレビューを表示する場合は［プレビュー］の□を押してチェックを付けます。



3. 操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。



注記
- 自動原稿送り装置にセットした場合は、原稿搬送中に原稿を押さえないでください。

補足
- 問題が発生すると、タッチパネルディスプレイにエラーメッセージが表示されます。メッセージに従って対処してください。エラーコードが表示された場合は、「8.7 エラーコード」(P. 211) を参照して対処してください。
- 送信先 / 保存先の状態を確認後、読み込みを開始するので、読み込み開始まで時間がかかることがあります。

プレビュー

［プレビュー］の□にチェックを付けた場合、〈スタート〉ボタンを押すと、スキャン画像がプレビュー表示され、内容を確認できます。

補足
- 細い線は、プレビューで表示されない場合がありますが、保存時は、スキャンされた内容どおりに細い線も保存されます。

1. プレビュー画面で、画像を確認します。

右 90 度回転 / 左 90 度回転

画像を回転して保存できます。

回転した場合、おもてページ、うらページごとに、以降のページも反映されます。

補足
- 出力ファイル形式が PDF または DocuWorks 文書の場合に回転できます。

次のページもプレビュー

次のページもプレビューする場合は、チェックを付けます。

中止

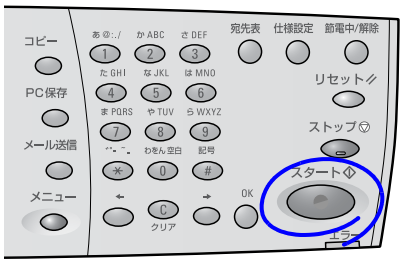
スキャンを中止します。

次原稿なし / 次原稿あり

次の原稿があるか、ないかを設定します。

参照
・プレビュー表示からの中止操作：『ユーザーズマニュアル』「4 スキャンする」

2. 操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。原稿の読み込みが開始します。



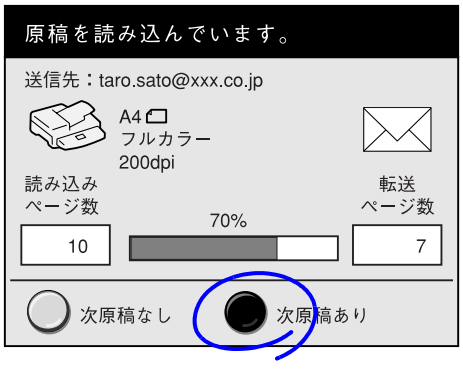
補足
・送信先 / 保存先の状態を確認後、読み込みを開始するので、読み込み開始まで時間がかかることがあります。

次の原稿があるとき

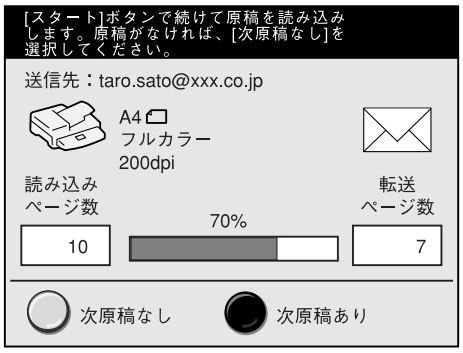
次の原稿があるときは、原稿の読み込み中にタッチパネルディスプレイに表示される画面の［次原稿あり］を押します。複数枚の原稿をまとめて 1 つのデータとしてスキャンできます。
最大 500 ページまで読み込めます。

補足
・500 ページを超えた場合は、その旨を知らせるメッセージが表示され、それ以降の読み取りは、ジョブが終了するまで、できなくなります。500 ページを超えた残りの原稿は、500 ページまでのジョブの終了後、次のジョブとして、スキャンし直してください。

1. 原稿を読み込み中に、［次原稿あり］を選択します。



最初にセットした原稿の読み込みが完了すると、メッセージが変わります。

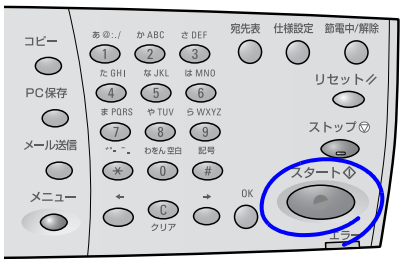


補足
・一定時間操作しないと、自動的に次の原稿がないと判断され、ジョブが継続されます。

2. 次の原稿をセットします。

参照
・原稿のセット方法：「1.5 原稿をセットする」(P. 25)

3. 操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。さらに次の原稿があるときは、原稿のセットと〈スタート〉ボタンを押す操作を繰り返します。



4. すべての原稿を読み込んだら、[次原稿なし]を選択します。

Step6　ジョブの状態を確認する

STEP 1 ▶ 2 ▶ 3 ▶ 4 ▶ 5 ▶ 6 ジョブの状態を確認する ▶ 7

必要に応じて、正常にスキャンされたかどうか確認します。
[メニュー]画面で[ジョブ確認]を押すと、[ジョブ実行完了]画面が表示されます。

参照
・「5 ジョブを確認する」(P. 130)

Step7　スキャンデータを利用する

STEP 1 ▶ 2 ▶ 3 ▶ 4 ▶ 5 ▶ 6 ▶ 7 スキャンデータを利用する

メール送信

指定したメールアドレスに、スキャンデータが送られます。メールアプリケーションでメールを受信すると、受信したメールにスキャンデータが添付されています。

PC 保存

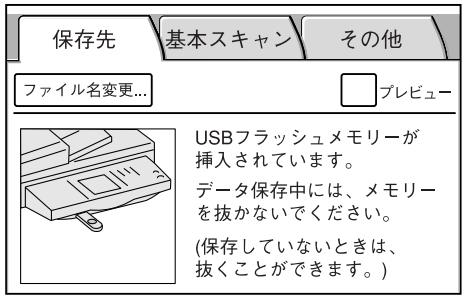
指定したコンピューターに、スキャンデータが保存されます。

補足
- 付属のソフトウエア MultiWriter スキャンマネージャを使ってスキャンした画像を編集する場合、保存先のフォルダーを MultiWriter スキャンマネージャに設定しておくと便利です。

参照
- MultiWriter スキャンマネージャのインストール方法：『ソフトウェア CD-ROM 操作ガイド』
- MultiWriter スキャンマネージャの基本的な操作方法：「7 MultiWriter スキャンマネージャ」(P. 181)
- MultiWriter スキャンマネージャの詳しい操作方法：MultiWriter スキャンマネージャのオンラインヘルプ

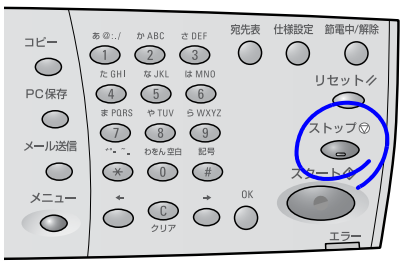
メディア保存

USB フラッシュメモリーに、スキャンデータが保存されます。
この画面が表示されているときは、メディアを取り外すことができます。

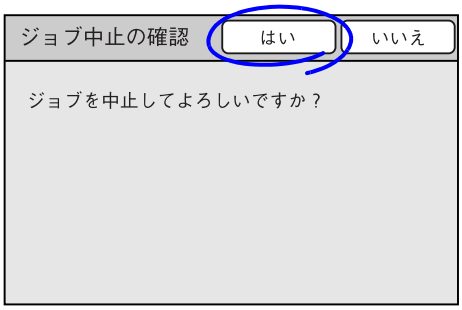


2.2 スキャンを中止する

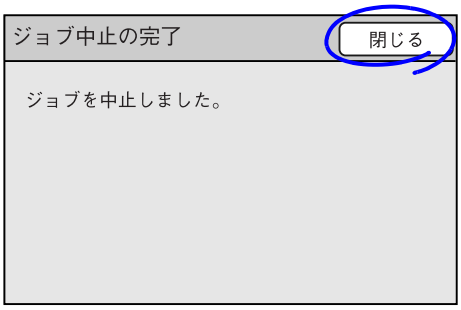
1. 操作パネルの〈ストップ〉ボタンを押します。
   中止確認のメッセージが表示されます。



2. [はい]を押します。
   中止操作完了のメッセージが表示されます。



3. [閉じる]を押します。



2.3 スキャン設定項目一覧

スキャン操作で設定できる項目は、以下のとおりです。

■ メール送信

画面	項目	参照先
メール宛先	宛先表	「宛先を設定する」(P. 44)
	詳細設定	「件名 / コメントなどを設定する」(P. 46)
	削除	「送信者を設定する」(P. 44) 「宛先を設定する」(P. 44)
	プレビュー	「プレビュー」(P. 35)
	送信者	「送信者を設定する」(P. 44)
	宛先	「宛先を設定する」(P. 44)
詳細設定	件名	「件名 / コメントなどを設定する」(P. 46)
	返信先アドレス	
	ファイル名	
	コメント	

■ PC 保存

画面	項目	参照先
PC 保存先	宛先表	「保存先を宛先表を使って設定する」(P. 53)
	ファイル名変更	「ファイル名を設定する」(P. 58)
	プレビュー	「プレビュー」(P. 35)
	SMB/FTP	「転送プロトコルを設定する」(P. 54)
	サーバー	「サーバーを設定する」(P. 54)
	共有名	「共有名を設定する（SMB の場合)」(P. 55)
	保存場所	「保存場所を設定する」(P. 56)
	ユーザー名	「ユーザー名を設定する」(P. 56)
	パスワード	「パスワードを設定する」(P. 58)
ファイル名変更	ファイル名	「ファイル名を設定する」(P. 58)
	ファイル名重複時の処理	

■ メディア保存

画面	項目	参照先
保存先	ファイル名変更	「ファイル名を設定する」(P. 61)
	プレビュー	「プレビュー」(P. 35)
ファイル名変更	ファイル名	「ファイル名を設定する」(P. 61)
	ファイル名重複時の処理	

■ スキャン条件

画面	項目	参照先
基本スキャン	カラーモード	「カラーモード（スキャンする色を選択する）」(P. 64)
	出力ファイル形式	「出力ファイル形式（スキャンデータのファイル形式を選択する）」(P. 65)
	両面原稿送り	「両面原稿送り（原稿の両面をスキャンする）」(P. 66)
	原稿の画質	「原稿の画質（原稿の画質タイプを選択する）」(P. 68)
	読み込み濃度	「読み込み濃度（原稿の読み込み濃度を調整する）」(P. 70)
その他	読み取りサイズ	「読み取りサイズ（原稿の読み取りサイズを指定してスキャンする）」(P. 72)
	読み取り倍率	「読み取り倍率（原稿を読み取る倍率を指定してスキャンする）」(P. 73)
	読み取り解像度	「読み取り解像度（読み取る解像度を指定してスキャンする）」(P. 75)
	画像圧縮率	「画像圧縮率（画像の圧縮率を指定してスキャンする）」(P. 75)
	ミックスサイズ原稿送り　※	「ミックスサイズ原稿送り（サイズが異なる原稿を一度に読み取る）（スキャナユニット PR-MW-SC50 のみ）」(P. 76)
	原稿セット向き指定	「原稿セット向き指定（セットした原稿の向きを指定する）」(P. 77)
	シャープネス	「シャープネス（画像のシャープさを調整する）」(P. 78)
	地色除去	「地色除去（原稿の下地を除去する）」(P. 79)
	コントラスト	「コントラスト（コントラストを調整する）」(P. 80)

※この項目は、スキャナユニット PR-MW-SC40 にはありません。

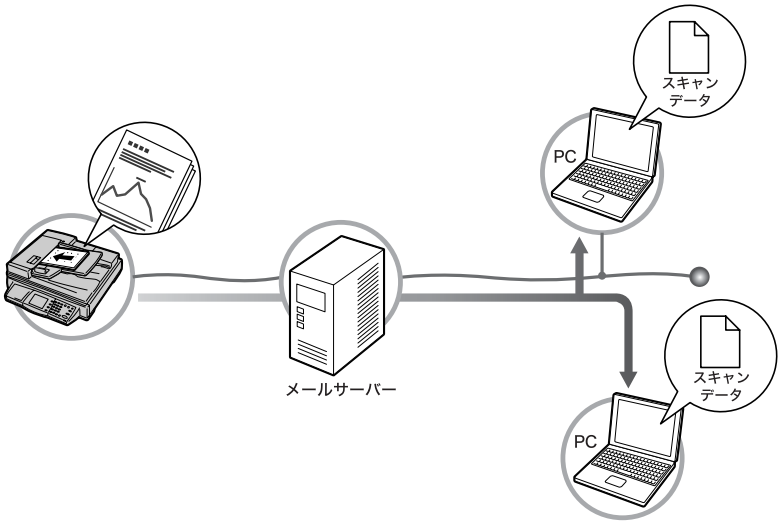
2.4　メールで送信する

スキャンデータを PDF、DocuWorks 文書、TIFF、または JPEG ファイルに変換し、メールで送信する場合の、固有の操作を説明します。

「2.1 スキャン操作の流れ」の「Step3　スキャンの種類を選択する」(P. 33) に該当します。

STEP 1 ▶ 2 ▶ 3 スキャンの種類を選択する ▶ 4 ▶ 5 ▶ 6 ▶ 7

スキャンデータを、メールに添付して送信できます。手書きの注文表など、ファクスではほかの文書にまぎれてしまうことがありますが、メールなら特定の相手に直接届けられます。



操作のポイント

メール送信の準備

メール送信をするには、あらかじめ次の設定が必要です。

□ IP アドレスの取得方法、IP アドレスの設定

　操作パネルで行います。

□ CentreWare Internet Services の起動

　操作パネルで行います。

□メール環境の設定

　CentreWare Internet Services で行います。

参照

・ 上記の各設定についての詳細：『ユーザーズマニュアル』「2 ネットワーク環境の設定」

宛先 / 件名 / コメントの設定方法

メールの宛先、件名、コメント（メールの本文）の設定方法は、次の 2 とおりあります。

- 操作パネルの数字ボタンで文字入力する
- あらかじめデータを宛先表や登録リストに登録し、選択する

参照
- 文字入力の方法：「1.2 文字の入力方法」(P. 17)
- 各項目の入力制限などについての詳細：「宛先、件名、コメントを登録するには」(P. 117)
- 宛先表、登録リストの詳しい操作方法：「4.2 スキャナーでの宛先表の使い方」(P. 124)

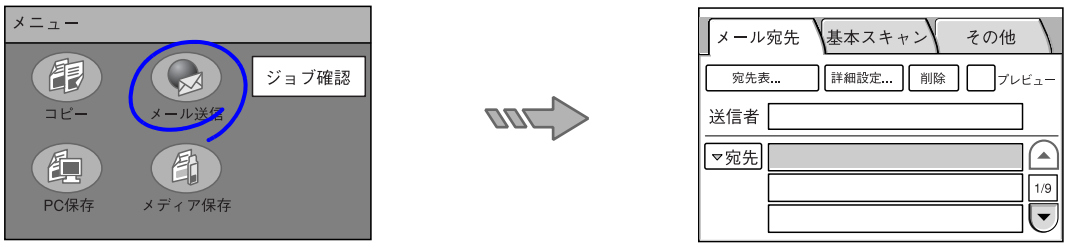
宛先表や登録リストで設定した内容は、操作パネルの数字ボタンを使って修正することもできます。

宛先表や登録リストのデータは、MultiWriter スキャンマネージャまたは CentreWare Internet Services で登録しておきます。

参照
- MultiWriter スキャンマネージャのインストール方法：『ソフトウェア CD-ROM 操作ガイド』
- MultiWriter スキャンマネージャの基本的な操作方法：「7 MultiWriter スキャンマネージャ」(P. 181)
- MultiWriter スキャンマネージャの詳しい操作方法：MultiWriter スキャンマネージャのオンラインヘルプ
- CentreWare Internet Services の使用方法：「9.1 Web ブラウザーでスキャナーの状態を確認 / 管理する」(P. 218)
- CentreWare Internet Services での宛先 / 件名 / コメントの設定方法：CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ

メールの設定をする

操作パネルの〈メール送信〉ボタンを押す、または［メニュー］画面で、［メール送信］を選択すると、［メール宛先］画面が表示されます。



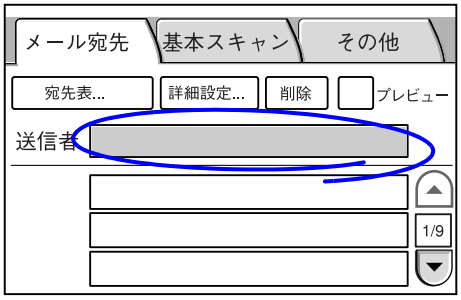
補足
- 機能に暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力する画面が表示されます。その場合は、数字ボタンを押して、暗証番号を入力し、［確定］を押します。暗証番号の設定方法は、「機能認証」(P. 148) を参照してください。
- 機能が使用禁止の設定になっている場合は、その旨を知らせるメッセージが表示されます。機能の使用許可 / 禁止の設定方法は、「機能の使用許可」(P. 146) を参照してください。
- ［メール宛先］画面で前の設定が残っている場合は、操作パネルの〈リセット〉ボタンを押すと設定を初期値に戻すことができます。初期値は、［仕様設定］で変更できます。［仕様設定］については、「6 仕様設定」(P. 132) を参照してください。

送信者を設定する

メールの送信者を設定します。宛先表から選択、または数字ボタンで入力します。宛先表から選択すると、[宛先名] に設定されている名前が表示されます。

補足
- スキャナー本体はメールを受信できません。エラー時にメールサーバーから送信者にメールが送られることがあるので、この項目に、システム管理者のメールアドレスなど、メールを受信するメールアドレスを設定することをお勧めします。
- 初期値は、「本体メールアドレス」に設定したアドレスです。
- 「本体メールアドレス」は、CentreWare Internet Services の［プロパティ］>［プロトコル設定］>［メール］>［本体メールアドレス］で設定します。
- この項目の設定は、削除できます。ただし、お使いの SMTP サーバーの設定によっては、メールの送信時にエラーになります。
- 入力する場合に設定できる文字は、次項で説明する「宛先」と同じです。

1. ［メール宛先］画面で、［送信者］を押します。
2. 操作パネルの数字ボタンでメールアドレスを入力します。



補足
- 設定内容を取り消す場合は、［削除］を押します。

宛先を設定する

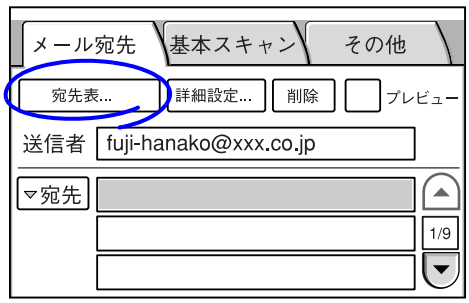
スキャンデータを送信する宛先のメールアドレスを設定します。
宛先表から選択、または数字ボタンで入力します。
この項目は、必ず設定します。

補足
- 宛先は、最大 27 件まで設定できます。

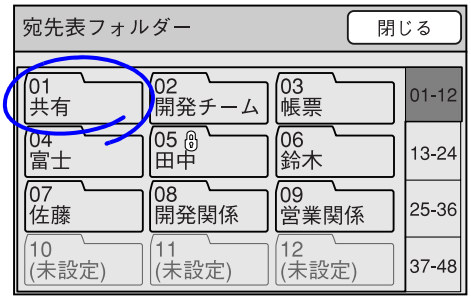
■ 宛先表を使って設定する

宛先表から宛先を選択すると、［宛先名］に設定されている名前が設定されます。

1. 宛先の入力欄を選択して、［宛先表...］または操作パネルの〈宛先表〉ボタンを押します。

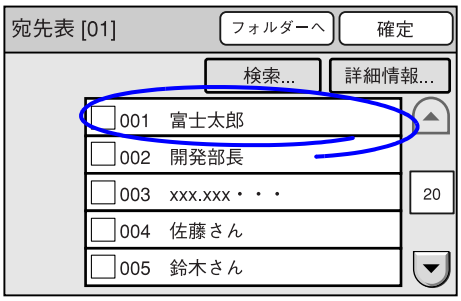


2. ［宛先表フォルダー］画面で、指定したい宛先が登録されているフォルダーを選択します。



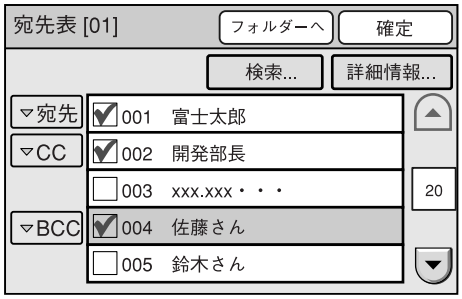
補足
- ［仕様設定］の［宛先表初期画面］で［宛先表を表示する］を選択している場合は、この画面は表示されません。［宛先表...］を押すと、フォルダーを選択したあとの［宛先表］画面へ進みます。
- フォルダーに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号入力画面が表示されます。
- 暗証番号が設定されているフォルダーには、鍵のマークが表示されます。

3. ［宛先表］画面で、使用する宛先名を押して、チェックを付けます。



補足
- チェックボックスを押すごとにチェックの有 / 無を切り替えられます。

4. 左側に［宛先］が表示されます。



補足
- ［宛先］や［CC］を押すと、［宛先］/［CC］/［BCC］を切り替えることができます。
- ［検索... ］を押すと宛先を検索できます。また、［詳細情報... ］を押すと、選択されている宛先の詳細情報を表示できます。操作方法は、「4 宛先表 / 登録リストを使用する」(P. 116) を参照してください。
- ［フォルダーへ］を押すと、選択を取り消して［宛先表フォルダー］画面に戻ります。

5. 必要に応じて、［宛先］を押して［CC］または［BCC］に変更します。

6. 同じフォルダー内の宛先に同時に送信する場合は、手順 3 ～ 5 を繰り返します。

7. ［確定］を押します。

8. 別のフォルダー内の宛先にも送信する場合は、手順 1 ～ 7 を繰り返します。

補足
- ［メール宛先］画面で設定内容を取り消す場合は、取り消したい宛先を選択して［削除］を押します。

■ 文字入力で設定する

宛先を文字入力する場合は、以下の規則に従います。

- 半角の英数字記号（ASCII 文字）で、64 文字以内で設定します。
- スペース、制御文字 (改行など)、および次の文字は使用できません。
  ()<>[]:;¥, "
- 「@（アットマーク）」が含まれない文字列も設定できます。
- 「@」が 2 つ以上含まれる文字列は設定できません。
- 「@」が含まれる場合は、「@」の前後に 1 文字以上必要です。

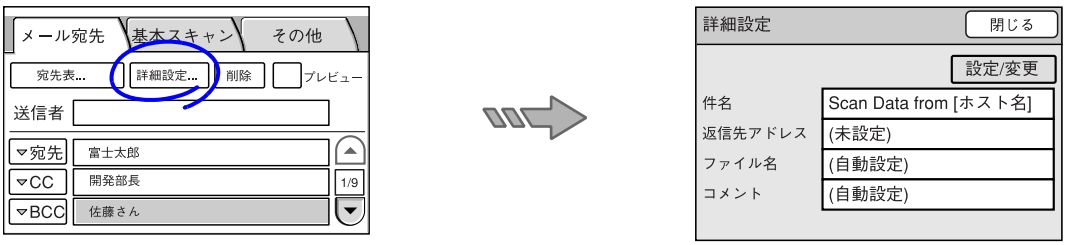
設定された宛先を修正する場合も、ここで説明する方法で操作します。

補足
- 宛先を修正しても、宛先表の内容は修正されません。

1. 宛先の入力欄を押します。
2. 宛先のメールアドレスを入力します。

件名 / コメントなどを設定する

[メール宛先] 画面で [詳細設定. . .] を押すと、[詳細設定] 画面が表示されます。メールの件名、返信先のメールアドレス、添付するスキャンデータのファイル名、コメントを設定できます。



■ 件名

スキャンデータを送信するときの、メールの件名を設定します。登録リストから選択、または数字ボタンで入力します。

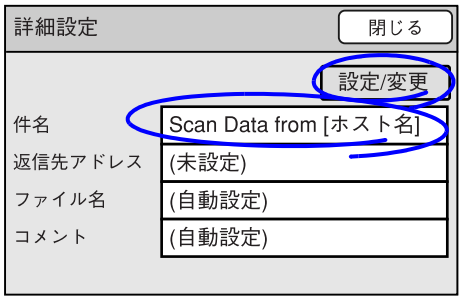
この項目の設定は省略できます。省略すると初期値になります。工場出荷時の初期値は、「Scan Data from ［ホスト名］」です。

入力する場合は、以下の規則に従います。

- 全角文字の場合は 32 文字以内、半角文字の場合は 64 文字以内で設定します。
- 制御文字 (改行など) は、使用できません。

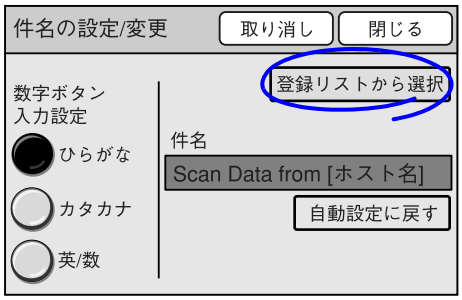
補足
- 件名の初期値は、CentreWare Internet Services の［登録 / 変更］>［件名］>［初期設定の件名番号］で変更できます。
  CentreWare Internet Services では、件名の内容を登録できます。［件名］には、CentreWare Internet Services で設定されている［初期設定の件名番号］、［番号］、［内容］から初期値が設定され、表示されます。ただし、［初期設定の件名番号］の値が「0」の場合、および［初期設定の件名番号］に「0」以外の番号が設定されているが、その番号の件名の内容が設定されていない場合、スキャナーによって自動生成される文字列「Scan Data from［ホスト名］」が初期値として表示されます。
- 「Scan Data from［ホスト名］」の［ホスト名］は、CentreWare Internet Services の［プロパティ］>［プロトコル設定］>［TCP/IP］>［ホスト名］で設定されている内容が使用されます。

1. ［詳細設定］画面で、［件名］を選択して、［設定 / 変更］を押します。

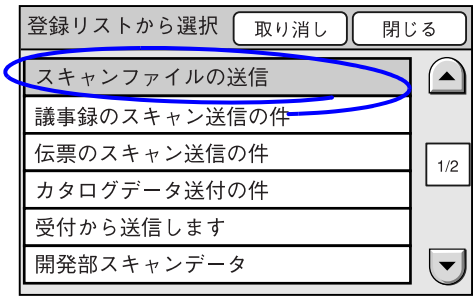


2. ［件名の設定 / 変更］画面で、［登録リストから選択］を押します。
   文字入力の場合は、［件名］の入力欄に件名を入力します。

補足
- ［自動設定に戻す］を押すと、件名は初期値に戻ります。



3. ［登録リストから選択］画面で、設定したい件名を選択します。
4. ［閉じる］を押します。
5. ［件名の設定 / 変更］画面で、［閉じる］を押します。

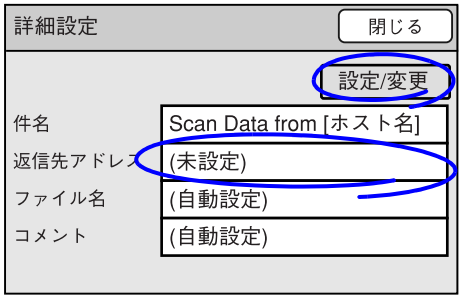


■ 返信先アドレス

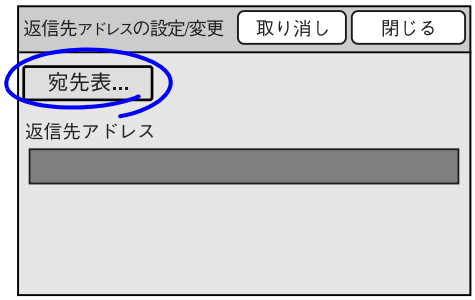
スキャンデータを送信するときの、メールに設定する返信先アドレスを設定します。宛先表から選択、または数字ボタンで入力します。宛先表から選択すると、[宛先名] に設定されている名前が表示されます。

補足
- スキャナー本体はメールを受信できません。エラー時にメールサーバーから返信先アドレスにメールが送られることがあるので、この項目に、システム管理者のメールアドレスなど、メールの返信先を設定することをお勧めします。
- 入力する場合に設定できる文字は、前項で説明している「宛先」と同じです。

1. [詳細設定] 画面で、[返信先アドレス] を選択して、[設定 / 変更] を押します。



2. [返信先アドレスの設定 / 変更] 画面で、[宛先表...] を押して、宛先を設定します。
   文字入力の場合は、[返信先アドレス] の入力欄にメールアドレスを入力します。



参照
- 宛先の設定方法：「宛先を設定する」(P. 44)

3. [閉じる] を押します。

■ ファイル名

スキャンデータのファイル名を設定します。

設定しないと、自動的に次の規則でファイル名が設定されます。

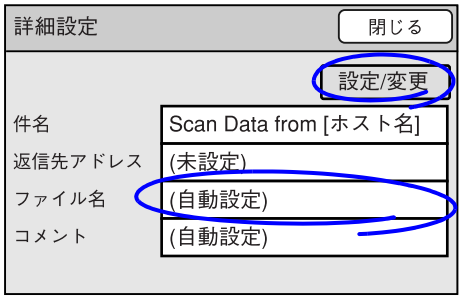
- 先頭に「img-」が付き、保存時の日時を表す 9 桁の数字が続きます。
  ただし、10 月は「X」、11 月は「Y」、12 月は「Z」になります。

例： img-102030400（1 月 02 日 03 時 04 分 00 秒）
　　img-X11123045（10 月 11 日 12 時 30 分 45 秒）

入力する場合は、以下の規則に従います。

- 全角文字の場合は 10 文字以内、半角文字の場合は 20 文字以内で設定します。
- 全角ひらがな / カタカナ、半角英数字、記号が使用できます。
- 次の文字は使用できません。
  * " / ¥ < > : | ? = , . ; [ ] +

1. ［詳細設定］画面で、［ファイル名］を選択して、［設定 / 変更］を押します。

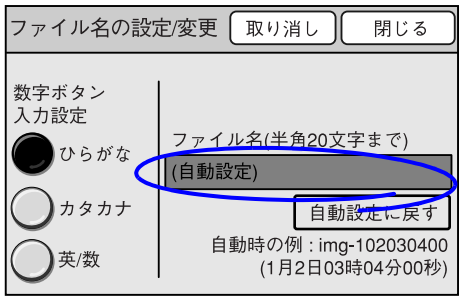


2. ［ファイル名の設定 / 変更］画面で、［ファイル名］の入力欄を押します。

3. 操作パネルの数字ボタンでファイル名を入力します。

補足
・［自動設定に戻す］を押すと、ファイル名は初期値に戻ります。

4. ［閉じる］を押します。



■ コメント

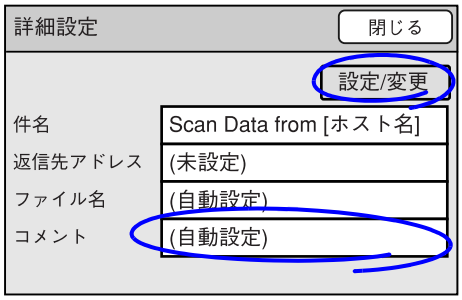
スキャンデータを送信するときの、メールのコメント（本文）を設定します。登録リストから選択、または数字ボタンで入力します。この項目の設定は、省略できます。

入力する場合は、以下の規則に従います。

・ 全角文字の場合は 96 文字以内、半角文字の場合は 192 文字以内で設定します。

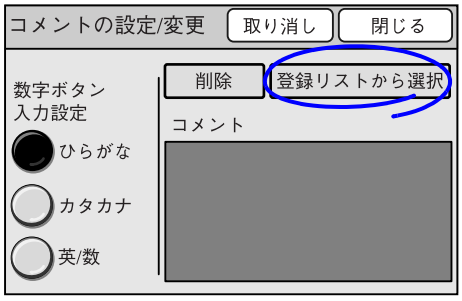
・ 改行以外の制御文字 (タブなど) は、使用できません。

1. ［詳細設定］画面で、［コメント］を選択して、［設定 / 変更］を押します。



2. ［コメントの設定 / 変更］画面で、［登録リストから選択］を押します。
文字入力の場合は、［コメント］の入力欄にコメントを入力します。

補足
・［削除］を押すと、入力した文字を一度に全部削除できます。

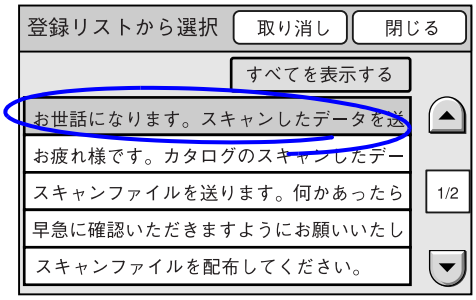


3. ［登録リストから選択］画面で、設定したいコメントを選択します。

補足
・［すべてを表示する］を押すと、コメントの全文を表示できます。

4. ［閉じる］を押します。

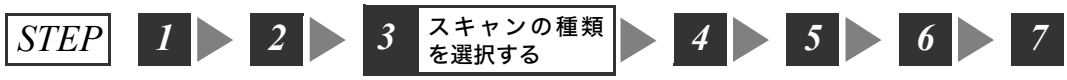
5. ［コメントの設定 / 変更］画面で、［閉じる］を押します。



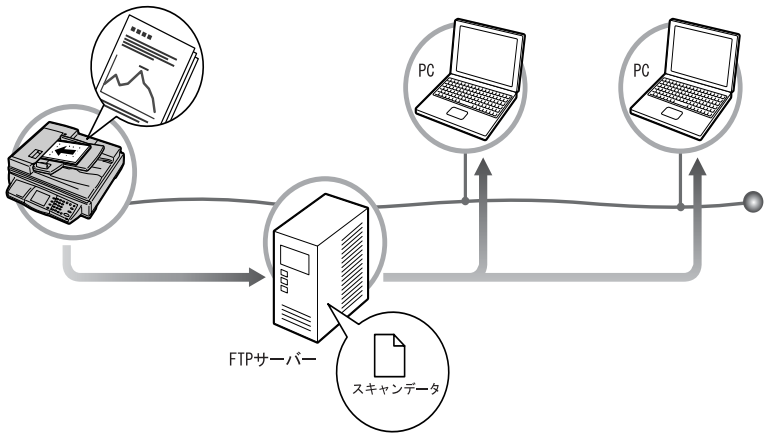
2.5 PC に保存する

スキャンデータを PDF、DocuWorks 文書、TIFF、または JPEG ファイルに変換し、FTP や SMB のプロトコルを使ってネットワーク上のコンピューターに転送する場合の、固有の操作を説明します。

「2.1 スキャン操作の流れ」の「Step3　スキャンの種類を選択する」(P. 33) に該当します。

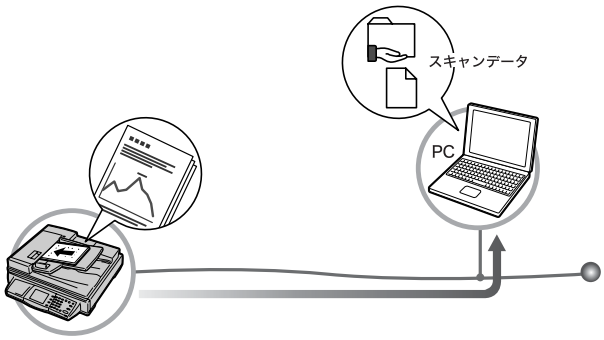


スキャンデータを複数のユーザーで共有したいときなど、FTP サーバーに保存して利用できます。



また、自分のコンピューターに取り込みたいときは、SMB で手軽に保存できます。

補足
・ SMB で保存する場合の共有フォルダーは、MultiWriter スキャンマネージャで宛先の登録時に自動的に作成されます。



操作のポイント

PC 保存の準備

PC 保存をするには、あらかじめ次の設定が必要です。

□ FTP サーバーの設定

サーバー名、ユーザー名などは、システム管理者にお問い合わせください。

□共有フォルダーの設定（SMB の場合）

保存先に使用するフォルダーを作成し、そのフォルダーを共有フォルダーに設定します。

MultiWriter スキャンマネージャで宛先を登録するときに「かんたん設定モード」を使用すると、自動的に共有フォルダーが作成されます。

□ IP アドレスの取得方法、IP アドレスの設定

操作パネルで行います。

参照
・ 上記の各設定についての詳細：『ユーザーズマニュアル』「2 ネットワーク環境の設定」
・ フォルダーの作成方法や共有フォルダーの設定方法についての詳細：Windows のオンラインヘルプ

保存先の設定方法

PC 保存するサーバー名（IP アドレス）/ 共有名 / 保存場所 / ユーザー名 / パスワードの設定方法は、次の 2 とおりあります。

・ 操作パネルの数字ボタンで入力する

・ あらかじめデータを宛先表に登録し、選択する

参照
・ 文字入力の方法：「1.2 文字の入力方法」(P. 17)
・ 各項目の入力制限などについての詳細：「宛先、件名、コメントを登録するには」(P. 117)
・ 宛先表の詳しい操作方法：「4.2 スキャナーでの宛先表の使い方」(P. 124)

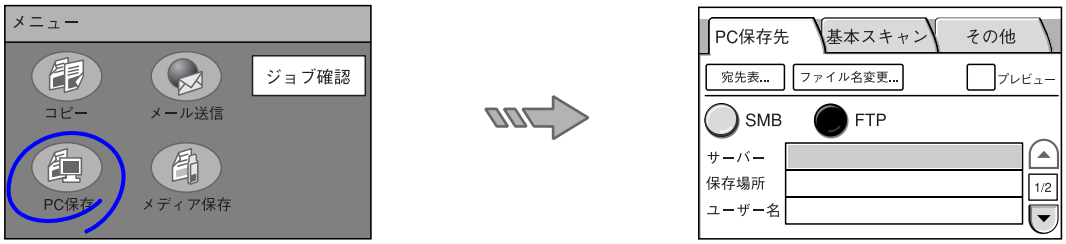
宛先表で設定した内容は、操作パネルの数字ボタンを使って修正することもできます。

宛先表のデータは、MultiWriter スキャンマネージャまたは CentreWare Internet Services で登録しておきます。

参照
・ MultiWriter スキャンマネージャのインストール方法：『ソフトウェア CD-ROM 操作ガイド』
・ MultiWriter スキャンマネージャの基本的な操作方法：「7 MultiWriter スキャンマネージャ」(P. 181)
・ MultiWriter スキャンマネージャの詳しい操作方法：MultiWriter スキャンマネージャのオンラインヘルプ
・ CentreWare Internet Services の使用方法：「9.1 Web ブラウザーでスキャナーの状態を確認 / 管理する」(P. 218)
・ CentreWare Internet Services での宛先 / 件名 / コメントの設定方法：CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ

PC 保存の設定をする

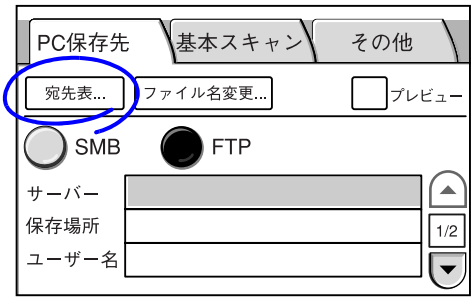
操作パネルの〈PC 保存〉ボタンを押す、または［メニュー］画面で、［PC 保存］を選択すると、PC 保存画面の［PC 保存先］画面が表示されます。



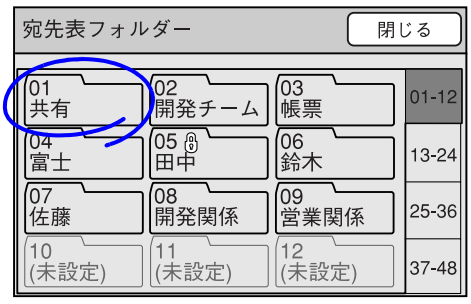
補足
- 機能の暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力する画面が表示されます。その場合は、数字ボタンを押して、暗証番号を入力し、［確定］を押します。暗証番号の設定方法は、「機能認証」(P. 148) を参照してください。
- 機能が使用禁止の設定になっている場合は、その旨を知らせるメッセージが表示されます。機能の使用許可 / 禁止の設定方法は、「機能の使用許可」(P. 146) を参照してください。
- ［PC 保存先］画面で前の設定が残っている場合は、操作パネルの〈リセット〉ボタンを押すと設定を初期値に戻すことができます。初期値は、［仕様設定］で変更できます。［仕様設定］については、「6 仕様設定」(P. 132) を参照してください。

保存先を宛先表を使って設定する

1. ［PC 保存先］画面で、［宛先表...］を押します。

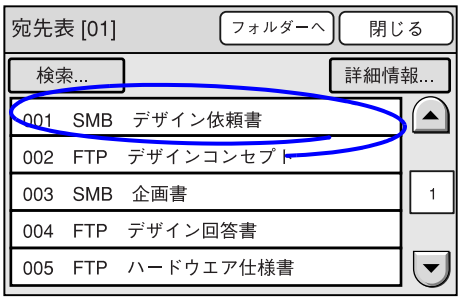


2. ［宛先表フォルダー］画面で、指定したい宛先が登録されているフォルダーを選択します。



補足
- ［仕様設定］の［宛先表初期画面］で［宛先表を表示する］を選択している場合は、この画面は表示されません。［宛先表...］を押すと、フォルダーを選択したあとの［宛先表］画面へ進みます。
- フォルダーに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号入力画面が表示されます。
- 暗証番号が設定されているフォルダーには、鍵のマークが表示されます。

3. ［宛先表］画面で、保存先を選択します。



補足
- ［検索... ］を押すと宛先を検索できます。また、［詳細情報... ］を押すと、選択されている宛先の詳細情報を表示できます。操作方法は、「4 宛先表 / 登録リストを使用する」(P. 116) を参照してください。
- ［フォルダーへ］を押すと、選択を取り消して［宛先表フォルダー］画面に戻ります。

4. ［閉じる］を押します。

5. ［PC 保存先］画面に戻ります。

補足
・設定された宛先を修正することもできます。

保存先を文字入力で設定する

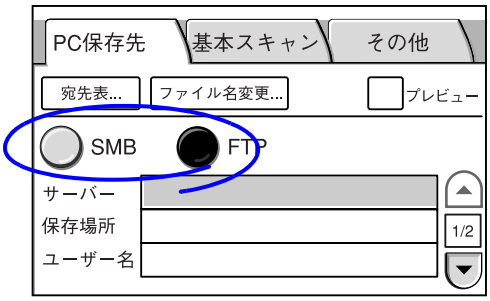
設定された保存先を修正する場合も、ここで説明する方法で操作します。

補足
・保存先を修正しても、宛先表の内容は修正されません。

■ 転送プロトコルを設定する

スキャナーからスキャンデータを転送するときの方法を選択します。
スキャンデータを、Windows の共有フォルダーに保存する場合は［SMB］、FTP サーバーに保存する場合は［FTP］を選択します。

1. ［SMB］または［FTP］のどちらかを押します。



■ サーバーを設定する

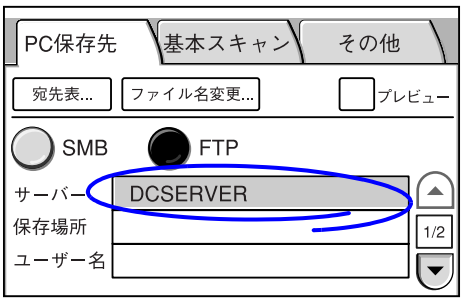
スキャンデータを保存するコンピューターを設定します。
この項目は、必ず設定します。

入力する場合は、以下の規則に従います。

・次の形式で設定します。
　FQDN 形式
　　例 : pcname.example.com
　コンピューター名 (NetBIOS 名)
　　例 : pcname
　DNS ホスト名
　　例 : pcname
　IP アドレス
　　例 : 192.168.1.100
・半角の英数字記号（ASCII 文字）で、64 文字以内で設定します。
・制御文字 (改行など) は、使用できません。

補足
・FTP サーバーについては、システム管理者にお問い合わせください。
・お使いのコンピューター名は、Windows の［マイコンピュータ］の［プロパティ］で確認できます。Windows XP は［コンピュータ名］タブの［変更］の［コンピュータ名］です。Windows 2000 は［ネットワーク ID］タブの［プロパティ］の［コンピュータ名］です。
・お使いのコンピューターの IP アドレスは、［コマンドプロンプト］で、「ipconfig」と入力して〈Enter〉キーを押すと表示されます。
・FQDN形式で設定する場合、CentreWare Internet Servicesで、[プロパティ]>[プロトコル設定]>[TCP/IP]>[DNS] の [DNS サーバーアドレス] が設定されている必要があります。
・コンピューター名 (NetBIOS 名) が指定できるのは［転送プロトコル］が SMB の場合です。
・SMB で、ほかのサブネット上のコンピューター名を設定する場合、CentreWare Internet Services で、［プロパティ］>［プロトコル設定］>［TCP/IP］>［WINS］の［WINS サーバーアドレス］が設定されている必要があります。
・DNS ホスト名で設定する場合、CentreWare Internet Services の［プロパティ］>［プロトコル設定］>［TCP/IP］>［DNS］の［DNS サーバーアドレス］/［DNS ドメイン名］で設定されているドメイン名が示すドメインに、保存先が属している必要があります。
・SMB で、DNS ホスト名で設定する場合、スキャナーと同一サブネット上にこの DNS ホスト名と同じ名前のコンピューター名 (NetBIOS 名) を使用しているコンピューターが存在する場合、コンピューター名を使用するコンピューターに対してファイル送信します。

1. ［サーバー］の入力欄を押します。
2. 操作パネルの数字ボタンでサーバー名またはサーバーの IP アドレスを入力します。



■ 共有名を設定する（SMB の場合）

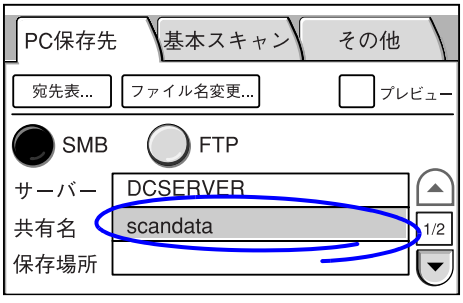
［SMB］を選択した場合に表示される項目です。スキャンデータを保存する共有フォルダーの、共有名を設定します。この項目は、必ず設定します。

入力する場合は、以下の規則に従います。

・全角文字の場合は 16 文字以内、半角文字の場合は 32 文字以内で設定します。
・制御文字 (改行など) は、使用できません。

補足
・共有名は、事前に作成した共有フォルダーの［プロパティ］で確認できます。［共有］タブの［共有名］です。

1. ［共有名］の入力欄を押します。
2. 操作パネルの数字ボタンで共有名を入力します。



■ 保存場所を設定する

スキャンデータを保存するフォルダーの名前を設定します。

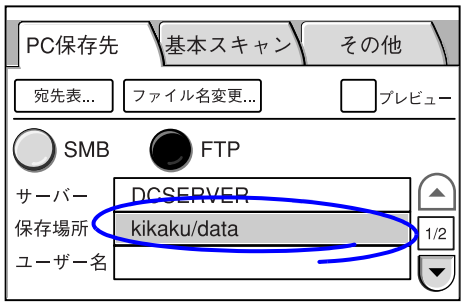
[SMB] の場合、事前に作成した共有フォルダー下のフォルダーを設定します。[FTP] の場合、ログインするディレクトリー下のフォルダーを設定します。

この項目の設定は、省略できます。省略すると、[SMB] の場合、[共有名] で設定した共有フォルダーの直下にスキャンデータが保存されます。[FTP] の場合、[ユーザー名] に設定したユーザーでログインする、ディレクトリーの直下に保存されます。

入力する場合は、以下の規則に従います。

- 全角文字の場合は 48 文字以内、半角文字の場合は 96 文字以内で設定します。
- 制御文字 (改行など) は、使用できません。
- FTP の場合は「パス 1/ パス 2」、SMB の場合は「パス 1¥ パス 2」のような形式で設定します。

1. [保存場所] の入力欄を押します。
2. 操作パネルの数字ボタンで保存先フォルダーのパス名を入力します。



■ ユーザー名を設定する

スキャンデータを保存するコンピューターおよびフォルダーに対して、変更を許可されているユーザーを設定します。

この項目は、必ず設定します。

次のいずれかの形式で設定します。

■ローカルユーザー名

- 半角の英数字記号（ASCII 文字）で、97 文字以内で設定します。
- 制御文字 (改行など)、および次の文字は使用できません。
  : “ * + , / : ; < = > ? [¥] |
- 先頭または末尾に、半角スペースは使用できません。
- 「.(ピリオド)」だけの文字列は、設定できません。

補足
- お使いのローカルユーザー名は、Windows XP の場合、[コントロールパネル] の [ユーザーアカウント] を確認してください。
- Windows 2000 の場合、[マイコンピュータ] の [プロパティ] を表示し、[ユーザープロファイル] タブで確認できます。「コンピューター名 ¥ ユーザー名」の形式で表示されます。詳しくは、[コントロールパネル] の [ユーザーとパスワード] を確認してください。

■ NetBIOS 形式ドメインユーザー

「ドメイン部 ¥ ユーザー部」の形式で指定します。

例 : pcname¥suzuki

「ドメイン部」「ユーザー部」には次の制限があります。

- 制御文字 (改行など)、および次の文字は使用できません。
  : “ * + , / : ; < = > ? [¥] |
- 先頭または末尾に、半角スペースは使用できません。
- 「.(ピリオド)」だけの文字列は、設定できません。
- ユーザー部は、半角の英数字記号（ASCII 文字）で、32 文字以内で設定します。
- ドメイン部は、半角の英数字記号（ASCII 文字）で、64 文字以内で設定します。

補足
- Windows XP の場合、[コントロールパネル] の [ユーザーアカウント] を確認してください。
- Windows 2000 の場合、[マイコンピュータ] の [プロパティ] を表示し、[ユーザープロファイル] タブで確認できます。「コンピューター名 ¥ ユーザー名」の形式で表示されます。

■ UPN 形式ドメインユーザー

「ユーザー部 @ ドメイン部」の形式で指定します。

例 : guest@example.com

- ドメイン部に、制御文字 (改行など)、スペース、および次の文字は使用できません。
  ! “ # $ & ‘ ( ) * + , / : ; < = > ? @ [¥] ^ ` { | } ~
- ユーザー部は、半角の英数字記号（ASCII 文字）で、32 文字以内で設定します。
- ドメイン部は、半角の英数字記号（ASCII 文字）で、64 文字以内で設定します。

補足
- UPN 形式のユーザー名は、お使いのネットワーク環境の管理者に確認してください。

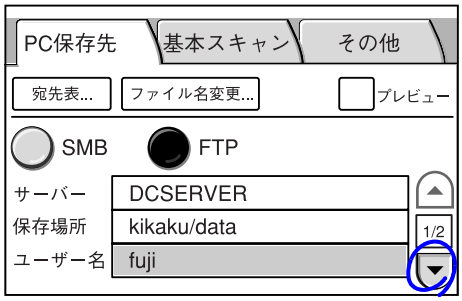
1. [ユーザー名] の入力欄を押します。
2. 操作パネルの数字ボタンでユーザー名を入力します。

■ パスワードを設定する

[ユーザー名] に設定したユーザーのパスワードを設定します。この項目は、必ず設定します。

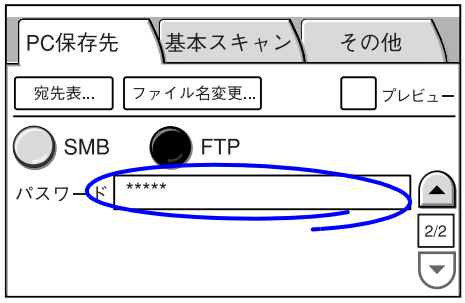
半角の英数字記号（ASCII 文字）で、32 文字以内で設定します。

1. [PC 保存先] 画面右側にある [▼] を押して [パスワード] の入力欄を表示します。



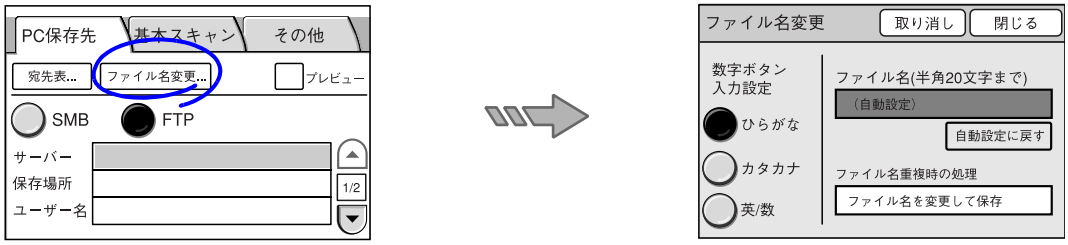
2. [パスワード] の入力欄を押します。

3. 操作パネルの数字ボタンでパスワードを入力します。



ファイル名を設定する

[PC 保存先] 画面で [ファイル名変更...] を押すと、[ファイル名変更] 画面が表示されます。転送するスキャンデータのファイル名、ファイル名重複時の処理を設定できます。



■ ファイル名

スキャンデータのファイル名を設定します。

設定しないと、自動的に次の規則でファイル名が設定されます。

- 先頭に「img-」が付き、保存時の日時を表す 9 桁の数字が続きます。
  ただし、10 月は「X」、11 月は「Y」、12 月は「Z」になります。

例： img-102030400（1 月 02 日 03 時 04 分 00 秒）
　　img-X11123045（10 月 11 日 12 時 30 分 45 秒）

入力する場合は、以下の規則に従います。

- 全角文字の場合は 10 文字以内、半角文字の場合は 20 文字以内で設定します。
- 全角ひらがな / カタカナ、半角英数字、記号が使用できます。

・次の文字は使用できません。
＊" / ¥ < > : | ? = , . ; [ ] +

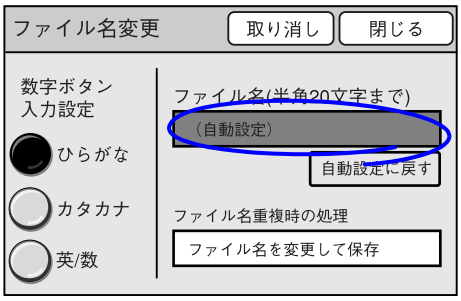
補足
・全角文字を使用すると、お使いの FTP サーバーまたは SMB サーバーの OS が対応 OS でない場合、保存したファイルのファイル名が文字化けする可能性があります。FTP サーバー、SMB サーバーの対応 OS については、「スキャナーの主な仕様」(P. 231) を参照してください。

1. ［ファイル名変更］画面で、［ファイル名］の入力欄を押します。

2. 操作パネルの数字ボタンでファイル名を入力します。

補足
・［自動設定に戻す］を押すと、ファイル名は初期値に戻ります。

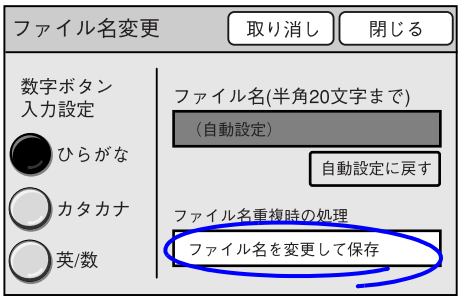
3. ［閉じる］を押します。



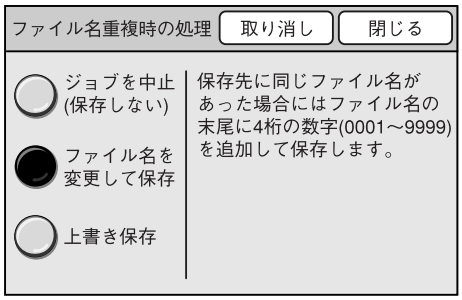
■ ファイル名重複時の処理

同じファイル名のファイルが保存先に存在するときの処理方法を設定します。

1. ［ファイル名変更］画面で、［ファイル名重複時の処理］を押します。



2. ［ファイル名重複時の処理］画面で、［ジョブを中止（保存しない)］、［ファイル名を変更して保存］、［上書き保存］のいずれかを押します。
［ジョブを中止（保存しない）］の場合は、保存先に同じ名前のファイルがあると、処理を中止して、保存しません。
［ファイル名を変更して保存］の場合は、保存先に同じ名前のファイルがあった場合に、自動的にファイル名の末尾に 0001 ～ 9999 の数字を追加して保存します。
［上書き保存］の場合は、保存先の同じ名前のファイルを上書きします。



3. ［閉じる］を押します。

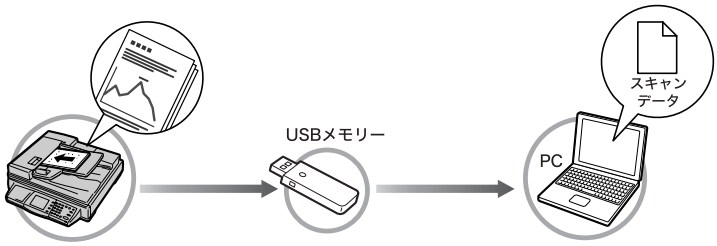
2.6 メディアに保存する

スキャンデータを PDF、DocuWorks 文書、TIFF、または JPEG ファイルに変換し、USB コネクターにセットした USB フラッシュメモリー（市販）に保存する場合の操作を説明します。

「2.1 スキャン操作の流れ」の「Step2　原稿やメディアをセットする」(P. 32)、「Step3　スキャンの種類を選択する」(P. 33) に該当します。

STEP 1 ▶ 2 原稿やメディアをセットする ▶ 3 スキャンの種類を選択する ▶ 4 ▶ 5 ▶ 6 ▶ 7

ネットワークに接続されていない環境の場合でも、メディア保存を利用すると、スキャンデータを持ち運び、自分のコンピューターに取り込めます。



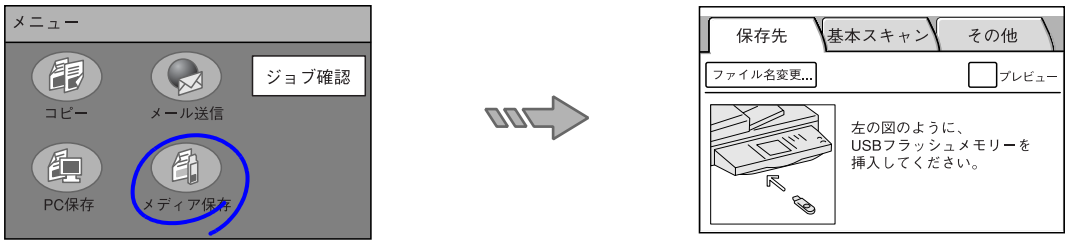
スキャンデータは、USB フラッシュメモリーのルートディレクトリーの直下に保存されます。

注記

- セキュリティー機能や書き込み禁止機能付きの USB フラッシュメモリーの場合、セキュリティー機能や書き込み禁止機能を有効にしていると、メディア保存できません。

メディア保存の設定をする

操作パネルまたは［メニュー］画面で、［メディア保存］を選択すると、メディア保存画面の［保存先］画面が表示されます。

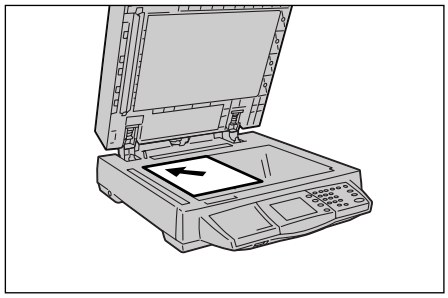


補足

- 暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力する画面が表示されます。その場合は、数字ボタンを押して、暗証番号を入力し、［確定］を押します。暗証番号の設定方法は、「機能認証」(P. 148) を参照してください。
- 機能が使用禁止の設定になっている場合は、その旨を知らせるメッセージが表示されます。機能の使用許可 / 禁止の設定方法は、「機能の使用許可」(P. 146) を参照してください。
- ［保存先］画面で前の設定が残っている場合は、操作パネルの〈リセット〉ボタンを押すと設定を初期値に戻すことができます。初期値は、［仕様設定］で変更できます。［仕様設定］については、「6 仕様設定」(P. 132) を参照してください。

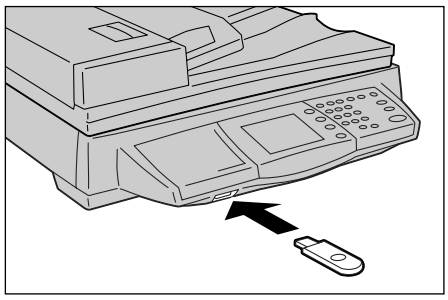
原稿とメディアを設定する

1. スキャンする原稿をセットします。



参照
・ 原稿のセット方法：「1.5 原稿をセットする」(P. 25)

2. メディアをスキャナーの USB コネクターに挿入します。

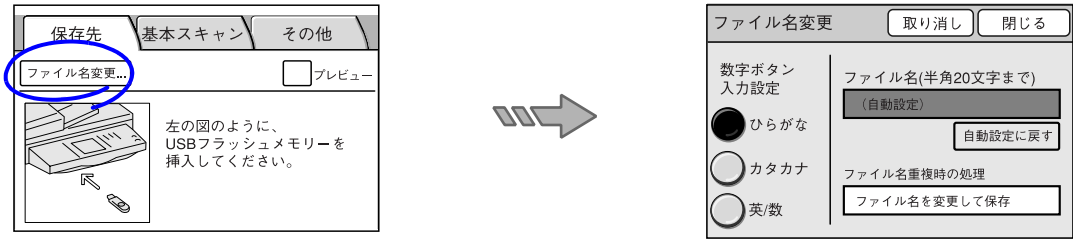


補足
・ USB コネクターは 3 箇所あります。メディア挿入には、前面の USB コネクターが便利です。前面の USB コネクターが壊れた場合は、ほかの USB コネクターをご利用ください。

参照
・ USB コネクターの位置：「1.1　各部の名称と働き」(P. 12)

ファイル名を設定する

[保存先] 画面で [ファイル名変更...] を押すと、[ファイル名変更] 画面が表示されます。保存するスキャンデータのファイル名、ファイル名重複時の処理を設定できます。



■ ファイル名

スキャンデータのファイル名を設定します。
設定しないと、自動的に次の規則でファイル名が設定されます。

・ 先頭に「img-」が付き、保存時の日時を表す 9 桁の数字が続きます。
ただし、10 月は「X」、11 月は「Y」、12 月は「Z」になります。

例： img-102030400（1 月 02 日 03 時 04 分 00 秒）
img-X11123045（10 月 11 日 12 時 30 分 45 秒）

入力する場合は、以下の規則に従います。

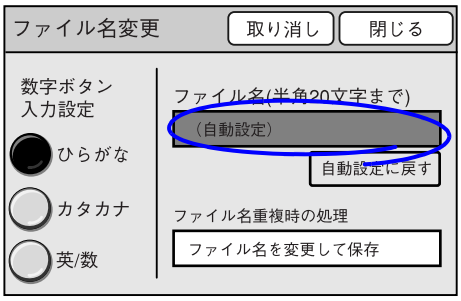
・ 全角文字の場合は 10 文字以内、半角文字の場合は 20 文字以内で設定します。
・ 全角ひらがな / カタカナ、半角英数字、記号が使用できます。
・ 次の文字は使用できません。
* " / ¥ < > : | ? = , . ; [ ] +

1. ［ファイル名変更］画面で、［ファイル名］の入力欄を押します。

2. 操作パネルの数字ボタンでファイル名を入力します。

補足
・［自動設定に戻す］を押すと、ファイル名は初期値に戻ります。

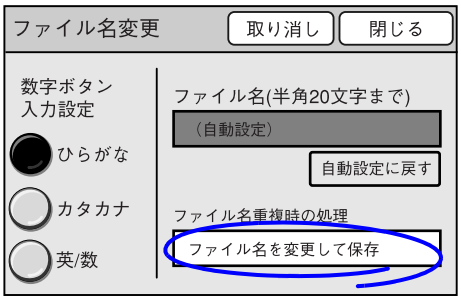
3. ［閉じる］を押します。



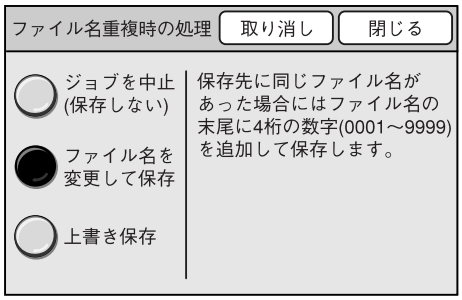
■ ファイル名重複時の処理

同じファイル名のファイルが保存先に存在するときの処理方法を設定します。

1. ［ファイル名変更］画面で、［ファイル名重複時の処理］を押します。



2. ［ファイル名重複時の処理］画面で、［ジョブを中止（保存しない)］、［ファイル名を変更して保存］、［上書き保存］のいずれかを押します。
［ジョブを中止（保存しない）］の場合は、保存先に同じ名前のファイルがあったとき、処理を中止して、保存しません。
［ファイル名を変更して保存］の場合は、保存先に同じ名前のファイルがあった場合に、自動的にファイル名の末尾に 0001 ～ 9999 の数字を追加して保存します。
［上書き保存］の場合は、保存先の同じ名前のファイルを上書きします。



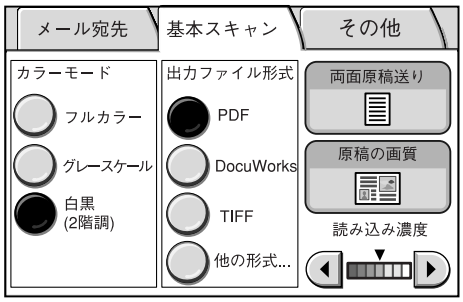
3. ［閉じる］を押します。

2.7　基本スキャン項目を設定する

スキャン条件の基本的な項目を設定する操作を説明します。
「2.1 スキャン操作の流れ」の「Step4　スキャン条件を設定する」(P. 34) に該当します。

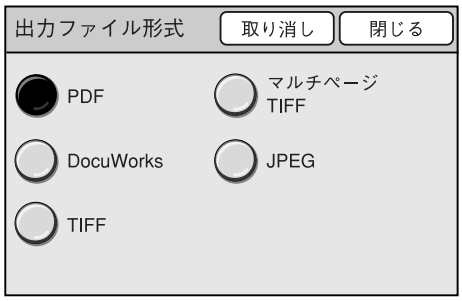
スキャン条件の基本的な項目は、［基本スキャン］画面で設定します。

［基本スキャン］画面



補足
- 上記の画面は、メール送信の［基本スキャン］画面を例にしていますが、PC 保存、メディア保存でも［基本スキャン］画面内に表示される内容は同じです。
- 前の設定が残っている場合は、操作パネルの〈リセット〉ボタンを押すと設定を初期値に戻すことができます。初期値は、［仕様設定］で変更できます。［仕様設定］については、「6 仕様設定」(P. 132) を参照してください。

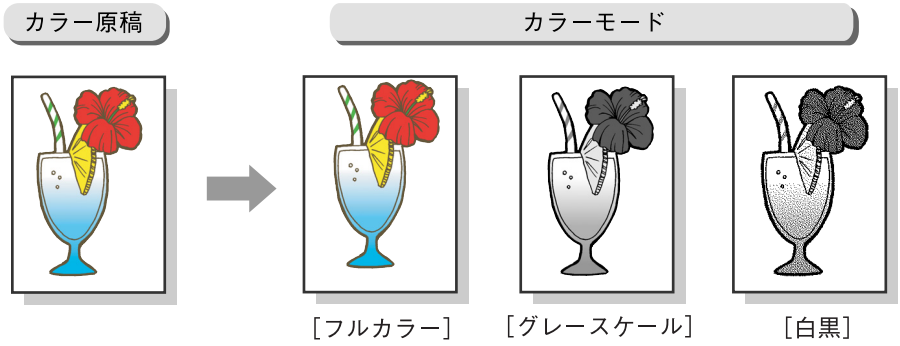
［基本スキャン］画面からは、各種設定画面が表示されます。
【例】



設定を行い［閉じる］を押して、設定を完了します。
設定内容を取り消したり、設定を中止したいときは、［取り消し］を押します。

カラーモード（スキャンする色を選択する）

原稿をスキャンするときの色を設定できます。



フルカラー

カラー原稿をスキャンするときに選択します。

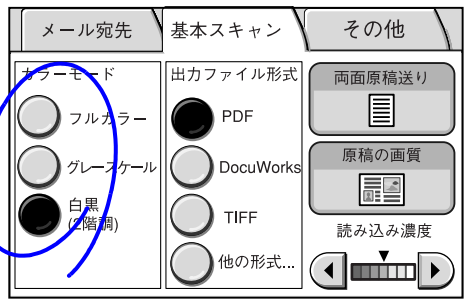
グレースケール

グレースケールで原稿をスキャンします。白黒に濃淡をつけて、段階的に変化する中間調も再現できます。白黒（2 階調）だけでは表現できないグラデーションなどがある場合に適しています

白黒

白黒 2 階調で原稿を読み取ります。

1. ［基本スキャン］画面で、カラーモードを選択します。



出力ファイル形式（スキャンデータのファイル形式を選択する）

スキャンしたデータの種類（ファイル形式）を設定します。

PDF

PDF ファイル形式で保存します。

補足
・出力される PDF ファイルをコンピューター上で閲覧・印刷するには、Acrobat Reader 4.0 以降が必要です。本機に同梱されているソフトウェアCD-ROMから、Adobe Readerをインストールできます。

DocuWorks

DocuWorks 文書で保存します。

補足
・出力される DocuWorks 文書をコンピューター上で閲覧・印刷するには、次のいずれかのソフトウエアが必要です。
・DocuWorks Ver. 4.0 以降
・DocuWorks Viewer Light Ver. 4.0 以降
・DocuWorks Viewer Light for Web Ver. 4.0 以降
本機に同梱されているソフトウェア CD-ROM から、DocuWorks 6.0 体験版、DocuWorks Viewer Light 6.0、および DocuWorks Viewer Light for Web 6.0 をインストールできます。

TIFF

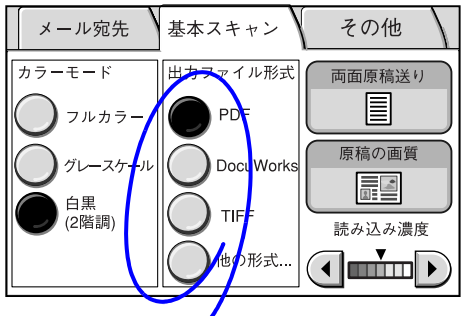
1 ページずつファイルにして、TIFF ファイル形式で保存します。

補足
・仕様設定の［TIFF ファイル形式］で、TIFF ファイルの形式を［TIFF V6］または［TTN2］から選択できます。詳しくは、「TIFF ファイル形式」(P. 175) を参照してください。

他の形式 ...

［出力ファイル形式］画面が表示され、ほかのファイル形式を選択できます。

1. ［基本スキャン］画面で、出力ファイル形式を選択します。
表示されていないファイル形式を選択する場合は、［他の形式］を選択し、［出力ファイル形式］画面で設定します。



［出力ファイル形式］画面

［基本スキャン］画面で［他の形式. . . ］を選択すると、［出力ファイル形式］画面が表示されます。
そのほかの出力ファイル形式を選択できます。

マルチページ TIFF

複数ページを 1 ファイルにして TIFF ファイル形式で保存します。

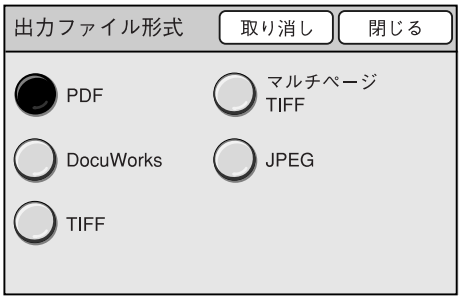
補足
・MultiWriter スキャンマネージャで、マルチページ TIFF 形式ファイルを表示できます。

JPEG

JPEG ファイル形式で保存します。

補足
・［カラーモード］に［白黒］を設定している場合は、［JPEG］は選択できません。

1. ［他の形式. . . ］を選択した場合は、［出力ファイル形式］画面で、ファイル形式を選択します。
2. ［閉じる］を押します。



両面原稿送り（原稿の両面をスキャンする）

原稿の両面をスキャンするのか、片面をスキャンするのかを設定します。
両面をスキャンする場合は、原稿の状態（原稿の綴じ方）と原稿をセットした向きを設定すると、原稿のうらとおもての天地をそろえて読み取れます。
［両面原稿送り］を選択すると、［両面原稿送り］画面が表示され、設定ができます。

注記
・大きなサイズの両面原稿を上下開きで拡大してスキャンしたとき、一部画像が欠ける場合があります。

［両面原稿送り］画面

片面

片面をスキャンします。

両面

両面をスキャンします。
［両面］を選択すると、右側に［原稿の状態］と［原稿セット向き指定］が表示されます。

［原稿の状態］

左右開き

両面原稿のおもてとうらで、イメージの上下が同じ場合に選択します。

上下開き

両面原稿のおもてとうらで、イメージの上下が逆転している場合に選択します。

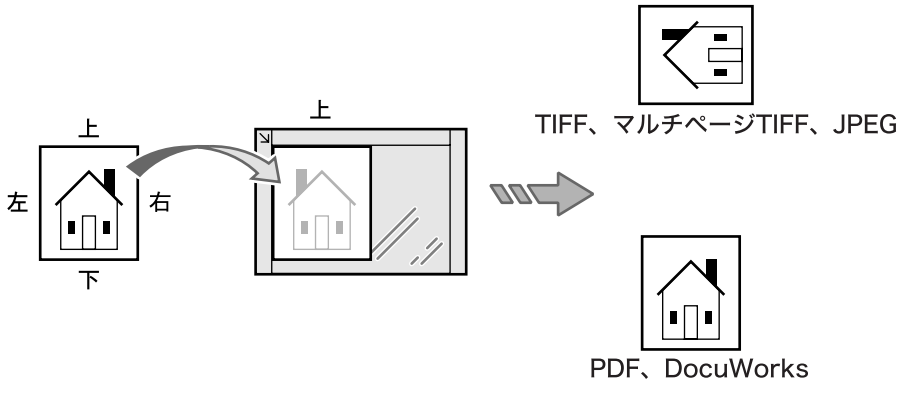
[原稿セット向き指定]

自動原稿送り装置を使用してスキャンするときは、原稿の上部を指示するために、原稿のセット向きを設定する必要があります。

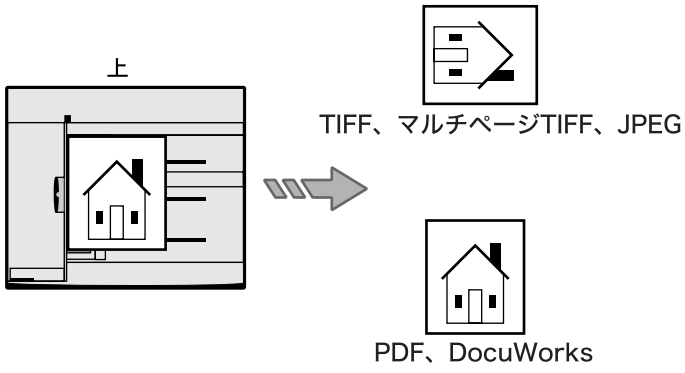
読める向き

原稿の上部を、原稿ガラス、または自動原稿送り装置に向かって奥側にセットする場合に選択します。

補足
・出力ファイル形式が、TIFF、マルチページ TIFF、JPEG の場合と、PDF、DocuWorks 文書の場合では、スキャン結果の向きが異なります。



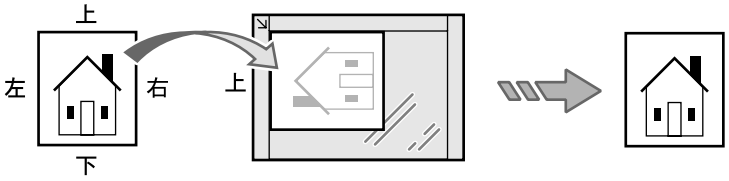
原稿ガラスにセットする　　スキャン結果



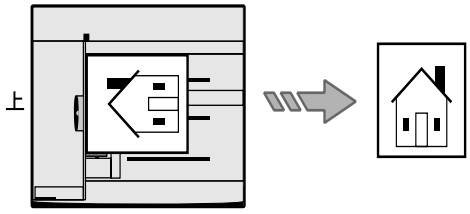
自動原稿送り装置にセットする　　スキャン結果

左向き

原稿の上部を、原稿ガラス、または自動原稿送り装置に向かって左側にセットする場合に選択します。原稿を左向き（文字が横向き）にセットする場合は、必ず［左向き］を選択してください。



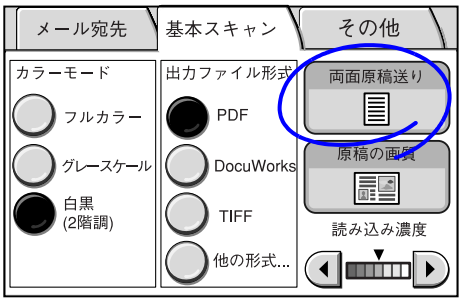
原稿ガラスにセットする　　スキャン結果



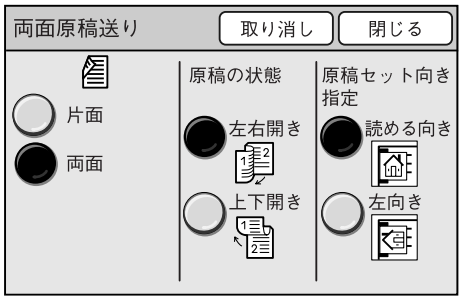
自動原稿送り装置にセットする　　スキャン結果

補足
・実際の原稿のセット向きと［原稿セット向き指定］の設定が合っていないと、原稿の上部が誤って認識されます。

1. ［基本スキャン］画面で、［両面原稿送り］を押します。



2. ［両面原稿送り］画面で、［片面］/［両面］、原稿の状態、原稿のセット向きを選択します。
3. ［閉じる］を押します。



原稿の画質（原稿の画質タイプを選択する）

原稿の画質を選択します。
［原稿の画質］を選択すると、［原稿の画質］画面が表示され、設定ができます。

［原稿の画質］画面

文字

文字をはっきりスキャンしたいときに選択します。

文字 / 写真

文字と写真が混在した原稿をスキャンするときに選択します。文字領域と写真領域を自動的に判断し、領域ごとに最適な画質でスキャンします。
［文字 / 写真］を選択すると、右側に［写真の種類］が表示されます。

写真

写真をスキャンするときに選択します。
［写真］を選択すると、右側に［写真の種類］が表示されます。

[写真の種類]

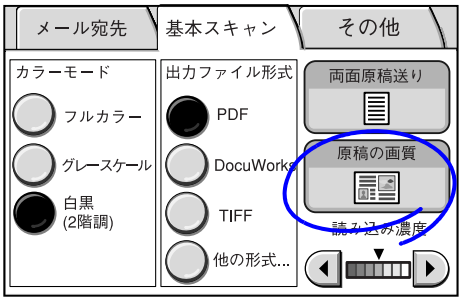
印刷写真

プリンターで印刷した写真や、書籍 / パンフレットの写真部分をスキャンする場合に選択します。

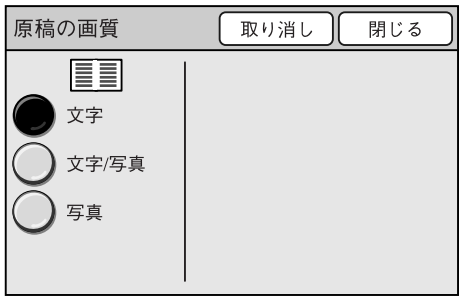
印画紙写真

印画紙の写真をスキャンする場合に選択します。

1. [基本スキャン] 画面で、[原稿の画質] を押します。

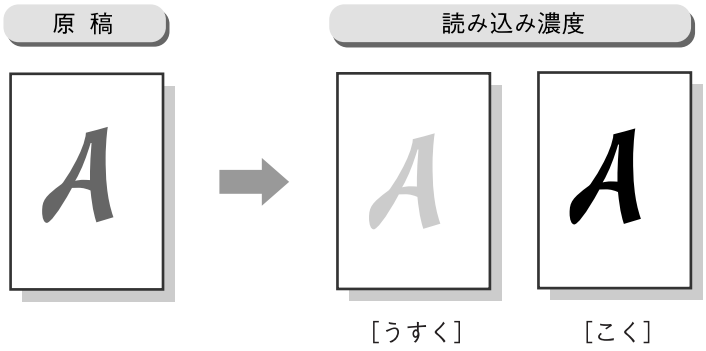


2. [原稿の画質] 画面で、原稿の画質を選択します。
3. [閉じる] を押します。

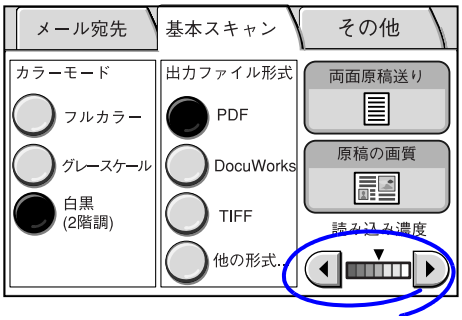


読み込み濃度（原稿の読み込み濃度を調整する）

原稿の読み込み濃度を 7 段階で調整できます。



1. ［◀］または［▶］を押して、濃度を設定します。

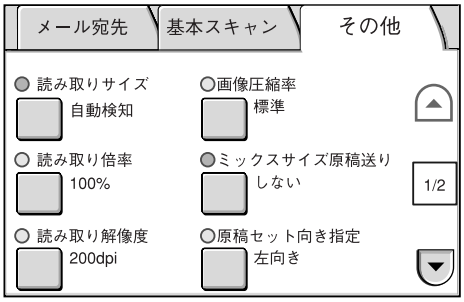


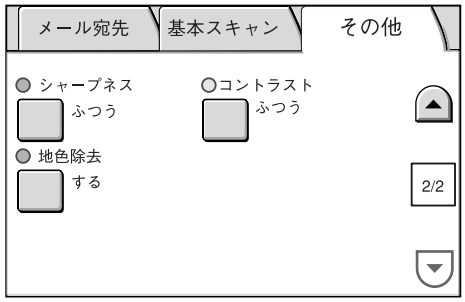
2.8　その他のスキャン項目を設定する

その他のスキャン条件を設定する操作を説明します。
「2.1 スキャン操作の流れ」の「Step4　スキャン条件を設定する」(P. 34) に該当します。

その他のスキャン条件は、［その他］画面で設定します。

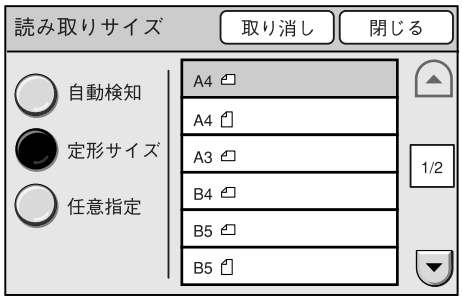
［その他］画面





補足
- 上記の画面は、スキャナユニット PR-MW-SC50 のメール送信の［その他］画面を例にしていますが、PC 保存、メディア保存でも［その他］画面内に表示される内容は同じです。スキャナユニット PR-MW-SC40 の場合は、［ミックスサイズ原稿送り］機能はありません。
- 前の設定が残っている場合は、操作パネルの〈リセット〉ボタンを押すと設定を初期値に戻すことができます。初期値は、［仕様設定］で変更できます。［仕様設定］については、「6 仕様設定」(P. 132) を参照してください。

［その他］画面からは、各種設定画面が表示されます。
【例】



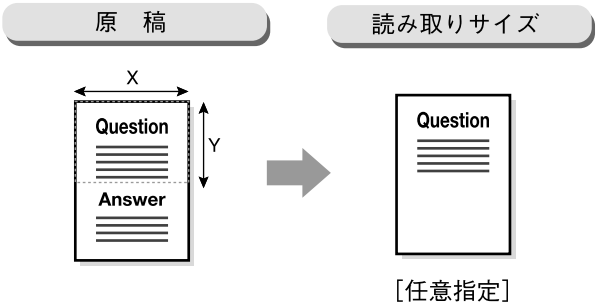
設定を行い［閉じる］を押して、設定を完了します。
設定内容を取り消したり、設定を中止したいときは、［取り消し］を押します。

読み取りサイズ（原稿の読み取りサイズを指定してスキャンする）

原稿の読み取りサイズを設定できます。

非定形サイズの原稿を読み取る場合や、セットしている原稿とは異なるサイズで読み取りたい場合は、読み取りサイズを指定します。

読み取りサイズを指定すると、実際にセットされている原稿のサイズに関係なく、設定したサイズで読み取ります。



［任意指定］

［読み取りサイズ］を押すと、［読み取りサイズ］画面が表示され、設定ができます。

［読み取りサイズ］画面

自動検知

原稿サイズを自動で認識します。自動で認識できる原稿サイズは以下のとおりです。

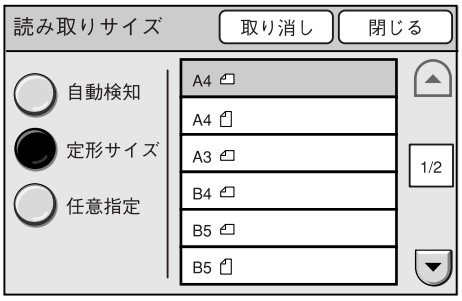
	原稿ガラス	自動原稿送り装置
PR-MW-SC50	B5、B5、A5、A5、A4、A4、8.5 × 11 インチ、B4、A3、11 × 17 インチ、A6、B6	B5、B5、A5、A5、A4、A4、B4、A3
PR-MW-SC40	B5、A5、A5、A4、A6、B6	B5、A5、A5、A4

補足
- 原稿サイズを自動検知できない場合は、原稿サイズを入力する画面が表示されます。
- 表は、AB 系の場合の定形原稿サイズです。AB 系（八開 / 十六開）、インチ系の場合の原稿サイズ、およびサイズ検知の切り替えについては、「サイズ検知切り替え」(P. 151) を参照してください。

定形サイズ

あらかじめ設定されているサイズから選択します。

表示される原稿サイズは変更できます。

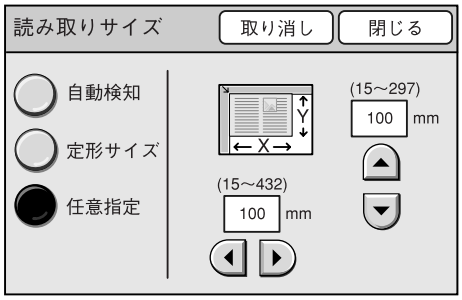


補足
- 表示される原稿サイズのボタンは、スキャナユニット PR-MW-SC50 の場合は 12 個、スキャナユニット PR-MW-SC40 の場合は、6 個です。ここではスキャナユニット PR-MW-SC50 の場合を例に説明しています。

参照
・ 表示される原稿サイズの変更方法：「原稿サイズボタン」(P. 145)

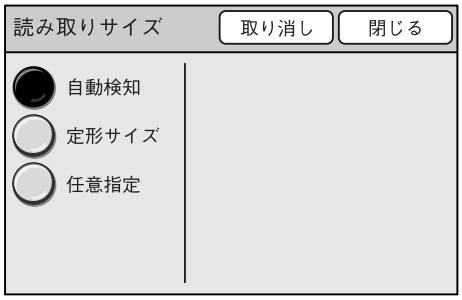
任意指定

非定形サイズの原稿を読み取る場合や、セットしている原稿とは異なるサイズでコピーするときは、読み取りたいサイズを入力します。サイズは、[▲] / [▼] / [◀] / [▶] で、1 ㎜刻みに設定します。原稿ガラスの周りにある目盛を参考にすると便利です。



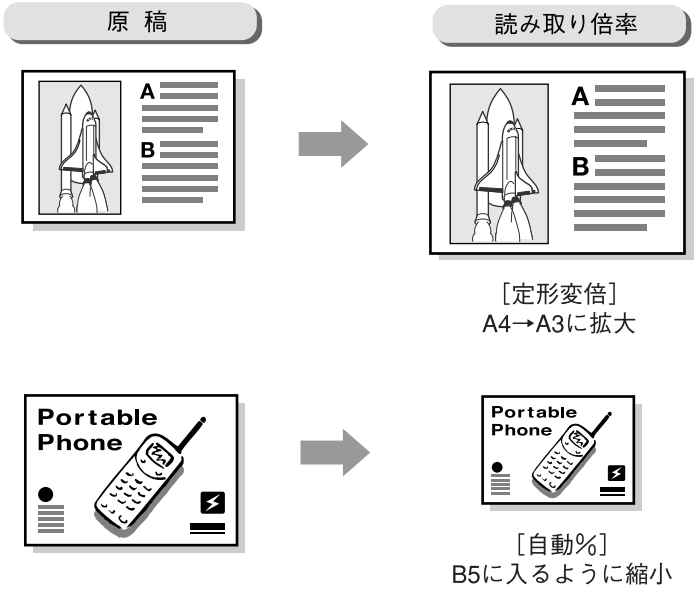
参照
・ 指定できる原稿のサイズ：「使用できる原稿」(P. 25) の「読み取り可能エリア」

1. [その他] 画面で、[読み取りサイズ] を押します。
2. [読み取りサイズ] 画面で、読み取りサイズを設定します。
3. [閉じる] を押します。



読み取り倍率（原稿を読み取る倍率を指定してスキャンする）

原稿を読み取る倍率を設定できます。



[定形変倍]
A4→A3に拡大

[自動%]
B5に入るように縮小

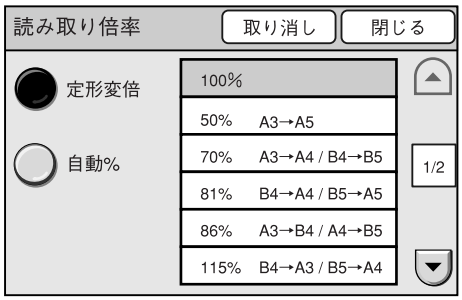
[読み取り倍率] を押すと、[読み取り倍率] 画面が表示され、設定ができます。

[読み取り倍率] 画面

定形変倍

あらかじめ設定されている倍率から選択します。

[定形変倍] を選択すると、右側に倍率が表示されます。



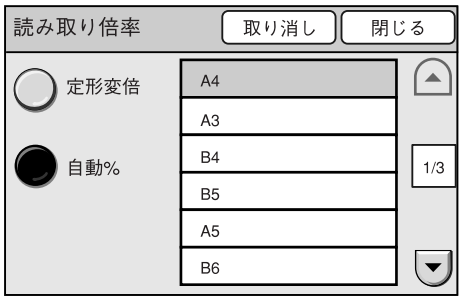
補足

- [定形変倍] で設定した場合、出力サイズが定形サイズと正確に一致しないことがあります。表示されている用紙サイズは、縮小 / 拡大の参考として利用してください。

自動 %

原稿サイズと選択した出力サイズから、倍率を自動的に計算し、指定したサイズに原稿がおさまるようにスキャンします。

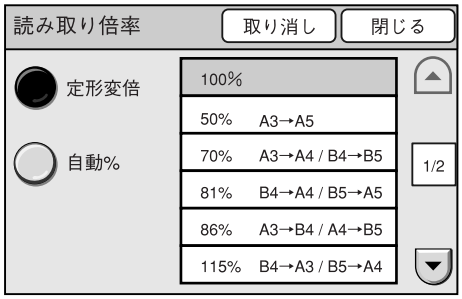
[自動%] を選択すると、右側に出力サイズが表示されます。



補足

- [自動 %] でスキャンした結果、余白になる部分は、白データになります。

1. [その他] 画面で、[読み取り倍率] を押します。
2. [読み取り倍率] 画面で、読み取り倍率を設定します。
3. [閉じる] を押します。



読み取り解像度（読み取る解像度を指定してスキャンする）

原稿を読み取るときの解像度を設定できます。

数値が大きくなるほど、細かく読み取られますが、データ量は大きくなります。データ量が大きいと、読み込み、および転送に時間がかかります。

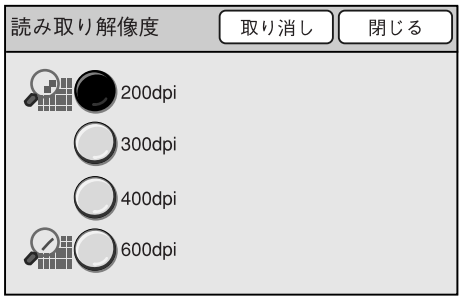
[読み取り解像度]を選択すると、[読み取り解像度]画面が表示され、設定ができます。

[読み取り解像度]画面

200 ～ 600dpi

200dpi、300dpi、400dpi、600dpi のいずれかから選択します。

1. [その他]画面で、[読み取り解像度]を押します。
2. [読み取り解像度]画面で、読み取り解像度を選択します。
3. [閉じる]を押します。



画像圧縮率（画像の圧縮率を指定してスキャンする）

[基本スキャン]画面の[カラーモード]を、[フルカラー]または[グレースケール]でスキャンするときの画像の圧縮率を選択します。

[画像圧縮率]を選択すると、[画像圧縮率]画面が表示され、設定ができます。

[画像圧縮率]画面

高く

高い圧縮率で保存されます。画質は悪くなりますが、ファイルサイズは小さくなります。

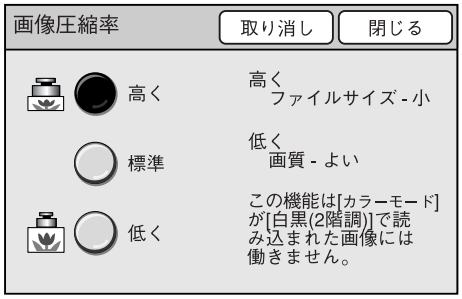
標準

標準的な圧縮率で保存されます。標準的な画質とファイルサイズになります。

低く

低い圧縮率で保存されます。画質は良くなりますが、ファイルサイズは大きくなります。

1. [その他]画面で、[画像圧縮率]を押します。
2. [画像圧縮率]画面で、画像圧縮率を選択します。
3. [閉じる]を押します。



ミックスサイズ原稿送り（サイズが異なる原稿を一度に読み取る）（スキャナユニット PR-MW-SC50 のみ）

自動原稿送り装置を使用すると、サイズの異なる原稿を一度に読み取り、それぞれの原稿サイズに合ったサイズの用紙にスキャンできます。

また、スキャンするサイズを指定して、サイズをそろえたスキャンもできます。

サイズをそろえてスキャンするには、[ミックスサイズ原稿送り] を [する] に設定するほか、次の設定が必要です。

・[読み取り倍率] で [自動 %] を設定し、出力サイズを選択する。

参照
・[読み取り倍率] の設定：「読み取り倍率（原稿を読み取る倍率を指定してスキャンする）」(P. 73)

注記
・A5 サイズの原稿は、必ずよこ置きにセットしてください。

補足
・原稿サイズを自動検知できない場合は、原稿サイズを入力する画面が表示されます。

[ミックスサイズ原稿送り] を選択すると、[ミックスサイズ原稿送り] 画面が表示され、設定ができます。

[ミックスサイズ原稿送り] 画面

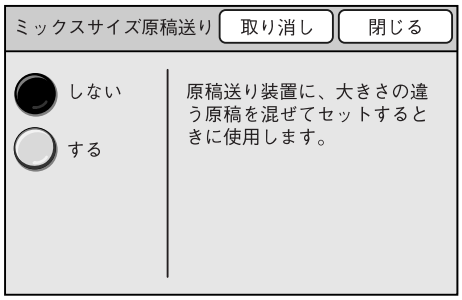
しない

原稿サイズがすべて同じ場合に選択します。

する

異なるサイズの原稿をスキャンする場合に、機械が自動的にそれぞれの原稿サイズを認識します。

1. [その他] 画面で、[ミックスサイズ原稿送り] を押します。
2. [ミックスサイズ原稿送り] 画面で、[しない] または [する] を選択します。
3. [閉じる] を押します。



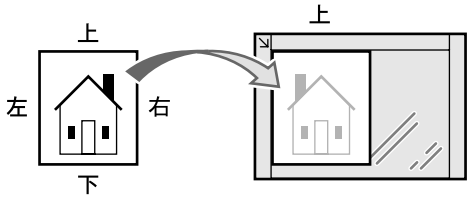
原稿セット向き指定（セットした原稿の向きを指定する）

原稿の上部を指示するために、原稿のセット向きを設定する必要があります。
［原稿セット向き指定］を選択すると、［原稿セット向き指定］画面が表示され、設定ができます。

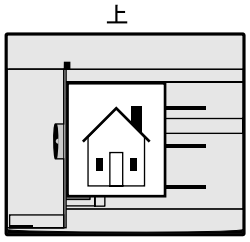
［原稿セット向き指定］画面

読める向き

原稿の上部を、原稿ガラス、または自動原稿送り装置に向かって奥側にセットする場合に選択します。



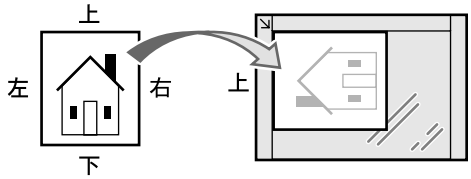
原稿ガラスにセットする



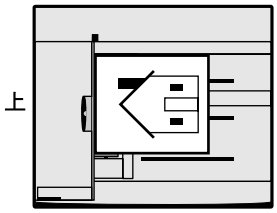
自動原稿送り装置にセットする

左向き

原稿の上部を、原稿ガラス、または自動原稿送り装置に向かって左側にセットする場合に選択します。原稿を左向き（文字が横向き）にセットする場合は、必ず［左向き］を選択してください。



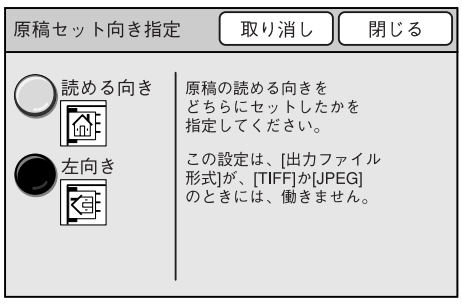
原稿ガラスにセットする



自動原稿送り装置にセットする

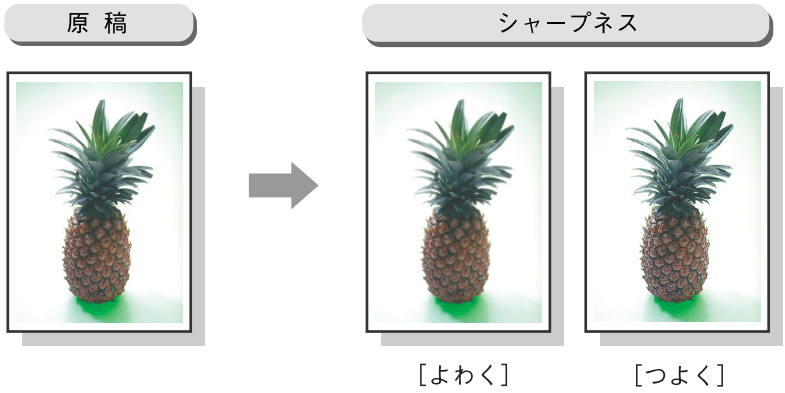
補足
・実際の原稿のセット向きと［原稿セット向き指定］の設定が合っていないと、原稿の上部を機械が間違って認識してしまいます。
・［出力ファイル形式］が［TIFF］、［JPEG］の場合は、この機能は働きません。

1. ［その他］画面で、［原稿セット向き指定］を押します。
2. ［原稿セット向き指定］画面で、原稿の向きを選択します。
3. ［閉じる］を押します。



シャープネス（画像のシャープさを調整する）

シャープネスを調整できます。



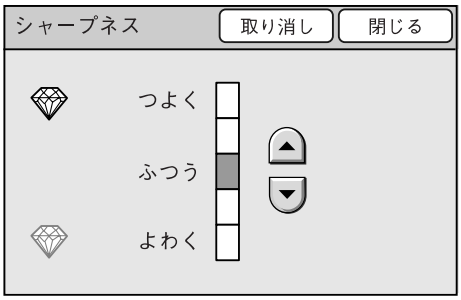
［シャープネス］を選択すると、［シャープネス］画面が表示され、設定ができます。

［シャープネス］画面

つよく～よわく

［つよく］～［よわく］の間で、5 段階のシャープネスを選択できます。
［つよく］に近づくほど画像の輪郭が強調されます。［よわく］に近づくほど画像の輪郭をぼかしたようになります。

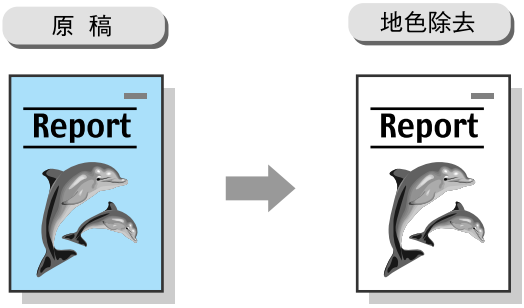
1. ［その他］画面で、［シャープネス］を押します。
2. ［シャープネス］画面で、［▲］または［▼］を押してシャープネスを設定します。
3. ［閉じる］を押します。



地色除去（原稿の下地を除去する）

カラーモードの［白黒］でスキャンした場合は、新聞や地色原稿などの原稿の下地（背景）を除いてスキャンできます。

カラーモードの［フルカラー］でスキャンした場合、背景が白い原稿でも、原稿の古さや紙質などの状態によって、かすかに色が付くことがあります。その場合、［地色除去］で、背景を白くスキャンできます。



補足
・［原稿の画質］の設定が［写真］の場合、［地色除去］の機能は無効になります。
・ カラーモードの設定が［フルカラー］の場合は、下地の除去量を抑えています。

［地色除去］を選択すると、［地色除去］画面が表示され、設定ができます。

［地色除去］画面

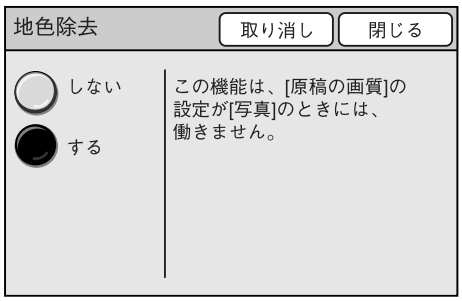
しない

原稿の下地をそのままスキャンします。

する

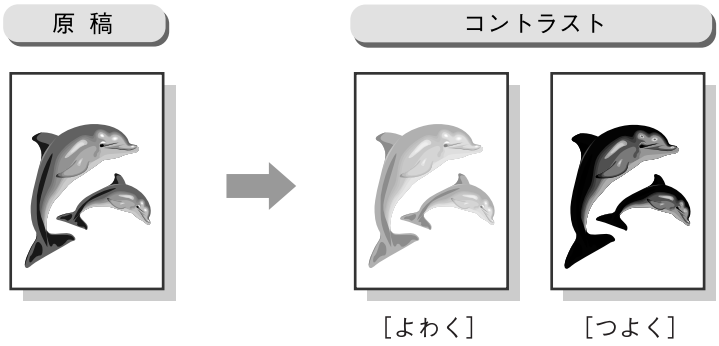
原稿の下地を除いてスキャンします。

1. ［その他］画面で、［地色除去］を押します。
2. ［地色除去］画面で、［しない］または［する］を選択します。
3. ［閉じる］を押します。



コントラスト（コントラストを調整する）

コントラストを調整できます。



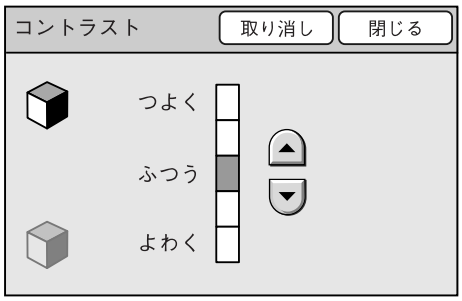
［コントラスト］を選択すると、［コントラスト］画面が表示され、設定ができます。

［コントラスト］画面

つよく～よわく

［つよく］～［よわく］の間で、5 段階のコントラストを選択できます。
［つよく］に近づくほど明るい部分がより明るくなり、暗い部分がより暗くなり、明暗の差が広がります。［よわく］に近づくほど明るい部分と暗い部分の差がなくなります。

1. ［その他］画面で、［コントラスト］を押します。
2. ［コントラスト］画面で、［▲］または［▼］を押してコントラストを設定します。
3. ［閉じる］を押します。



3 コピーする

3.1 コピー操作の流れ

コピー機能を使うと、原稿を読み取り、USB 接続しているプリンターから印刷できます。ここでは、コピー操作の流れを説明します。詳細は、各操作の説明箇所を参照してください。

Step1 準備する

コピーするには、あらかじめ本機とプリンターを USB ケーブルで接続し、プリンターを印刷できる状態にしておく必要があります。

参照
・ 本機とプリンターの接続：『ユーザーズマニュアル』「1 設置について」
・ プリンターの準備：お使いのプリンターの説明書

Step2 原稿をセットする

原稿ガラスまたは自動原稿送り装置に、原稿をセットします。

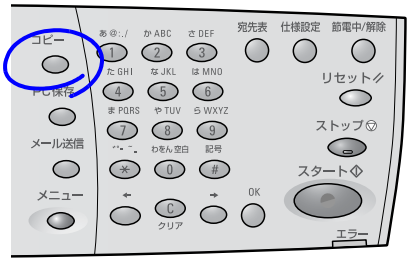
参照
・ 原稿のセット方法：「1.5 原稿をセットする」(P. 25)

Step3　コピー操作を選択する

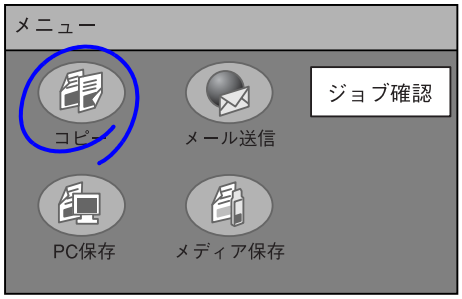
STEP 1 ▶ 2 ▶ 3 コピー操作を選択する ▶ 4 ▶ 5 ▶ 6 ▶ 7

［メニュー］画面を表示し、コピー操作を開始します。

1. 操作パネルの〈コピー〉ボタンまたは［メニュー］画面の［コピー］を押します。



補足
- 操作パネルの機能ボタンの働きは、変更することができます。変更方法については、「登録ボタン 1 ～ 3」(P. 143) を参照してください。
- 機能認証の暗証番号が設定されている場合は、［基本］画面が表示される前に、暗証番号を入力する画面が表示されます。その場合は、数字ボタンを押して、暗証番号を入力し、［確定］を押します。暗証番号の設定方法は、「機能認証」(P. 148) を参照してください。



Step4　コピー条件を設定する

STEP 1 ▶ 2 ▶ 3 ▶ 4 コピー条件を設定する ▶ 5 ▶ 6 ▶ 7

用紙、倍率などを、必要に応じて設定します。設定画面は、3 種類あります。

注記
- 設定画面に表示される項目や、項目の初期値は、接続しているプリンターの機能によって異なります。本書では、本機のコピー機能をすべて使用できるプリンターに接続している場合の画面例を記載しています。

基本

用紙、倍率、色、コピー濃度などを設定します。

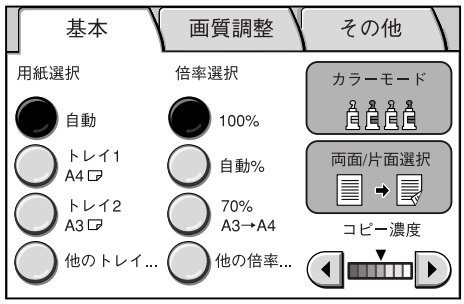
画質調整

シャープネス、原稿の画質などを設定します。

その他

原稿の読み取りサイズ、原稿の向きなどを設定します。

1. ［基本］タブ、［画質調整］タブ、または［その他］タブを押して各画面を表示し、設定します。



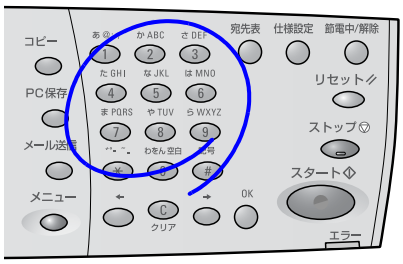
補足
・前の設定が残っている場合は、操作パネルの〈リセット〉ボタンを押すと初期値に戻ります。

Step5　部数を入力する

STEP 1 ▶ 2 ▶ 3 ▶ 4 ▶ 5 部数を入力する ▶ 6 ▶ 7

コピー部数は、999 部まで入力できます。

1. 数字ボタンでコピー部数を入力します。入力した部数はタッチパネルディスプレイの右上に表示されます。



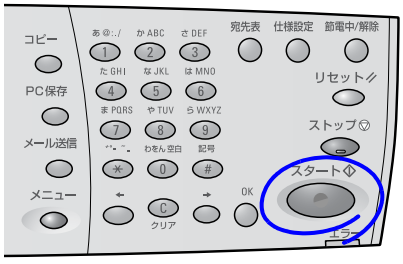
補足
・入力を間違えた場合は、〈C〉（クリア）ボタンを押して、正しい部数を入力します。

Step6　コピーを開始する

STEP 1 ▶ 2 ▶ 3 ▶ 4 ▶ 5 ▶ 6 コピーを開始する ▶ 7

1. 操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。コピーが開始され、原稿を読み取り後、接続しているプリンターから印刷されます。

注記
・自動原稿送り装置にセットした場合は、原稿搬送中に原稿を押さえないでください。



補足
・問題が発生すると、タッチパネルディスプレイにエラーメッセージが表示されます。メッセージに従って対処してください。エラーコードが表示された場合は、「8.7 エラーコード」(P. 211) を参照して対処してください。

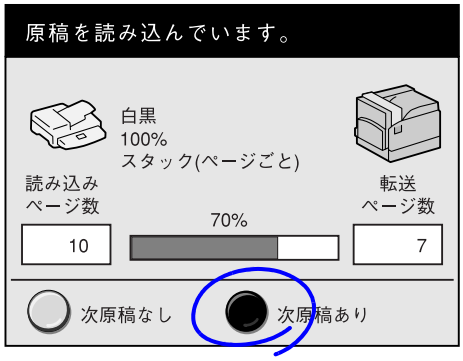
次の原稿があるとき

次の原稿があるときは、原稿の読み込み中にタッチパネルディスプレイに表示される画面の［次原稿あり］を押して、本機に次の原稿があることを認識させます。複数枚の原稿をまとめてひとつのデータとしてコピーできます。

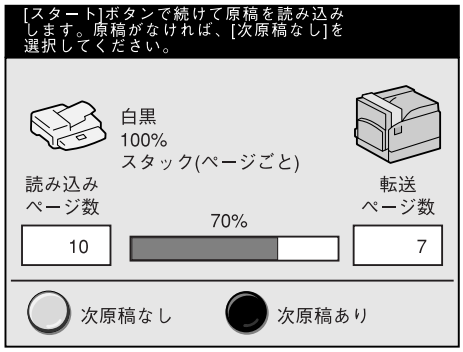
最大 500 ページまで読み込めます。

補足
・500 ページを超えた場合は、その旨を知らせるメッセージが表示され、それ以降の読み取りは、ジョブが終了するまで、できなくなります。500 ページを超えた残りの原稿は、500 ページまでのジョブの終了後、次のジョブとして、コピーし直してください。

1. 原稿を読み込み中に、［次原稿あり］を選択します。



最初にセットした原稿の読み込みが完了すると、メッセージが変わります。

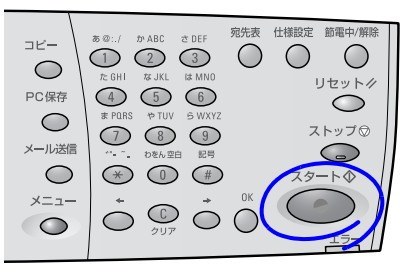


補足
・一定時間操作しないと、自動的に次の原稿がないと判断され、ジョブが継続されます。

2. 次の原稿をセットします。

参照
・原稿のセット方法：「1.5 原稿をセットする」(P. 25)

3. 操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。さらに次の原稿があるときは、原稿のセットと〈スタート〉ボタンを押す操作を繰り返します。



4. すべての原稿を読み込んだら、［次原稿なし］を選択します。

Step7　ジョブの状態を確認する

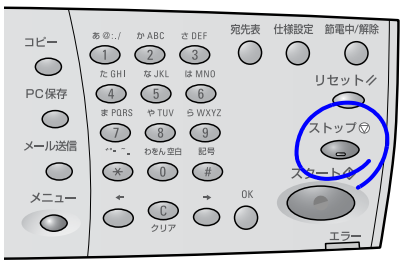
STEP 1 ▶ 2 ▶ 3 ▶ 4 ▶ 5 ▶ 6 ▶ 7 ジョブの状態を確認する

必要に応じて、正常にコピーされたかどうか確認します。
［メニュー］画面で［ジョブ確認］を押すと、［ジョブ実行完了］画面が表示されます。

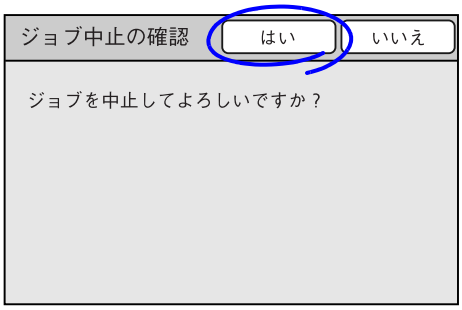
参照
・「5 ジョブを確認する」(P. 130)

3.2　コピーを中止する

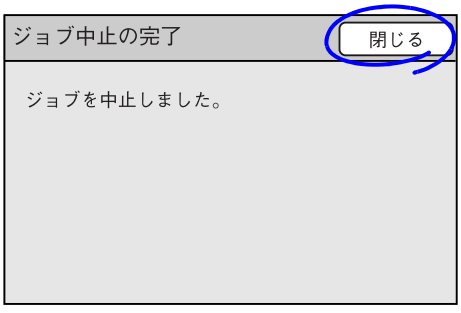
1. 操作パネルの〈ストップ〉ボタンを押します。
   中止確認のメッセージが表示されます。



2. ［はい］を押します。
   中止操作完了のメッセージが表示されます。



3. ［閉じる］を押します。



補足
・中止できるのは、プリンターへ転送される前のページです。

注記
・プリンターによっては、プリンター側で印刷を中止する操作が必要なことがあります。その場合メッセージが表示されます。ネットワークでプリンターを使用している場合は、プリンター側で印刷を中止するときに、ほかのジョブを中止しないよう注意してください。
・コピーを途中で中止した場合、プリンターが印刷可能な状態になっていることを確認してから、次のコピーを実行してください。

3.3 コピー設定項目一覧

コピー操作で設定できる項目は、以下のとおりです。

画面	項目	参照先
基本	用紙選択	「用紙選択（コピーする用紙を選択する）」(P. 88)
	倍率選択	「倍率選択（拡大縮小してコピーする）」(P. 90)
	カラーモード *1	「カラーモード（コピーする色を選択する）」(P. 92)
	両面 / 片面選択	「両面 / 片面選択（両面 / 片面にコピーする）」(P. 94)
	コピー濃度	「コピー濃度（コピー濃度を調整する）」(P. 97)
画質調整	おまかせ画質調整 *1	「おまかせ画質調整（画質イメージを選択する）」(P. 98)
	原稿の画質 *2	「原稿の画質（原稿の画質タイプを選択する）」(P. 100)
	地色除去	「地色除去（原稿の下地を除去する）」(P. 101)
	カラーバランス *1	「カラーバランス（カラーバランスを調整する）」(P. 102)
	シャープネス	「シャープネス（画像のシャープさを調整する）」(P. 104)
	彩度 *1	「彩度（画質の彩度を調整する）」(P. 105)
その他	仕分け *3	「仕分け」(P. 107)
	まとめて 1 枚 - 2アップ	「まとめて 1 枚 -2 アップ（2 ページの原稿を 1 枚にまとめてコピーする）」(P. 108)
	原稿セット向き指定	「原稿セット向き指定（セットした原稿の向きを指定する）」(P. 109)
	ミックスサイズ原稿送り *4	「ミックスサイズ原稿送り（サイズが異なる原稿を一度に読み取る）（スキャナユニット PR-MW-SC50 のみ）」(P. 111)
	わく消し	「わく消し（原稿の枠やとじしろの影を消してコピーする）」(P. 112)
	原稿サイズ入力	「原稿サイズ入力（原稿の読み取りサイズを指定してコピーする）」(P. 113)

*1 接続しているプリンターが白黒機の場合は、表示されません。

*2 接続しているプリンターが白黒機の場合は、[基本] 画面に表示されます。

*3 接続しているプリンターに仕分け機能があり、増設ハードディスクが装着されている場合に表示されます。

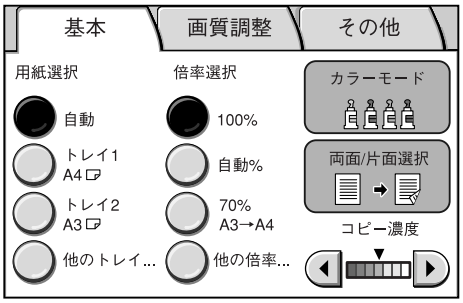
*4 スキャナユニット PR-MW-SC40 の場合は、表示されません。

3.4　基本コピー項目を設定する

コピー条件の基本的な項目を設定する操作を説明します。
「3.1 コピー操作の流れ」の「Step4　コピー条件を設定する」(P. 82) に該当します。

コピー条件の基本的な項目は、［基本］画面で設定します。

［基本］画面



補足
- ［基本］画面で前の設定が残っている場合は、操作パネルの〈リセット〉ボタンを押すと設定を初期値に戻すことができます。初期値は、［仕様設定］で変更できます。［仕様設定］については、「6 仕様設定」(P. 132) を参照してください。
- コピー画面に表示される項目や、項目の初期値は、接続しているプリンターの機能によって異なります。本書では、本機のコピー機能をすべて使用できるプリンターに接続している場合の画面例を記載しています。

用紙選択（コピーする用紙を選択する）

コピーしたい用紙がセットされているトレイを選択して、コピーできます。

自動

原稿サイズと設定した倍率を基準に、適切な用紙サイズを自動的に選択してコピーします。

補足
・［自動］を選択した場合は、［倍率選択］で［自動 %］以外を指定してください。

トレイ 1、トレイ 2

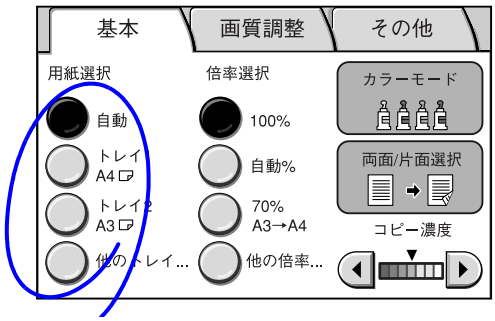
接続されているプリンターのトレイが表示され、選択できます。

補足
・仕様設定の［基本コピー画面］にある［用紙ボタン -2 段目］、［用紙ボタン -3 段目］で設定されているトレイが表示されます。ここでは、工場出荷時の初期値「トレイ 1」、「トレイ 2」が設定されている画面を例にしています。［基本コピー画面］の設定については、「基本コピー画面」(P. 161) を参照してください。

他のトレイ...

［用紙選択］画面が表示され、ほかのトレイを選択できます。
［用紙選択］画面で［手差し］を選択すると、［手差し］画面が表示され、手差しトレイの用紙を選択できます。

1. ［基本］画面の［用紙選択］で、トレイを選択します。
   表示されていないトレイを選択する場合は［他のトレイ...］を選択し、［用紙選択］画面で設定します。



［用紙選択］画面

［基本］画面で［他のトレイ...］を選択すると、［用紙選択］画面が表示されます。
そのほかの用紙（トレイ）を選択できます。
一覧には、接続しているプリンターのトレイが表示されます。
手差しを選択した場合は、［手差し］画面が表示されます。

注記
・プリンター側で、トレイに非定形サイズを設定している場合、およびスキャナーがサポートしていない定形サイズがセットされている場合は、トレイを選択できません。
・プリンター側で、スキャナーがサポートしていない紙質を設定している場合は、紙質は表示されません。

1. ［他の形式］を選択した場合は、［用紙選択］画面で用紙を選択して、［閉じる］を押します。

[手差し] 画面

[用紙選択] 画面で [手差し] を選択すると、[手差し] 画面が表示されます。
手差しトレイの用紙を選択できます。

注記
・[手差し] を選択して非定形サイズの用紙にコピーする場合、プリンターによっては設定が必要になることがあります。詳しくは、プリンターの取扱説明書を参照してください。

補足
・この画面の用紙情報は、接続しているプリンターにセットされている用紙情報ではありません。

定形サイズ

[定形サイズ] 画面が表示され、用紙サイズを選択できます。

非定形サイズ

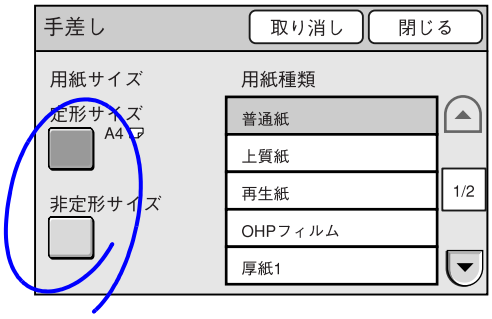
[非定形サイズ] 画面が表示されます。
サイズ（X（横）方向、Y（縦）方向）を 1 ㎜刻みで設定します。

補足
・指定できる範囲は、接続しているプリンターによって異なります。プリンターの取扱説明書を参照してください。

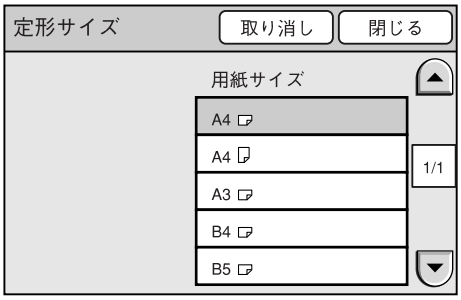
用紙種類

一覧から用紙の種類を選択します。

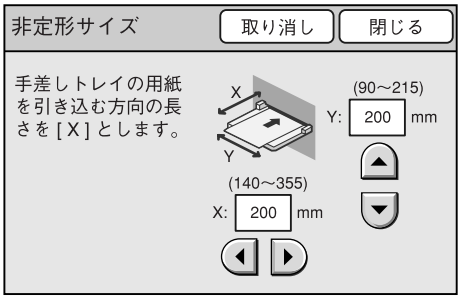
1. [用紙選択] 画面で、[手差し] を選択した場合は、[定形サイズ] または [非定形サイズ] を押します。



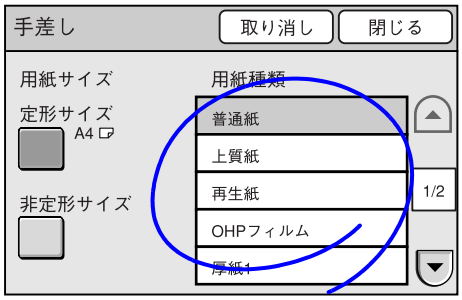
2. [定形サイズ] を押した場合は、[定形サイズ] 画面で、用紙サイズを選択します。



［非定形サイズ］を押した場合は、［非定形サイズ］画面で、［▲］/［▼］/［◀］/［▶］で、サイズを入力します。

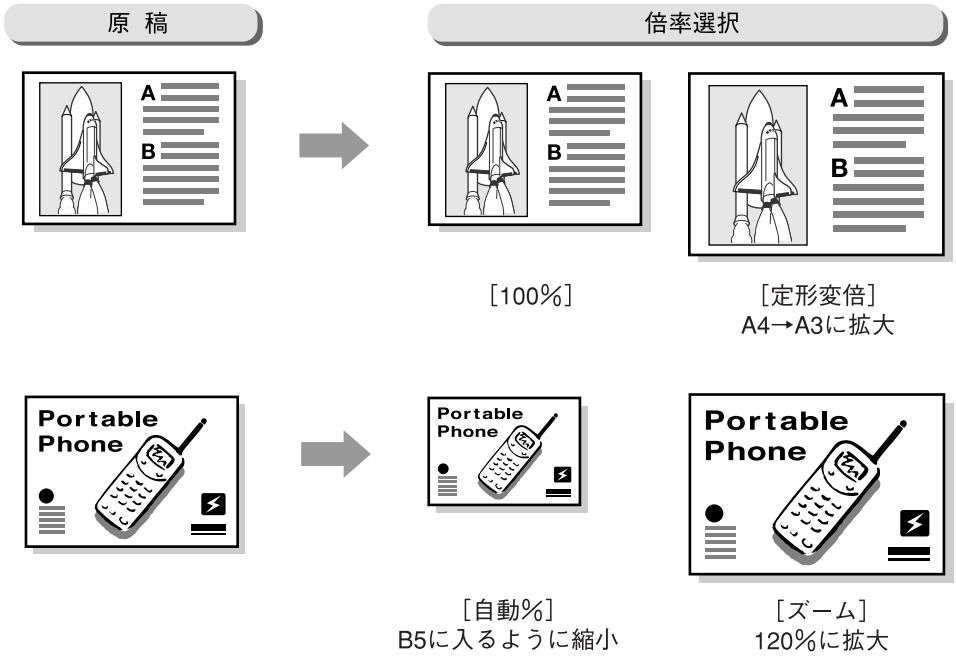


3. ［閉じる］を押します。
4. ［用紙種類］で、用紙の種類を選択します。
5. ［基本］画面に戻るまで、［閉じる］を押します。



倍率選択（拡大縮小してコピーする）

倍率を選択して、拡大や縮小コピーができます。



100%

原稿と同じ大きさでコピーします（等倍コピー）。

自動%

原稿サイズと用紙サイズから倍率を自動的に計算し、選択した用紙に原稿がおさまるようにコピーします。たてよこの比率は、元の原稿の比率が維持されます。

補足
・［自動%］を選択した場合は、［用紙選択］で［自動］以外を指定してください。

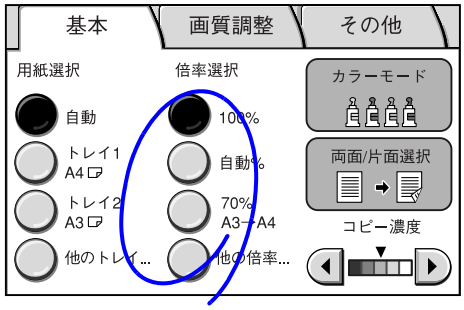
倍率

あらかじめ設定されている倍率から選択します。

他の倍率...

［倍率選択］画面が表示され、ほかの倍率が選択できます。

1. ［基本］画面の［倍率選択］で、倍率を選択します。
   表示されていない倍率を選択する場合は［他の倍率...］を選択し、［倍率選択］画面で設定します。



［倍率選択］画面

［基本］画面で［他の倍率...］を選択すると、［倍率選択］画面が表示されます。

定形倍率

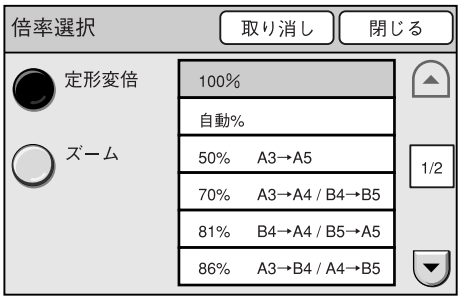
あらかじめ設定されている、定形の倍率から選択できます。

ズーム

任意の倍率を入力してコピーできます。倍率は、50 ～ 200% の範囲で 1% 単位で指定できます。たてよこの比率は、元の原稿の比率が維持されます。

1. ［倍率選択］画面で、［定形倍率］を選択すると、右側に一覧が表示されるので、倍率を選択して、［閉じる］を押します。

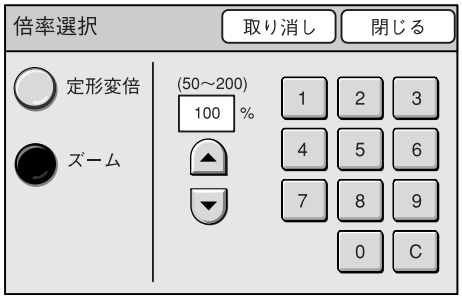
補足
・［定形変倍］で設定した場合、出力サイズが定形サイズと正確に一致しないことがあります。表示されている用紙サイズは、縮小 / 拡大の参考として利用してください。



2. ［倍率選択］画面で、［ズーム］を選択し、［▲］/［▼］またはタッチパネルディスプレイの数字ボタンを押して、倍率を 1%単位で設定します。

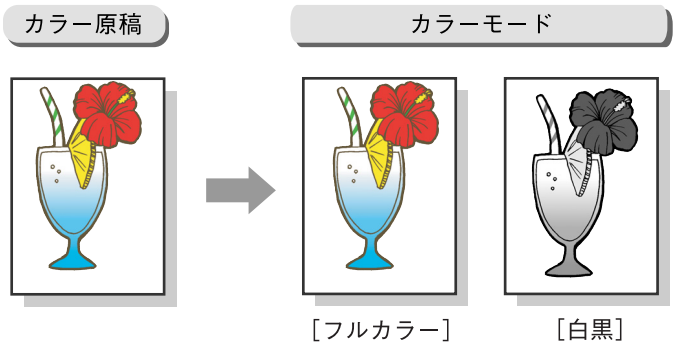
補足
・ 入力を間違えた場合は、［C］を押します。

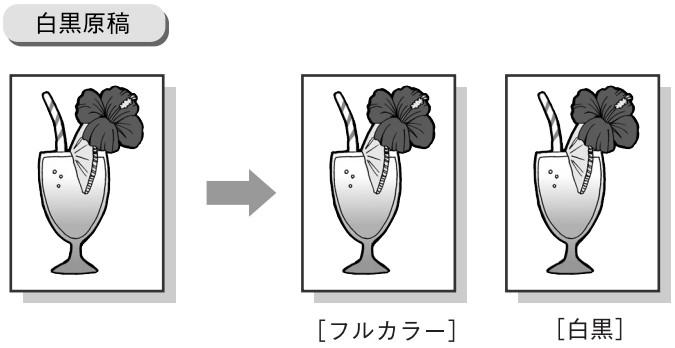
3. ［閉じる］を押します。



カラーモード（コピーする色を選択する）

原稿をコピーするときの色を設定できます。





［カラーモード］を選択すると、［カラーモード］画面が表示され、設定ができます。

注記
・ 接続しているプリンターが白黒機の場合は、この機能は表示されません。

[カラーモード] 画面

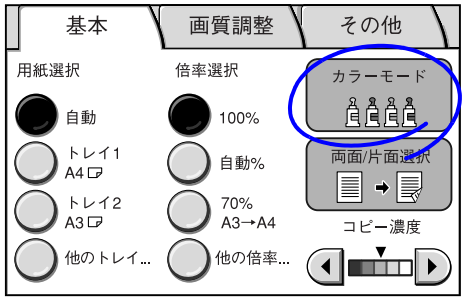
白黒

白黒でコピーします。

フルカラー

カラー原稿をコピーするときに選択します。

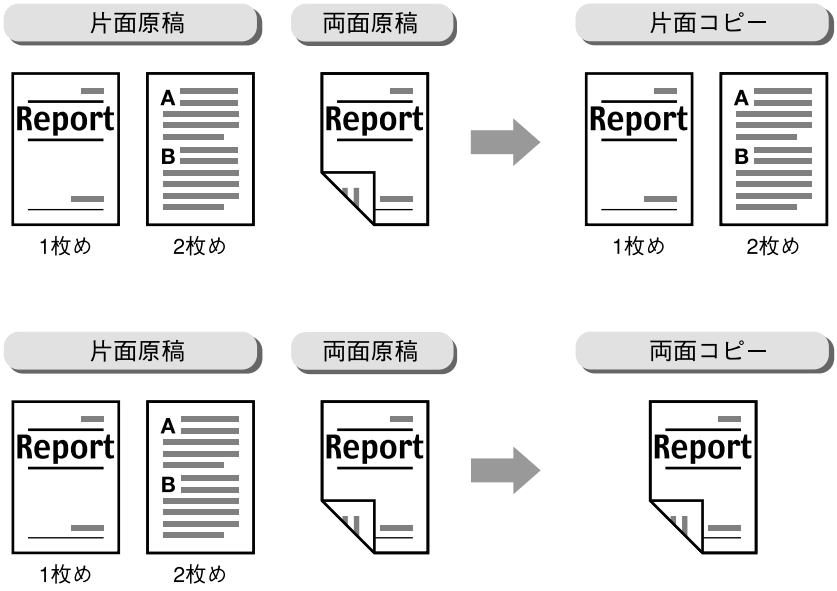
1. [基本]画面で、[カラーモード]を押します。



2. [カラーモード] 画面で、色を選択します。
3. [閉じる] を押します。

両面 / 片面選択（両面 / 片面にコピーする）

片面 / 両面原稿を両面にコピーしたり、片面 / 両面原稿を片面にコピーできます。



［両面 / 片面選択］を選択すると、［両面 / 片面選択］画面が表示され、設定ができます。

注記
・ 接続しているプリンターに両面印刷機能がない場合は、両面にコピーすることはできません。
・ 大きなサイズの両面原稿を上下開きで拡大コピーしたとき、一部画像が欠ける場合があります。
・ A3 サイズの原稿を、両面にコピーする（[片面→両面］または［両面］→［両面］を設定する）場合、プリンターによってはメモリー増設が必要になる機種があります。詳しくは、プリンターの取扱説明書を参照してください。

［両面 / 片面選択］画面

片面→片面

片面原稿を用紙の片面にコピーします。

片面→両面

片面原稿を用紙の両面にコピーします。

注記
・ プリンターに両面印刷機能がない場合は、この機能は表示されません。

両面→両面

両面原稿を用紙の両面にコピーします。

注記
・ プリンターに両面印刷機能がない場合は、この機能は表示されません。

両面→片面

両面原稿を用紙の片面にコピーします。

■できあがり状態

補足
・［片面→両面］を選択した場合に表示されます。

・ 左右開き
コピー結果のおもてとうらで、イメージの上下を同じにしたいときに選択します。

・ 上下開き
コピー結果のおもてとうらで、イメージの上下を逆転させたいときに選択します。

■原稿の状態 / できあがり状態

補足
・［両面→両面］を選択した場合に表示されます。

・ 左右開き
原稿とコピー結果のおもてとうらで、イメージの上下が同じときに選択します。

・ 上下開き
原稿とコピー結果のおもてとうらで、イメージの上下が逆転しているときに選択します。

■原稿の状態

補足
・［両面→片面］を選択した場合に表示されます。

・ 左右開き
原稿のおもてとうらで、イメージの上下が同じときに選択します。

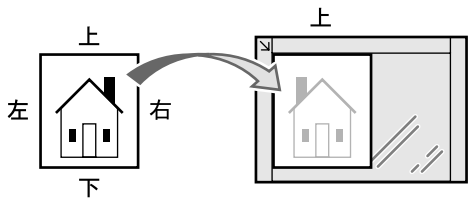
・ 上下開き
原稿のおもてとうらで、イメージの上下が逆転しているときに選択します。

■原稿セット向き指定

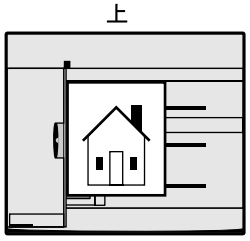
補足
・［片面→片面］を選択した場合は、この機能は表示されません。

原稿の上部を指示するために、原稿のセット向きを設定する必要があります。

・ 読める向き
原稿の上部を、原稿ガラス、または自動原稿送り装置に向かって奥側にセットする場合に選択します。



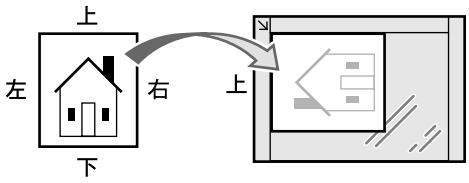
原稿ガラスにセットする



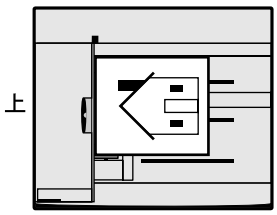
自動原稿送り装置にセットする

・ 左向き

原稿の上部を、原稿ガラス、または自動原稿送り装置に向かって左側にセットする場合に選択します。原稿を左向き（文字が横向き）にセットする場合は、必ず［左向き］を選択してください。



原稿ガラスにセットする

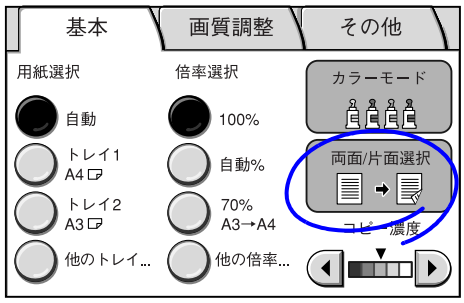


自動原稿送り装置にセットする

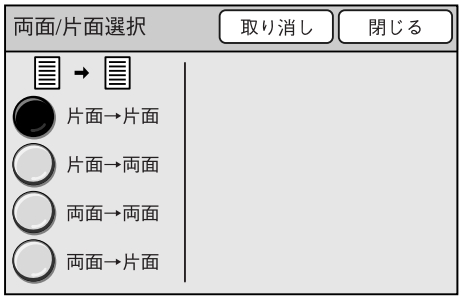
注記

・ 実際の原稿のセット向きと［原稿セット向き指定］の設定が合っていないと、原稿の上部を機械が間違って認識してしまいます。

1. ［基本］画面で、［両面 / 片面選択］を押します。

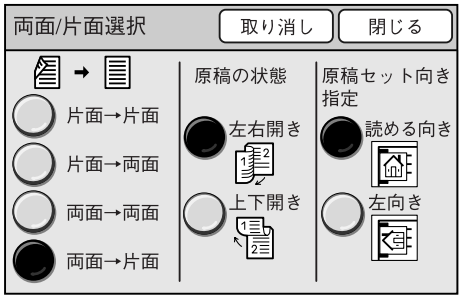


2. ［両面 / 片面選択］画面で、両面 / 片面の設定を選択します。



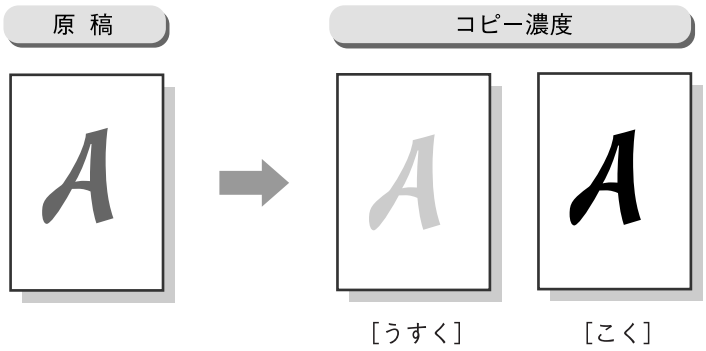
3. ［片面→片面］以外を選択した場合は、画面右側に表示された項目を設定します。

4. ［閉じる］を押します。

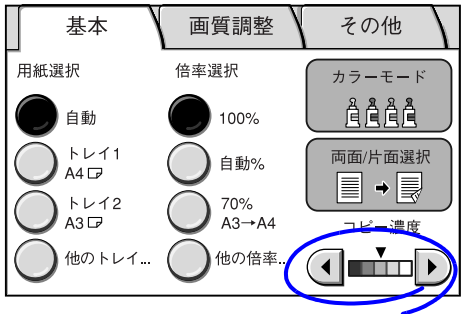


コピー濃度（コピー濃度を調整する）

コピーの濃度を、7 段階で調整できます。▼が、左方向に近づくほど色を濃くコピーし、右方向に近づくほど色を薄くコピーします。



1. ［◀］または［▶］を押して、濃度を設定します。

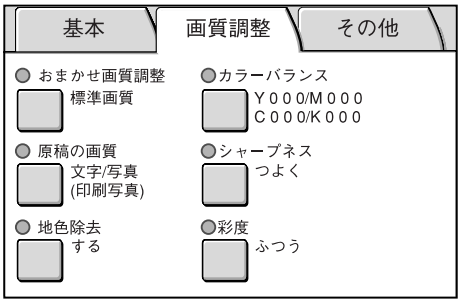


3.5 画質調整のコピー項目を設定する

画質調整のコピー条件を設定する操作を説明します。
「3.1 コピー操作の流れ」の「Step4　コピー条件を設定する」(P. 82) に該当します。

画質調整のコピー条件は、[画質調整] 画面で設定します。

[画質調整] 画面



補足
・[画質調整] 画面で前の設定が残っている場合は、操作パネルの〈リセット〉ボタンを押すと設定を初期値に戻すことができます。初期値は、[仕様設定] で変更できます。[仕様設定] については、「6 仕様設定」(P. 132) を参照してください。

おまかせ画質調整（画質イメージを選択する）

おまかせ画質調整の画質イメージを選択すると、[カラーバランス] が自動的に調整され、イメージに合った画質でコピーできます。

注記
・接続しているプリンターが白黒機の場合は、この機能は表示されません。
・[カラーモード] で [フルカラー] が選択されていない場合は、この機能は使用できません。

補足
・おまかせ画質調整の設定後に、[カラーバランス] 画面で設定を変更すると、おまかせ画質調整の設定は無効になります。

[おまかせ画質調整] を選択すると、[おまかせ画質調整] 画面が表示され、設定ができます。

[おまかせ画質調整] 画面

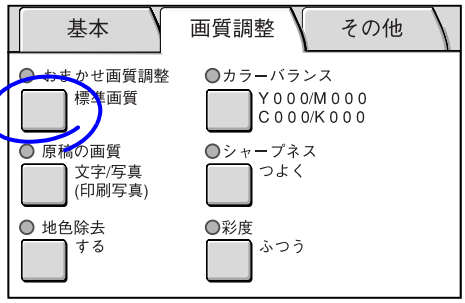
標準画質

「カラーバランス」の画質調整の設定を初期値の状態でコピーします。

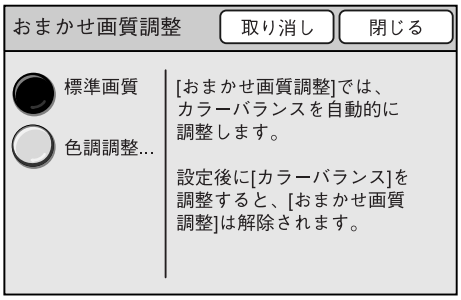
色調調整

[色調調整] 画面が表示され、赤 / 青 / 緑の色調の強調、低減を設定できます。

1. ［画質調整］画面で、［おまかせ画質調整］を押します。



2. ［おまかせ画質調整］画面で、［標準画質］または［色調調整］を選択します。



［色調調整］画面

［おまかせ画質調整］画面で、［色調調整］を選択すると、［色調調整］画面が表示されます。色の強調、低減を設定できます。

赤み強調 / 赤み低減

赤みを強調または低減します。

青み強調 / 青み低減

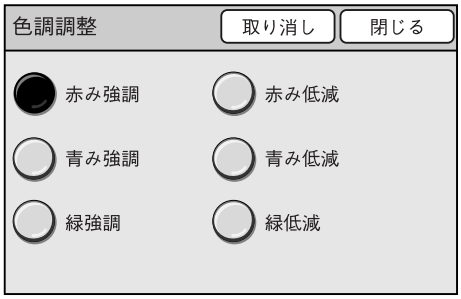
青みを強調または低減します。

緑強調 / 緑低減

緑を強調または低減します。

1. ［色調調整］画面で、色みの強調 / 低減を選択し、［閉じる］を押します。

2. ［おまかせ画質調整］画面で、［閉じる］を押します。



原稿の画質（原稿の画質タイプを選択する）

原稿の画質を選択します。
［原稿の画質］を選択すると、［原稿の画質］画面が表示され、設定ができます。

補足
・ 接続しているプリンターが白黒機の場合は、この機能は［基本］画面に表示されます。

［原稿の画質］画面

文字

文字をはっきりコピーしたいときに選択します。

文字 / 写真

文字と写真が混在した原稿をコピーするときに選択します。文字領域と写真領域を自動的に判断し、領域ごとに最適な画質でコピーします。
［文字 / 写真］を選択すると、右側に［写真の種類］が表示されます。

写真

写真をコピーするときに選択します。
［写真］を選択すると、右側に［写真の種類］が表示されます。

地図

地図をコピーするときに選択します。

［写真の種類］

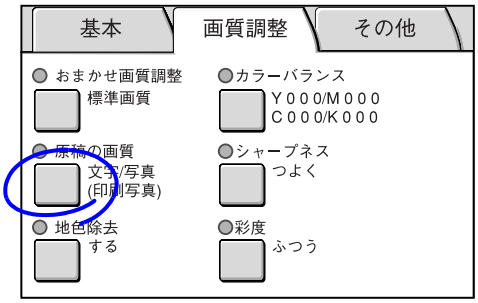
印刷写真

プリンターで印刷した写真や、書籍 / パンフレットの印刷部分をスキャンする場合に選択します。

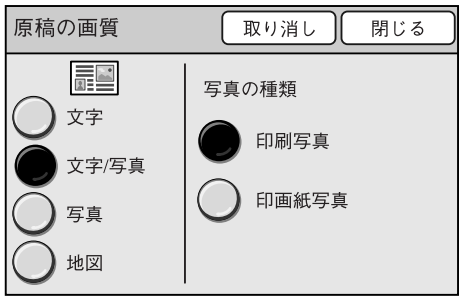
印画紙写真

印画紙の写真をコピーする場合に選択します。

1. ［画質調整］画面で、［原稿の画質］を押します。



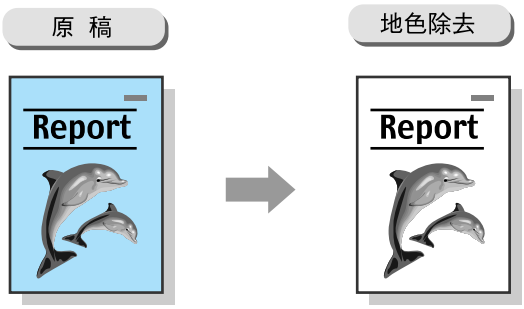
2. ［原稿の画質］画面で、原稿の画質を選択します。
3. ［閉じる］を押します。



地色除去（原稿の下地を除去する）

カラーモードの［白黒］でコピーした場合は、新聞や地色原稿などの原稿の下地（背景）を除いてコピーできます。

カラーモードの［フルカラー］でスキャンした場合、背景が白い原稿でも、原稿の古さや紙質などの状態によって、かすかに色が付くことがあります。その場合、［地色除去］で、背景を白くスキャンできます。



補足
・［原稿の画質］の設定が［写真］の場合、［地色除去］機能は働きません。
・カラーモードの設定が［フルカラー］の場合は、下地の除去量を抑えています。

［地色除去］を選択すると、［地色除去］画面が表示され、設定ができます。

［地色除去］画面

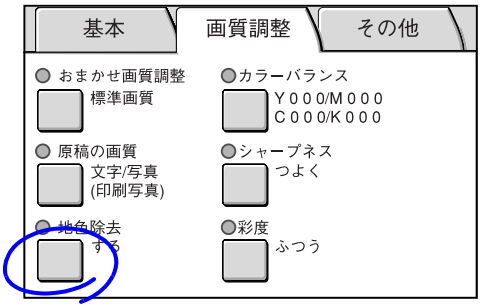
しない

原稿の下地をそのままコピーします。

する

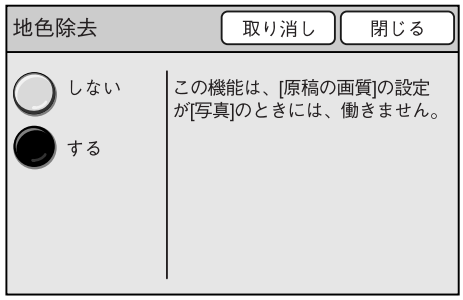
原稿の下地を除いてコピーします。

1. ［画質調整］画面で、［地色除去］を押します。



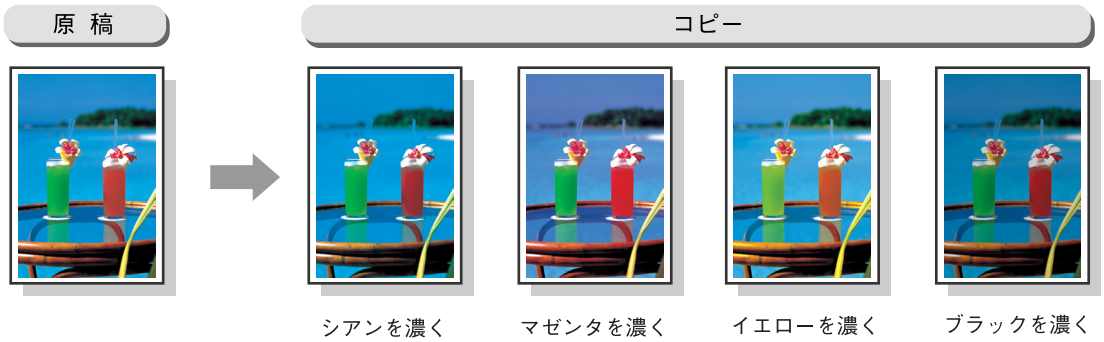
2. ［地色除去］画面で、［しない］または［する］を選択します。

3. ［閉じる］を押します。



カラーバランス（カラーバランスを調整する）

イエロー、マゼンタ、シアン、ブラックの 4 色を、低濃度 / 中濃度 / 高濃度ごとに 7 段階で強弱を調整できます。



注記
・ 接続しているプリンターが白黒機の場合は、この機能は表示されません。
・［カラーモード] が［白黒］の場合は、ブラックの変更のみが反映されます。

補足
・ おまかせ画質調整の設定後に、［カラーバランス］画面で設定を変更すると、おまかせ画質調整の設定は無効になります。

［カラーバランス］を選択すると、［カラーバランス］画面が表示されます。色を選択すると、各色の設定ができます。

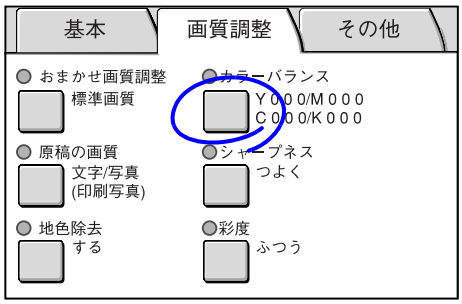
[カラーバランス] 画面

イエロー / マゼンタ / シアン / ブラック

調整したい色を選択します。

選択すると、その色の［カラーバランス］画面が表示されます。

1. ［画質調整］画面で、［カラーバランス］を押します。



2. ［カラーバランス] 画面で、調整する色のボタンを選択します。

3. ［カラーバランス (Y/M/C/K)] 画面で設定を行い、［閉じる］を押します。

[カラーバランス (Y/M/C/K)] 画面

［カラーバランス］画面で色のボタンを選択すると、その色の設定ができる［カラーバランス］画面が表示されます。

低濃度 / 中濃度 / 高濃度ごとに 7 段階で強弱を設定できます。

低濃度

低濃度の強弱を 7 段階で調整します。

中濃度

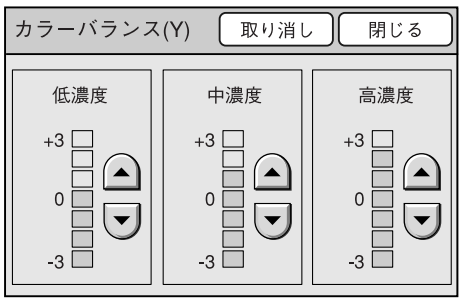
中濃度の強弱を 7 段階で調整します。

高濃度

高濃度の強弱を 7 段階で調整します。

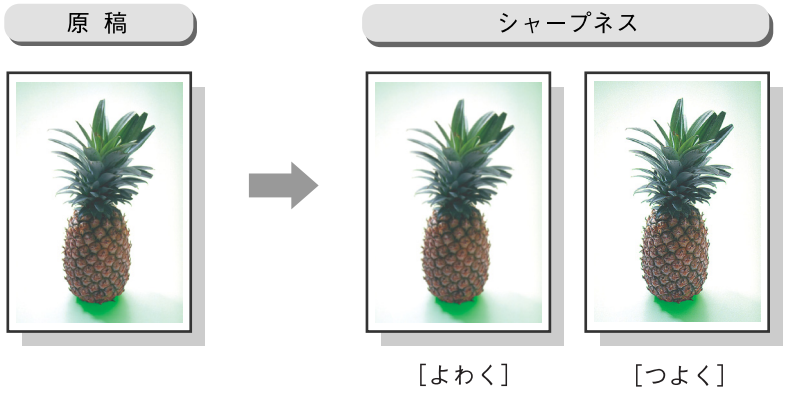
1. 選択した色の［カラーバランス］画面で、色のバランスを、濃度ごとに［▲］または［▼］を押して調整します。

2. ［閉じる］を押します。



シャープネス（画像のシャープさを調整する）

シャープネスを調整できます。



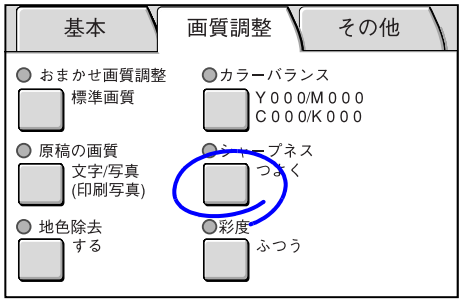
［シャープネス］を選択すると、［シャープネス］画面が表示され、設定ができます。

［シャープネス］画面

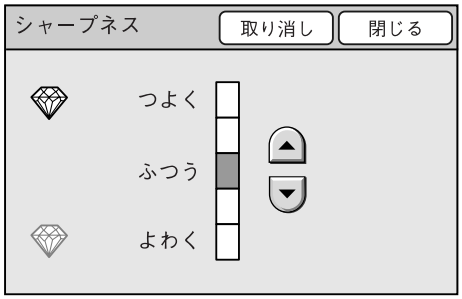
つよく～よわく

［つよく］～［よわく］の間で、5 段階のシャープネスを選択できます。
［つよく］に近づくほど画像の輪郭が強調されます。［よわく］に近づくほど画像の輪郭をぼかしたようになります。

1. ［画質調整］画面で、［シャープネス］を押します。

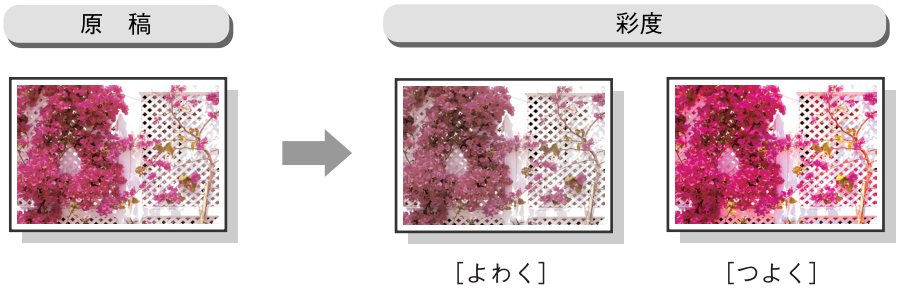


2. ［シャープネス］画面で、［▲］または［▼］を押してシャープネスを設定します。
3. ［閉じる］を押します。



彩度（画質の彩度を調整する）

彩度を調整できます。



注記
・接続しているプリンターが白黒機の場合は、この機能は表示されません。
・［カラーモード］で［フルカラー］が選択されていない場合は、この機能は使用できません。

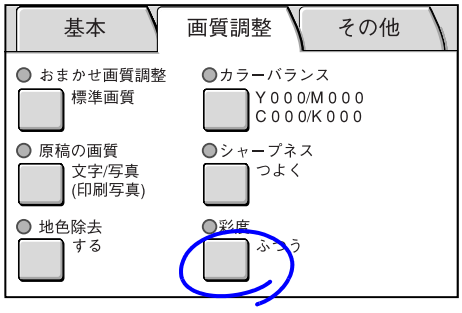
［彩度］を選択すると、［彩度］画面が表示され、設定ができます。

［彩度］画面

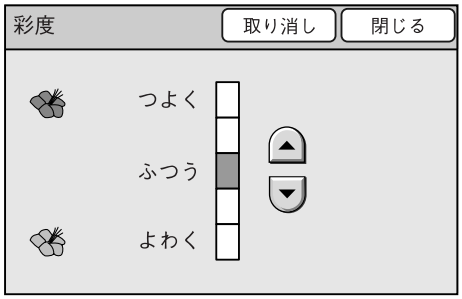
つよく～よわく

［つよく］～［よわく］の間で、5 段階の彩度を選択できます。
［つよく］に近づくほどカラー原稿の色の鮮やかさの度合いが強くなり、［よわく］に近づくほどカラー原稿の色の鮮やかさの度合いが弱くなります。

1. ［画質調整］画面で、［彩度］を押します。



2. ［彩度］画面で、［▲］または［▼］を押して彩度を設定します。
3. ［閉じる］を押します。

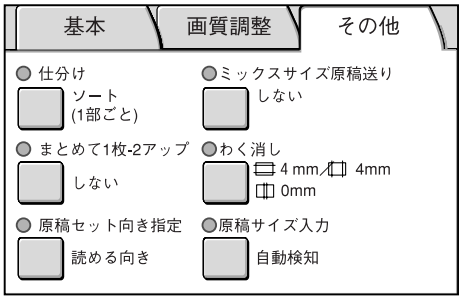


3.6　その他のコピー項目を設定する

その他のコピー条件を設定する操作を説明します。
「3.1 コピー操作の流れ」の「Step4　コピー条件を設定する」(P. 82) に該当します。

その他のコピー条件は、［その他］画面で設定します。

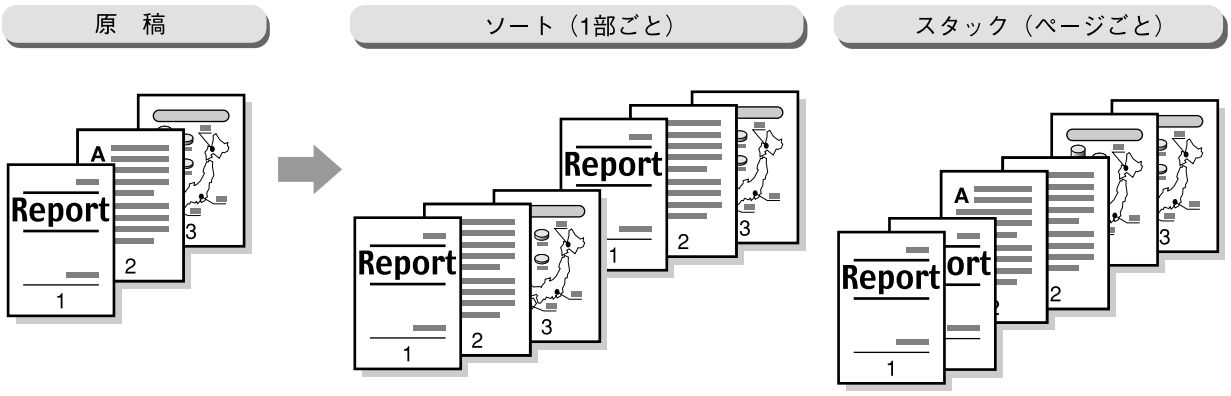
［その他］画面



補足
- 上記の画面は、スキャナユニット PR-MW-SC50 のコピーの［その他］画面を例にしています。スキャナユニット PR-MW-SC40 の場合は、［ミックスサイズ原稿送り］機能はありません。
- ［その他］画面で前の設定が残っている場合は、操作パネルの〈リセット〉ボタンを押すと設定を初期値に戻すことができます。初期値は、［仕様設定］で変更できます。［仕様設定］については、「6 仕様設定」(P. 132) を参照してください。

仕分け

コピーの排出方法を設定できます。



注記
・ 接続しているプリンターが以下の場合、この機能は表示されません。
　・仕分け機能がない
　・増設ハードディスクが未装着

［仕分け］を選択すると、［仕分け］画面が表示され、設定ができます。

［仕分け］画面

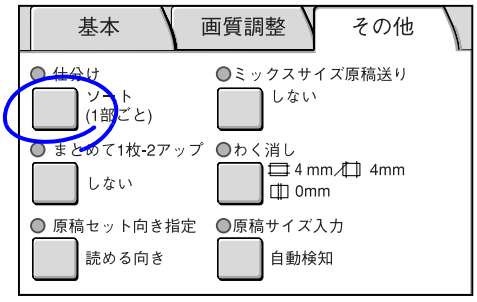
ソート（1 部ごと）

コピーした用紙を 1 部ごとにまとめて、ページ順に並べて排出できます。

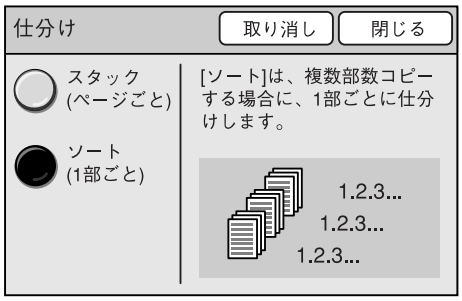
スタック（ページごと）

コピーした用紙をページごとにまとめて、指定した部数を排出できます。

1. ［その他］画面で、［仕分け］を押します。



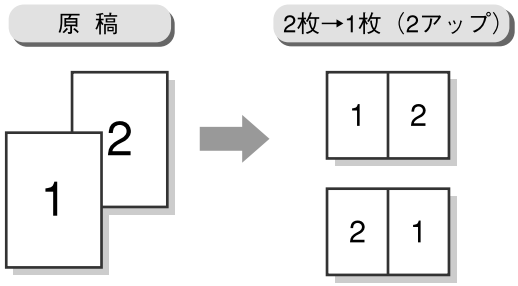
2. ［仕分け］画面で、コピーの排出方法を選択します。
3. ［閉じる］を押します。



まとめて 1 枚 -2 アップ（2 ページの原稿を 1 枚にまとめてコピーする）

2 枚の原稿を 1 枚にまとめてコピーできます。

[まとめて 1 枚 -2 アップ] を選択すると、自動的に［倍率選択］の［自動 %］が選択されます。機械が自動的に倍率を設定して、画像を選択した用紙に収まるようにコピーします。



注記
・セットした原稿の向きと、［原稿セット向き指定］の設定が同じになっているか、確認してください。

補足
・［倍率選択］で［自動 %］を解除した場合（倍率を選択し直した場合）、原稿の画像サイズによっては、像欠けが発生することがあります。
・わく消しを設定した場合、まとめる原稿に対してそれぞれ、わく消しが実行されます。
・［基本］画面の［用紙選択］で設定する用紙トレイは、［自動］以外の設定にしてください。

[まとめて 1 枚 -2 アップ] を選択すると、[まとめて 1 枚 -2 アップ] 画面が表示され、設定ができます。

[まとめて 1 枚 -2 アップ] 画面

しない

まとめて 1 枚 -2 アップをしません。

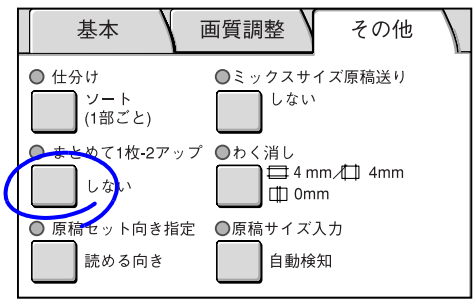
2 枚→ 1 枚（2 アップ）

2 枚の原稿を 1 枚にまとめてコピーします。

[レイアウト順序]

[2 枚→ 1 枚] を選択した場合に、ページのレイアウト順序を選択します。

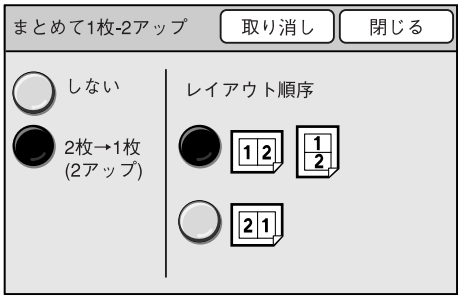
1. ［その他］画面で、[まとめて 1 枚 -2 アップ] を押します。



2. ［まとめて 1 枚 -2 アップ］画面で、［しない］または［2 枚 -1 枚］を選択します。

3. ［2 枚→ 1 枚］を選択した場合は、ページのレイアウト順序を選択します。

4. ［閉じる］を押します。



原稿セット向き指定（セットした原稿の向きを指定する）

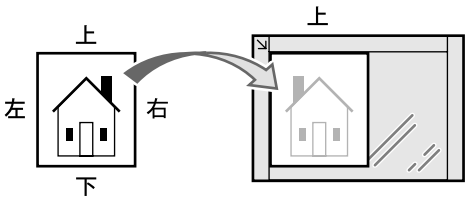
原稿の上部を指示するために、原稿のセット向きを設定する必要があります。

［原稿セット向き指定］を選択すると、［原稿セット向き指定］画面が表示され、設定ができます。

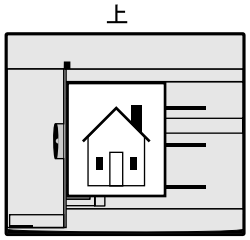
［原稿セット向き指定］画面

読める向き

原稿の上部を、原稿ガラス、または自動原稿送り装置に向かって奥側にセットする場合に選択します。



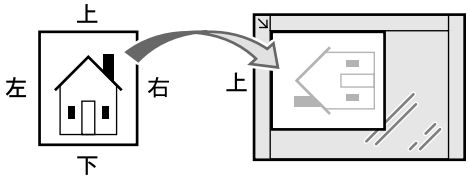
原稿ガラスにセットする



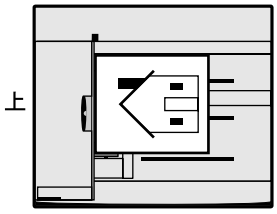
自動原稿送り装置にセットする

左向き

原稿の上部を、原稿ガラス、または自動原稿送り装置に向かって左側にセットする場合に選択します。原稿を左向き（文字が横向き）にセットする場合は、必ず［左向き］を選択してください。



原稿ガラスにセットする

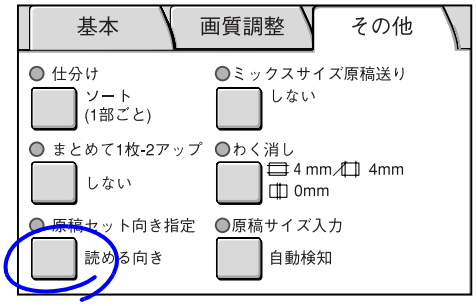


自動原稿送り装置にセットする

注記

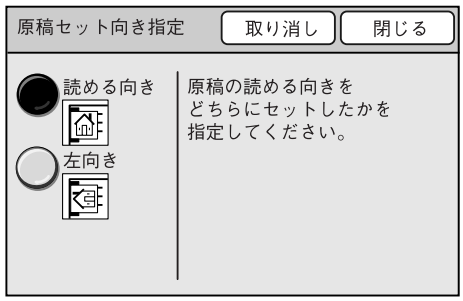
・ 実際の原稿のセット向きと［原稿セット向き指定］の設定が合っていないと、原稿の上部を機械が間違って認識してしまいます。

1. ［その他］画面で、［原稿セット向き指定］を押します。



2. ［原稿セット向き指定］画面で、原稿のセット向きを選択します。

3. ［閉じる］を押します。



ミックスサイズ原稿送り（サイズが異なる原稿を一度に読み取る）（スキャナユニット PR-MW-SC50 のみ）

自動原稿送り装置を使用すると、サイズの異なる原稿を一度に読み取り、それぞれの原稿サイズに合ったサイズの用紙にコピーできます。また、コピーするサイズを指定して、サイズをそろえたコピーもできます。

サイズをそろえてコピーするには、［ミックスサイズ原稿送り］を［する］に設定するほか、次の設定が必要です。

・［読み取り倍率］で［自動 %］を設定し、出力サイズを選択する。

注記

・A5 サイズの原稿は、必ずよこ置きにセットしてください。

補足

・原稿サイズを自動検知できない場合は、原稿サイズを入力する画面が表示されます。

［ミックスサイズ原稿送り］を選択すると、［ミックスサイズ原稿送り］画面が表示され、設定ができます。

［ミックスサイズ原稿送り］画面

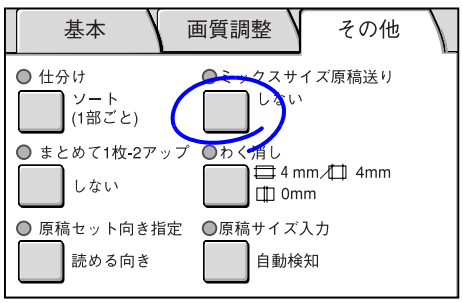
しない

原稿サイズがすべて同じ場合に選択します。

する

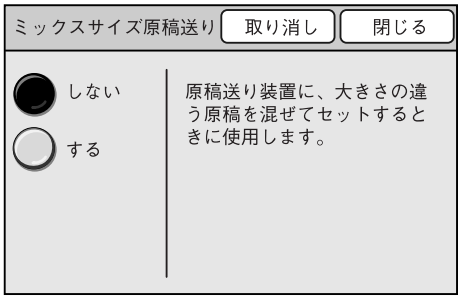
異なるサイズの原稿をコピーする場合に、機械が自動的にそれぞれの原稿サイズを認識します。

1. ［その他］画面で、［ミックスサイズ原稿送り］を押します。



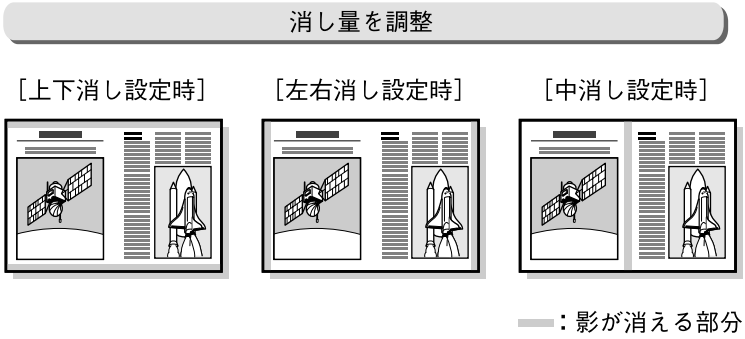
2. ［ミックスサイズ原稿送り］画面で、［しない］または［する］を選択します。

3. ［閉じる］を押します。



わく消し（原稿の枠やとじしろの影を消してコピーする）

原稿カバーを開いたままコピーしたり、冊子になっている原稿をコピーするときに、用紙のまわりや中央のとじ部分に黒い影ができることがあります。このような場合に、影を消してコピーできます。



注記
・ セットした原稿の向きと、［その他］画面の［原稿セット向き指定］の設定が同じになっているか、確認してください。

補足
・ 両面コピーの場合は、おもて面とうら面には同じわく消し量が設定されます。
・ 倍率選択を設定している場合は、倍率に比例して、わく消し量も拡大 / 縮小されます。

参照
・ 実際に印刷できる領域：お使いのプリンターの取扱説明書

［わく消し］を選択すると、［わく消し］画面が表示され、設定ができます。

［わく消し］画面

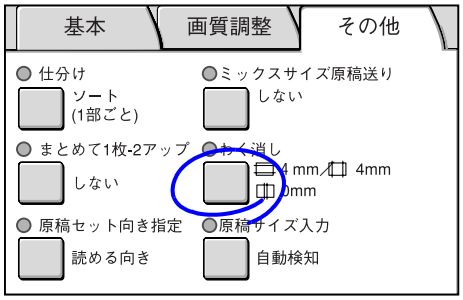
標準

上下 / 左右に 4mm のわく消し量が設定されています。わく消しをしたくない場合は、［消し量調整］で［0mm］に設定します。

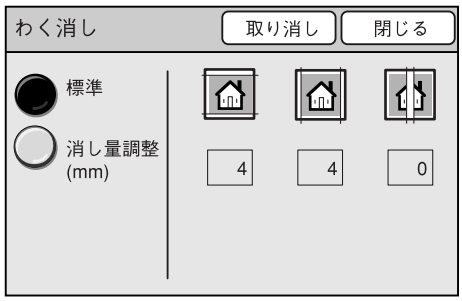
消し量調整

［消し量調整］を選択すると、右側が調整量を指定する画面に変わります。
原稿の上下、左右、中央の影に対して、必要な量だけ消し量を調整できます。
わく消しの幅は、［▲］/［▼］で、0 ～ 50mm の範囲で 1mm 刻みに設定します。

1. ［その他］画面で、［わく消し］を押します。



2. ［わく消し］画面で、［標準］または［消し量調整］を選択します。
3. ［消し量調整］を選択した場合は、［▲］/［▼］を押して調整量を設定します。
4. ［閉じる］を押します。

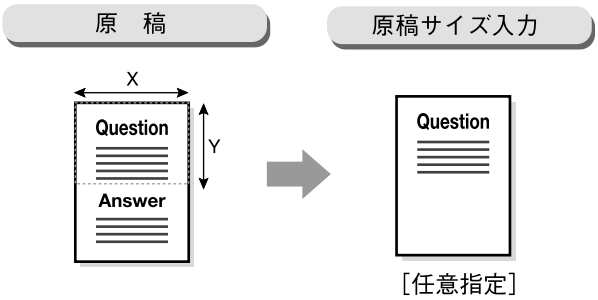


原稿サイズ入力（原稿の読み取りサイズを指定してコピーする）

原稿の読み取りサイズを設定できます。

非定形サイズの原稿を読み取る場合や、セットしている原稿とは異なるサイズでコピーしたい場合は、原稿サイズを指定します。

原稿サイズを指定すると、実際にセットされている原稿のサイズに関係なく、設定したサイズで読み取ります。余白を付けたり、余分な部分を削除したりしてコピーできます。



［任意指定］

［原稿サイズ入力］を選択すると、［原稿サイズ入力］画面が表示され、設定ができます。

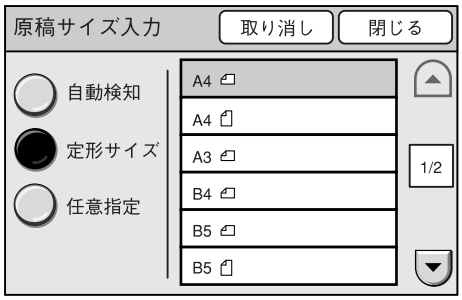
[原稿サイズ入力] 画面

自動検知

原稿サイズを自動で認識します。

補足
・ 原稿サイズを自動検知できない場合は、原稿サイズを入力する画面が表示されます。

定形サイズ

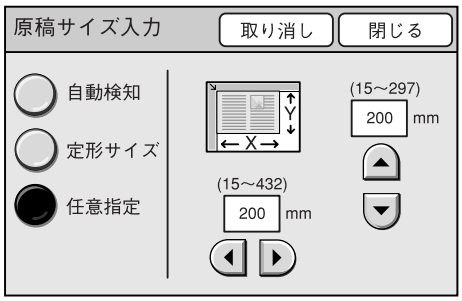


あらかじめ設定されているサイズから選択します。
表示される原稿サイズは変更できます。

補足
・ 表示される原稿サイズのボタンは、スキャナユニット PR-MW-SC50 の場合は 12 個、スキャナユニット PR-MW-SC40 の場合は、6 個です。ここではスキャナユニット PR-MW-SC50 の場合を例に説明しています。

参照
・ 表示される原稿サイズの変更方法：「原稿サイズボタン」(P. 145)

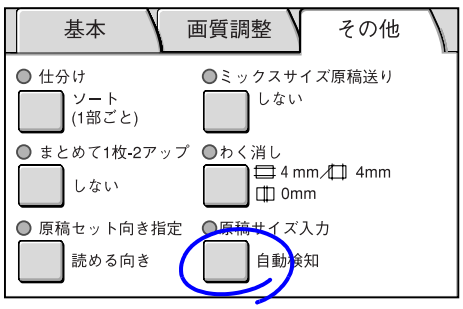
任意指定



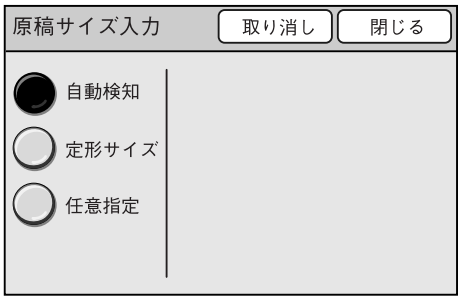
非定形サイズの原稿を読み取る場合や、セットしている原稿とは異なるサイズでコピーするときは、読み取りたいサイズを入力します。
サイズは、[▲] / [▼] / [◀] / [▶] で、1 ㎜刻みに設定します。
原稿ガラスのまわりにある目盛を参考にすると便利です。

参照
・ 指定できる原稿のサイズ：「使用できる原稿」(P. 25) の「読み取り可能エリア」

1. [その他] 画面で、[原稿サイズ入力] を押します。



2. ［原稿サイズ入力］画面で選択して、［閉じる］を押します。
非定形サイズを指定する場合は、X 方向、Y 方向の値を指定します。



4　宛先表 / 登録リストを使用する

4.1　宛先表 / 登録リストの概要

ここでは、宛先表と登録リストの概要について説明します。

宛先表とは

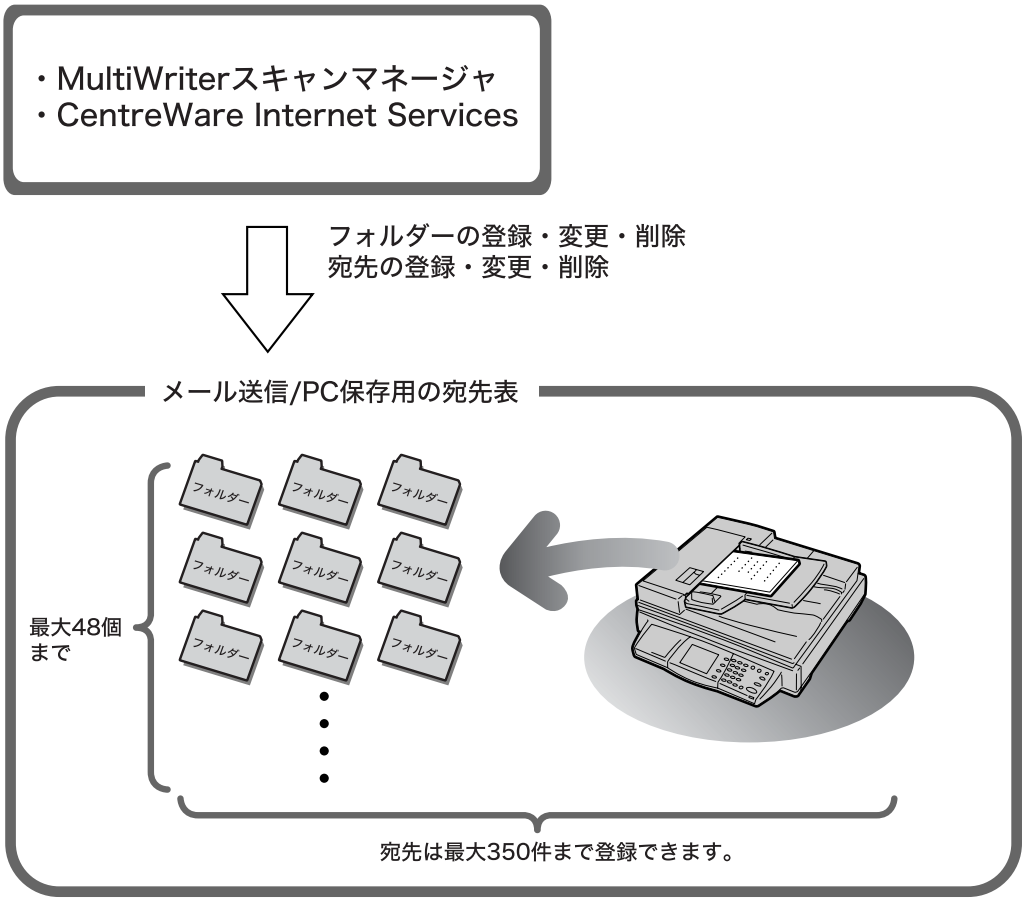
メール送信の送信先や PC 保存の保存先は、あらかじめ「宛先表」に登録しておくと、一覧から選択するだけで指定できます。

タッチパネルディスプレイに表示された宛先を選ぶだけで指定できるので、頻繁に同じ宛先にメール送信または PC 保存する場合は、文字で入力するより、宛先表を使って指定するほうが便利です。

宛先表は、フォルダーを作成して宛先を分類できます。登録する宛先の数が多い場合は、複数のフォルダーを、ユーザー別や用途別など目的にあわせて作成して、宛先を分類できます。また、宛先の検索は、1 つのフォルダー内が対象です。1 つのフォルダーにすべての宛先を登録しておけば、すべての宛先を一度に検索できます。ご利用方法に応じて、宛先を登録してください。

フォルダーには暗証番号を設定することもできます。

補足
- 宛先の新規登録、追加登録を行った場合は、宛先表のバックアップをとることをお勧めします。宛先表のバックアップ方法は、「宛先表の保守」(P. 153) を参照してください。
- 宛先表には、宛先（メールアドレス）/ 保存先（サーバー名 /IP アドレス）などの宛先を最大 350 件まで登録できます。
- フォルダーは、最大 48 個まで登録できます。



登録リストとは

メール送信の件名とコメント（メールの本文）は、あらかじめ「登録リスト」に登録しておくと、一覧から選択するだけで指定できます。

登録してある件名やコメントを呼び出して、一部分だけ修正して利用するなど、入力作業の省力化に効果的です。

宛先、件名、コメントを登録するには

宛先表に宛先を登録したり、登録リストに件名やコメントを登録したりするには、MultiWriterスキャンマネージャの宛先表ツールまたはCentreWare Internet Servicesを使います。

補足
- MultiWriter スキャンマネージャは、同梱されているソフトウェア CD-ROM からコンピューターにインストールします。

参照
- MultiWriter スキャンマネージャのインストール方法：『ソフトウェア CD-ROM 操作ガイド』
- MultiWriter スキャンマネージャの基本的な操作方法：「7 MultiWriter スキャンマネージャ」(P. 181)
- MultiWriter スキャンマネージャの詳しい操作方法：MultiWriter スキャンマネージャのオンラインヘルプ
- CentreWare Internet Services の使用方法：「9.1 Web ブラウザーでスキャナーの状態を確認 / 管理する」(P. 218)
- CentreWare Internet Services での宛先の登録方法：CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ

宛先表の登録内容

宛先表には、次の内容を登録します。

補足
- 設定が省略できることを明記していない項目は、必ず設定します。

メール送信 /PC 保存共通の項目

MultiWriter スキャンマネージャ / CentreWare Internet Services で設定する項目			スキャナーの操作パネルでの使用方法
項目		説明	
フォルダー		宛先を登録する入れ物です。	・宛先表を表示するとフォルダーが一覧表示されます。フォルダーを選択して、その中から宛先を選択します。 ・[仕様設定] > [スキャナーの設定] > [スキャナー機能設定初期値] で、フォルダー一覧を表示しないように設定することもできます。 ・宛先の検索は、1 つのフォルダー内が対象です。一度に複数のフォルダー内を検索できません。
	フォルダー番号	フォルダーの登録番号です。 フォルダー一覧から登録するフォルダーを選択することにより設定されます。	
	フォルダー名 (省略可)	フォルダーの名前です。 ・設定できる文字は、全角文字の場合は 8 文字以内、半角文字の場合は 16 文字以内です。 ・この項目は省略できます。省略すると、「名称未設定」という名前になります。	
	暗証番号 (省略可)	フォルダーの暗証番号です。 ・設定できる文字は、半角数字で、4 ～ 8 文字以内です。 ・この項目は省略できます。	

MultiWriter スキャンマネージャ / CentreWare Internet Services で設定する項目		スキャナーの操作パネルでの使用方法
項目	説明	
宛先番号	宛先の登録番号です。 ・ 1 ～ 350 の整数を、半角数字で設定します。 ・ 同じ宛先表フォルダー内で、同じ宛先番号は設定できません。フォルダーが異なれば、同じ宛先番号を設定できます。	・ 宛先を検索するときに、キーワードとして［表示番号］に設定します。 ・ 宛先表フォルダーを開くと、宛先番号と宛先名が一覧表示されます。
宛先種別	宛先の種別です。 ［メール送信］で使用する宛先種別は［メール］、［PC 保存］で使用する宛先種別は［サーバー］を設定します。	［メール送信］選択時に宛先表を表示すると、種別が［メール］の宛先だけ表示されます。［PC 保存］選択時は、種別が［サーバー］の宛先だけ表示されます。
宛先名 （省略不可）	登録する宛先の名前です。 ・ 設定できる文字は、全角文字の場合は 16 文字以内、半角文字の場合は 32 文字以内です。 ・ 制御文字（改行など）は、使用できません。	・ 宛先表フォルダーを開くと、宛先番号と宛先名が一覧表示されます。 ・ 宛先を宛先表から選択すると、メールアドレス欄および［サーバー］には、［宛先名］が表示されます。
検索文字列 （省略不可）	宛先を検索するときにキーワードとなる文字列です。 ・ 設定できる文字は、全角文字の場合は 16 文字以内、半角文字の場合は 32 文字以内です。ただし、スキャナーの操作パネルでは漢字と半角カタカナ、全角英数字を入力できないので、設定してもスキャナーで使用できません。 ・ 制御文字（改行など）は、使用できません。	宛先を検索するときに、キーワードとして［検索文字］に設定します。

メール送信の項目

MultiWriter スキャンマネージャ / CentreWare Internet Services で設定する項目		スキャナーの操作パネルでの使用方法
項目	説明	
宛先 （メールアドレス） （省略不可）	スキャンデータを送信する宛先のメールアドレスです。 ・ 設定できる文字は、半角の英数字記号（ASCII 文字）で、64 文字以内です。 ・ スペース、制御文字 (改行など)、および次の文字は使用できません。 ()<>[]:;¥, " ・ @ が含まれない文字列も設定できます。 ・ @ が 2 つ以上含まれる文字列は設定できません。 ・ @ が含まれる場合は、@ の前後に 1 文字以上必要です。	・ 次の項目に設定します。 -［メール宛先］画面の、［宛先］/［CC］/［BCC］のメールアドレス -［メール宛先］画面の［送信者］ -［メール宛先］画面 >［詳細設定］>［返信先アドレス］>［設定 / 変更］>［返信先アドレスの設定 / 変更］のメールアドレス ・ 宛先を検索するときに、キーワードとして［メールアドレス］に設定します。 ・ 宛先表から宛先を選択して、［詳細情報］を押すと確認できます。
備考 （省略可）	会社名や部署名など、メールアドレスの補足情報です。この項目の設定は省略できます。 ・ 設定できる文字は、全角文字の場合は 16 文字以内、半角文字の場合は 32 文字以内です。 ・ 制御文字 (改行など) は、使用できません。	宛先表から宛先を選択して、［詳細情報］を押すと確認できます。

PC 保存の項目

MultiWriter スキャンマネージャ / CentreWare Internet Services で設定する項目		スキャナーの操作パネルでの使用方法
項目	説明	
転送プロトコル	スキャナーからスキャンデータを転送するときの方法です。 スキャンデータを、Windows の共有フォルダーに保存する場合は［SMB］、FTP サーバーに保存する場合は［FTP］です。	・［PC 保存先］画面で、選択します。 ・宛先表フォルダーを開くと、宛先番号、宛先名、転送プロトコルが一覧表示されます。
保存先 （サーバー名 /IP アドレス） （省略不可）	スキャンデータを保存するコンピューターです。 ・設定できる文字は、半角の英数字記号（ASCII 文字）で、64 文字以内です。 ・制御文字 (改行など) は、使用できません。 ・次の形式で設定します。 FQDN 形式 例 : pcname.example.com コンピューター名 (NetBIOS 名) 例 : pcname DNS ホスト名 例 : pcname IP アドレス 例 : 192.168.1.100 補足 ・FQDN 形式で設定する場合、CentreWare Internet Services で、[プロパティ]>[プロトコル設定]>[TCP/IP]>[DNS] の [DNS サーバーアドレス] が設定されている必要があります。 ・コンピューター名 (NetBIOS 名) が指定できるのは［転送プロトコル］が SMB の場合です。 ・SMB で、ほかのサブネット上のコンピューター名を設定する場合、CentreWare Internet Services で、［プロパティ］>［プロトコル設定］>［TCP/IP］>［WINS］の［WINS サーバーアドレス］が設定されている必要があります。 ・DNSホスト名で設定する場合、CentreWare Internet Services の［プロパティ］>［プロトコル設定］>[TCP/IP]>[DNS] の [DNS サーバーアドレス］/［DNS ドメイン名］で設定されているドメイン名が示すドメインに、保存先が属している必要があります。 ・SMB で、DNS ホスト名で設定する場合、スキャナーと同一サブネット上にこの DNS ホスト名と同じ名前のコンピューター名 (NetBIOS 名) を使用しているコンピューターが存在する場合、コンピューター名を使用するコンピューターに対してファイル送信します。	・［PC 保存先］画面の［サーバー］に対応します。 ・宛先を検索するときに、キーワードとして［サーバー名 /IP アドレス］に設定します。 ・宛先表から宛先を選択して、［詳細情報］を押すと確認できます。
ポート番号 （省略不可）	サーバーとの通信に使用するポート番号の設定です。 ・[転送プロトコル] が [FTP] の場合は、21 または 5000 ～ 65535 の整数を、半角数字で設定します。 ・[転送プロトコル] が [SMB] の場合は、139 または 5000 ～ 65535 の整数を、半角数字で設定します。	宛先表から宛先を選択して、［詳細情報］を押すと確認できます。

MultiWriter スキャンマネージャ / CentreWare Internet Services で設定する項目		スキャナーの操作パネルでの使用方法
項目	説明	
SMB 共有名 (省略不可)	スキャンデータを保存する共有フォルダーの、共有名です。 ・ 設定できる文字は、全角文字の場合は 16 文字以内、半角文字の場合は 32 文字以内です。 ・ 制御文字 (改行など) は、使用できません。 ・ [転送プロトコル] が [SMB] の場合は、この項目を必ず設定します。	[転送プロトコル] が [SMB] の場合に表示される、[PC 保存先] 画面の［共有名］に対応します。
保存場所 (省略可)	スキャンデータを保存するフォルダーの名前です。 ・ 設定できる文字は、全角文字の場合は 48 文字以内、半角文字の場合は 96 文字以内です。 ・ 制御文字 (改行など) は、使用できません。 ・ FTP の場合は「パス 1/ パス 2」、SMB の場合は「パス 1¥ パス 2」のような形式で設定します。 ・ この項目の設定は省略できます。[転送プロトコル] が [SMB] の場合、省略するとスキャンデータは、[共有名] で設定した共有フォルダーの直下に保存されます。[転送プロトコル] が [FTP] の場合、ログインしたディレクトリーの直下に保存されます。	[PC 保存先] 画面の［保存場所］に対応します。

MultiWriter スキャンマネージャ / CentreWare Internet Services で設定する項目		スキャナーの操作パネルでの使用方法
項目	説明	
ユーザー名（省略不可）	スキャンデータを保存するコンピューターおよびフォルダーに対して、変更を許可されているユーザーを設定します。 ・ この項目は、必ず設定します。 次のいずれかの形式で設定します。 ■ローカルユーザー名 ・ 半角の英数字記号（ASCII 文字）で、97 文字以内で設定します。 ・ 制御文字 (改行など)、および次の文字は使用できません。 ： “ * + , / : ; < = > ? [¥] | ・ 先頭または末尾に、半角スペースは使用できません。 ・「.(ピリオド)」だけの文字列は、設定できません。 補足 ・ お使いのローカルユーザー名は、Windows XP の場合、[コントロールパネル] の [ユーザーアカウント] を確認してください。 ・ Windows 2000 の場合、[マイコンピュータ] の [プロパティ] を表示し、[ユーザープロファイル] タブで確認できます。「コンピューター名 ¥ ユーザー名」の形式で表示されます。 ・ 詳しくは、[コントロールパネル] の [ユーザーとパスワード] を確認してください。 ■ NetBIOS 形式ドメインユーザー 「ドメイン部 ¥ ユーザー部」の形式で指定します。 例 : pcname¥suzuki 「ドメイン部」「ユーザー部」には次の制限があります。 ・ 制御文字 (改行など)、および次の文字は使用できません。 ・ : “ * + , / : ; < = > ? [¥] | ・ 先頭または末尾に、半角スペースは使用できません。 ・「.(ピリオド)」だけの文字列は、設定できません。 ・ ユーザー部は、半角の英数字記号（ASCII 文字）で、32 文字以内で設定します。 ・ ドメイン部は、半角の英数字記号（ASCII 文字）で、64 文字以内で設定します。 補足 ・ Windows XP の場合、[コントロールパネル] の [ユーザーアカウント] を確認してください。 ・ Windows 2000 の場合、[マイコンピュータ] の [プロパティ] を表示し、[ユーザープロファイル] タブで確認できます。「コンピューター名 ¥ ユーザー名」の形式で表示されます。	[PC 保存先] 画面の [ユーザー名] に対応します。

MultiWriter スキャンマネージャ / CentreWare Internet Services で設定する項目		スキャナーの操作パネルでの使用方法
項目	説明	
ユーザー名（省略可） （続き）	■ UPN 形式ドメインユーザー 「ユーザー部 @ ドメイン部」の形式で指定します。 例 : guest@example.com ・ ドメイン部に、制御文字 (改行など)、スペース、および次の文字は使用できません。 ・ ! “ # $ & ‘ ( ) * + , / : ; < = > ? @ [¥] ^ ` { | } ~ ・ ユーザー部は、半角の英数字記号（ASCII 文字）で、32 文字以内で設定します。 ・ ドメイン部は、半角の英数字記号（ASCII 文字）で、64 文字以内で設定します。 補足 ・ UPN 形式のユーザー名は、お使いのネットワーク環境の管理者に確認してください。	
パスワード（省略不可）	[ユーザー名] に設定したユーザーのパスワードです。 ・ 設定できる文字は、制御文字（改行など）以外の半角の英数字記号（ASCII 文字）で、32 文字以内です。	[PC 保存先] 画面の［パスワード］に対応します。

登録リストの登録内容

登録リストには、次の内容を登録します。

補足
・ 設定が省略できることを明記していない項目は、必ず設定します。

MultiWriter スキャンマネージャ / CentreWare Internet Services で設定する項目		スキャナーの操作パネルでの使用方法
項目	説明	
件名	スキャンデータを送信するときの、メールの件名です。 ・ 設定できる文字は、全角文字の場合は 32 文字以内、半角文字の場合は 64 文字以内です。 ・ 制御文字 (改行など) は、使用できません。	[メール宛先] 画面 > [詳細設定] > [件名] > [設定 / 変更] > [件名の設定 / 変更] の［件名］> [登録リストから選択] で設定します。
コメント	スキャンデータを送信するときの、メールのコメントです。 ・ 設定できる文字は、全角文字の場合は 96 文字以内、半角文字の場合は 192 文字以内です。 ・ 改行以外の制御文字 (タブなど) は、使用できません。	[メール宛先] 画面 > [詳細設定] > [コメント] > [設定 / 変更] > [コメントの設定 / 変更] の［コメント］> [登録リストから選択] で設定します。

宛先表と登録リストを使うには

宛先表 / 登録リストは、次の 3 種類のツールで操作します。

・ 操作パネル

・ MultiWriter スキャンマネージャの宛先表ツール

・ CentreWare Internet Services

■ 操作パネルでできること

操作パネルでは、次のことができます。

・ メール送信 /PC 保存の画面上で、宛先 / 保存先の指定や検索ができます。

・ メール送信の画面上で、件名 / コメントが指定できます。

・ 宛先表の保存 / 復元ができます。

参照
・ 宛先 / 保存先の指定方法：「2.4 メールで送信する」(P. 42) または「2.5 PC に保存する」(P. 51)
・ 宛先 / 保存先の検索方法：「宛先を検索する」(P. 128)
・ 宛先表の保存 / 復元方法：「宛先表の保守」(P. 153)

■ 宛先表ツールでできること

宛先表ツールでは、次のことができます。

・ 宛先表フォルダーの登録、変更、削除ができます。

・ 宛先の登録、変更、削除ができます。

・ 宛先の検索ができます。

・ メールアプリケーションのアドレス帳から、宛先を読み込めます。

・ 登録リストの件名の登録、変更、削除ができます。

・ 登録リストのコメントの登録、変更、削除ができます。

参照
・ 操作方法：MultiWriter スキャンマネージャのオンラインヘルプ

■ CentreWare Internet Services でできること

CentreWare Internet Services では、次のことができます。

・ 宛先表フォルダーの登録、変更、削除ができます。

・ 宛先の登録、変更、削除ができます。

・ 登録リストの件名の登録、変更、削除ができます。

・ 登録リストのコメントの登録、変更、削除ができます。

参照
・ 操作方法：CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ

4.2 スキャナーでの宛先表の使い方

スキャナーで宛先表を表示し、宛先を選択したり検索したりする方法を説明します。

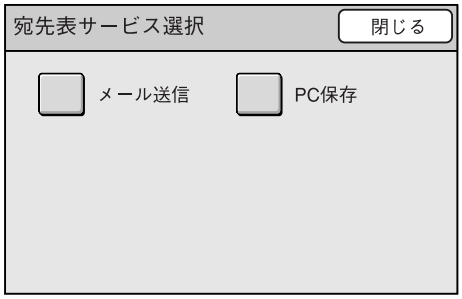
宛先表を表示する

宛先表を表示するには、次のように操作します。

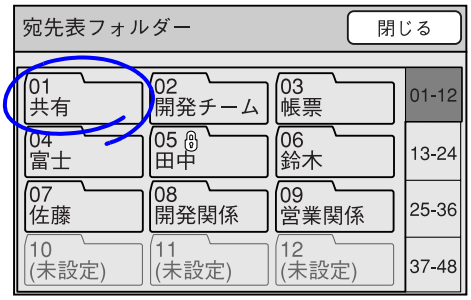
操作パネルの〈宛先表〉ボタンを使う場合

1. 操作パネルの〈宛先表〉ボタンを押します。

2. [宛先表サービス選択] 画面で、宛先表の種類を選択します。[メール送信] または [PC保存] を押します。

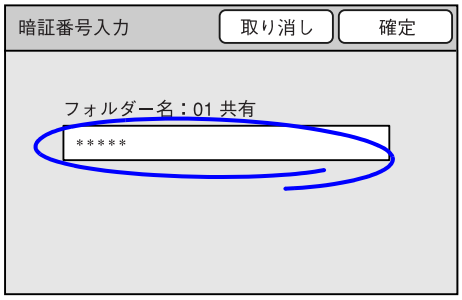


3. [宛先表フォルダー] 画面で、フォルダーを選択します。
   フォルダーに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号入力画面が表示されます。



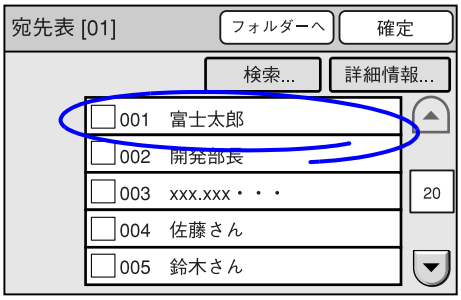
補足
- 画面右側にある [01-12] [13-24] [25-36] [37-48] を押すと、該当する番号のフォルダー一覧に切り替わります。
- 暗証番号が設定されているフォルダーには、鍵のマークが表示されます。
- [仕様設定] で、[宛先表フォルダー] 画面の表示を省略して、特定のフォルダー内の宛先表画面を表示する設定ができます。詳しくは、「宛先表初期画面」(P. 178) を参照してください。
- 暗証番号が設定されていない場合は、直接 [宛先表] 画面が表示されます。

4. 暗証番号入力画面で、数字ボタンを押して、暗証番号 を入力し、[確定] を押します。

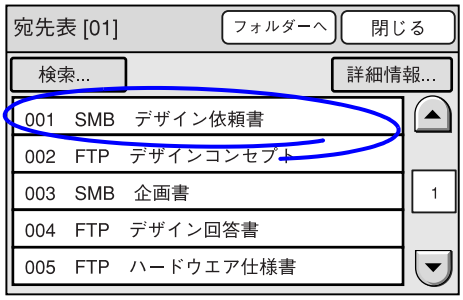


［宛先表］画面が表示され、選択したフォルダーに登録されている宛先の一覧が表示されます。

補足
・［フォルダーへ］を押すと、選択を取り消して［宛先表フォルダー］画面に戻ります。



メール送信の場合

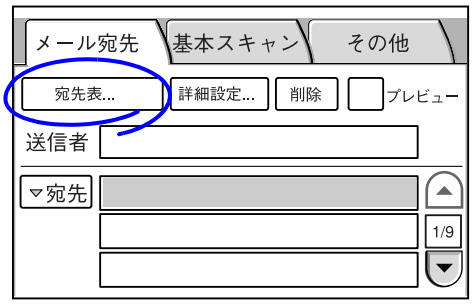


PC 保存の場合

画面上の［宛先表...］ボタンを使う場合

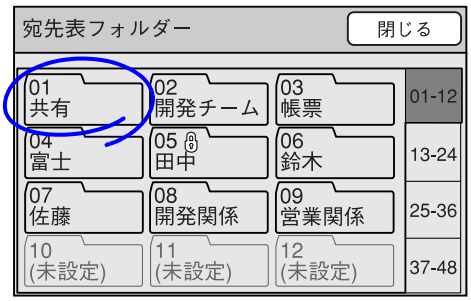
1. ［メール宛先］画面または［PC 保存先］画面で、［宛先表...］を押します。

補足
・ ここでは、メール送信の画面を例に説明します。PC 保存の場合も操作は同じです。

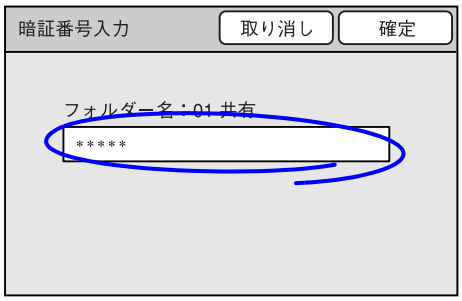


2. ［宛先表フォルダー］画面で、フォルダーを選択します。
   フォルダーに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号入力画面が表示されます。

補足
・ 画面右側にある［01-12］［13-24］［25-36］［37-48］を押すと、該当する番号のフォルダー一覧に切り替わります。
・ 暗証番号が設定されているフォルダーには、鍵のマークが表示されます。
・ ［仕様設定］で、［宛先表フォルダー］画面の表示を省略して、特定のフォルダー内の宛先表画面を表示する設定ができます。詳しくは、「宛先表初期画面」(P. 178) を参照してください。
・ 暗証番号が設定されていない場合は、直接［宛先表］画面が表示されます。

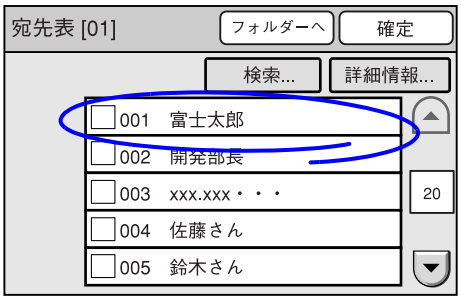


3. ［暗証番号入力］画面で、暗証番号が設定されているフォルダーの場合は、操作パネルの数字ボタンで暗証番号を入力し、［確定］を押します。

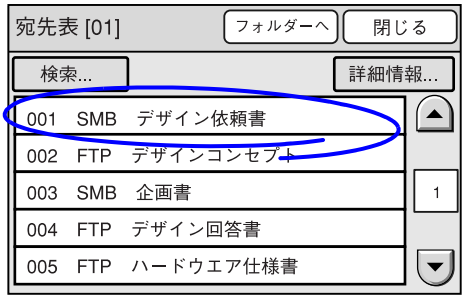


［宛先表］画面が表示され、選択したフォルダーに登録されている宛先の一覧が表示されます。

補足
・［フォルダーへ］を押すと、選択を取り消して［宛先表フォルダー］画面に戻ります。



メール送信の場合

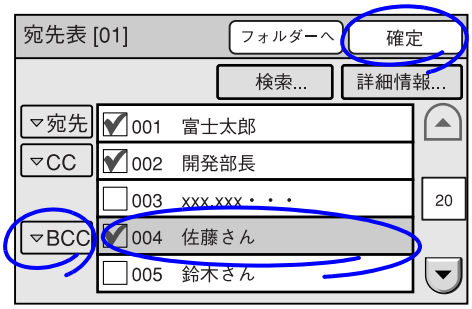


PC 保存の場合

宛先を選択する

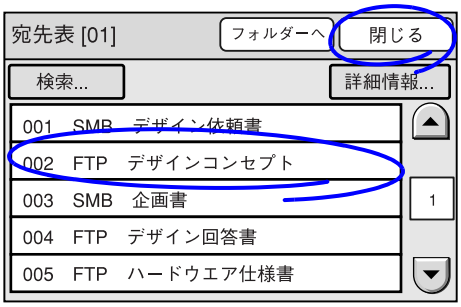
［宛先表］画面には、フォルダーに登録されている宛先が一覧表示されます。
［宛先表］画面で宛先を選択するには、次のように操作します。

メール送信の場合



1. 使用したい宛先を押して、チェックを付けます。
   チェックボックスを押すごとにチェックの有 / 無を切り替えられます。
   チェックを付けると、左側に［宛先］が表示されます。
2. 必要に応じて、宛先の左側にある［宛先］ボタンで、受取人の種類を設定します。1 回押すごとに、［宛先］→［CC］→［BCC］→［宛先］→・・・の順に切り替わります。
3. 同じフォルダーで複数の宛先を設定する場合は、手順 1、2 を繰り返します。
4. ［確定］を押します。

PC 保存の場合



1. 使用したい宛先を押します。
2. ［閉じる］を押します。

宛先を検索する

1 つのフォルダーの中から、キーワードを指定して宛先データを検索できます。
キーワードは、一部分だけ指定して検索できます。
キーワードには、次の種類があります。

表示番号

宛先表に登録した宛先番号を指定します。

検索文字

宛先表に登録した検索文字列を指定します。

メールアドレス（メール送信の場合）

宛先表に登録したメールアドレスを指定します。

サーバー名 /IP アドレス（PC 保存の場合）

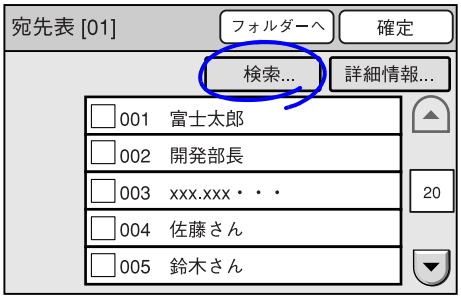
宛先表に登録したサーバー名またはサーバーの IP アドレスを指定します。

参照
・ 宛先表の内容：「宛先、件名、コメントを登録するには」(P. 117)

注記
・ 仕様設定で初期表示言語に英語（English）が設定されている場合は、「検索文字列」にひらがなまたはカタカナの文字列が設定されている宛先を検索できません。仕様設定の初期表示言語の設定については、「初期表示言語」(P. 144) を参照してください。

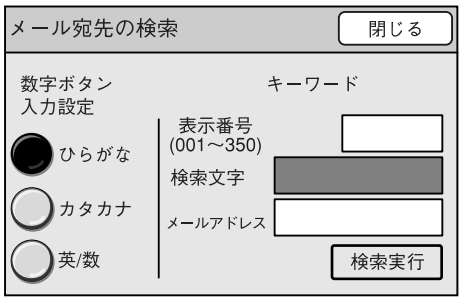
1. ［宛先表］画面で、［検索...］を押します。

補足
・ ここでは、メール送信の［宛先表］画面を例に説明します。PC 保存の場合も操作は同じです。



2. ［メール宛先の検索］画面で、キーワードを設定します。

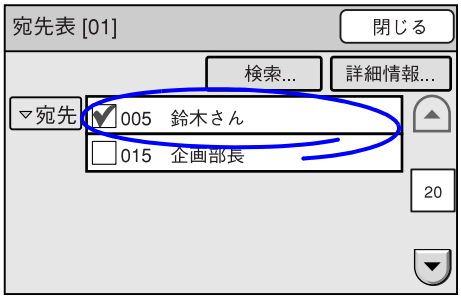
3. ［検索実行］を押します。



4. 検索結果から、宛先を選択します。
メール送信の場合は、宛先を押すと選択され、チェックが付きます。
PC 保存の場合は、宛先を押します。

5. メール送信の場合は、必要に応じて、宛先の左側にあるボタンで、受取人の種類を設定します。1 回押すごとに、[宛先] → [CC] → [BCC] → [宛先] → ・・・の順に切り替わります。

6. [閉じる] を押します。



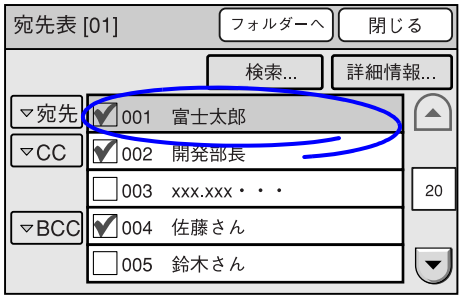
宛先の詳細を表示する

宛先情報の詳細を確認してから選択したい場合は、次のように操作します。

1. [宛先表] 画面で、宛先名の部分を押します。

補足
・ ここでは、メール送信の [宛先表] 画面を例に説明します。PC 保存の場合も操作は同じです。

2. [詳細情報...] を押します。



3. [詳細情報] 画面で、宛先情報を確認します。

4. [閉じる] を押します。

5　ジョブを確認する

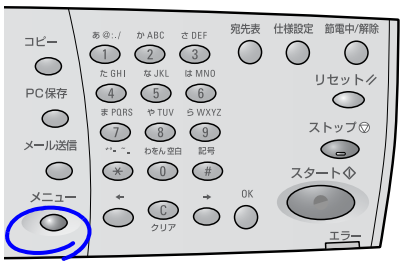
完了したジョブを確認できます。
ジョブを確認するには、次の 2 とおりの方法があります。

- 操作パネルを使う
- CentreWare Internet Services を使う

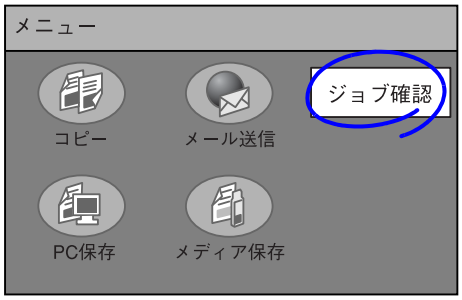
5.1　操作パネルで確認する

操作パネルを使ってジョブの状態を確認できます。
［メニュー］画面の［ジョブ確認］を押すと、完了したジョブの一覧を確認できます。
ジョブ履歴情報は、最新のものから 20 件分が保持され、確認できます。
ジョブの一覧から、ジョブを選択して、ジョブの詳細情報も確認できます。

1. 操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押します。

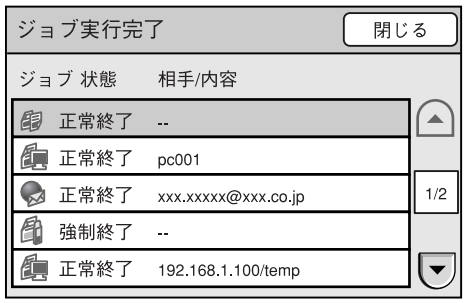


2. ［メニュー］画面で、［ジョブ確認］を押します。
   ［ジョブ実行完了］画面が表示されます。



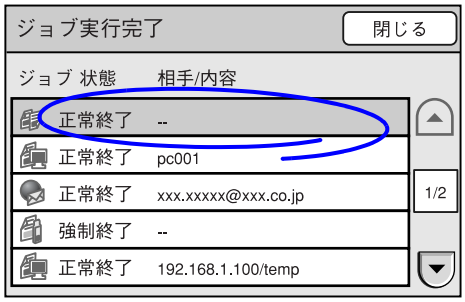
3. ジョブの状態を確認します。

補足
- ［▲］を押して前画面、［▼］を押して次画面を表示できます。



4. 一覧でジョブを選択すると、詳細を表示できます。

5. ［メニュー］画面に戻るまで、［閉じる］を押します。



5.2 CentreWare Internet Services を使う

CentreWare Internet Services を使って、完了したジョブの履歴を確認できます。

CentreWare Internet Services でジョブを確認するには、［ジョブ］タブで［ジョブ履歴］を選択します。

［ジョブ履歴］では、次の情報を確認できます。

- サービス名
- ファイル名
- 結果
- ページ数
- 完了時刻
- 出力先（宛先件数）
- カラーモード
- 解像度
- ファイル形式
- 原稿サイズ
- 倍率

ジョブ履歴情報は、最新のものから 20 件分が保持され、確認できます。

補足

- 表示されるのは、完了したジョブだけです。処理中のジョブは表示されません。

参照

- CentreWare Internet Services の操作方法：「9.1 Web ブラウザーでスキャナーの状態を確認 / 管理する」(P. 218)

6 仕様設定

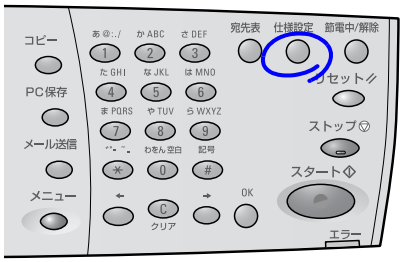
6.1 仕様設定の流れ

時計や音の設定、ネットワーク環境の設定など、機械の仕様を設定する操作の流れを説明します。

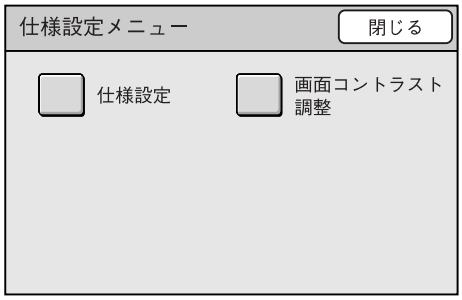
参照
・設定できる項目：「6.2 仕様設定項目一覧」(P. 134)

Step1 ［仕様設定］画面を表示する

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。



2. ［仕様設定メニュー］画面で、［仕様設定］または［画面コントラスト調整］を押します。



補足
・［画面コントラスト調整］を選択した場合は、「 Step3 項目を選択して設定する」(P. 133) に進みます。

Step2 機械管理者暗証番号を入力する

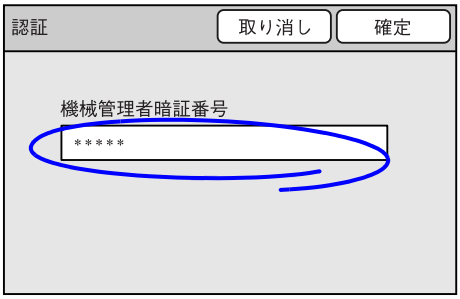
仕様設定を変更するには、機械管理者暗証番号の認証が必要です。

［仕様設定メニュー］画面で［仕様設定］を選択すると、［認証］画面が表示され、［機械管理者暗証番号］の入力を求められます。初期値は、「11111」です。

機械管理者暗証番号は、変更することができます。本機を設置したあと、すぐに変更することをお勧めします。

参照
・機械管理者暗証番号の変更方法：「暗証番号の設定」(P. 180)

1. 操作パネルの数字ボタンで、暗証番号を入力し、[確定]を押します。



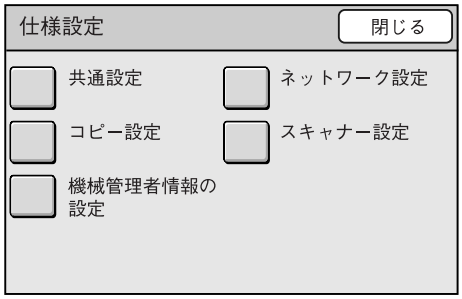
Step3　項目を選択して設定する

1. Step1 で[仕様設定]を選択した場合は、[仕様設定]画面で項目を選択します。

補足
・[画面コントラスト調整]を選択した場合は、[画面コントラスト調整]画面で、画面コントラストを調整し、[決定]を押します。詳しくは、「6.3 画面コントラスト調整」(P. 136) を参照してください。

2. 各画面で設定を変更します。

参照
・各画面での設定変更方法：「6.4　共通設定」(P. 136) 以降

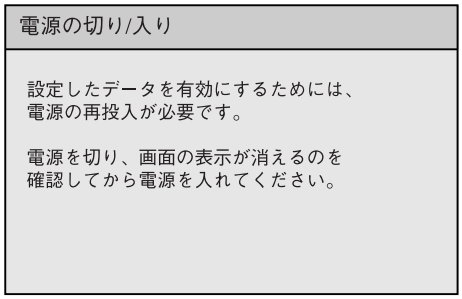


Step4　仕様設定を終了する

1. 設定がすべて終了したら、[仕様設定]画面に戻るまで[閉じる]を押します。

2. [仕様設定]画面で[閉じる]を押します。

3. 設定内容によっては、[電源の切り / 入り]画面が表示されます。メッセージに従い、電源をいったん切り、画面の表示が消えるのを確認してから、電源を入れてください。



6.2 仕様設定項目一覧

仕様設定で設定できる項目は、以下のとおりです。

■ 画面コントラスト調整

タッチパネルディスプレイの画面のコントラストを調整できます。

■ 仕様設定

各機能の初期値などを設定 / 変更できます。

共通設定

「システム時計 / タイマー設定」(P. 136)	「日付形式」(P. 137) 「日付入力」(P. 137) 「時刻形式」(P. 137) 「時刻入力」(P. 138) 「タイムゾーン」(P. 138) 「自動リセット」(P. 139) 「ジョブ自動解除」(P. 139) 「節電モード設定」(P. 139)
「音の設定」(P. 140)	「正常入力音」(P. 140) 「異常入力音」(P. 140) 「準備完了音」(P. 141) 「正常終了音」(P. 141) 「異常終了音」(P. 141) 「異常警告音」(P. 142) 「自動リセット事前通知」(P. 142) 「基点音」(P. 142)
「初期画面の設定」(P. 143)	「機能初期画面」(P. 143) 「登録ボタン 1 ～ 3」(P. 143) 「初期表示言語」(P. 144)
「原稿サイズボタン」(P. 144)	「原稿サイズボタン」(P. 145)
「機能の使用許可」(P. 146)	「メール送信」(P. 146) 「PC 保存」(P. 147) 「メディア保存」(P. 147)
「機能認証」(P. 148)	「コピー」(P. 148) 「メール送信」(P. 149) 「PC 保存」(P. 149) 「メディア保存」(P. 149) 「暗証番号の設定」(P. 150)
「その他の設定」(P. 150)	「ミリ / インチ切り替え」(P. 150) 「サイズ検知切り替え」(P. 151)
「保守 / 診断」(P. 152)	「ソフトウエアバージョン」(P. 152) 「エラー履歴」(P. 153) 「宛先表の保守」(P. 153) 「プリンター情報」(P. 155) 「キャリッジの移動」(P. 155) 「NVM 初期化」(P. 156)

ネットワーク設定

「ポート設定」(P. 157)	「SNMP」(P. 157) 「CW インターネットサービス」(P. 158)
「プロトコル設定」(P. 158)	「Ethernet 設定」(P. 158) 「IP アドレスの取得方法」(P. 159) 「IP アドレス」(P. 159) 「サブネットマスク」(P. 160) 「ゲートウエイ」(P. 160)

コピー設定

「基本コピー画面」(P. 161)	「用紙ボタン -2 段目」(P. 162) 「用紙ボタン -3 段目」(P. 162) 「倍率ボタン -3 段目」(P. 163)
「コピー機能設定初期値」(P. 163)	「用紙選択」(P. 164) 「手差し用紙種類」(P. 164) 「手差し用紙サイズ」(P. 164) 「倍率選択」(P. 165) 「カラーモード」(P. 165) 「両面 / 片面選択」(P. 165) 「原稿の画質」(P. 166) 「コピー濃度」(P. 166) 「シャープネス」(P. 166) 「彩度」(P. 167) 「地色除去」(P. 167) 「カラーバランス（Y/M/C/K)」(P. 167) 「原稿セット向き指定」(P. 168) 「仕分け」(P. 168) 「わく消し量」(P. 168) 「ミックスサイズ原稿送り」(P. 169)
「地色除去レベル」(P. 169)	「白黒（文字)」(P. 169) 「白黒（文字 / 写真)」(P. 170) 「白黒（地図)」(P. 170) 「カラー（文字)」(P. 170) 「カラー（文字 / 写真)」(P. 171) 「カラー（地図)」(P. 171)
「プリンター認証の設定」(P. 172)	

スキャナー設定

「スキャナー機能設定初期値」(P. 173)	「カラーモード」(P. 173) 「読み取り解像度」(P. 174) 「原稿の画質」(P. 174) 「読み込み濃度」(P. 174) 「出力ファイル形式」(P. 175) 「TIFF ファイル形式」(P. 175) 「画像圧縮率」(P. 176) 「原稿セット向き指定」(P. 176) 「シャープネス」(P. 176) 「コントラスト」(P. 177) 「RGB 色空間」(P. 177) 「地色除去」(P. 177) 「プレビュー表示」(P. 178) 「宛先表初期画面」(P. 178) 「ミックスサイズ原稿送り」(P. 178)
「ファイル名重複時の処理」(P. 179)	
「PC 保存プロトコル」(P. 179)	

機械管理者情報の設定

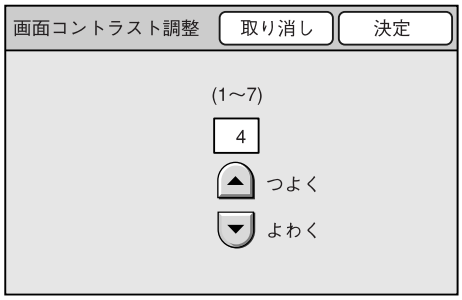
「暗証番号の設定」(P. 180)

6.3 画面コントラスト調整

タッチパネルディスプレイの画面のコントラストを調整できます。
［つよく］～［よわく］まで、7 段階で設定できます。

1. ［仕様設定メニュー］画面で、［画面コントラスト調整］を押します。
2. ［画面コントラスト調整］画面で、［▲］/［▼］を押して設定し、［決定］を押します。

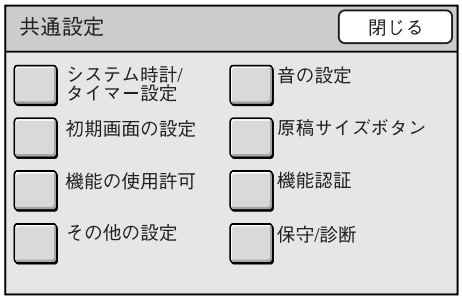
補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。



6.4 共通設定

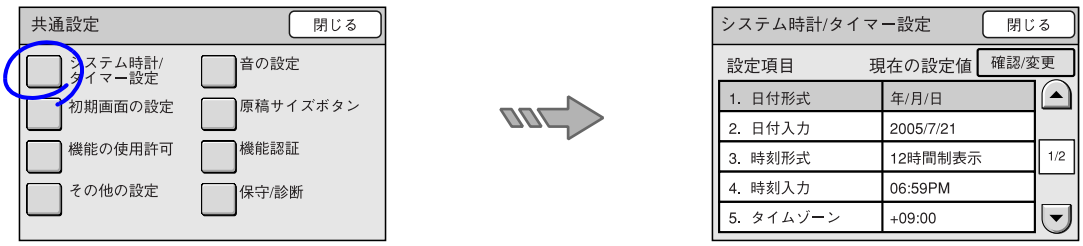
機械本体の仕様にかかわる設定ができます。

［仕様設定］画面で［共通設定］を選択して［共通設定］画面を表示し、設定します。
次に［共通設定］で設定できる各項目について説明します。



システム時計 / タイマー設定

［共通設定］画面で、［システム時計 / タイマー設定］を選択すると、［システム時計 / タイマー設定］画面が表示されます。
時刻をセットしたり、節電やリセットなどの機能が働くまでの時間（タイマー）を設定します。



日付形式

本機のシステム時計の、日付の表示形式を設定します。
日付の形式は、[年 / 月 / 日]、[月 / 日 / 年]［日 / 月 / 年］から選択できます。

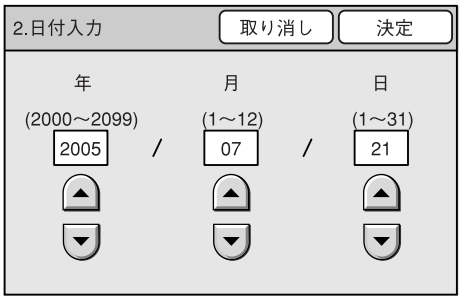
1. ［システム時計 / タイマー設定］画面で、[1. 日付形式］を選択し、[確認 / 変更］を押します。
2. ［1. 日付形式］画面で、日付の形式を選択します。
3. ［決定］を押します。

補足
・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し］を押します。

日付入力

本機のシステム時計の日付を設定します。

1. ［システム時計 / タイマー設定］画面で、[2. 日付入力］を選択し、[確認 / 変更］を押します。
2. ［2. 日付入力］画面で、[▲］/［▼］を押して日付を入力します。
3. ［決定］を押します。

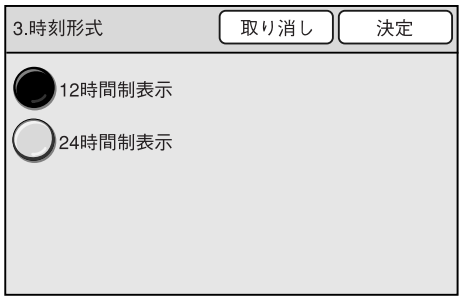


補足
・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し］を押します。

時刻形式

本機のシステム時計の、時刻の表示形式を設定します。
時刻の形式は、[12 時間制表示]、[24 時間制表示］から選択できます。

1. ［システム時計 / タイマー設定］画面で、[3. 時刻形式］を選択し、[確認 / 変更］を押します。
2. ［3. 時刻形式］画面で、時刻の形式を選択します。
3. ［決定］を押します。



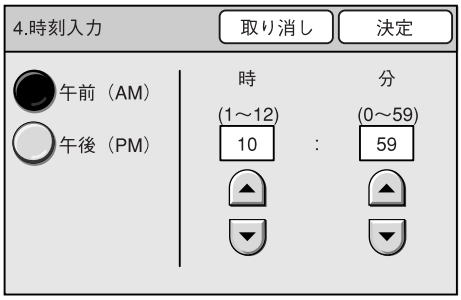
補足
・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し］を押します。

時刻入力

本機のシステム時計の時刻を設定します。

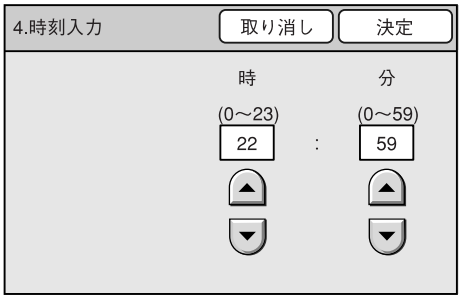
1. [システム時計 / タイマー設定] 画面で、[4. 時刻入力] を選択し、[確認 / 変更] を押します。

2. [4. 時刻形式] 画面で [12 時間制表示] を選択した場合は、[時刻入力] 画面で、[午前 (AM)] または [午後 (PM)] を選択します。



3. [▲] / [▼] を押して時刻を入力します。

4. [決定] を押します。



補足
・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

タイムゾーン

本機のタイムゾーンを設定します。タイムゾーンは、グリニッジ標準時（GMT）からの時差で指定します。

1. [システム時計 / タイマー設定] 画面で、[5. タイムゾーン] を選択し、[確認 / 変更] を押します。

2. [5. タイムゾーン] 画面で、[▲] / [▼] を押して時差を入力します。

3. [決定] を押します。

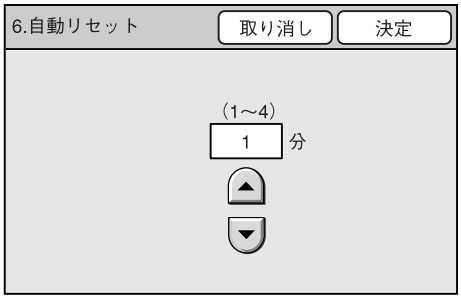
補足
・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

自動リセット

本機では、何も操作をしない状態で一定の時間が経過したとき、自動的に機能初期画面に戻り、別の操作ができるようになります。また、次の原稿待ちやプレビュー画面で一定の時間が経過したとき、自動的にスキャン / コピーの処理を再開します。

自動リセットでは、この時間を設定します。

1 ～ 4 分の範囲で 1 分刻みに設定します。



1. ［システム時計 / タイマー設定］画面で、[6. 自動リセット］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［6. 自動リセット］画面で、［▲］/［▼］を押して時間（分）を入力します。
3. ［決定］を押します。

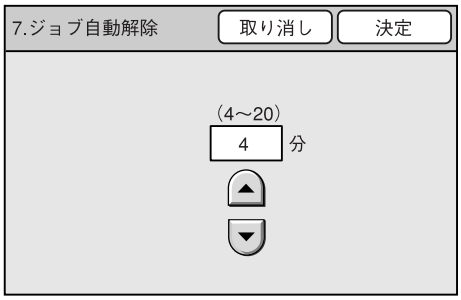
補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

参照
・ 機能初期画面：「機能初期画面」(P. 143)

ジョブ自動解除

スキャン / コピー中に、エラー（原稿づまりなど）が発生したとき、現在のスキャン / コピーを中止して、次のスキャン / コピーを実行できるまでの時間を設定します。このとき、実行できる機能は機械のエラーが発生している部分を使用しないものに限ります。

4 ～ 20 分の範囲で 1 分刻みに設定します。



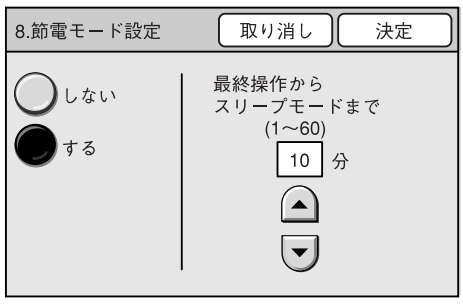
1. ［システム時計 / タイマー設定］画面で、[7. ジョブ自動解除］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［7. ジョブ自動解除］画面で、［▲］/［▼］を押して時間（分）を入力します。
3. ［決定］を押します。

補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

節電モード設定

設定時間が経過すると節電モードに移行し、消費電力を下げます。

1 ～ 60 分の範囲で 1 分刻みに設定します。設定しない場合は、［しない］を選択してください。

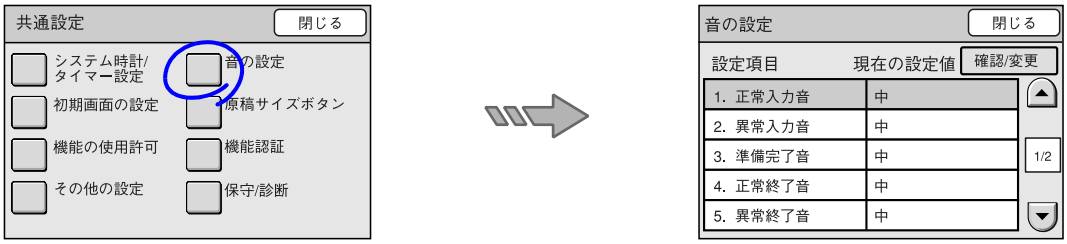


1. ［システム時計 / タイマー設定］画面で、[8. 節電モード設定］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［8. 節電モード設定］画面で、節電モードを使用するかどうかを選択します。
3. 手順 2 で［する］を選択した場合は、［▲］/［▼］を押して時間（分）を入力します。
4. ［決定］を押します。

補足
・設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

音の設定

[共通設定] 画面で、[音の設定] を選択すると、[音の設定] 画面が表示されます。
ジョブの終了や機械の異常などを知らせる音を、鳴らすかどうかを設定します。

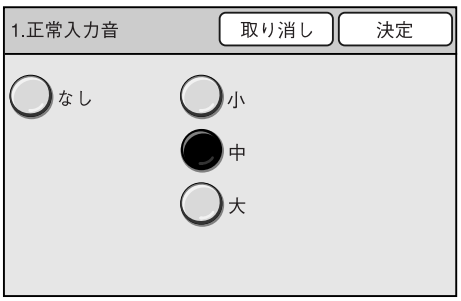


正常入力音

タッチパネルディスプレイに表示されるボタンを正しく選択したときに鳴る音を設定します。
音量は、[大]、[中]、[小] から選択できます。音を鳴らさない場合は、[なし] を選択してください。

1. [音の設定] 画面で、[1. 正常入力音] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [1. 正常入力音] 画面で、音量を選択します。
3. [決定] を押します。

補足
・設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

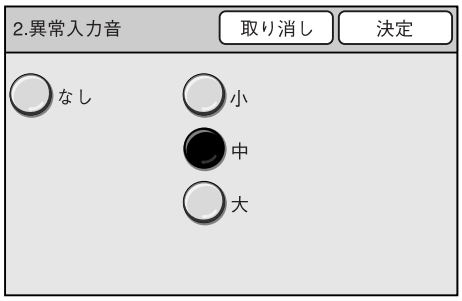


異常入力音

選択できないボタンを選択したときや、エラー発生時に操作をしたときに鳴る音を設定します。
音量は、[大]、[中]、[小] から選択できます。音を鳴らさない場合は、[なし] を選択してください。

1. [音の設定] 画面で、[2. 異常入力音] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [2. 異常入力音] 画面で、音量を選択します。
3. [決定] を押します。

補足
・設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

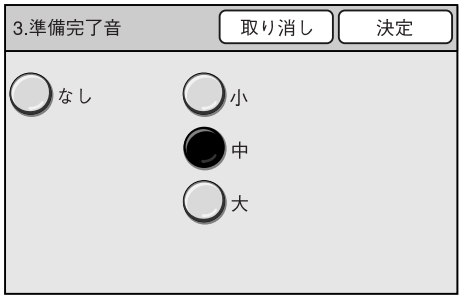


準備完了音

電源を入れたときなど、機械がスキャンやコピーできる状態になったときに鳴る音を設定します。
音量は、[大]、[中]、[小] から選択できます。音を鳴らさない場合は、[なし] を選択してください。

1. [音の設定] 画面で、[3. 準備完了音] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [3. 準備完了音]画面で、音量を選択します。
3. [決定] を押します。

補足
・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

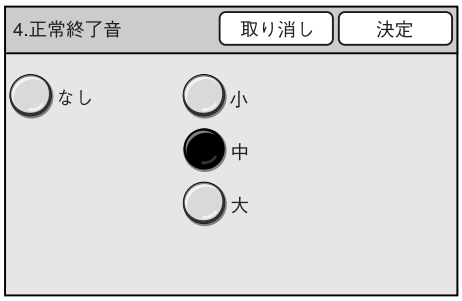


正常終了音

ジョブが正常に終了したときに鳴る音を設定します。
音量は、[大]、[中]、[小] から選択できます。音を鳴らさない場合は、[なし] を選択してください。

1. [音の設定] 画面で、[4. 正常終了音] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [4. 正常終了音]画面で、音量を選択します。
3. [決定] を押します。

補足
・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

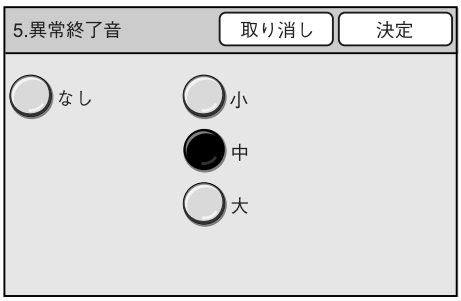


異常終了音

ジョブが異常終了したときに鳴る音を設定します。
音量は、[大]、[中]、[小] から選択できます。音を鳴らさない場合は、[なし] を選択してください。

1. [音の設定] 画面で、[5. 異常終了音] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [5. 異常終了音]画面で、音量を選択します。
3. [決定] を押します。

補足
・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



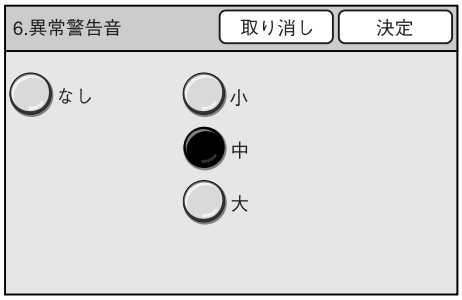
異常警告音

原稿が詰まるなどの異常が発生し、ジョブが異常状態のまま保留になったときに鳴る音を設定します。

音量は、[大]、[中]、[小] から選択できます。音を鳴らさない場合は、[なし] を選択してください。

1. [音の設定] 画面で、[6. 異常警告音] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [6. 異常警告音]画面で、音量を選択します。
3. [決定] を押します。

補足
・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



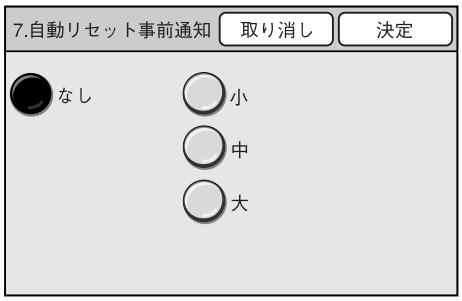
自動リセット事前通知

自動的に初期画面に戻る 5 秒前に鳴る音を設定します。

音量は、[大]、[中]、[小] から選択できます。音を鳴らさない場合は、[なし] を選択してください。

1. [音の設定] 画面で、[7. 自動リセット事前通知] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [7. 自動リセット事前通知] 画面で、音量を選択します。
3. [決定] を押します。

補足
・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



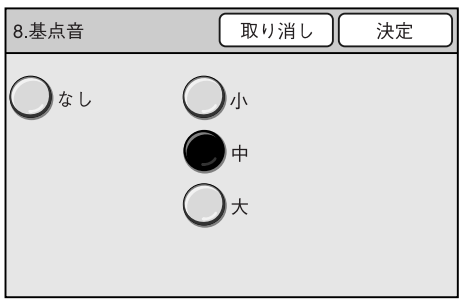
基点音

繰り返し押すことで設定を切り替えることができるボタンの、基準となる音を設定します。本機では、〈節電中 / 解除〉ボタンを押したときに鳴ります。

音量は、[大]、[中]、[小] から選択できます。音を鳴らさない場合は、[なし] を選択してください。

1. [音の設定] 画面で、[8. 基点音] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [8. 基点音] 画面で、音量を選択します。
3. [決定] を押します。

補足
・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



初期画面の設定

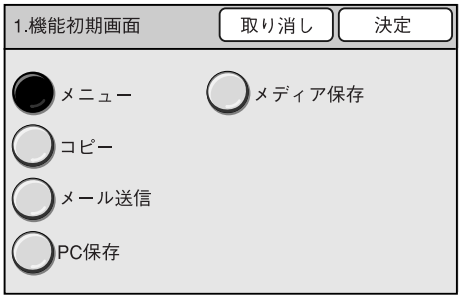
［共通設定］画面で、［初期画面の設定］を選択すると、［初期画面の設定］画面が表示されます。
電源を入れたときの初期画面表示や操作パネルのボタンに割り当てる機能などを設定します。

機能初期画面

電源を入れたとき、自動リセットが働いたときの初期画面表示を設定します。
画面は、［メニュー］、［コピー］、［メール送信］、［PC 保存］、［メディア保存］から選択できます。

1. ［初期画面の設定］画面で、［1. 機能初期画面］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［1. 機能初期画面］画面で、画面を選択します。
3. ［決定］を押します。

補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。



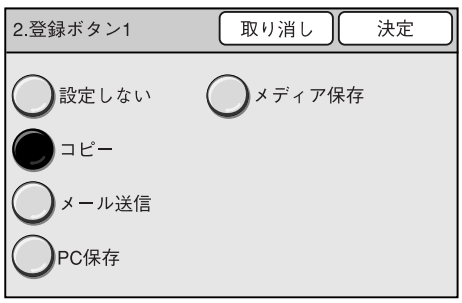
登録ボタン 1 ～ 3

操作パネルの機能ボタンのうちの 3 つのボタン（〈コピー〉、〈PC 保存〉、〈メール送信〉）に割り当てる機能を設定します。
機能は、［コピー］、［メール送信］、［PC 保存］、［メディア保存］から選択できます。
設定しない場合は、［設定しない］を選択してください。

補足
・ 複数の登録ボタンに同じ機能を割り当てることができます。

1. ［初期画面の設定］画面で、［2. 登録ボタン 1］～［4. 登録ボタン 3］のいずれかを選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［2. 登録ボタン 1］～［4. 登録ボタン 3］画面で、機能を選択します。
3. ［決定］を押します。

補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。



初期表示言語

本機で表示する言語を切り替えることができます。[日本語] または [English]（英語）から選択できます。

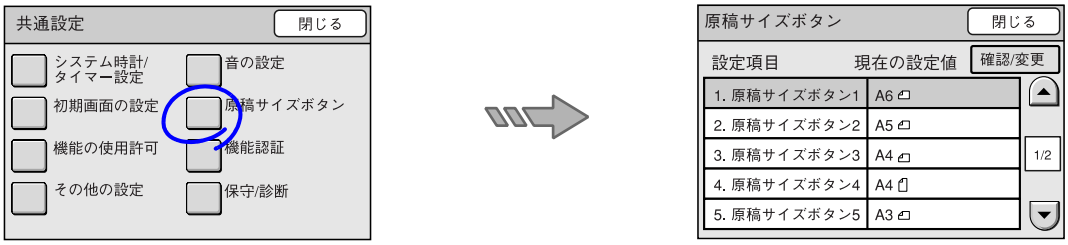
注記
・ 初期表示言語を [English] に設定した場合、次の制限があります。
 ・設定値に日本語文字列が設定されている項目は、設定値が正しく表示されません。
 ・宛先を検索するとき、「検索文字列」にひらがなまたはカタカナの文字列が設定されている宛先を検索できません。

1. [初期画面の設定] 画面で、[5. 初期表示言語] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [5. 初期表示言語] 画面で、言語を選択します。
3. [決定] を押します。

補足
・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

原稿サイズボタン

[共通設定] 画面で、[原稿サイズボタン] を選択すると、[原稿サイズボタン] 画面が表示されます。
スキャンの [読み取りサイズ] や、コピーの [原稿サイズ入力] で表示されるボタンの原稿サイズを設定します。各原稿サイズボタンに、原稿サイズを割り当てられます。



定形外サイズの原稿を頻繁にコピーするときなど、あらかじめ定形外サイズを設定しておくと、コピーのたびに原稿サイズを入力する操作が省けます。
設定できる原稿サイズの種類には、次のものがあります。

・ A 系 B 系表示
・ インチサイズ表示
・ その他
・ サイズ入力

サイズ入力では、任意のサイズを 1 mm刻みに設定できます。

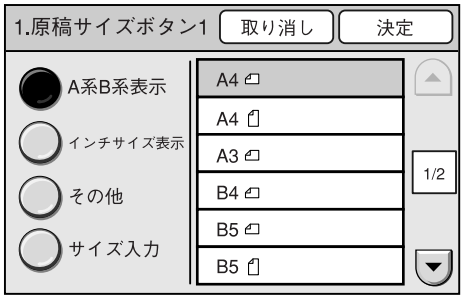
参照
・ スキャンの [読み取りサイズ] の設定：「2.8 その他のスキャン項目を設定する」(P. 71)
・ コピーの [原稿サイズ入力] の設定：「3.6 その他のコピー項目を設定する」(P. 106)

原稿サイズボタン

原稿サイズボタンにサイズを設定します。

補足
・スキャナユニット PR-MW-SC50 は原稿サイスボタンが 1 ～ 12 まで、スキャナユニット PR-MW-SC40 は原稿サイズボタンが 1 ～ 6 まであります。ここではスキャナユニット PR-MW-SC50 の場合を例に説明しています。

1. [原稿サイズボタン] 画面で、[1. 原稿サイズボタン 1] ～ [12. 原稿サイズボタン 12] のいずれかを選択し、[確認 / 変更] を押します。



2. [1. 原稿サイズボタン]] ～ [12. 原稿サイズボタン 12] 画面で、原稿サイズの種類を選択します。

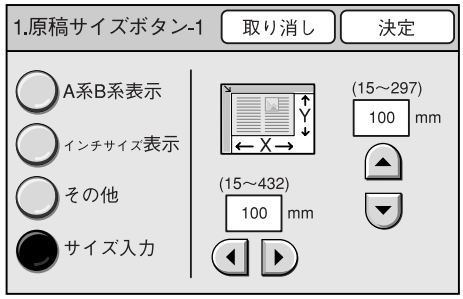
3. [A 系 B 系表示]、[インチサイズ表示]、[その他] を選択した場合は、右側の一覧でサイズを選択します。

補足
・[▲] を押して前画面、[▼] を押して次画面を表示できます。

4. [サイズ入力] を選択した場合は、[▲] / [▼] / [◀] / [▶] で、サイズを入力します。

5. [決定] を押します。

補足
・設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

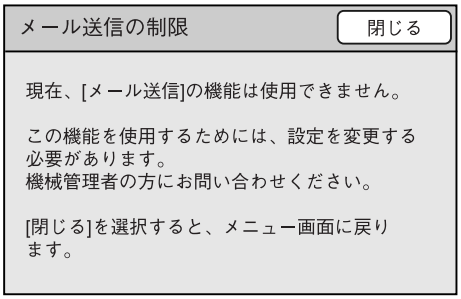


機能の使用許可

［共通設定］画面で、［機能の使用許可］を選択すると、［機能の使用許可］画面が表示されます。

機能の使用を許可 / 禁止する設定をします。禁止に設定すると、機能は使用できなくなります。

使用禁止に設定されている機能を使用しようとすると、次のような画面が表示されます。



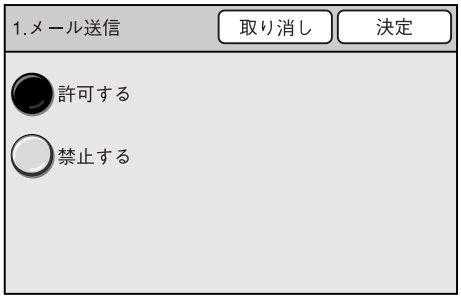
メール送信の場合

補足
・ 暗証番号を設定して認証を行い、機能の使用を制限することもできます。詳しくは、「機能認証」(P. 148)を参照してください。

メール送信

メール送信の使用を許可 / 禁止する設定をします。

1. ［機能の使用許可］画面で、［1. メール送信］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［1. メール送信］画面で、［許可する］または［禁止する］を選択します。
3. ［決定］を押します。



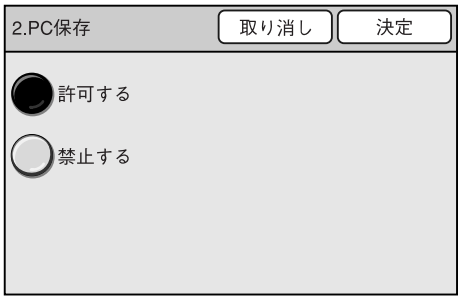
補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

PC 保存

PC 保存の使用を許可 / 禁止する設定をします。

1. ［機能の使用許可］画面で、［2.PC 保存］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［2.PC　保存］画面で、［許可する］または［禁止する］を選択します。
3. ［決定］を押します。

補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

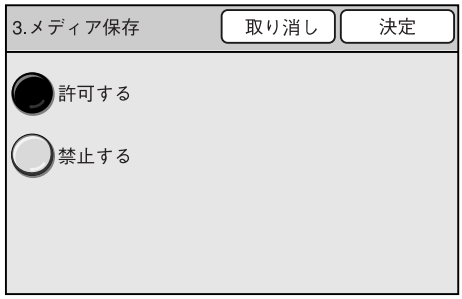


メディア保存

メディア保存の使用を許可 / 禁止する設定をします。

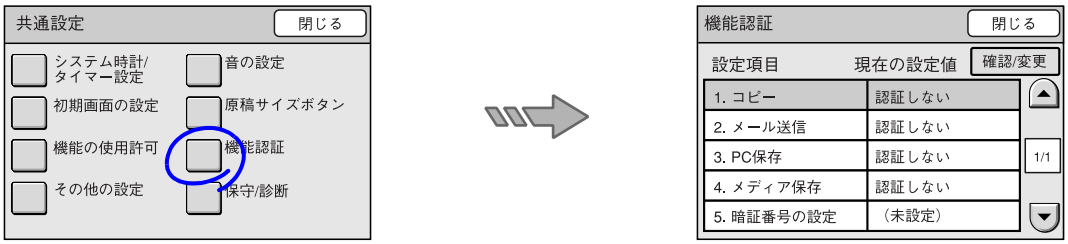
1. ［機能の使用許可］画面で、［3. メディア保存］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［3. メディア保存］画面で、［許可する］または［禁止する］を選択します。
3. ［決定］を押します。

補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。



機能認証

［共通設定］画面で、［機能認証］を選択すると、［機能認証］画面が表示されます。
暗証番号を使って認証を行うかどうかを、機能ごとに設定します。
また、暗証番号入力を行う場合は、その暗証番号を設定します。暗証番号は、［認証する］設定になっているすべての機能に対して１つ設定します。



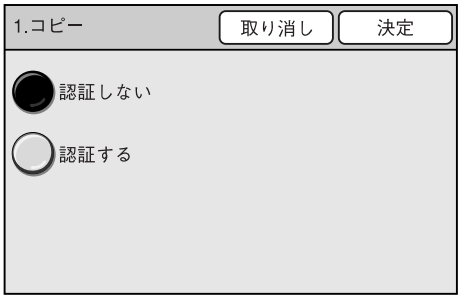
［認証する］に設定すると、機能のボタンを押したときに、次のような暗証番号入力を求める画面が表示されます。暗証番号を入力すると、機能の画面が表示されます。

補足
・ 次の画面例は、コピー機能を認証する設定にした場合に、操作パネルの〈コピー〉ボタンで表示される画面です。

コピー

コピーを使用するために暗証番号入力を行うかどうかを設定します。

1. ［機能認証］画面で、［1. コピー］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［1. コピー］画面で、［認証しない］または［認証する］を選択します。
3. ［決定］を押します。



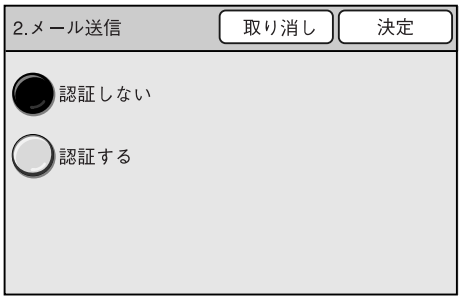
補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

メール送信

メール送信を使用するために暗証番号入力を行うかどうかを設定します。

1. ［機能認証］画面で、［2. メール送信］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［2. メール送信］画面で、［認証しない］または［認証する］を選択します。
3. ［決定］を押します。

補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

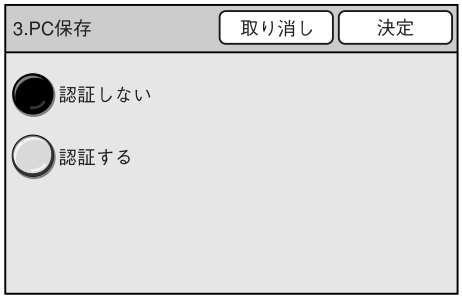


PC 保存

PC 保存を使用するために暗証番号入力を行うかどうかを設定します。

1. ［機能認証］画面で、［3.PC　保存］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［3.PC 保存］画面で、［認証しない］または［認証する］を選択します。
3. ［決定］を押します。

補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

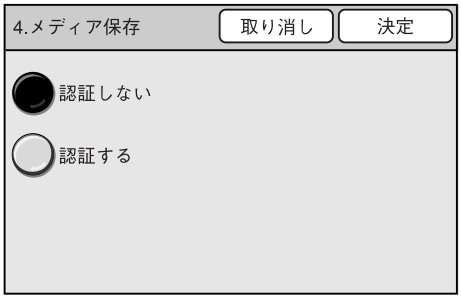


メディア保存

メディア保存を使用するために暗証番号入力を行うかどうかを設定します。

1. ［機能認証］画面で、［4. メディア保存］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［4.　メディア保存］画面で、［認証しない］または［認証する］を選択します。
3. ［決定］を押します。

補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

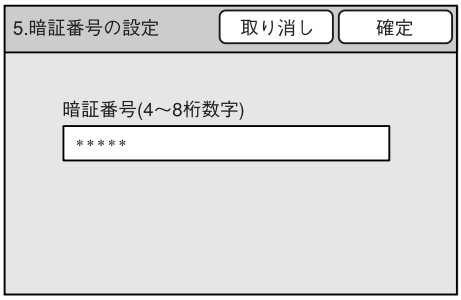


暗証番号の設定

暗証番号を４～８文字までの数字で入力します。

1. ［機能認証］画面で、［5. 暗証番号の設定］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［5. 暗証番号の設定］画面で、操作パネルの数字ボタンで、暗証番号を入力します。
3. ［決定］を押します。

補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。



その他の設定

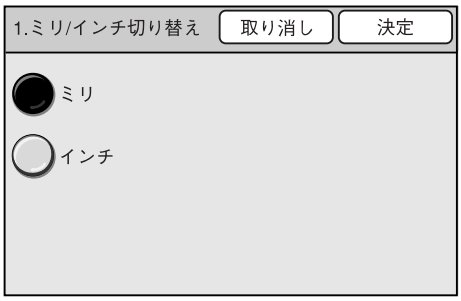
［共通設定］画面で、［その他の設定］を選択すると、［その他の設定］画面が表示されます。画面に表示される単位やサイズの種類を設定します。

ミリ / インチ切り替え

画面に表示される単位などの本機のシステムの動作単位をミリまたはインチに切り替えます。

1. ［その他の設定］画面で、［1. ミリ / インチ切り替え］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［1. ミリ / インチ切り替え］画面で、［ミリ］または［インチ］を選択します。
3. ［決定］を押します。

補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。



サイズ検知切り替え

定形サイズの原稿を自動的に検知するときの、原稿サイズを設定します。
AB 系、AB 系（八開 / 十六開）、インチ系から選択できます。
自動検知できるサイズの組み合わせについては、次の表を参考にしてください。

原稿サイズグループ	スキャナユニット PR-MW-SC50						スキャナユニット PR-MW-SC40					
	AB 系		AB 系（八開 / 十六開）		インチ系		AB 系		AB 系（八開 / 十六開）		インチ系	
セットする場所 / サイズ / 向き	原稿ガラス	自動原稿送り装置	原稿ガラス	自動原稿送り装置	原稿ガラス	自動原稿送り装置	原稿ガラス	自動原稿送り装置	原稿ガラス	自動原稿送り装置	原稿ガラス	自動原稿送り装置
A6 ▭	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	×
A6 ▯	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
A5 ▭	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×
A5 ▯	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×
A4 ▭	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×
A4 ▯	○	○	○	○	○	×	−	−	−	−	−	−
A3 ▭	○	○	○	○	○	×	−	−	−	−	−	−
B6 ▭	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	×
B6 ▯	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
B5 ▭	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×
B5 ▯	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
B4 ▭	○	○	○	○	○	○	−	−	−	−	−	−
5.5 × 8.5 ▭	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○
5.5 × 8.5 ▯	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×
7.25 × 10.5 ▯	×	×	×	×	○	×	−	−	−	−	−	−
8 × 10 ▭	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
8 × 10 ▯	×	×	×	×	×	×	−	−	−	−	−	−
8.5 × 11 ▭	×	×	×	×	○	○	×	×	○	×	○	○
8.5 × 11 ▯	○	×	○	×	○	○	−	−	−	−	−	−
8.5 × 13 ▭	×	×	×	×	×	×	−	×	−	×	−	×
8.5 × 14 ▭	×	×	×	×	○	×	−	×	−	×	−	×
11 × 15 ▭	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
11 × 17 ▭	○	×	○	×	○	○	×	×	×	×	×	×
十六開 ▭	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×
十六開 ▯	×	×	○	×	×	×	−	−	−	−	−	−
八開 ▭	×	×	○	×	×	×	−	−	−	−	−	−
郵便はがき ▭	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
郵便往復はがき ▭	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
定形長 3 号封筒 ▭	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
4 × 6 ▭	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×

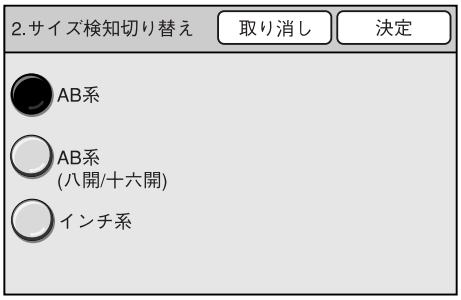
○：使用できる　×：使用できない　−：サポートしていない

1. ［その他の設定］画面で、［2. サイズ検知切り替え］を選択し、［確認 / 変更］を押します。

2. ［2. サイズ検知切り替え］画面で、［AB 系］、［AB 系（八開 / 十六開）］、［インチ系］のいずれかを選択します。

3. ［決定］を押します。

補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。



保守 / 診断

［共通設定］画面で、［保守 / 診断］を選択すると、［保守 / 診断］画面が表示されます。
ソフトウエアバージョン、エラー履歴、プリンター情報の確認や、宛先表の保守、NV メモリー（システムデータ）の初期化などを行います。

ソフトウエアバージョン

ソフトウエアバージョン情報を表示します。

補足
・ スキャナユニット PR-MW-SC40 の場合は、［DADF］の情報は表示されません。

1. ［保守 / 診断］画面で、［ソフトウエアバージョン］を押します。

2. ［ソフトウエアバージョン］画面で、内容を確認します。

3. ［閉じる］を押します。

エラー履歴

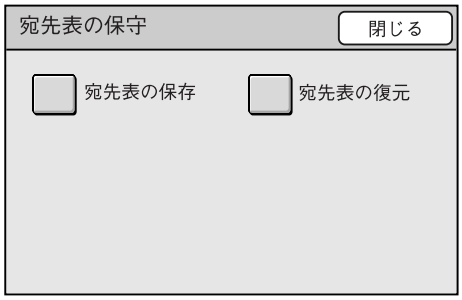
エラー履歴を表示します。

1. ［保守 / 診断］画面で、［エラー履歴］を押します。
2. ［エラー履歴］画面で、履歴の種類（[Error Log History]）を押します。
3. 履歴画面が表示されるので、内容を確認します。
4. ［閉じる］を押します。

宛先表の保守

本機内の宛先表を、本機に接続した USB フラッシュメモリーに保存します。また USB フラッシュメモリーから本機に宛先表を復元します(読み込みます)。

宛先の新規登録、追加登録を行った場合は、［宛先表の保存］を使って、宛先表のバックアップをとることをお勧めします。

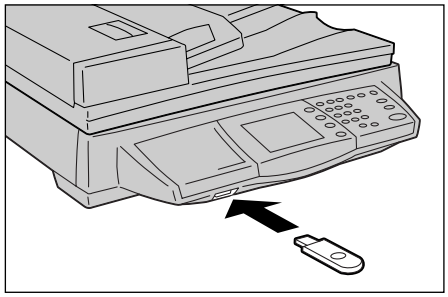


注記

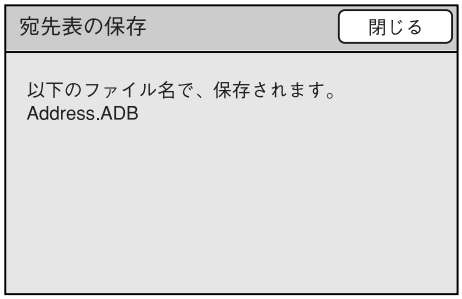
・ セキュリティー機能や書き込み禁止機能付きの USB フラッシュメモリーの場合、セキュリティー機能や書き込み禁止機能を有効にしていると、保存できません。

■ 宛先表を保存する

1. USB フラッシュメモリーを本機の USB コネクターに接続します。
2. ［保守 / 診断］画面で、［宛先表の保守］を押します。
3. ［宛先表の保守］画面で、［宛先表の保存］を選択します。



4. 保存確認のメッセージが表示されるので、操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。
5. 保存が完了するとメッセージが表示されます。



補足

・ 保存に失敗した場合は、保存できなかったことを知らせるメッセージが表示されます。もう一度保存し直してください。

6. ［閉じる］を押します。

■ 宛先表を復元する

次の 2 種類の復元方法があります。

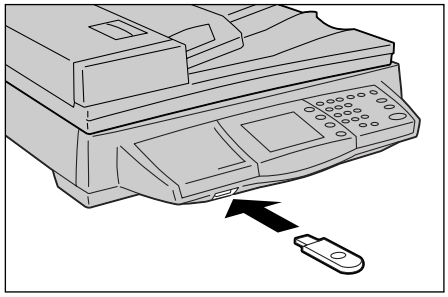
・[上書きモード]：

同じ登録番号の宛先があった場合、その宛先を上書きします。USB フラッシュメモリー内にある登録番号の宛先が本機内になかった場合、その宛先を追加します。本機内にあって、USBフラッシュメモリー内にない登録番号の宛先は、そのまま残ります。

・[置き換えモード]：

本機内の宛先はすべて削除され、USB フラッシュメモリー内の宛先が読み込まれます。

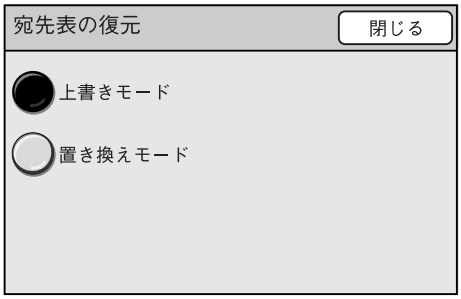
1. 宛先表が保存されている USB フラッシュメモリーを、本機の USB コネクターに挿入します。



2. [保守 / 診断] 画面で、[宛先表の保守] を押します。

3. [宛先表の保守] 画面で、[宛先表の復元] を選択します。

4. [宛先表の復元] 画面で、復元方法を選択し、操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。



5. 復元が完了するとメッセージが表示されます。

補足
・復元に失敗した場合は、復元できなかったことを知らせるメッセージが表示されます。もう一度復元し直してください。

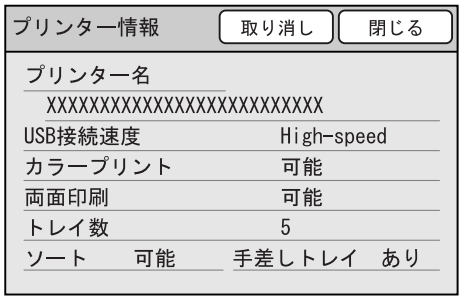
6. [閉じる] を押します。

プリンター情報

プリンター情報を表示します。
プリンター情報には、次の項目があります。

- プリンター名
- USB 接続速度
- カラー印刷の可 / 不可
- 両面印刷の可 / 不可
- トレイ数
- ソートの可 / 不可
- 手差しトレイの有無

1. ［保守 / 診断］画面で、［プリンター情報］を押します。
2. ［プリンター情報］画面で、内容を確認します。
3. ［閉じる］を押します。

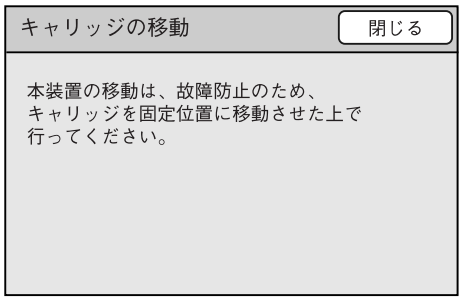


キャリッジの移動

キャリッジを移動します。本機を移動する場合は、故障防止のため、事前に［キャリッジの移動］でキャリッジを固定位置に移動してください。

参照
・ 本機の移動方法：「9.3 スキャナーを移動するときは」(P. 228)

1. ［保守 / 診断］画面で、［キャリッジの移動］を押します。
2. ［キャリッジの移動］画面で、操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。
3. キャリッジが移動します。
4. ［閉じる］を押します。



NVM 初期化

NV メモリー（システムデータ・登録データ）を初期化します。

NV メモリーとは、電源を切っても本機の設定内容を保持しておくことができる不揮発性のメモリーのことです。

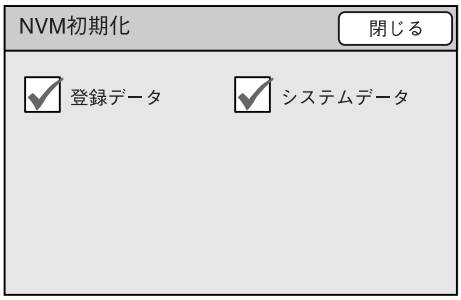
NV メモリーを初期化すると、各種設定項目は初期値に戻ります。

システムデータとは、仕様設定で設定されている設定値、CentreWare　Internet Services で設定した情報などの各種パラメータです。

登録データとは、本機内の宛先表、登録リスト（件名、コメント）に登録されているデータです。

参照
・ 仕様設定項目の一覧：「6.2 仕様設定項目一覧」(P. 134)
・ 宛先表の項目の一覧：「4.1 宛先表 / 登録リストの概要」(P. 116)

1. ［保守 / 診断］画面で、［NVM 初期化］を押します。
2. ［NVM 初期化］画面で、初期化したいデータの□を押し、チェックを付けます。［登録データ］と［システムデータ］の両方を選択することもできます。
3. ［閉じる］を押します。
4. 操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。
5. 初期化確認のメッセージが表示されるので、内容を確認し、［はい］を押します。
6. 初期化が完了すると［電源の切り / 入り］画面が表示されるので、電源を切ります。
7. 画面の表示が消えるのを確認して、電源を入れます。



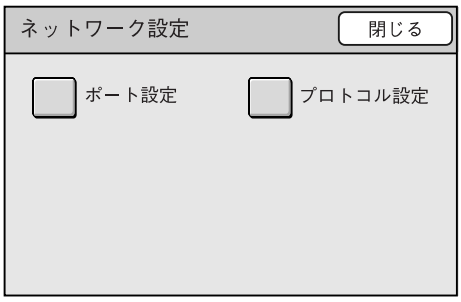
6.5 ネットワーク設定

［ネットワーク設定］には、ポートの起動 / 停止を設定する［ポート設定］と、その通信に必要な条件を設定する［プロトコル設定］があります。

補足
・ CentreWare Internet Services を使うと、さらに詳細なネットワーク設定ができます。

参照
・ CentreWare Internet Services の使用方法：「9.1 Web ブラウザーでスキャナーの状態を確認 / 管理する」(P. 218)

［仕様設定］画面で［ネットワーク設定］を選択して［ネットワーク設定］画面を表示し、設定します。
次に［ネットワーク設定］で設定できる各項目について説明します。



ポート設定

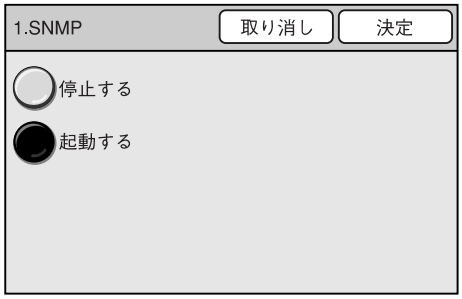
［ネットワーク設定］画面で［ポート設定］を選択すると、［ポート設定］画面が表示されます。
ポートの起動または停止を設定します。

SNMP

SNMP エージェント（SNMP ポート）の起動または停止を設定します。

1. ［ポート設定］画面で、［1.SNMP］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［1.SNMP］画面で、［停止する］または［起動する］を選択します。
3. ［決定］を押します。

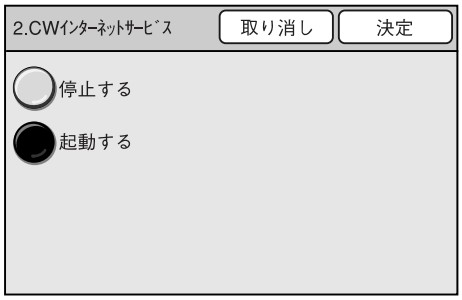
補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。



CW インターネットサービス

CentreWare Internet Services（HTTP ポート）の起動または停止を設定します。

1. ［ポート設定］画面で、［2.CW インターネットサービス］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［2.CW インターネットサービス］画面で、［停止する］または［起動する］を選択します。
3. ［決定］を押します。

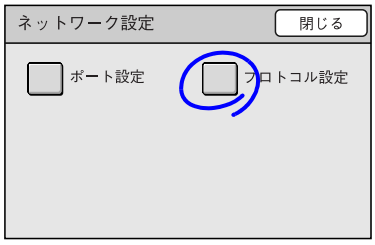


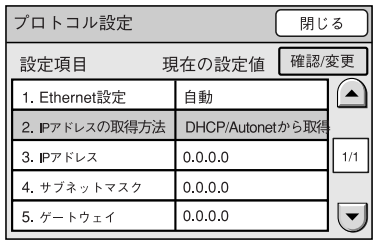
補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

プロトコル設定

［ネットワーク設定］画面で、［プロトコル設定］を選択すると、［プロトコル設定］画面が表示されます。

通信に必要な Ethernet ポートの設定や TCP/IP の設定（IP アドレス、IP アドレス取得方法、サブネットマスク、ゲートウエイ）を行います。





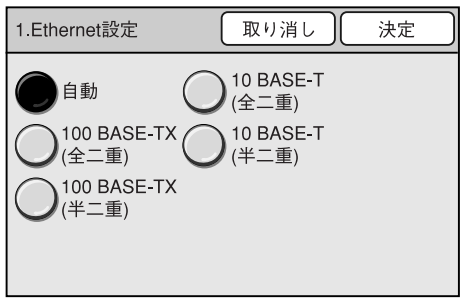
Ethernet 設定

Ethernet インターフェイスの通信速度の種類を設定します。

通信速度の種類は、［自動］、［100BASE-TX（全二重）］、［100BASE-TX（半二重）］、［10BASE-T（全二重）］、［10BASE-T（半二重）］から選択できます。

［自動］を選択すると、100BASE-TX（全二重）、100BASE-TX（半二重）、10BASE-T（全二重）、10BASE-T（半二重）を自動的に切り替えます。

1. ［プロトコル設定］画面で、［1.Ethernet 設定］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［1.Ethernet 設定］画面で、通信速度の種類を選択します。
3. ［決定］を押します。



補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

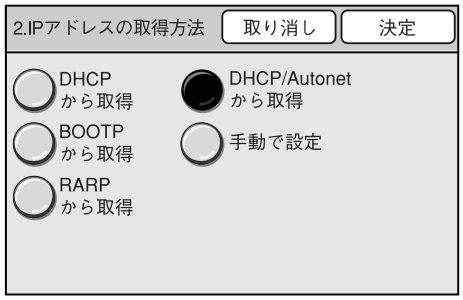
IP アドレスの取得方法

TCP/IP を使うために必要な情報（IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス）の取得方法を次の中から選択し、設定します。

- DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）から取得
- DHCP/Autonet から取得
- BOOTP から取得
- RARP から取得
- 手動で設定

補足
- 手動で設定するアドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。
- ［DHCP/Autonet から取得］を選択した場合、接続できる DHCP サーバーを検索し、DHCP サーバーが存在しないときは、本機自身で IP アドレスを割り振ります。
- ［DHCP から取得］を選択した場合、接続できる DHCP サーバーを検索し、DHCP サーバーが存在しないときは、TCP/IP での通信はできません。
- ［BOOTP から取得］を選択した場合、接続できる BOOTP サーバーを検索し、BOOTP サーバーが存在しないときは、TCP/IP での通信はできません。
- ［RARP から取得］を選択した場合、接続できる RARP サーバーを検索し、RARP サーバーが存在しないときは、TCP/IP での通信はできません。

1. ［プロトコル設定］画面で、［2.IP アドレスの取得方法］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［2.IP アドレスの取得方法］画面で、取得方法を選択します。
3. ［決定］を押します。

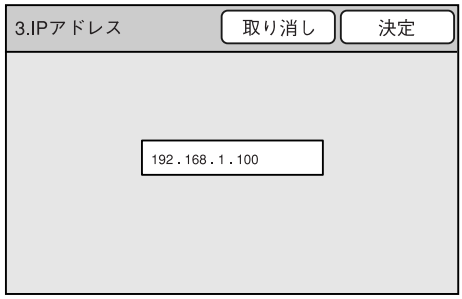


補足
- 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

IP アドレス

［IP アドレスの取得方法］が［手動で設定］の場合の、IP アドレスを設定します。
xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は 0 ～ 255 までの数値です。

1. ［プロトコル設定］画面で、［3.IP アドレス］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［3.IP アドレス］画面で、アドレスを、操作パネルの数字ボタンで入力します。
3. ［決定］を押します。

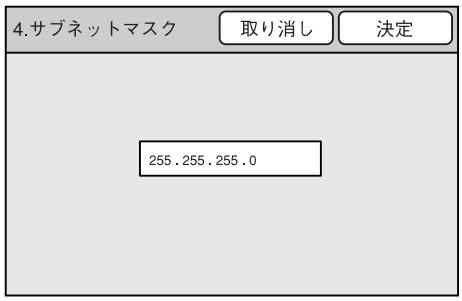


補足
- 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

サブネットマスク

[IP アドレスの取得方法］が［手動で設定］の場合の、サブネットマスクを設定します。
xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は 0 ～ 255 までの数値です。

1. ［プロトコル設定］画面で、[4. サブネットマスク]を選択し、[確認 / 変更]を押します。
2. ［4. サブネットマスク］画面で、アドレスを、操作パネルの数字ボタンで入力します。
3. ［決定］を押します。

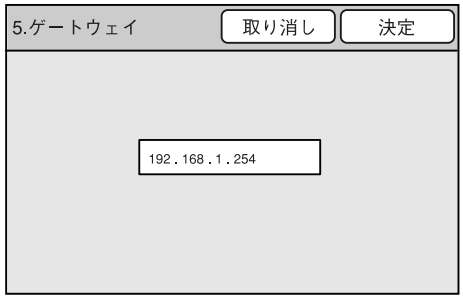


補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

ゲートウエイ

[IP アドレスの取得方法］が［手動で設定］の場合の、ゲートウエイを設定します。
xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は 0 ～ 255 までの数値です。

1. ［プロトコル設定］画面で、[5. ゲートウエイ］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［5. ゲートウエイ］画面で、アドレスを、操作パネルの数字ボタンで入力します。
3. ［決定］を押します。



補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

6.6 コピー設定

コピー機能の仕様にかかわる設定ができます。

表示される設定項目は、接続しているプリンターによって異なります。設定の前に接続しているプリンターの電源を入れてください。

注記

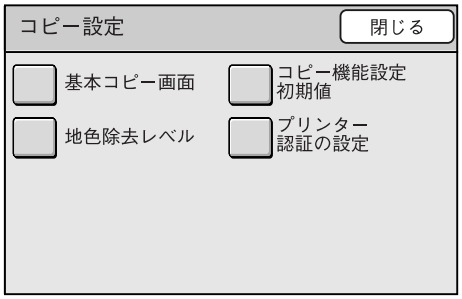
・ プリンターを接続していない場合、またはプリンターの電源を入れていない場合でもコピー設定はできますが、実際にコピー機能を使うときに、正しい値が表示されないことがあります。

補足

・ 接続しているプリンターの機種名を明記していない場合は、本機のコピー機能をすべて使用できるプリンターに接続している場合の画面例を記載しています。

[仕様設定]画面で[コピー設定]を選択して[コピー設定]画面を表示し、設定します。

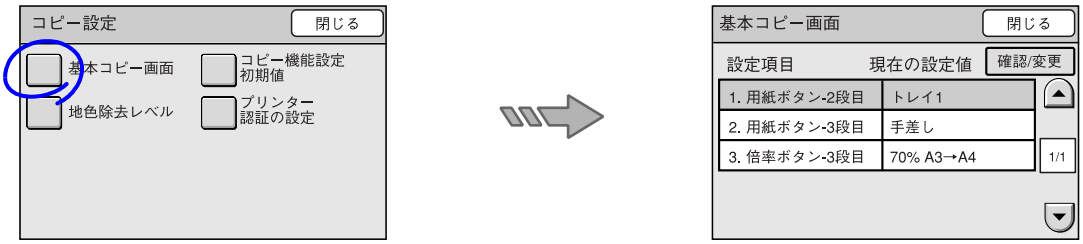
次に[コピー設定]で設定できる各項目について説明します。



基本コピー画面

[コピー設定]画面で、[基本コピー画面]を選択すると、[基本コピー画面]画面が表示されます。

コピー機能の[基本]画面に表示されるトレイや倍率が変更できます。よく使うトレイや倍率を設定しておくと、コピーのたびに選択する操作が省けます。



用紙ボタン -2 段目

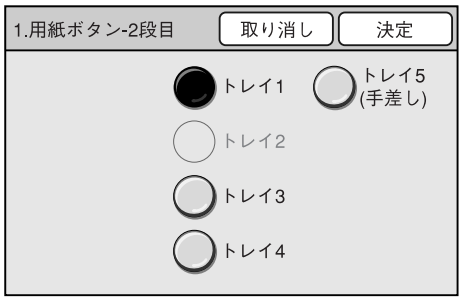
[基本] 画面の［用紙選択］に表示される 4 つの機能ボタンの、上から 2 段目の用紙トレイを設定できます。

トレイ 1 ～ 8 から設定できます。

補足
・［用紙ボタン -3 段目］と同じ用紙トレイは設定できません。
・ 接続しているプリンターのトレイの数だけ、ボタンが表示されます。

1. ［基本コピー画面］画面で、[1. 用紙ボタン -2段目]を選択し、[確認/変更]を押します。
2. ［1. 用紙ボタン -2 段目］画面で、トレイを選択します。
3. ［決定］を押します。

補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。



用紙ボタン -3 段目

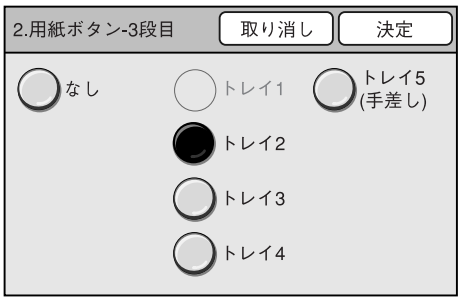
[基本] 画面の［用紙選択］に表示される 4 つの機能ボタンの、上から 3 段目の用紙トレイを設定できます。

トレイ 1 ～ 8 から設定できます。設定しない場合は、［なし］を選択してください。

補足
・［用紙ボタン -2 段目］と同じ用紙トレイは設定できません。
・ 接続しているプリンターのトレイの数だけ、ボタンが表示されます。

1. ［基本コピー画面］画面で、[2. 用紙ボタン -3段目]を選択し、[確認/変更]を押します。
2. ［2. 用紙ボタン -3 段目］画面で、トレイを選択します。
3. ［決定］を押します。

補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

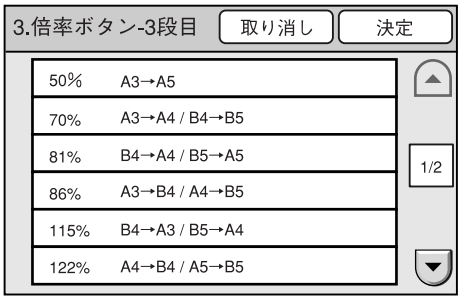


倍率ボタン -3 段目

［基本］画面の［倍率選択］に表示される 4 つの機能ボタンの、上から 3 段目の倍率を設定できます。

1. ［基本コピー画面］画面で、[3. 倍率ボタン -3段目]を選択し、[確認/変更]を押します。
2. ［3. 倍率ボタン -3 段目］画面で、倍率を選択します。
3. ［決定］を押します。

補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。



コピー機能設定初期値

［コピー設定］画面で、［コピー機能設定初期値］を選択すると、［コピー機能設定初期値］画面が表示されます。

コピー機能の初期値を設定します。

電源を入れたときや節電モード状態から復帰したとき、また〈リセット〉ボタンを押したときに、ここで設定されている初期値の状態に戻ります。

よく使う機能や値を初期値に設定しておくと、操作のたびに設定する操作が省けます。

補足
・ 設定項目や設定値は、接続しているプリンターの機能によって制限されます。本書では、本機のコピー機能をすべて使用できるプリンターに接続している場合の画面例を記載しています。

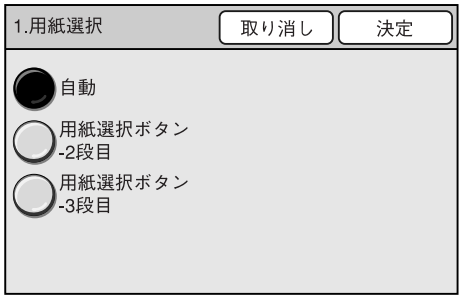
参照
・ コピー機能についての詳細：「3 コピーする」(P. 81)

用紙選択

［基本］画面にある、［用紙選択］の初期値を設定します。
［自動］、［用紙選択ボタン -2 段目］、［用紙選択ボタン -3 段目 ］から選択できます。

補足
・［倍率選択］の初期値を［自動 %］に設定している場合、［用紙選択］では［自動］を設定できません。

1. ［コピー機能設定初期値］画面で、［1. 用紙選択］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［1. 用紙選択］画面で、［自動］、［用紙選択ボタン -2 段目］、［用紙選択ボタン -3 段目］のいずれかを選択します。
3. ［決定］を押します。

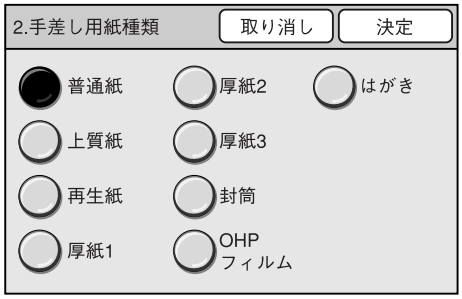


補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

手差し用紙種類

［手差し］画面の用紙種類の初期値を設定します。

1. ［コピー機能設定初期値］画面で、［2. 手差し用紙種類］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［2. 手差し用紙種類］画面で、用紙種類を選択します。
3. ［決定］を押します。

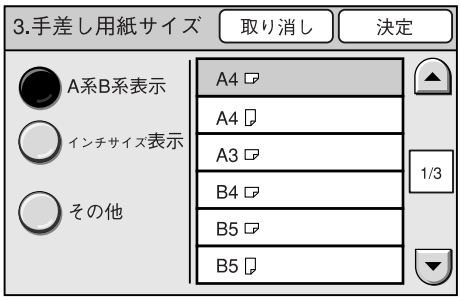


補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

手差し用紙サイズ

［手差し］画面の用紙サイズの初期値を設定します。

1. ［コピー機能設定初期値］画面で、［3. 手差し用紙サイズ］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［3. 手差し用紙サイズ］画面で、［A 系 B 系表示］、［インチサイズ表示］、［その他］からサイズの種類を選択します。
3. 用紙サイズを選択します。
4. ［決定］を押します。



補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

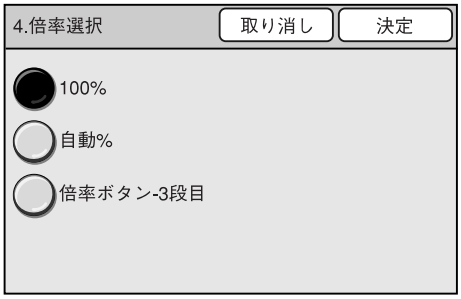
倍率選択

[基本] 画面にある、[倍率選択] の初期値を設定します。
[100%]、[自動]、[倍率ボタン -3 段目] から選択できます。

補足
・[用紙選択] の初期値を [自動] に設定している場合、[倍率選択] では [自動%] を設定できません。

1. [コピー機能設定初期値] 画面で、[4. 倍率選択] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [4. 倍率選択] 画面で、倍率を選択します。
3. [決定] を押します。

補足
・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

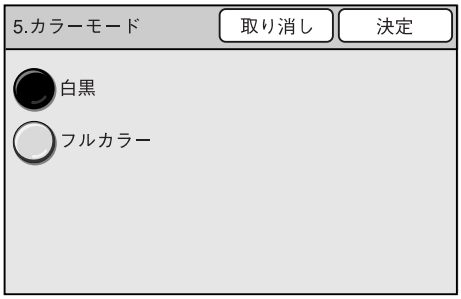


カラーモード

[基本] 画面にある、[カラーモード] の初期値を設定します。
[白黒]、[フルカラー] から選択できます。

1. [コピー機能設定初期値]画面で、[5. カラーモード]を選択し、[確認/変更]を押します。
2. [5. カラーモード] 画面で、カラーモードを選択します。
3. [決定] を押します。

補足
・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



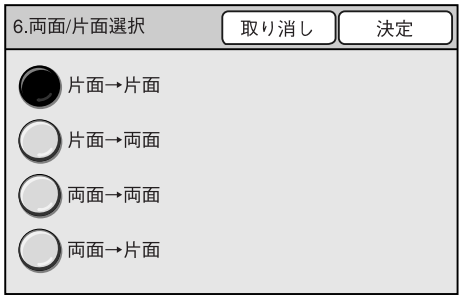
両面 / 片面選択

[基本] 画面にある、[両面 / 片面選択] の初期値を設定します。
[片面→片面]、[片面→両面]、[両面→両面]、[両面→片面] から選択できます。

補足
・[両面→両面]、[片面→両面] は、接続しているプリンターに両面印刷機能がある場合にだけ有効です。

1. [コピー機能設定初期値] 画面で、[6. 両面 / 片面選択] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [6. 両面 / 片面選択] 画面で、両面 / 片面の設定を選択します。
3. [決定] を押します。

補足
・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

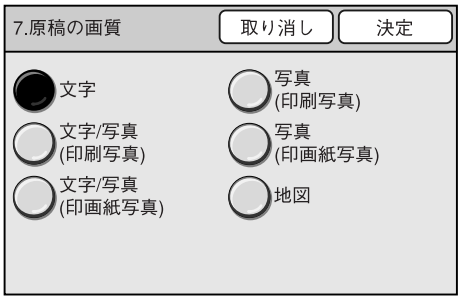


原稿の画質

[基本] 画面または [画質調整] 画面にある、[原稿の画質] の初期値を設定します。
[文字]、[文字 / 写真（印刷写真）]、[文字 / 写真（印画紙写真）]、[写真（印刷写真）]、[写真（印画紙写真）]、[地図] から選択できます。

1. [コピー機能設定初期値] 画面で、[7. 原稿の画質]を選択し、[確認 / 変更]を押します。
2. [7. 原稿の画質]画面で、画質を選択します。
3. [決定] を押します。

補足
・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

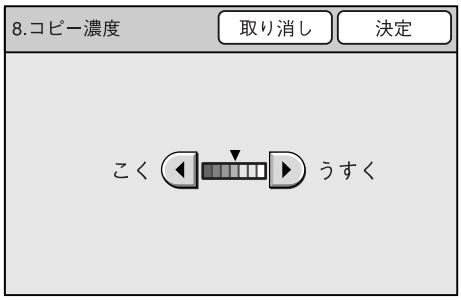


コピー濃度

[基本] 画面にある、[コピー濃度] の初期値を設定します。
[こく] ～ [うすく] まで 7 段階で設定できます。

1. [コピー機能設定初期値]画面で、[8. コピー濃度] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [8. コピー濃度] 画面で、[◀] / [▶] を押して濃度を設定します。
3. [決定] を押します。

補足
・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

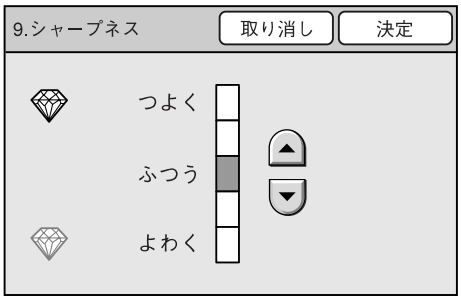


シャープネス

[画質調整] 画面にある、[シャープネス] の初期値を設定します。
[つよく] ～ [よわく] まで 5 段階で設定できます。

1. [コピー機能設定初期値]画面で、[9. シャープネス]を選択し、[確認 / 変更]を押します。
2. [9. シャープネス] 画面で、[▲] / [▼] を押してシャープネスを設定します。
3. [決定] を押します。

補足
・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



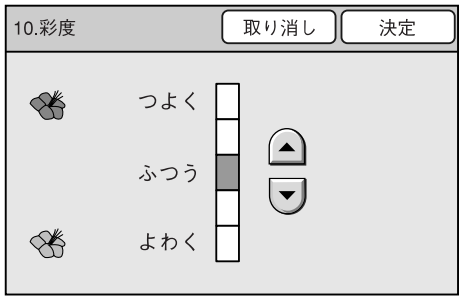
彩度

[画質調整] 画面にある、[彩度] の初期値を設定します。
[つよく] ～ [よわく] まで 5 段階で設定できます。

補足
・ この設定は、接続しているプリンターがカラープリンターの場合にだけ有効です。

1. [コピー機能設定初期値] 画面で、[10. 彩度] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [10. 彩度] 画面で、[▲] / [▼] を押して彩度を設定します。
3. [決定] を押します。

補足
・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

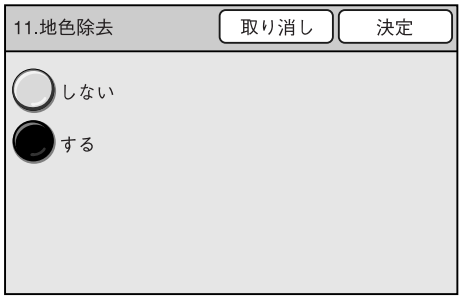


地色除去

[画質調整] 画面にある、[地色除去] の初期値を設定します。

1. [コピー機能設定初期値] 画面で、[11. 地色除去]を選択し、[確認 / 変更]を押します。
2. [11. 地色除去] 画面で、[しない] または [する] を選択します。
3. [決定] を押します。

補足
・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



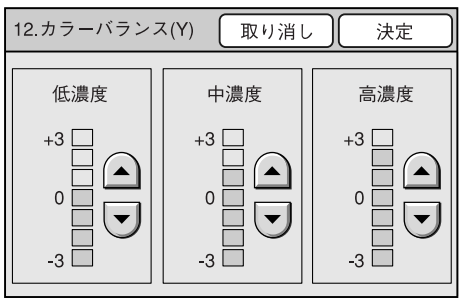
カラーバランス（Y/M/C/K）

[画質調整] 画面にある、[カラーバランス（Y）] ～ [カラーバランス（K）] の初期値を設定します。
低濃度、中濃度、高濃度ごとに、7 段階で設定できます。

補足
・ この設定は、接続しているプリンターがカラープリンターの場合にだけ有効です。

1. [コピー機能設定初期値] 画面で、[12. カラーバランス（Y)] ～ [15. カラーバランス（K)] のいずれかを選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [12. カラーバランス（Y)] ～ [15. カラーバランス（K）] 画面で、[低濃度]、[中濃度]、[高濃度] に、[▲] / [▼] を押して濃度を設定します。
3. [決定] を押します。

補足
・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

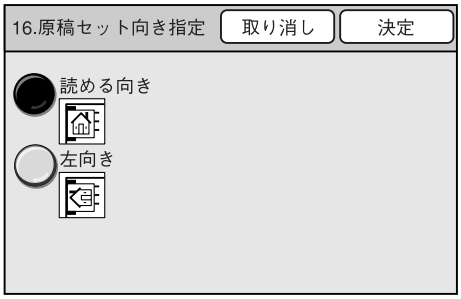


原稿セット向き指定

[その他] 画面にある、[原稿セット向き] の初期値を設定します。
[読める向き] または [左向き] を選択できます。

参照
・[読める向き]、[左向き]:「原稿セット向き指定（セットした原稿の向きを指定する）」(P. 109)

1. [コピー機能設定初期値] 画面で、[16. 原稿セット向き指定] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [16. 原稿セット向き指定] 画面で、[読める向き] または [左向き] を選択します。
3. [決定] を押します。



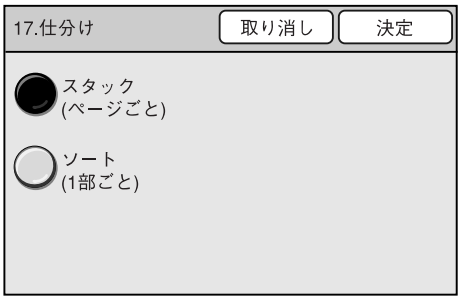
補足
・設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

仕分け

[その他] 画面にある、[仕分け] の初期値を設定します。
[スタック（ページごと)] または [ソート（1 部ごと)] から選択できます。

補足
・この設定は、接続しているプリンターに仕分け機能があり、増設ハードディスクを装着しているプリンターの場合にだけ表示されます。

1. [コピー機能設定初期値] 画面で、[17. 仕分け] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [17. 仕分け] 画面で、[スタック（ページごと)] または [ソート（1 部ごと)] を選択します。
3. [決定] を押します。

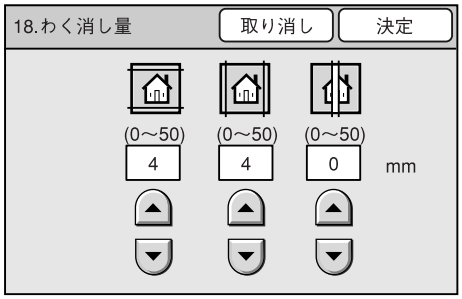


補足
・設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

わく消し量

[その他] 画面にある、[わく消し] の初期値を設定します。
原稿の上下、中央、左右ごとに、消し量を 0 ～ 50mm の範囲で 1mm 単位で設定できます。

1. [コピー機能設定初期値] 画面で、[18. わく消し量] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [18. わく消し量] 画面で、上下、中央、左右で、[▲] / [▼] を押して消し量を設定します。
3. [決定] を押します。



補足
・設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

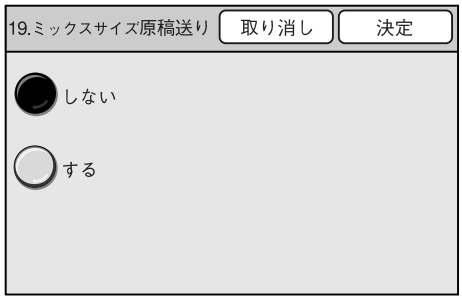
ミックスサイズ原稿送り

［その他］画面にある、［ミックスサイズ原稿送り］の初期値を設定します。

補足
・この設定は、スキャナユニット PR-MW-SC50 の場合にだけ表示されます。

1. ［コピー機能設定初期値］画面で、［19. ミックスサイズ原稿送り］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［19. ミックスサイズ原稿送り］画面で、［しない］または［する］を選択します。
3. ［決定］を押します。

補足
・設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。



地色除去レベル

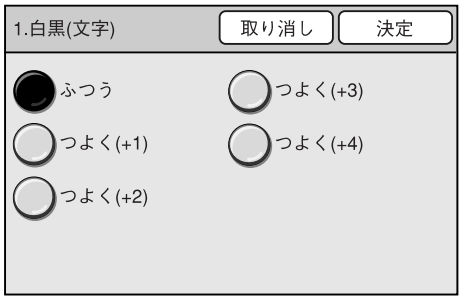
［コピー設定］画面で、［地色除去レベル］を選択すると、［地色除去レベル］画面が表示されます。
［画質調整］画面にある、［地色除去］の初期値を、原稿の種類ごとに設定します。
地色除去レベルは、ふつう、つよく（+1）、つよく（+2）、つよく（+3）、つよく（+4）の 5 段階で設定できます。

白黒（文字）

原稿が白黒の［文字］の場合の地色除去レベルの初期値を設定します。

1. ［地色除去レベル］画面で、［1. 白黒 (文字)］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［1. 白黒（文字)］画面で、地色除去レベルを選択します。
3. ［決定］を押します。

補足
・設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

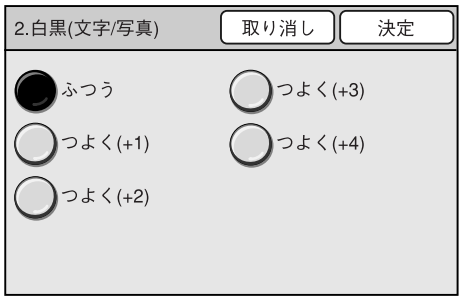


白黒（文字 / 写真）

原稿が白黒の［文字 / 写真］の場合の地色除去レベルの初期値を設定します。

1. ［地色除去レベル］画面で、[2. 白黒（文字/写真)]を選択し、[確認/変更]を押します。
2. ［2. 白黒（文字 / 写真)］画面で、地色除去レベルを選択します。
3. ［決定］を押します。

補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

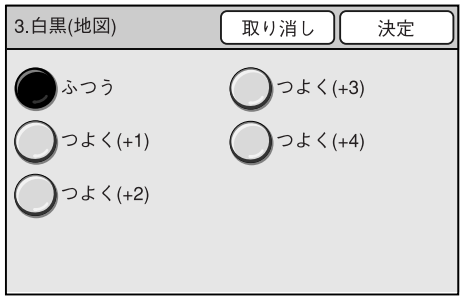


白黒（地図）

原稿が白黒の［地図］の場合の地色除去レベルの初期値を設定します。

1. ［地色除去レベル］画面で、[3. 白黒（地図)］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［3. 白黒（地図)］画面で、地色除去レベルを選択します。
3. ［決定］を押します。

補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

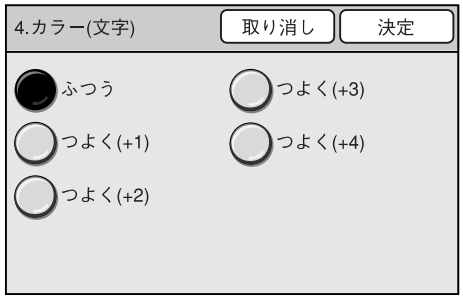


カラー（文字）

原稿がカラーの［文字］の場合の地色除去レベルの初期値を設定します。

1. ［地色除去レベル］画面で、[4. カラー（文字)］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［4. カラー（文字)］画面で、地色除去レベルを選択します。
3. ［決定］を押します。

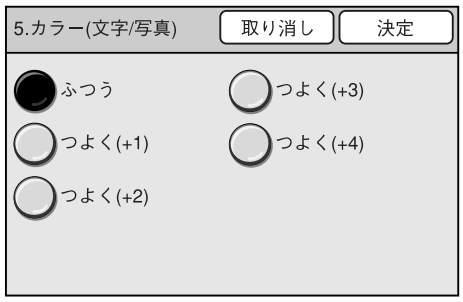
補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。



カラー（文字 / 写真）

原稿がカラーの［文字 / 写真］の場合の地色除去レベルの初期値を設定します。

1. ［地色除去レベル］画面で、［5. カラー（文字 / 写真)］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［5. カラー（文字 / 写真)］画面で、地色除去レベルを選択します。
3. ［決定］を押します。

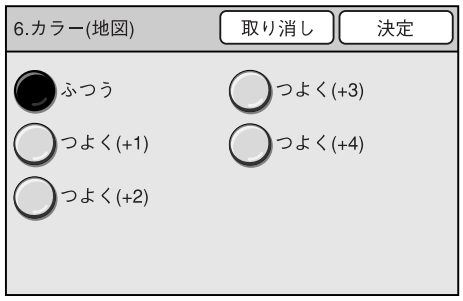


補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

カラー（地図）

原稿がカラーの［地図］の場合の地色除去レベルの初期値を設定します。

1. ［地色除去レベル］画面で、［6. カラー（地図)］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［6. カラー（地図)］画面で、地色除去レベルを選択します。
3. ［決定］を押します。

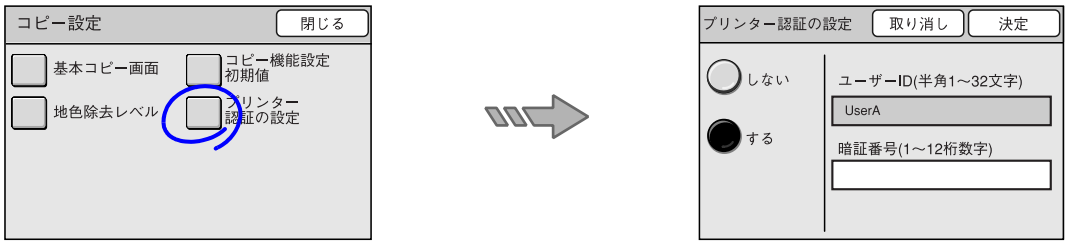


補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

プリンター認証の設定

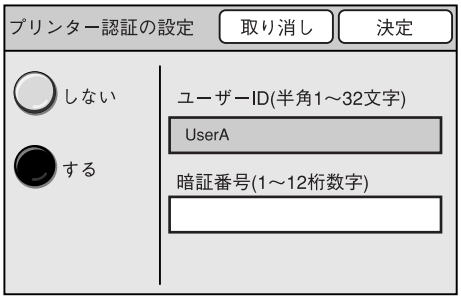
［コピー設定］画面で、［プリンター認証の設定］を選択すると、［プリンター認証の設定］画面が表示されます。

接続しているプリンターがユーザー認証機能を利用している場合に、そのユーザー ID と暗証番号を設定します。



注記

・次の場合、コピー機能を使用すると、エラーになります。
　・プリンターに設定されている内容と異なるユーザー ID や暗証番号を設定している。
　・ユーザー ID や暗証番号が設定されているプリンターを接続しているのに、［プリンター認証の設定］で［しない］を設定している。



1. ［コピー設定］画面で、［プリンター認証の設定］を選択します。
2. ［プリンター認証の設定］画面で、［しない］または［する］を選択します。
3. ［する］を選択した場合は、［ユーザー ID］に、操作パネルの数字ボタンを使って、半角 1 ～ 32 文字以内でユーザーID を入力します。
   次に、［暗証番号］に、操作パネルの数字ボタンを使って、1 ～ 12 文字以内の数字で暗証番号を入力します。
4. ［決定］を押します。

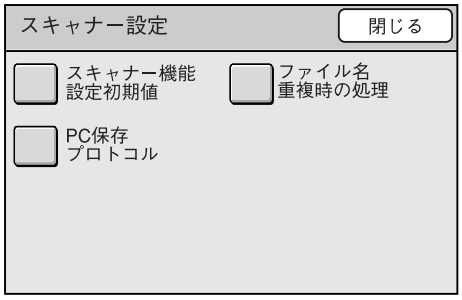
補足

・設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

6.7 スキャナー設定

スキャナー機能の仕様にかかわる設定ができます。

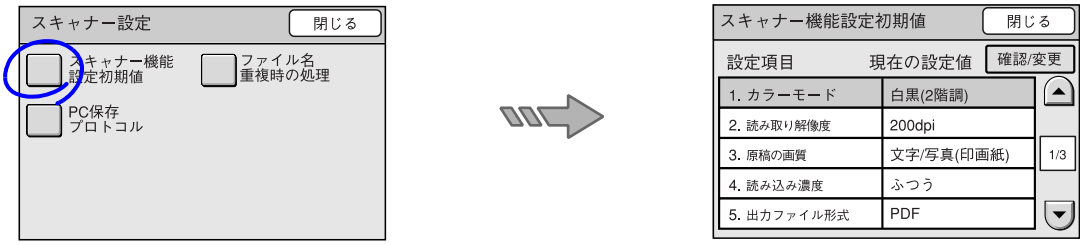
[仕様設定]画面で[スキャナー設定]を選択して[スキャナー設定]画面を表示し、設定します。
次に[スキャナー設定]で設定できる各項目について説明します。



スキャナー機能設定初期値

[スキャナー設定]画面で、[スキャナー機能設定初期値]を選択すると、[スキャナー機能設定初期値]画面が表示されます。
スキャナー機能の初期値を設定します。
電源を入れたときや節電モード状態から復帰したとき、また〈リセット〉ボタンを押したときに、ここで設定されている初期値の状態に戻ります。
よく使う機能や値を初期値に設定しておくと、スキャンのたびに設定する操作が省けます。

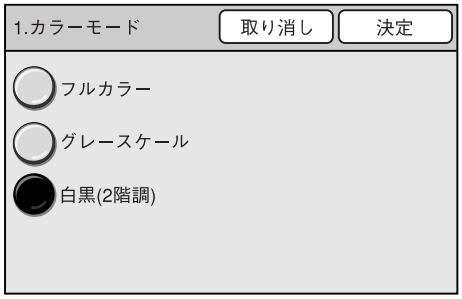
参照
・ スキャナー機能についての詳細：「2 スキャンする」(P. 32)



カラーモード

[基本スキャン]画面にある、[カラーモード]の初期値を設定します。
[フルカラー]、[グレースケール]、[白黒（2 階調)]から選択できます。

1. [スキャナー機能設定初期値]画面で、[1. カラーモード]を選択し、[確認 / 変更]を押します。
2. [1. カラーモード]画面で、カラーモードを選択します。
3. [決定]を押します。



補足
・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し]を押します。

読み取り解像度

［その他］画面にある、［読み取り解像度］の初期値を設定します。
解像度は、［200dpi］、［300dpi］、［400dpi］、［600dpi］から選択できます。

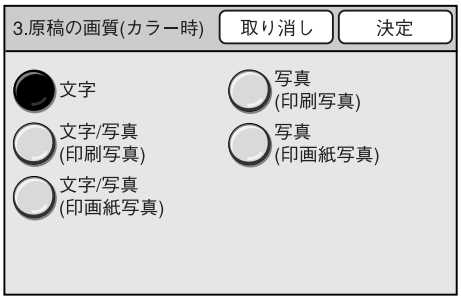
1. ［スキャナー機能設定初期値］画面で、［2. 読み取り解像度］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［2. 読み取り解像度］画面で、解像度を選択します。
3. ［決定］を押します。

補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

原稿の画質

［基本スキャン］画面にある、［原稿の画質］の初期値を設定します。
［文字］、［文字 / 写真（印刷写真）］、［文字 / 写真（印画紙写真）］、［写真（印刷写真）］、［写真（印画紙写真）］から選択できます。

1. ［スキャナー機能設定初期値］画面で、［3. 原稿の画質］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［3. 原稿の画質］画面で、画質を選択します。
3. ［決定］を押します。

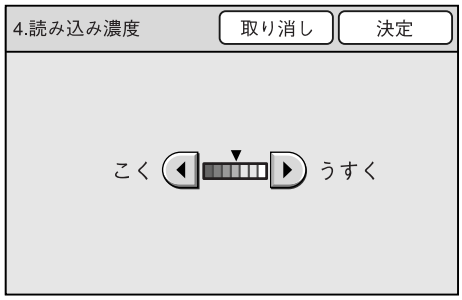


補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

読み込み濃度

［基本スキャン］画面にある、［読み込み濃度］の初期値を設定します。
［こく］～［うすく］まで 7 段階で設定できます。

1. ［スキャナー機能設定初期値］画面で、［4. 読み込み濃度］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［4. 読み込み濃度］画面で、［◀］/［▶］を押して濃度を設定します。
3. ［決定］を押します。



補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

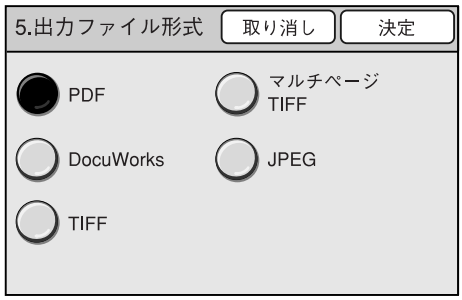
出力ファイル形式

［基本スキャン］画面にある、［出力ファイル形式］の初期値を設定します。
次の 5 種類のファイル形式から選択できます。

- PDF
- DocuWorks
- TIFF
- マルチページ TIFF
- JPEG

補足
・［カラーモード］に［白黒］を設定している場合は、［JPEG］は選択できません。

1. ［スキャナー機能設定初期値］画面で、［5. 出力ファイル形式］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［5. 出力ファイル形式］画面で、ファイル形式を選択します。
3. ［決定］を押します。



補足
・設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

TIFF ファイル形式

［基本スキャン］画面にある、［出力ファイル形式］の TIFF のファイル形式の初期値を設定します。
お使いになるアプリケーションソフトウエアによって、スキャンデータを読み込むときの、TIFF の形式を設定します。[TIFF V6］または［TTN2］から選択できます。

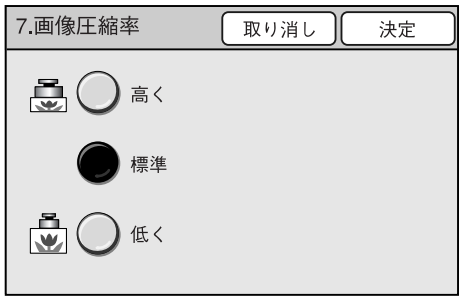
1. ［スキャナー機能設定初期値］画面で、［6.TIFF ファイル形式］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［6.TIFF ファイル形式］画面で、ファイル形式を選択します。
3. ［決定］を押します。

補足
・設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

画像圧縮率

［その他］画面にある、［画像圧縮率］の初期値を設定します。
圧縮率は、［高く］、［標準］、［低く］から選択できます。

1. ［スキャナー機能設定初期値］画面で、［7. 画像圧縮率］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［7. 画像圧縮率］画面で、圧縮率を選択します。
3. ［決定］を押します。



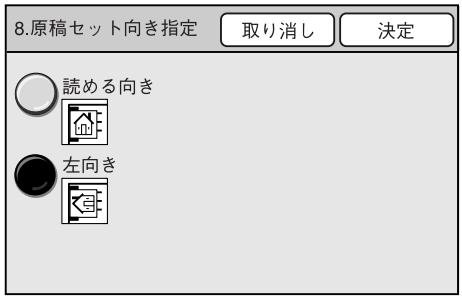
補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

原稿セット向き指定

［その他］画面にある、［原稿セット向き指定］の初期値を設定します。
［読める向き］または［左向き］を選択できます。

参照
・［読める向き］、［左向き］:「原稿セット向き指定（セットした原稿の向きを指定する）」(P. 109)

1. ［スキャナー機能設定初期値］画面で、［8. 原稿セット向き指定］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［8. 原稿セット向き指定］画面で、［読める向き］または［左向き］を選択します。
3. ［決定］を押します。

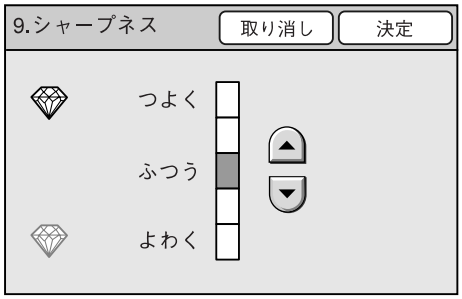


補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

シャープネス

［その他］画面にある、［シャープネス］の初期値を設定します。
［つよく］～［よわく］まで 5 段階で設定できます。

1. ［スキャナー機能設定初期値］画面で、［9. シャープネス］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［9. シャープネス］画面で、［▲］/［▼］を押してシャープネスを設定します。
3. ［決定］を押します。

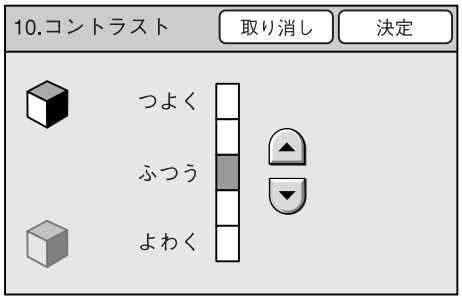


補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

コントラスト

［その他］画面にある、［コントラスト］の初期値を設定します。
［つよく］～［よわく］まで 5 段階で設定できます。

1. ［スキャナー機能設定初期値］画面で、［10. コントラスト］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［10. コントラスト］画面で、［▲］/［▼］を押してコントラストを設定します。
3. ［決定］を押します。



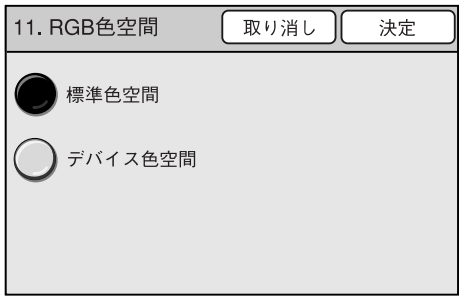
補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

RGB 色空間

カラーモードが［フルカラー］の場合の色空間を設定します。
［標準色空間］または［デバイス色空間］から選択できます。
［標準色空間］の場合、スキャンしたデータの色空間は、sRGB に準拠します。
［デバイス色空間］で出力を行う場合、プロファイルデータを使って、画像の補正を行うことができます。高度な色処理をする場合にご利用ください。

補足
・ カラーマネージメント用のプロファイルデータは、ソフトウェア CD-ROM に格納されています。

1. ［スキャナー機能設定初期値］画面で、［11.RGB 色空間］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［11.RGB 色空間］画面で、色空間を選択します。
3. ［決定］を押します。

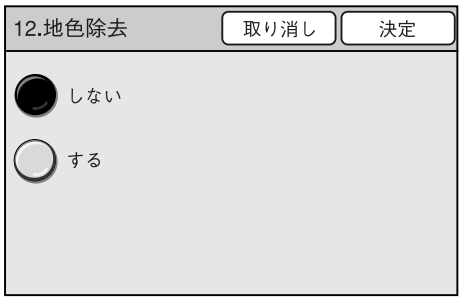


補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

地色除去

［その他］画面にある、［地色除去］の初期値を設定します。

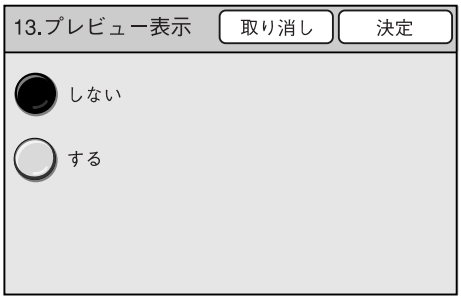
1. ［スキャナー機能設定初期値］画面で、［12. 地色除去］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［12. 地色除去］画面で、［しない］または［する］を選択します。
3. ［決定］を押します。



補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

プレビュー表示

［メール宛先］画面、［PC 保存先］画面、［保存先］画面にある［プレビュー］の初期値を設定します。

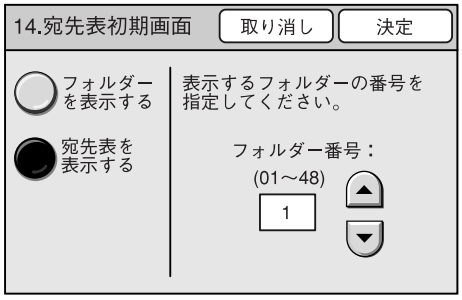


1. ［スキャナー機能設定初期値］画面で、［13. プレビュー表示］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［13. プレビュー表示］画面で、［しない］または［する］を選択します。
3. ［決定］を押します。

補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

宛先表初期画面

［宛先表. . .］ボタンや〈宛先表〉ボタンが押されたときに表示される、宛先表の画面の初期値を設定します。
［宛先表フォルダー］画面または指定したフォルダー内の［宛先表］画面を設定できます。



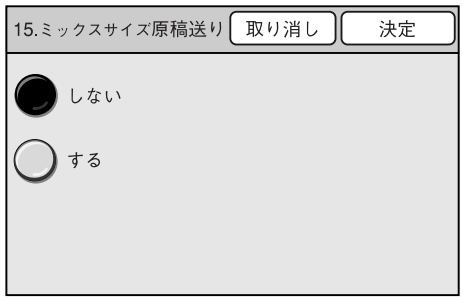
1. ［スキャナー機能設定初期値］画面で、［14. 宛先表初期画面］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［14. 宛先表初期画面］画面で、［フォルダーを表示する］または［宛先表を表示する］を選択します。
3. ［宛先表を表示する］を選択した場合は、［フォルダー番号］で、［▲］/［▼］を押して番号を指定します。
4. ［決定］を押します。

補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

ミックスサイズ原稿送り

［その他］画面にある、［ミックスサイズ原稿送り］の初期値を設定します。

補足
・ この設定は、スキャナユニット PR-MW-SC50 の場合にだけ表示されます。



1. ［スキャナー機能設定初期値］画面で、［15. ミックスサイズ原稿送り］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［15. ミックスサイズ原稿送り］画面で、［しない］または［する］を選択します。
3. ［決定］を押します。

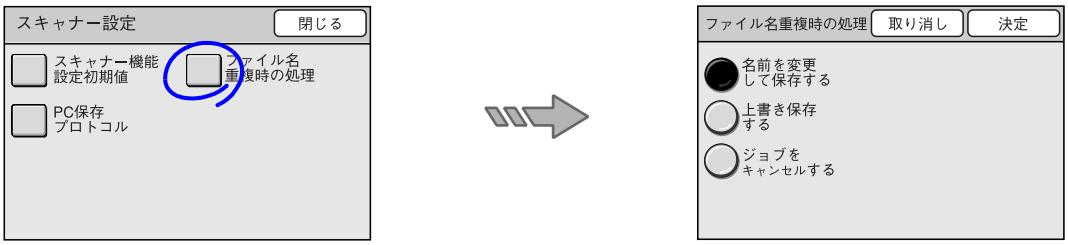
補足
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

ファイル名重複時の処理

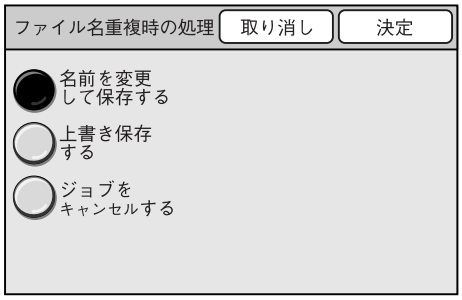
［スキャナー設定］画面で、［ファイル重複時の処理］を選択すると、［ファイル重複時の処理］画面が表示されます。

PC 保存の［ファイル名重複時の処理］の初期値を設定します。

［名前を変更して保存する］、［上書き保存する］、［ジョブをキャンセルする］から処理を選択できます。



1. ［ファイル名重複時の処理］画面で、処理を選択し、［決定］を押します。



補足

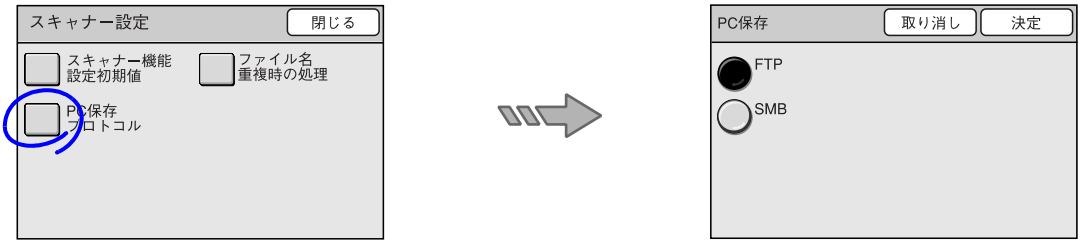
・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

PC 保存プロトコル

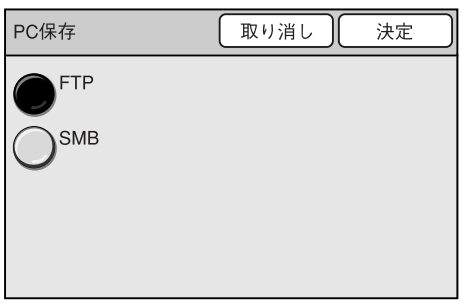
［スキャナー設定］画面で、［PC 保存プロトコル］を選択すると、［PC 保存］画面が表示されます。

PC 保存のプロトコルの初期値を設定します。

［FTP］または［SMB］から選択できます。



1. ［PC　保存］画面で、プロトコルを選択し、［決定］を押します。



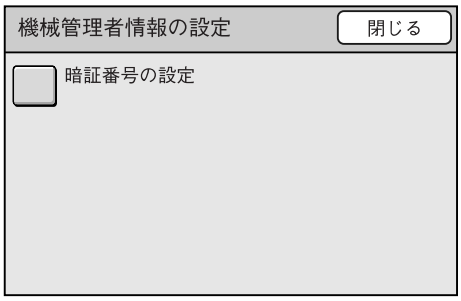
補足

・ 設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

6.8 機械管理者情報の設定

［仕様設定］画面での設定変更を認証するための機械管理者暗証番号を設定できます。
設定変更の防止やセキュリティー確保のために、機械管理者暗証番号の設定をお勧めします。

［仕様設定］画面で［機械管理者情報の設定］を選択して［機械管理者情報の設定］画面を表示し、設定します。
次に［機械管理者情報の設定］で設定できる項目について説明します。

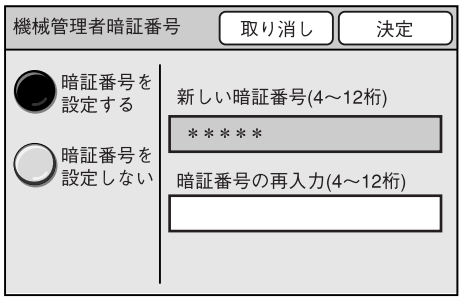


暗証番号の設定

機械管理者暗証番号を設定します。4 ～ 12 文字までの数字で入力できます。

補足
・機械管理者暗証番号 の初期値は、「11111」です。

1. ［機械管理者情報の設定］画面で、［暗証番号の設定］を選択します。
2. ［機械管理者暗証番号］画面で、［暗証番号を設定する］または［暗証番号を設定しない］を選択します。
3. ［暗証番号を設定する］を選択した場合は、［新しい暗証番号］に、操作パネルの数字ボタンを使って、暗証番号を入力します。
   次に、［暗証番号の再入力］に、もう一度暗証番号を入力します。
4. ［決定］を押します。



補足
・設定内容を取り消す場合は、［取り消し］を押します。

7 MultiWriter スキャンマネージャ

本書では、MultiWriter スキャンマネージャの、一部の機能と操作について説明します。

参照
・ MultiWriter スキャンマネージャのインストール :『ソフトウェア CD-ROM 操作ガイド』
・ MultiWriter スキャンマネージャの詳細 :『MultiWriter スキャンマネージャのオンラインヘルプ』

7.1 MultiWriter スキャンマネージャとは

MultiWriter スキャンマネージャは、コンピューターに取り込んだスキャンデータに対して、傾き補正やノイズ除去など画像を編集するソフトウエアです。また、PC 保存やメール送信で使用する宛先を、スキャナーの宛先表に登録できます。

MultiWriter スキャンマネージャでできること

MultiWriter スキャンマネージャには、3 つのツールがあり、目的に応じて使い分けます。

■ MultiWriter スキャンマネージャ

複数の画像ファイルをまとめて編集したいときは、[MultiWriter スキャンマネージャ] ウィンドウで編集します。また、エクスプローラーのような使い勝手で、ファイルやフォルダーを操作できます。

・ 画像ファイルの傾き補正、ノイズ除去、回転ができます。

・ 編集できるファイルは、スキャナユニット PR-MW-SC50/PR-MW-SC40 でスキャンした、次の形式のファイルです。ノイズ除去できるのは、白黒画像だけです。
  - JPEG(JFIF) 形式 : 拡張子「.jpg」「.jpeg」「.jpe」「.jfif」
  - TIFF 形式 : 拡張子「.tif」「.tiff」

・ フォルダー内のファイルを一覧表示できます。また、次の形式のファイルは、1 ページめをサムネール表示（縮小画像）できます。
  - JPEG(JFIF) 形式 : 拡張子「.jpg」「.jpeg」「.jpe」「.jfif」
  - TIFF 形式 : 拡張子「.tif」「.tiff」
  - PDF 形式 : 拡張子「.pdf」
  - DocuWorks 文書形式 : 拡張子「.xdw」

補足
・ DocuWorks 文書をサムネール表示するには、DocuWorks Viewer Light for Web 6.0.2 以降が必要です。DocuWorks Viewer Light for Web 6.0.2 は、ソフトウェア CD-ROM からインストールできます。
・ DocuWorks は Windows NT に対応していないため、Windows NT では、DocuWorks 文書をサムネール表示できません。

■ MultiWriter スキャンビューワ

画像を 1 つずつ表示して、確認しながらの編集、部分的な削除、印刷は [MultiWriter スキャンビューワ] ウィンドウで行います。

画像ファイルの傾き補正、ノイズ除去、回転、縮小 / 拡大、範囲指定削除 / 保存ができます。

編集できるファイルは、スキャナユニット PR-MW-SC50/PR-MW-SC40 でスキャンした、次の形式のファイルです。ノイズ除去できるのは、白黒画像だけです。

・ JPEG(JFIF) 形式 : 拡張子「.jpg」「.jpeg」「.jpe」「.jfif」

・ TIFF 形式 : 拡張子「.tif」「.tiff」

■ MultiWriter スキャン宛先表ツール

スキャナーでメール送信や PC 保存をするときに使用する宛先表に、宛先を登録、変更、削除できます。

スキャナーの操作パネルで宛先を入力することもできますが、その都度入力するよりも、宛先表を利用すると短時間で設定できます。

また、スキャナーでメール送信するときの、メールの件名とコメント（本文）も登録できます。スキャナーの操作パネルでは漢字を入力できません。メールの件名やコメントに漢字を使用したい場合は、宛先表ツールで登録し、スキャナーで選択します。

MultiWriter スキャンマネージャとスキャン操作の流れ

「7.2 宛先を登録する」以降では、次の流れにそって MultiWriter スキャンマネージャの操作を説明します。

7.2 宛先を登録する

スキャナーの宛先表に、宛先を登録する手順を説明します。「MultiWriter スキャンマネージャとスキャン操作の流れ」の「Step1 宛先を登録する」に該当します。

STEP 1 宛先を登録する ▶ 2 ▶ 3 ▶ 4 ▶ 5 ▶ 6

スキャナーを選択する

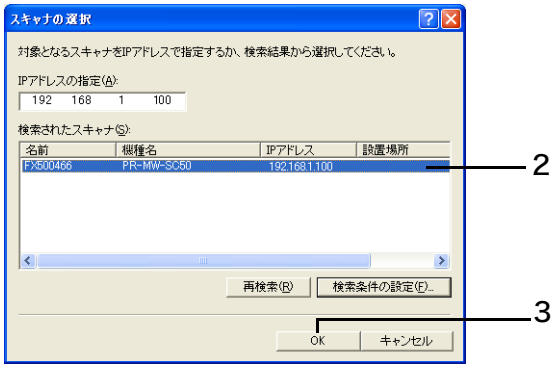
最初に、宛先表ツールで宛先を登録するスキャナーを選択します。初めて宛先表ツールを起動する場合を例に説明します。2 回め以降は、この操作は不要です。

補足
・宛先表ツールの起動が 2 回め以降でも、宛先表を設定するスキャナーを変更する場合 、または前回使用したスキャナーと接続できない場合は、スキャナーを選択する操作が必要です。

1. ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム］>［NEC Printers］>［MultiWriter スキャンマネージャ］>［MultiWriter スキャン宛先表ツール］を選択します。
   初めて宛先表ツールを起動したときは、［スキャナの選択］ダイアログボックスが表示されます。

補足
・［MultiWriter スキャンマネージャ］ウィンドウで、ツールバーの［ (MultiWriter スキャン宛先表ツールの起動)］をクリック、または［ツール］メニューから［MultiWriter スキャン宛先表ツールの起動］を選択しても、宛先表ツールを起動できます。

2. 使用するスキャナーを、［検索されたスキャナ］から選択します。
   ［検索されたスキャナ］にスキャナーが表示されない場合は、［検索条件の設定］をクリックして、検索するサブネットやタイムアウト時間などを変更します。または、スキャナーの IP アドレスを［IP アドレスの指定］に入力します。



3. ［OK］をクリックします。
   スキャナーに接続し、［MultiWriter スキャン宛先表ツール］ウィンドウが表示されます。

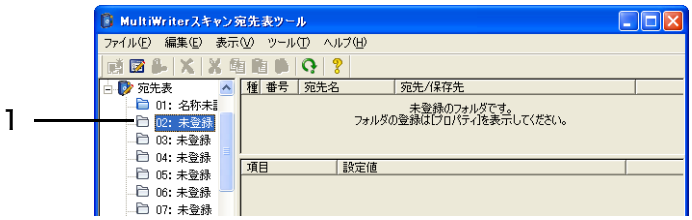
注記
スキャナーに接続できないときは、次のことを確認または設定してから、［スキャナの選択］ダイアログボックスの［再検索］をクリックしてください。
・スキャナーの電源が入っているか。
・ネットワークケーブルが接続されているか。
・［SNMP］が［起動する］になっているか。
　スキャナーの［仕様設定］>［ネットワーク設定］>［ポート設定］で確認、または
　CentreWare Internet Services の［プロパティ］>［プロトコル設定］>［SNMP］で確認。
・［CW インターネットサービス］が［起動する］になっているか。
　スキャナーの［仕様設定］>［ネットワーク設定］>［ポート設定］で確認。

・TCP/IP の設定が正しいか。
スキャナーの操作パネルの［仕様設定］>［ネットワーク設定］>［プロトコル設定］で確認、または CentreWare Internet Services の［プロパティ］>［プロトコル設定］>［TCP/IP］で確認。
・SNMP ポートが「161」になっているか 。
・［コミュニティ名］があっているか。
初期値は「public」。
CentreWare Internet Services の［プロパティ］>［プロトコル設定］>［SNMP］で変更。
・［検索条件の設定］ダイアログボックスで、タイムアウト時間をより長く設定する。
・［検索条件の設定］ダイアログボックスで、サブネットを変更する。

宛先表フォルダーを登録する

宛先は宛先表フォルダーの中に登録するので、まず宛先表フォルダーを準備します。

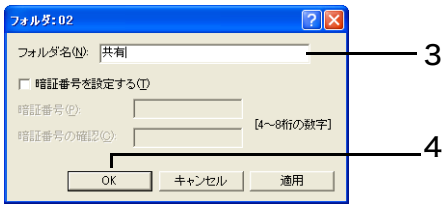
1. ［MultiWriter スキャン宛先表ツール］ウィンドウのツリービューで、［宛先表］の中の未登録フォルダーを選択ます。



2. ツールバーの［ (プロパティ)］をクリック、または［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。
フォルダーのプロパティダイアログボックスが表示されます。

3. フォルダーの名前を、［フォルダ名］に、8 文字以内の全角文字、または 16 文字以内の半角文字で入力します。この例では、「共有」と入力します。
この項目は省略できます。省略すると、「名称未設定」という名前になります。

補足
・暗証番号を設定する場合は、［暗証番号を設定する］にチェックを付けて、暗証番号を入力します。設定できる文字は、半角数字で 4 ～ 8 文字です。設定すると、宛先表フォルダーを開くときに、暗証番号の入力が必要になります。



4. ［OK］をクリックします。
ツリービューのフォルダーアイコンの色が変わり、フォルダー名が表示されます。

PC 保存で使用する宛先を登録する

PC 保存で使用する宛先を例に、宛先を登録する手順を説明します。この例では、以下のような保存先を、宛先として登録します。

- 共有フォルダーに保存する（転送プロトコルは SMB）
- 共有フォルダーは、MultiWriter スキャン宛先表ツールを使用しているコンピューター上に作成する

かんたん設定モードで宛先を登録する

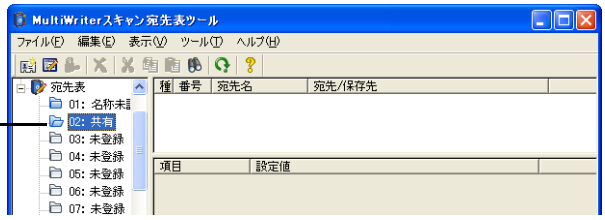
かんたん設定モードを使用して、PC 保存で使用する宛先を登録する手順を説明します。かんたん設定モードは、ローカルコンピューター上のフォルダーを宛先に指定するとき、共有化の設定などをウィザードで自動的に行います。

注記

かんたん設定モードを使用する場合は、次のことに注意してください。

- Windows NT 4.0、Windows 2000/XP の場合、Administrators または Power Users グループのユーザーでログオンして作業してください。
- Windows XP Home Edition の場合、かんたん設定モードは使用できません。
- Windows XP Professional をワークグループに接続されたネットワーク環境でお使いの場合、以下の設定が必要です。
  1. エクスプローラーの［ツール］メニューから［フォルダオプション］を選択。
  2. ［表示］タブで、［詳細設定］の［簡易ファイルの共有を使用する］のチェックを外し、［OK］をクリック。

1. ［MultiWriter スキャン宛先表ツール］ウィンドウのツリービューで、宛先を登録するフォルダーを選択します。



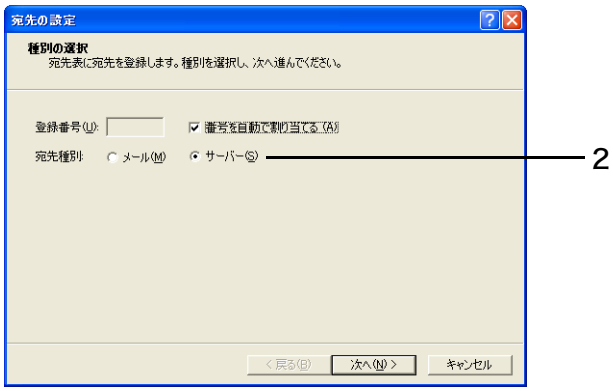
2. ツールバーの［ (宛先の新規作成)］をクリック、または［ファイル］メニューから［宛先の新規作成］を選択します。

   宛先の設定ウィザードが開始します。

3. ［宛先種別］の［サーバー］を選択し、［次へ］をクリックします。

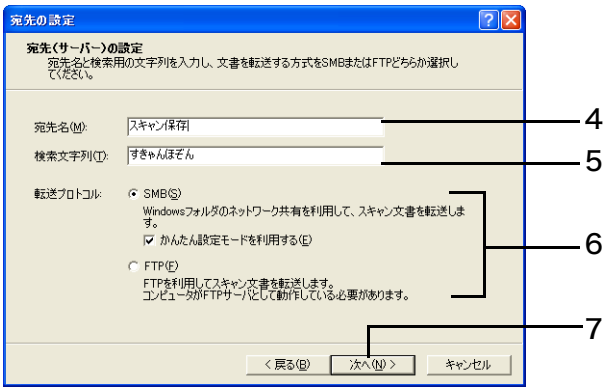
補足

- ［登録番号］を指定する場合は、［番号を自動で割り当てる］のチェックを外して入力します。1 ～ 350 の整数で指定します。3 桁までの半角数字で入力します。「001」のように「0」を付けることもできます。



［宛先（サーバー）の設定］ダイアログボックスが表示されます。

4. 登録する宛先の名前を、[宛先名] に、16 文字以内の全角文字、または 32 文字以内の半角文字で入力します。この例では「スキャン保存」と入力します。
この項目は、必ず設定します。



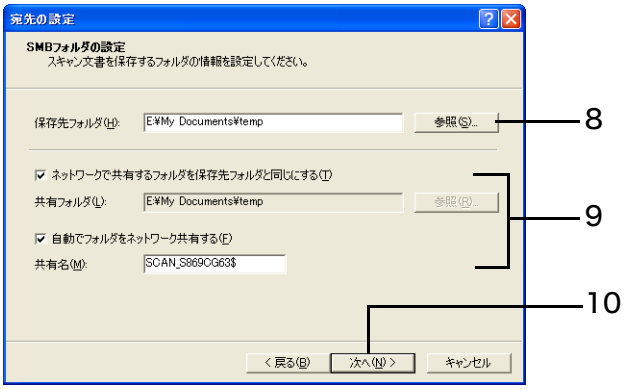
5. [宛先名] のふりがなが、自動的に [検索文字列] に入力されるので、必要に応じて変更します。16 文字以内の全角文字、または 32 文字以内の半角文字で入力します。
この例では、自動的に「すきゃんほぞん」と入力されます。
この項目は、必ず設定します。

6. 次の項目は、この例では初期値のまま設定します。

   - [転送プロトコル]
     [SMB] が選択されていることを確認します。
   - [かんたん設定モードを利用する]
     チェックが付いていることを確認します。

7. [次へ] をクリックします。
[SMB フォルダの設定] ダイアログボックスが表示されます。

8. [保存先フォルダ] の [参照] をクリックして、スキャンデータを保存するフォルダーを選択します。この項目は、必ず設定します。

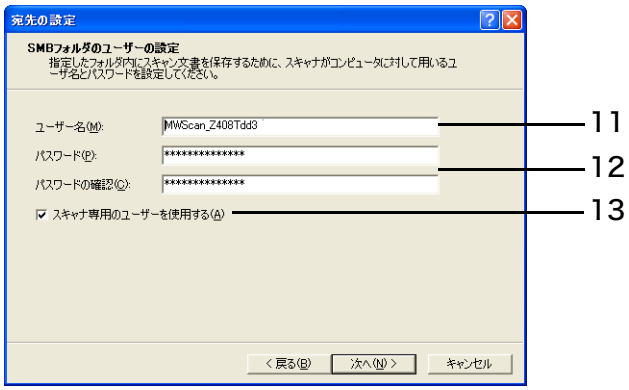


9. 次の項目は、この例では初期値のまま設定します。

   - [ネットワークで共有するフォルダを保存先フォルダと同じにする]
     チェックが付いていることを確認します。[保存先フォルダ] で設定したフォルダーが、共有フォルダーになります。
   - [共有フォルダ]
     [保存先フォルダ] で設定したパスが、自動的に入力されていることを確認します。
   - [自動でフォルダをネットワーク共有する]
     チェックが付いていることを確認します。共有化の設定が自動的に行われます。
   - [共有名]
     自動的に入力されていることを確認します。

10. [次へ] をクリックします。
    [SMB フォルダのユーザーの設定] ダイアログボックスが表示されます。

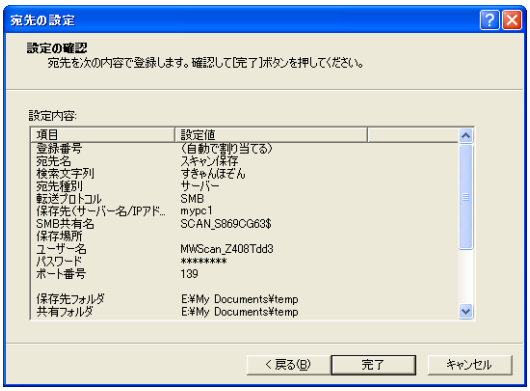
11. [ユーザー名] が自動的に入力されていることを確認します。この例では、そのまま設定します。自動的にユーザーが登録されます。



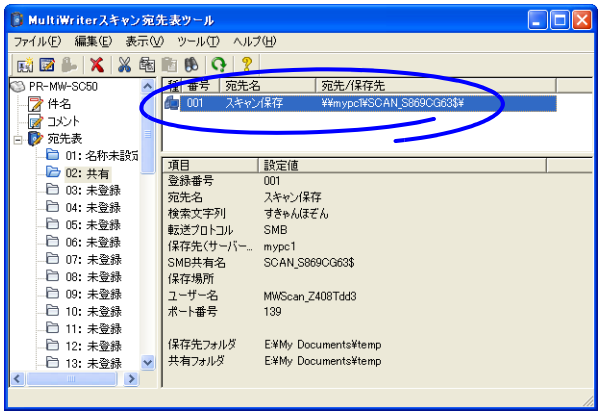
12. [パスワード] に、ランダムに生成されたパスワードが自動的に入力されます。変更する場合は、32 文字以内の半角の英数字記号（ASCII 文字）で入力します。

13. [スキャナ専用のユーザーを使用する] にチェックが付いていることを確認し、[次へ] をクリックします。
    [設定の完了] ダイアログボックスが表示されます。

14. 設定内容を確認して、[完了] をクリックします。



[宛先表ツール] ウィンドウに、登録した宛先が表示されます。



また、手順 8 で設定した保存先フォルダーが、[MultiWriter スキャンマネージャ] ウィンドウに追加されます。スキャナーで PC 保存するとき、登録した宛先「スキャン保存」を選択すると、このフォルダー内にスキャンデータが保存されます。

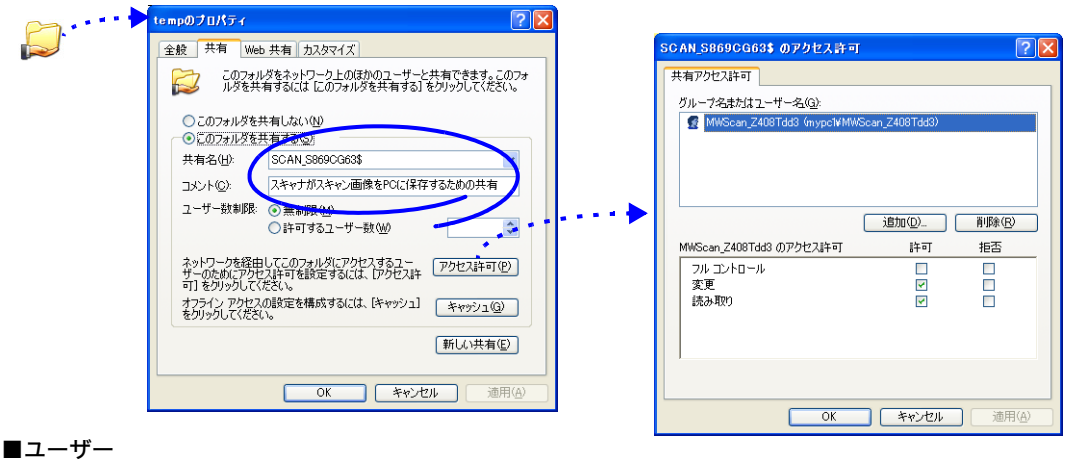
宛先の登録内容と Windows の設定について

前項「かんたん設定モードで宛先を登録する」の手順 4 で、[かんたん設定モードを利用する] にチェックを付けて宛先を登録すると、自動的に共有フォルダーが作成されます。また、手順 11 で設定したユーザーが自動的に作成されます。

以下の例は、自動的に設定された共有フォルダーとユーザーを、Windows XP で確認する方法です。

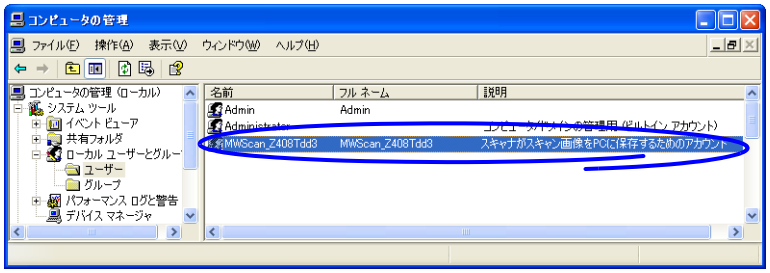
■共有フォルダー

エクスプローラーなどでフォルダーのプロパティを表示すると、設定内容を確認できます。



■ユーザー

[コントロールパネル] > [管理ツール] > [コンピュータの管理] を表示すると、作成されたユーザーを確認できます。



7.3 スキャンデータを取り込む

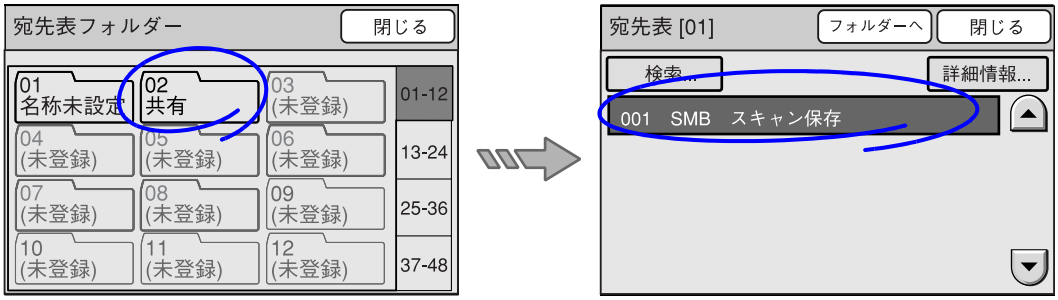
原稿をスキャンし、MultiWriter スキャンマネージャにスキャンデータを取り込む手順を説明します。「MultiWriter スキャンマネージャとスキャン操作の流れ」の「Step2 スキャンデータを取り込む」に該当します。

スキャナーで原稿をスキャンする

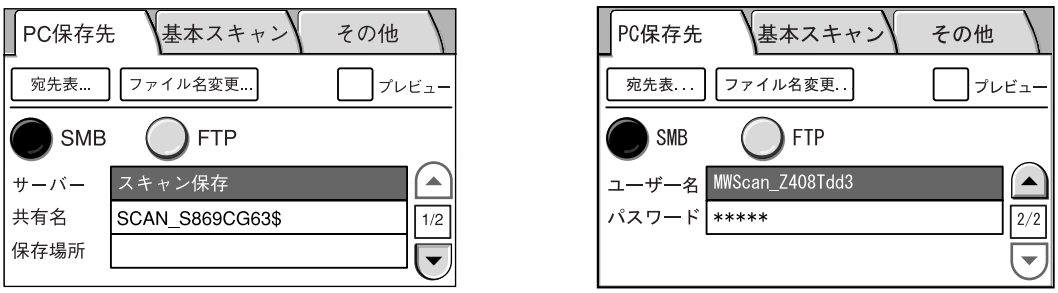
スキャナーに原稿をセットし、PC 保存でスキャンします。

参照
・ 原稿のセット：「1.5 原稿をセットする」(P. 25)
・ PC 保存：「2.5 PC に保存する」(P. 51)

PC 保存を使用するとき、宛先表を表示すると、「7.2 宛先を登録する」で登録したフォルダーが表示されます。フォルダーを選択すると、登録した宛先が表示されます。



宛先表から宛先を選択して［閉じる］を押すと、［PC 保存］画面の設定項目が自動的に入力されます。操作パネルで宛先を入力する必要はありません。



スキャンデータを取り込む

原稿をスキャンしたら、MultiWriter スキャンマネージャに取り込みます。

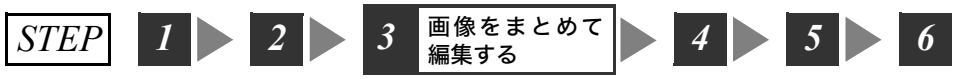
1. ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム］> ［NEC Printers］> ［MultiWriter スキャンマネージャ］を選択します。
   ［MultiWriter スキャンマネージャ］ウィンドウが表示されます。

2. ツリービューエリアで、スキャンデータを保存したフォルダーを選択します。この例では、「スキャン保存」フォルダーを選択します。

スキャンデータが、ドキュメントエリアに表示されます。

7.4 画像をまとめて編集する

MultiWriter スキャンマネージャで、スキャンデータの画像を編集する手順を説明します。「MultiWriter スキャンマネージャとスキャン操作の流れ」の「Step3 画像をまとめて編集する」に該当します。



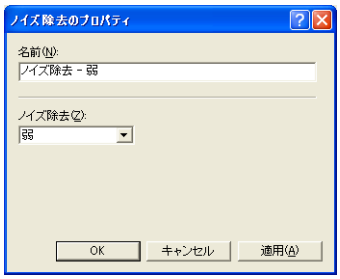
画像編集アイコンを用意する

MultiWriter スキャンマネージャで画像を編集するには、編集内容に応じた画像編集アイコンを用意します。

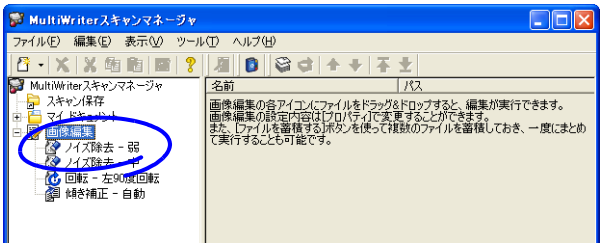
補足
・ 初期設定では、ノイズ除去(弱)、左 90 度回転、傾き補正(自動)の画像編集アイコンが設定されています。

1. [MultiWriter スキャンマネージャ] ウィンドウで、ツールバーの [(新規作成)] をクリックして、編集項目を選択します。または [ファイル] メニューの [新規作成] > [画像編集] から、編集項目を選択します。この例では、[ノイズ除去] を選択します。
プロパティダイアログボックスが表示されます。

2. [名前] に、ツリービューエリアに表示する名前を入力し、編集内容を設定して [OK] をクリックします。この例では、[弱] を設定します。



ツリービューエリアの画像編集ツールボックスの下に、画像編集アイコンが追加されます。



画像編集を実行する

[MultiWriter スキャンマネージャ] ウィンドウでは、2 種類の方法で画像編集を実行できます。

■ その都度実行する方法

ドキュメントエリアに表示された画像ファイルを選択して、画像編集を実行します。

■ ファイルを蓄積して実行する方法

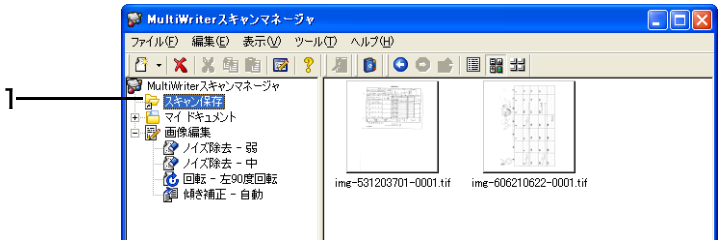
ファイルを選択して、その都度画像編集を実行するのではなく、同じ画像編集を実行したいファイルをすべて選択し蓄積しておきます。蓄積したファイルを、まとめて画像編集します。

同じ画像編集を実行したいファイルが複数のフォルダーにある場合、その都度実行するよりも、効率よく作業できます。また、蓄積したファイルは、実行順を指定できます。

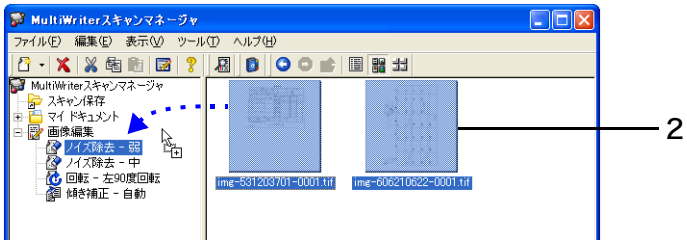
その都度画像編集を実行する

1. [MultiWriter スキャンマネージャ] ウィンドウのツリービューエリアで、編集するファイルが保存されているフォルダーを選択します。

   ドキュメントエリアに、フォルダー内のファイルが表示されます。



2. ドキュメントエリアのファイルを、ツリービューエリアの画像編集アイコンにドラッグ & ドロップします。複数のファイルを選択できます。

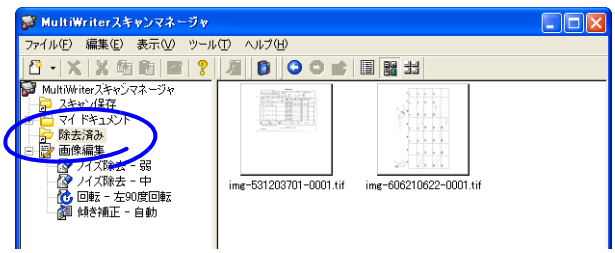


   [フォルダの参照] ダイアログボックスが表示されます。

3. 編集後のファイルを保存する場所を選択して、[OK] をクリックします。

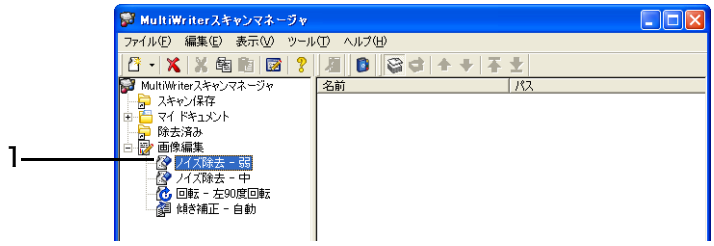
   編集が実行され、編集後のファイルが保存されます。ファイルは、編集前と同じ名前で作成されます。

   ファイルを保存したフォルダーがツリービューに追加され、選択された状態になります。ドキュメントエリアに、編集後のファイルが表示されます。



ファイルを蓄積して画像編集を実行する

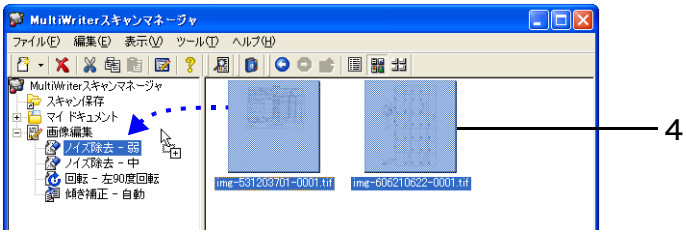
1. [MultiWriter スキャンマネージャ] ウィンドウのツリービューエリアで、実行する画像編集アイコンを選択します。



2. ツールバーの [(ファイルを蓄積する)] をクリック、または [ツール] メニューから [ファイルを蓄積する] を選択します。
   蓄積モードになります。ツールボタンは選択状態になり、メニュー項目にチェックマークが付きます。

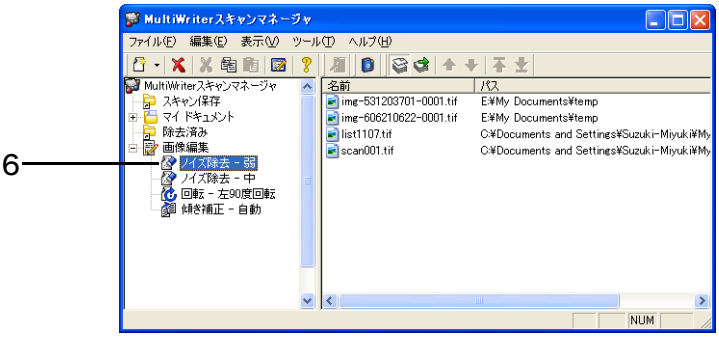
3. ツリービューエリアで、編集するファイルが保存されているフォルダーを選択します。
   ドキュメントエリアに、フォルダー内のファイルが表示されます。

4. ドキュメントエリアの編集するファイルを、手順 2 で蓄積モードにした画像編集アイコンにドラッグ & ドロップします。



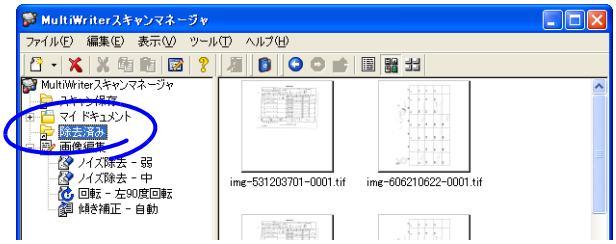
5. 編集するファイルの数だけ、手順 3 ～ 4 を繰り返します。

6. ツリービューエリアで、蓄積モードにした画像編集アイコンを選択します。
   蓄積されたファイルがドキュメントエリアに表示されます。



7. ツールバーの［(蓄積したファイルを実行する)］をクリック、または［ツール］メニューから［蓄積したファイルを実行する］を選択します。
［フォルダの参照］ダイアログボックスが表示されます。

8. 編集後のファイルを保存する場所を選択して、［OK］をクリックします。
編集が実行され、編集後のファイルが保存されます。ファイルは、編集前と同じ名前で作成されます。
ファイルを保存したフォルダーがツリービューに追加され、選択された状態になります。ドキュメントエリアに、編集後のファイルが表示されます。



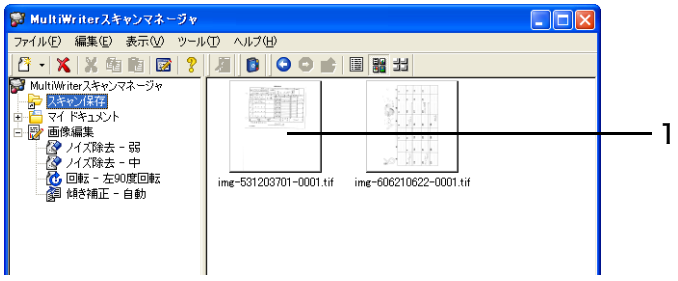
7.5 画像を 1 つずつ編集する

MultiWriter スキャンビューワで、スキャンデータの画像を編集する手順を説明します。「MultiWriter スキャンマネージャとスキャン操作の流れ」の「Step4 画像を 1 つずつ編集する」に該当します。

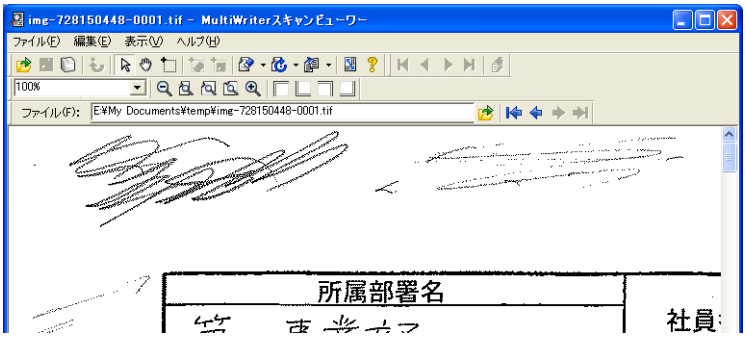
STEP 1 ▶ 2 ▶ 3 ▶ 4 画像を1つずつ編集する ▶ 5 ▶ 6

画像を表示する

1. ［MultiWriter スキャンマネージャ］ウィンドウのドキュメントエリアで、TIFF または JPEG 形式で読み込んだスキャンデータをダブルクリックします。



MultiWriter スキャンビューワが起動し、ウィンドウに画像が表示されます。

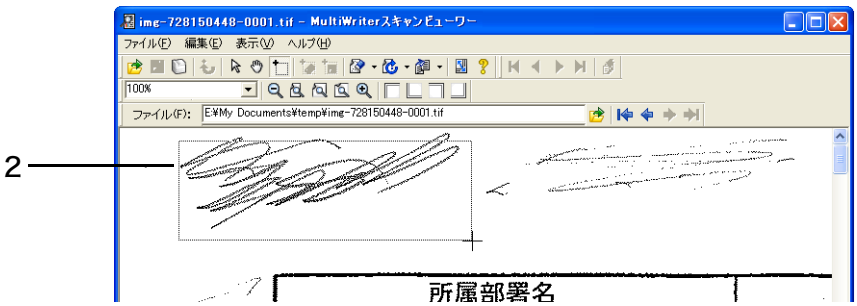


画像を編集する

指定した範囲だけを保存する / 削除する

1. ツールバーの［ (範囲指定モード) ］をクリック、または［表示］メニューから［モード切り替え］>［範囲指定モード］を選択します。
   マウスポインターの形が「+」になります。

2. マウスをドラッグして、保存または削除する部分を囲みます。



   指定した領域に枠が表示されます。

3. ■保存する場合
   ①ツールバーの［ (指定した範囲を保存) ］をクリック、または［編集］メニューから［指定した範囲を保存］を選択します。
   ②ファイル名、保存する場所を設定して、［保存］をクリックします。
   指定した範囲の画像がファイルに保存されます。

   ■削除する場合
   ツールバーの［ (指定した範囲を削除)］をクリック、または［ (編集)］メニューから［指定した範囲を削除］を選択します。
   指定した範囲の画像が削除されます。

傾きを補正する

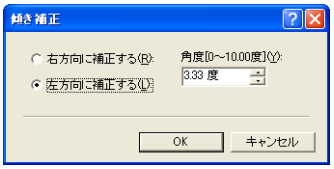
■ 自動的に補正する

1. ツールバーの［ (傾き補正) ］をクリックして選択、または［編集］メニューから［傾き補正］>［自動］を選択します。
   自動的に画像の傾きが補正されます。

■ 角度を指定して補正する

1. ツールバーの［ (傾き補正) ］をクリックして選択、または［編集］メニューから［傾き補正］>［角度指定］を選択します。
   ［傾き補正］ダイアログボックスが表示されます。

2. 傾ける角度と方向を指定して、[OK] をクリックします。



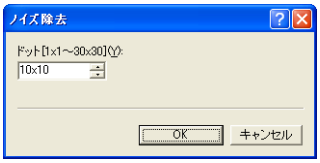
   指定した方向と角度で、画像の傾きが補正されます。

ノイズを除去する

■ ページ全体のノイズを除去する

1. ツールバーの［（ノイズ除去）］をクリックして選択、または［編集］メニューの［ノイズ除去］から除去方法を選択します。
   ［弱］/［中］/［強］を選択した場合は、指定した強さで、画像のノイズが除去されます。
   ［ドット指定］を選択した場合は、［ノイズ除去］ダイアログボックスが表示されます。

2. ノイズを除去する大きさを指定して、[OK] をクリックします。

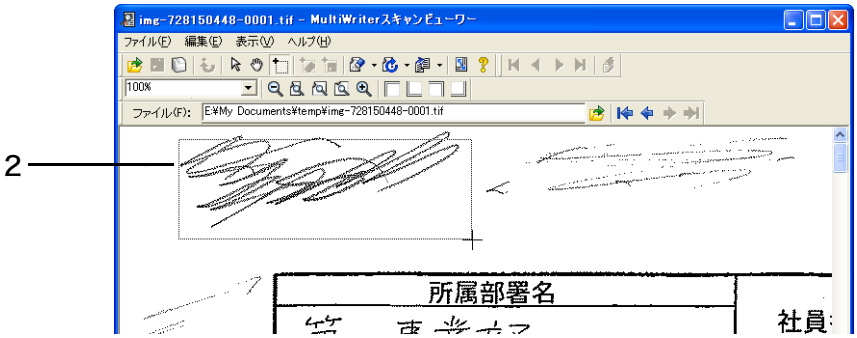


   ページ全体のノイズが、指定した方法で除去されます。

■ 指定した範囲のノイズを除去する

1. ツールバーの［（範囲指定モード）］をクリック、または［表示］メニューから［モード切替］>［範囲指定モード］を選択します。
   マウスポインターの形が「＋」になります。

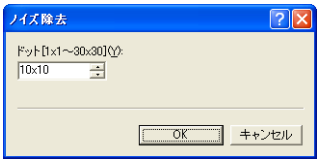
2. マウスをドラッグして、ノイズを除去する部分を囲みます。



   指定した領域に枠が表示されます。

3. ツールバーの［（ノイズ除去）］をクリックして選択、または［編集］メニューの［ノイズ除去］から除去方法を選択します。
   ［弱］/［中］/［強］を選択した場合は、指定した強さで、画像のノイズが除去されます。
   ［ドット指定］を選択した場合は、［ノイズ除去］ダイアログボックスが表示されます。

4. ノイズを除去する大きさを指定して、[OK] をクリックします。



   指定した範囲のノイズが、指定した方法で除去されます。

7.6 画像を印刷する

MultiWriter スキャンビューワで、スキャンデータの画像を印刷する手順を説明します。「MultiWriter スキャンマネージャとスキャン操作の流れ」の「Step5 画像を印刷する」に該当します。

1. ツールバーの［(印刷)］をクリック、または［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。
   ［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

2. 印刷の設定をして、[OK] をクリックします。
   画像が印刷されます。

7.7 画像を保存する

MultiWriter スキャンビューワで、スキャンデータの画像を保存する手順を説明します。「MultiWriter スキャンマネージャとスキャン操作の流れ」の「Step6 画像を保存する」に該当します。

■ 同じファイルに上書きする

1. ツールバーの［(上書き保存)］をクリック、または［ファイル］メニューから［上書き保存］を選択します。
   表示されている画像が、同じファイルに保存されます。

■ 指定したファイルに保存する

1. ［ファイル］メニューから［名前を付けて保存］を選択します。
   ［名前を付けて保存］ダイアログボックスが表示されます。

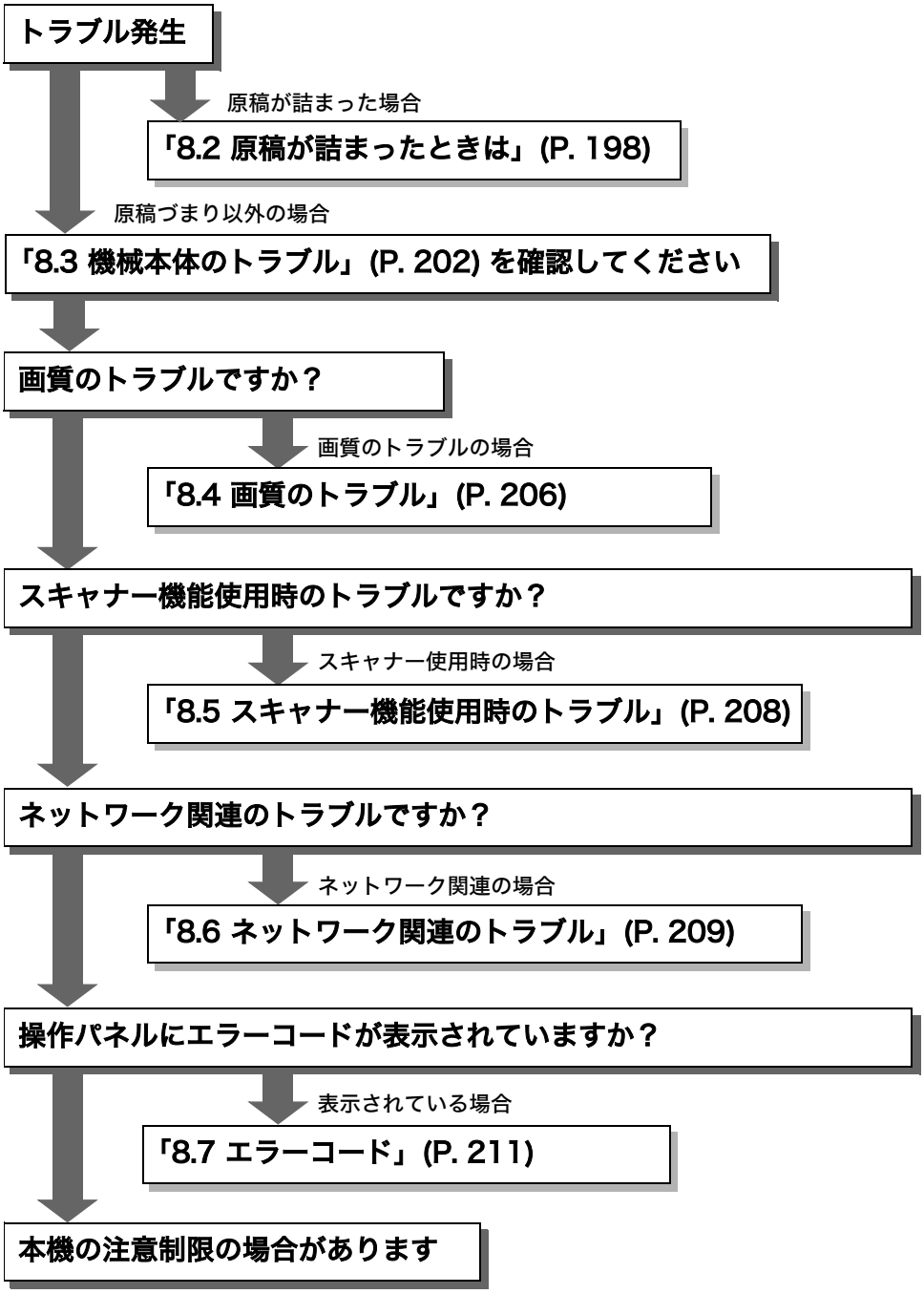
2. ファイル名、保存する場所を設定して、［保存］をクリックします。
   表示されている画像が、指定したファイルに保存されます。

8　困ったときには

8.1　どのような症状で困っていますか

トラブル対処の流れ

トラブルが発生した場合の対処方法の流れは、次のとおりです。以下の流れに従って、対処してください。



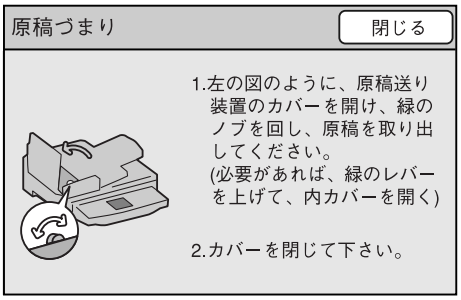
付録の「A.5 注意 / 制限事項」(P. 236) を参照し、確認してください。

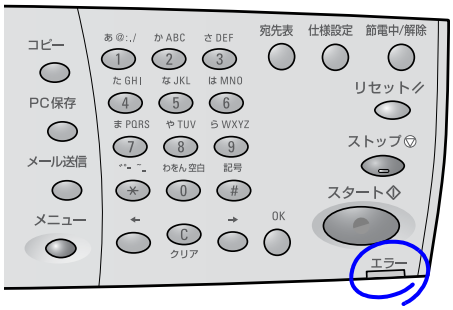
上記の流れに従って対処をしてもトラブルが処置できなかった場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。

8.2 原稿が詰まったときは

自動原稿送り装置に原稿が詰まると、機械が停止します。

タッチパネルディスプレイに次のようなエラーメッセージが表示され、操作パネルの〈エラー〉ランプが点灯します。メッセージに従って、原稿づまりの処置をしたあと自動原稿送り装置に原稿をセットし直します。



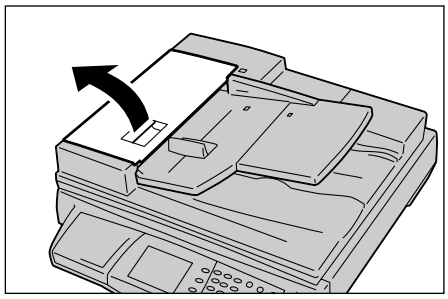


スキャナユニット PR-MW-SC50 の場合

以下の手順で、詰まっている原稿を取り除いてください。

左側カバーを開ける

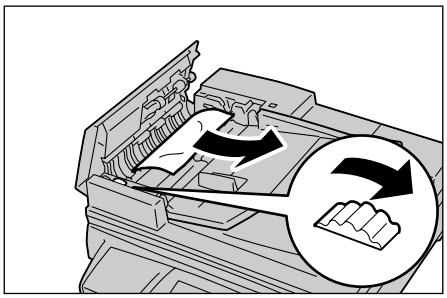
1. 自動原稿送り装置の左側カバーのレバーを引き上げて、左側カバーを止まるところまで開けます。



補足
・ カバーを充分に開くと、固定される位置があります。カバーは、ゆっくりと開けてください。

原稿の片側がスキャナーから出ている場合

2. 緑色のノブを図のように回し、矢印方向に、原稿をゆっくり引き抜きます。

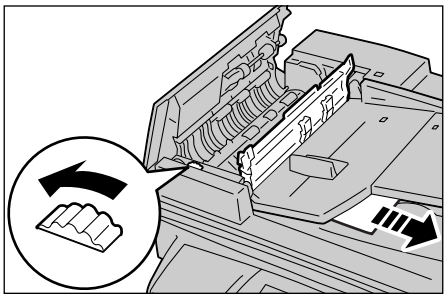


原稿の両側がはさまっている場合

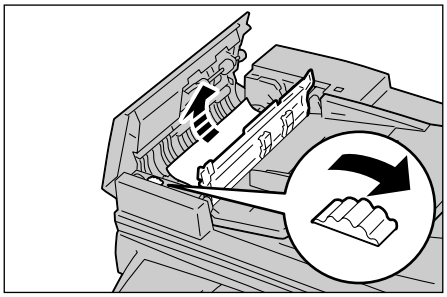
3. 緑色のレバーを持ち上げて内カバーを開けます。

4. 次のどちらかの方法で、原稿を取り除きます。

・緑色のノブを図のように回し、原稿を排紙方向に送り出し、そのまま原稿をゆっくり引き抜きます。



・緑色のノブを図のように回し、排紙ローラーから原稿を抜き出し、そのまま原稿を上方向にゆっくり引き抜きます。



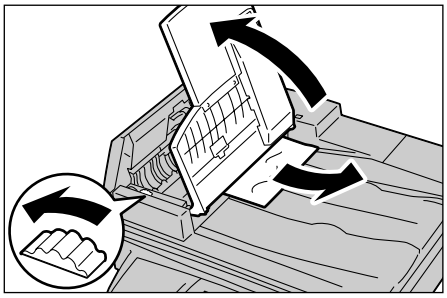
注記

・ ノブを回さずに引き抜かないでください。原稿が破損するおそれがあります。

5. 手順 3 で開けた内カバーを閉じます。

原稿排出部にはさまっている場合

6. 原稿送りトレイを上げて、緑色のノブを図のように回し、ゆっくり原稿を引き抜きます。

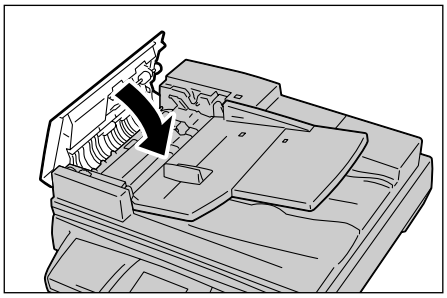


7. 原稿送りトレイを静かに戻します。

左側カバーを閉じる

8. 左側カバーをカチッと音がするまで閉じます。

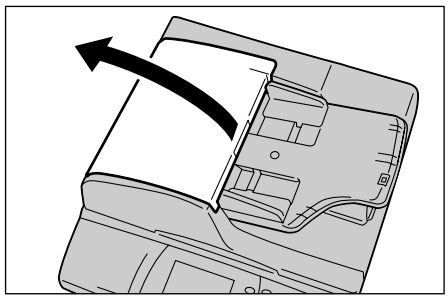
9. 原稿に、破れ、しわ、折れがないことを確認し、原稿をもう一度セットします。



スキャナユニット PR-MW-SC40 の場合

左側カバーを開ける

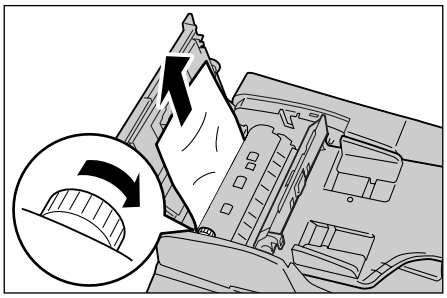
1. 自動原稿送り装置の左側カバー中央の取っ手を引き上げて、左側カバーを止まるところまで開けます。



補足
・ カバーを充分に開くと、固定される位置があります。カバーは、ゆっくりと開けてください。

原稿の片側がスキャナーから出ている場合

2. 緑色のノブを図のように回し、原稿を上方向にゆっくり引き抜きます。

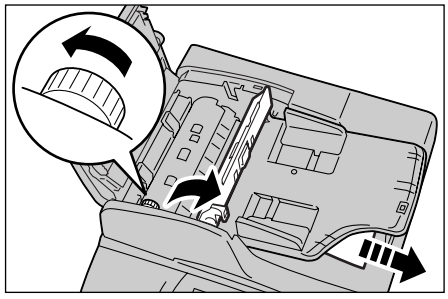


原稿の両側がはさまっている場合

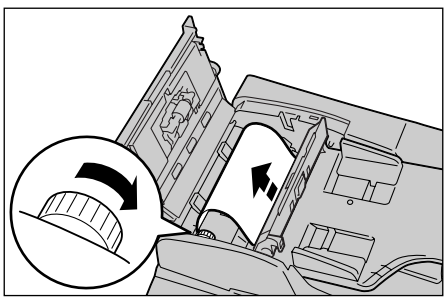
3. 緑色のレバーを持ち上げて内カバーを開けたままにします。

4. 次のどちらかの方法で、原稿を取り除きます。

・緑色のノブを図のように回し、原稿を排紙方向に送り出し、そのまま原稿をゆっくり引き抜きます。



・緑色のノブを図のように回し、排紙ローラーから原稿を抜き出し、そのまま原稿を上方向にゆっくり引き抜きます。

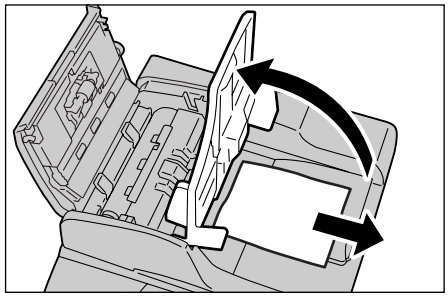


注記
・ ノブを回さずに引き抜かないでください。原稿が破損するおそれがあります。

5. 手順 3 で開けた内カバーを閉じます。

原稿排出部にはさまっている場合

6. 原稿送りトレイを上げたままにし、ゆっくり原稿を引き抜きます。



7. 原稿送りトレイを静かに戻します。

左側カバーを閉じる

8. 左側カバーをカチッと音がするまで閉じます。

9. 原稿に、破れ、しわ、折れがないことを確認し、原稿をもう一度セットします。

8.3 機械本体のトラブル

故障かなと思う前に、もう一度、本機の状態を確認してください。

症　　状	原　　因	処　　置
電源が入らない	電源スイッチが切れていませんか？	電源スイッチを入れてください。 参照 ・「1.3 電源を入れる / 切る」(P. 23)
	電源プラグがコンセントに入っていますか？	電源スイッチをいったん切り、電源コードを確実に差し込んでください。そのあと、電源スイッチを入れてください。 参照 ・『ユーザーズマニュアル』「1 設置について」
	本機背面から出ている電源コードがコネクターから抜けていませんか？	
	電源の電圧が適切ですか？	電源が 100V（ボルト）、15A（アンペア）であることを確認してください。 本機の最大消費電力（スキャナユニット PR-MW-SC50：120W、スキャナユニット PR-MW-SC40：100W）に見合った電源容量が確保されていることを確認してください。 参照 ・『ユーザーズマニュアル』「安全にお使いいただくために」
タッチパネルディスプレイが暗い	〈節電中 / 解除〉ボタンが点灯していませんか？	節電状態に入っています。操作パネルの〈節電中 / 解除〉ボタンを押して、節電状態を解除してください。 参照 ・「1.4 節電モードを設定 / 解除する」(P. 24)
スキャンやコピーができない	操作パネルのタッチパネルディスプレイにメッセージが表示されていませんか？	表示されているメッセージに従って処置してください。
	電源コードのコネクターが抜けていませんか？	電源スイッチをいったん切り、電源コードを確実に差し込んでください。そのあと、電源スイッチを入れてください。 参照 ・『ユーザーズマニュアル』「1 設置について」
	メール送信、PC 保存でスキャンできない場合、ネットワークケーブルが抜けていませんか？	ネットワークケーブルを確実に差し込んでください。 参照 ・『ユーザーズマニュアル』「1 設置について」

症　　状	原　　因	処　　置
スキャンやコピーができない （続き）	コピーできない場合、プリンターと本機を接続している USB ケーブルが抜けていませんか？	USB ケーブルを確実に差し込んでください。 参照 ・『ユーザーズマニュアル』「1 設置について」
	コピーできない場合、USB ケーブルを差し込んでいる USB コネクターが故障していませんか？	本機のほかの USB コネクターに USB ケーブルを差し込んで確認してください。 コピーできた場合、最初に接続していた USB コネクターの故障が考えられます。お買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。
	コピーできない場合、本機がプリンターを認識していない可能性があります。プリンターが印刷可能状態でないときに本機の電源を入れませんでしたか？	本機の電源スイッチをいったん切り、プリンターが印刷可能状態になってから、本機の電源を入れてください。
	コピーできない場合、プリンターは、本機対応プリンターですか？	以下のホームページで、プリンターが本機と接続して使用できる機種かどうかを確認してください。 URL： http://nec8.com/
	コピーできない場合、プリンターのファームウエアが、本機に対応していないバージョンの可能性があります。ファームウエアは最新版ですか？	以下の弊社ホームページで、プリンターのファームウエアのバージョンが本機に対応しているかどうかを確認してください。 URL： http://nec8.com/ 対応していないときは、対応しているバージョンのファームウエアを、上記のホームページからダウンロードし、バージョンアップしてください。
機械管理者暗証番号を忘れて、[仕様設定] 画面を表示できない	機械管理者暗証番号を設定している場合、暗証番号を入力しないで [仕様設定] 画面を表示することはできません。	どうしても思い出せない場合は、サービス窓口にご連絡ください。 機械管理者暗証番号を忘れないように管理してください。
画質がよくない	画像トラブルが発生しているおそれがあります。	後述の「8.4 画質のトラブル」(P. 206) を参照して処置してください。

症　　状	原　　因	処　　置
希望のサイズにスキャン / コピーされない	原稿ガラスまたは原稿カバーが汚れていませんか？	原稿ガラスまたは原稿カバーを清掃してください。 参照 ・「9.2 スキャナーの清掃」(P. 222)
	OHP フィルムなどの透過度が高い原稿ですか？	原稿ガラスに原稿をセットし、その上に白紙を載せてスキャン / コピーしてください。
	原稿がずれていませんか？ 原稿が正しくセットされていますか？	原稿を正しくセットしてください。 参照 ・「1.5 原稿をセットする」(P. 25)
	自動原稿送り装置の原稿ガイドがずれていませんか？	原稿ガイドを正しくセットしてください。 参照 ・「1.5 原稿をセットする」(P. 25)
	原稿が折れ曲がっていませんか？	原稿をのばして正しくセットし直してください。 参照 ・「1.5 原稿をセットする」(P. 25)
	定形外サイズの原稿をセットしていませんか？	原稿のサイズを入力してください。 参照 ・「2.8　その他のスキャン項目を設定する」(P. 71) ・「3.6　その他のコピー項目を設定する」(P. 106)
原稿が送り込まれない	原稿が小さくありませんか？	自動原稿送り装置にセットできる原稿のサイズかどうか確認してください。 参照 ・「1.5 原稿をセットする」(P. 25)
原稿がたびたび詰まる	適切な原稿を使用していますか 変形原稿や名刺、OHP フィルム、薄い原稿を使用していませんか？	自動原稿送り装置に適した原稿を正しくセットしてください。 参照 ・「1.5 原稿をセットする」(P. 25)
	付せん紙やクリップ、セロハンテープなどをつけたまま使用していませんか？	付せん紙やクリップ、セロハンテープなどを取ってからスキャン / コピーしてください。
	原稿ガイドの位置がずれていませんか？	原稿ガイドを正しくセットしてください。 参照 ・「1.5 原稿をセットする」(P. 25)
	原稿の一部が破れて、自動原稿送り装置に紙片が残っていませんか？	自動原稿送り装置のカバーを開けて確認してください。 参照 ・「8.2 原稿が詰まったときは」(P. 198)

症　　状	原　　因	処　　置
原稿がたびたび詰まる（続き）	サイズの異なる原稿を読み込むときに、[ミックスサイズ原稿送り]の設定が［する］になっていますか？	[ミックスサイズ原稿送り]の設定を［する］にしてください。 参照 ・「ミックスサイズ原稿送り（サイズが異なる原稿を一度に読み取る）（スキャナユニット PR-MW-SC50のみ）」(P. 76) ・「ミックスサイズ原稿送り（サイズが異なる原稿を一度に読み取る）（スキャナユニット PR-MW-SC50のみ）」(P. 111)
	ミックスサイズ原稿送り機能を使用しているときに、A5 サイズの原稿をたて置きにして自動原稿送り装置にセットしていませんか？	A5 サイズの原稿は、よこ置きにセットしてください。 参照 ・「1.5 原稿をセットする」(P. 25)
原稿の端が折れる	原稿がカールしていませんか？	原稿のカールを直してから、セットしてください。
カラーコピーがとれない	[カラーモード]が［白黒］になっていませんか？	[カラーモード]の［フルカラー］を選択してください。 参照 ・「カラーモード（コピーする色を選択する）」(P. 92)
	接続しているプリンターは、カラープリンターですか？	白黒プリンターの場合、カラーコピーはとれません。カラープリンターに接続してください。
原稿サイズが自動検知できない	原稿が自動検知できないサイズです。	[読み取りサイズ]画面または［原稿サイズ入力］画面が表示されるので、原稿のサイズを設定して〈スタート〉ボタンを押してください。 参照 ・「読み取りサイズ（原稿の読み取りサイズを指定してスキャンする）」(P. 72) ・「原稿サイズ入力（原稿の読み取りサイズを指定してコピーする）」(P. 113)

8.4 画質のトラブル

スキャン結果またはコピー結果の画質が悪い場合は、以下の表から最も近いと思われる症状を選択し、処置してください。
該当する処置をしても画質が改善されない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。

症　　状	原　　因	処　　置
スキャン画像またはコピーが汚れている	原稿ガラスまたは原稿カバーが汚れていませんか？	原稿ガラスまたは原稿カバーを清掃してください。 参照 ・「9.2 スキャナーの清掃」(P. 222)
	OHP フィルムなどの透過度が高い原稿ではありませんか？	透過度が高い原稿では、原稿カバーの汚れがスキャン画像やコピーに写ります。原稿の上に白紙を載せてスキャン / コピーしてください。
	原稿がカラーペーパー、ザラ紙、青焼きなどではありませんか？	読み取り濃度またはコピー濃度を調整するか、画質を調整してスキャン / コピーしてください。 参照 ・「読み込み濃度（原稿の読み込み濃度を調整する）」(P. 70) ・「コピー濃度（コピー濃度を調整する）」(P. 97) ・「3.5　画質調整のコピー項目を設定する」(P. 98)
	光沢のある印画紙をスキャン / コピーしていませんか？	原稿が光沢のある印画紙の場合は、原稿ガラスに張りつきやすく、影が汚れのようになることがあります。OHP フィルムなどの透明フィルムを原稿の下に敷いてスキャン / コピーしてください。
スキャン画像またはコピーに黒すじが入る	自動原稿送り装置の読み取りガラスが汚れていませんか？	原稿読み取りガラスを清掃してください。 参照 「9.2 スキャナーの清掃」(P. 222)
スキャン画像またはコピーが濃すぎる	読み取り濃度またはコピー濃度が［こく］に設定されていませんか？	読み取り濃度またはコピー濃度を調整してください。 参照 ・「読み込み濃度（原稿の読み込み濃度を調整する）」(P. 70) ・「コピー濃度（コピー濃度を調整する）」(P. 97)
スキャン画像またはコピーが薄すぎる	読み取り濃度またはコピー濃度が［うすく］に設定されていませんか？	読み取り濃度またはコピー濃度を調整してください。 参照 ・「読み込み濃度（原稿の読み込み濃度を調整する）」(P. 70) ・「コピー濃度（コピー濃度を調整する）」(P. 97)

症　　状	原　　因	処　　置
スキャン画像またはコピーがずれたり、曲がっている	原稿が正しくセットされていますか？	原稿を正しくセットしてください。 参照 ・「1.5 原稿をセットする」(P. 25)
	自動原稿送り装置の原稿ガイドがずれていませんか？	原稿を正しくセットして、原稿ガイドを原稿の端にあててください。 参照 ・「1.5 原稿をセットする」(P. 25)
	原稿が貼り合わせ原稿や折り込みの原稿ではありませんか？	貼り合わせたのりの部分や折りの部分が反り返って、原稿ガラスに密着せず、原稿が浮いていることが考えられます。原稿の上に白紙の束を載せて、原稿ガラスに密着するようにセットしてください。
縞模様が発生する	原稿の拡大コピーの倍率が大きすぎませんか？	拡大コピーをすると、倍率によって縞模様が発生することがあります。コピーの倍率を調整してください。 参照 ・「倍率選択（拡大縮小してコピーする）」(P. 90)
黒線または色線が印刷される	自動原稿送り装置の読み取りガラスが汚れていませんか？	原稿読み取りガラスを清掃してください。 参照 ・「9.2 スキャナーの清掃」(P. 222)

8.5 スキャナー機能使用時のトラブル

スキャナー機能使用時にトラブルが発生した場合は、以下の表を参照して処置してください。

症　　状	原　　因	処　　置
メール送信で、メールが送信できない	入力したメールアドレスは正しいですか？	メールアドレスの入力を確認してください。
	メールまたは TCP/IP の設定は正しいですか？	CentreWare Internet Services の以下の項目が正しく設定されているかを、管理者に確認してください。 ［プロパティ］>［プロトコル設定］>［メール］ ［プロパティ］>［プロトコル設定］>［TCP/IP］
	メール送信の上限データサイズを超えていませんか？	・読み取り解像度を下げてください。 ・画像圧縮率を高くしてください。 ・CentreWare Internet Services の［プロパティ］>［プロトコル設定］>［メール］で、上限データサイズを大きくしてください。 参照 ・「読み取り解像度（読み取る解像度を指定してスキャンする）」(P. 75) ・「 画像圧縮率（画像の圧縮率を指定してスキャンする）」(P. 75)
PC 保存で、ネットワーク転送できない	転送プロトコルは正しく設定されていますか？	転送プロトコルの設定を確認してください。
	サーバー名 /IP アドレスは正しく入力されていますか？	サーバー名 /IP アドレスの入力を確認してください。
	保存場所は正しく入力されていますか？	保存場所の入力を確認してください。
	SMB を選択した場合、共有名は正しく入力されていますか？	共有名の入力を確認してください。
	ユーザー名は正しく入力されていますか？	ユーザー名の入力を確認してください。
	パスワードは正しく入力されていますか？	パスワードの入力を確認してください。
	ポート番号の設定は正しいですか？	ポート番号が正しく設定されているかを、管理者に確認してください。
	FQDN または DNS ホスト名の形式でサーバー名を設定した場合、TCP/IP の設定は正しいですか？	CentreWare Internet Services の以下の項目が正しく設定されているかを、管理者に確認してください。 ［プロパティ］>［プロトコル設定］>［TCP/IP］>［DNS］
	SMB で、ほかのサブネット上のコンピューター名を NetBIOS 名で指定した場合、TCP/IP の設定は正しいですか？	CentreWare Internet Services の以下の項目が正しく設定されているかを、管理者に確認してください。 ［プロパティ］>［プロトコル設定］>［TCP/IP］>［WINS］

8.6 ネットワーク関連のトラブル

ここでは、CentreWare Internet Services を使用している場合に、発生しやすいトラブルについて、原因と処置方法を説明します。

CentreWare Internet Services 使用時のトラブル

症状	原因 / 処置
CentreWare Internet Services に接続できない	本機は正常に作動していますか？ 本機の電源が入っているか確認してください。
	CentreWare Internet Services が起動されていますか？ 参照 ・『ユーザーズマニュアル』「2 ネットワーク環境の設定」
	URL は正しく入力されていますか？ URL をもう一度確認してください。接続できない場合は、IP アドレスを入力して接続してください。
	プロキシサーバーを使用していますか？ プロキシサーバーによっては、接続できない場合があります。 プロキシサーバーを使わないで接続してください。 参照 ・『ユーザーズマニュアル』「2 ネットワーク環境の設定」
Web ブラウザーで「しばらくお待ちください」などのメッセージが表示されたままになる	そのまましばらくお待ちください。 状態が変わらない場合は、Web ブラウザーの表示を更新してください。状態が変わらない場合は、本機が正常に作動しているかを確認してください。
[更新] が機能しない	指定されている Web ブラウザーを使用していますか？ 「9.1 Web ブラウザーでスキャナーの状態を確認 / 管理する」(P. 218) を参照して、使用している Web ブラウザーが使用できるかどうかを確認してください。
左側のメニューを選択しても、画面が切り替わらない	
画面の表示が崩れる	Web ブラウザーのウィンドウサイズを変更してください。
最新の情報が表示されない	[更新]、[表示更新]、または［最新の情報に更新］をクリックしてください。
日本語が正しく設定できない	シフト JIS コードを使用してください。また、半角カタカナ文字は使用できない場合があります。
[新しい設定を適用する] をクリックしても反映されない	入力した値は正しいですか？ 入力できる値以外を入力した場合は、自動的に制限値内に変更される場合があります。
機械管理者 ID や機械管理者パスワードを忘れて、設定を変更できない	どうしても CentreWare Internet Services の「機械管理者 ID」または「機械管理者パスワード」を思い出せない場合は、操作パネルの［仕様設定］から NV メモリーのうち「システムデータ」を初期化してください。ただし、この場合は、システムデータがすべて工場出荷時の値に初期化されます。操作パネルの「機械管理者暗証番号」も忘れた場合は、［仕様設定］画面を表示できません。操作パネルの「機械管理者暗証番号」をどうしても思い出せない場合は、サービス窓口にご連絡ください。CentreWare Internet Services の「機械管理者 ID」、「機械管理者パスワード」、および操作パネルの「機械管理者暗証番号」を忘れないように管理してください。 参照 ・「NVM 初期化」(P. 156)

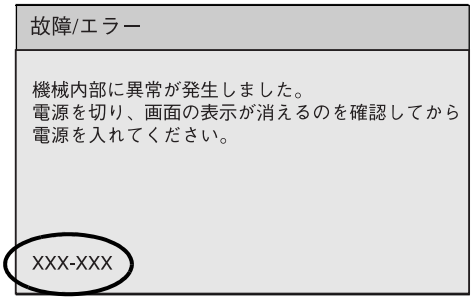
症状	原因 / 処置
機械管理者 ID や機械管理者パスワードを入力する画面で機械管理者 ID や機械管理者パスワードを入力したが、認証されない	IME2000 と Internet Explorer 5.5/6.0 の組み合わせで使用していて、IME が KANA 入力モードになっていませんか。 IME を半角英数モードに切り替えて、入力し直してください。
	電源を入れたあと、または最後に機械管理者認証に成功後、5 回連続で機械管理者認証に失敗すると、正しい機械管理者 ID や機械管理者パスワードを入力しても認証されません。 その場合は、スキャナーの電源を切 / 入してから、再度認証の操作をしてください。
表示言語が異なる	Web ブラウザーで表示言語の設定を変更してください。 参照 ・ Web ブラウザーのオンラインヘルプ
CentreWare Internet Services への接続を拒否される、または「ページにデータが含まれていません」といったメッセージが表示される	頻繁に Web ブラウザーの表示を更新すると、このような症状が発生する場合があります。頻繁に Web ブラウザーの表示を更新しないでください。 また、多数の Web ブラウザーで、常時、[状態] 画面や [ジョブ] 画面、[メンテナンス] 画面を表示し続けないでください。
ページ中のボタンをクリックする代わりに、キーボードの〈Enter〉キーを押したとき、ページが戻るなどの現象が起きる	キーボードの〈Enter〉キーを押すのではなく、ページ中のボタンをクリックしてください。

8.7 エラーコード

エラーコードについて説明します。

エラーが発生してスキャンが正常に終了しなかった場合や本機に故障が発生した場合は、メッセージとエラーコード（***-***）が表示されます。

【エラーメッセージ画面例】



以下の表に記載されていないエラーコードが表示された場合や、記載に従って処置をしても正常に戻らないときは、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。

注記

- エラーコードが表示されたときは、本機内に残っているスキャンデータや、本機のメモリー上に蓄えられた情報は保証されません。
- 本機の電源を切ると、本機内に残っているスキャンデータや本機のメモリー上に蓄えられた情報は消去されます。

表の「分類」は、以下の機能を表します。

C: コピー

P:PC 保存

M: メール送信

U: メディア保存

O: その他

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
003-711		○	○	○		【原因】 読み込んだ原稿の圧縮処理に失敗しました。 【処置】 画像圧縮率を高く、または解像度を低くして、スキャンし直してください。 参照 ・「画像圧縮率（画像の圧縮率を指定してスキャンする）」(P. 75) ・「読み取り解像度（読み取る解像度を指定してスキャンする）」(P. 75)
003-770	○	○	○	○		【原因】 両面原稿の読み取り時に、拡大の倍率値が、設定可能な範囲を超えました。 【処置】 倍率を下げて、スキャン / コピーし直してください。 参照 ・「読み取り倍率（原稿を読み取る倍率を指定してスキャンする）」(P. 73) ・「倍率選択（拡大縮小してコピーする）」(P. 90)

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
003-795	○	○	○	○		【原因】 読み込んだ原稿を、指定された用紙サイズに拡大 / 縮小したときに、拡大 / 縮小の倍率が、設定可能な範囲を超えてしまいました。 【処置】 以下のどちらかの方法で処置してください。 ・倍率を直接入力する ・用紙サイズを変更する 参照 ・「読み取り倍率（原稿を読み取る倍率を指定してスキャンする）」(P. 73) ・「倍率選択（拡大縮小してコピーする）」(P. 90) ・「用紙選択（コピーする用紙を選択する）」(P. 88)
031-503			○			【原因】 メール送信時に SMTP サーバーの名前が解決できませんでした。 【処置】 CentreWare Internet Services から、SMTP サーバーの設定が正しいか確認してください。また、DNS サーバーの設定が正しいか確認してください。 参照 ・「9.1 Webブラウザーでスキャナーの状態を確認/管理する」(P. 218)
031-504			○			【原因】 メール送信時に POP3 サーバーの名前が解決できませんでした。 【処置】 CentreWare Internet Services から、POP3 サーバーの設定が正しいか確認してください。また、DNS サーバーの設定が正しいか確認してください。 参照 ・「9.1 Webブラウザーでスキャナーの状態を確認/管理する」(P. 218)
031-505			○			【原因】 メール送信時に POP3 サーバーへのログインに失敗しました。 【処置】 CentreWare Internet Services から、POP3 サーバーで使用するユーザー名とパスワードが正しく設定されているか確認してください。 参照 ・「9.1 Webブラウザーでスキャナーの状態を確認/管理する」(P. 218)
031-506			○			【原因】 SMTP サーバー /POP3 サーバーが設定されていません。 【処置】 CentreWare Internet Services から、SMTP サーバー / POP3 サーバーが設定されているか確認してください。 参照 ・「9.1 Webブラウザーでスキャナーの状態を確認/管理する」(P. 218)
031-507			○			【原因】 メール送信時にSMTPサーバーへのログインに失敗しました。 【処置】 CentreWare Internet Services から、SMTP サーバーで使用するユーザー名とパスワードが正しく設定されているか確認してください。 参照 ・「9.1 Webブラウザーでスキャナーの状態を確認/管理する」(P. 218)

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
031-511				○		【原因】 メディアが認識できません。 【処置】 ・USB フラッシュメモリーのフォーマット形式を確認してください。 ・USB フラッシュメモリーにフォーマット異常がないか確認してください。 ・USB フラッシュメモリーの接続を確認してください。 ・USB フラッシュメモリーが故障していないかどうか確認してください。 参照 ・USB フラッシュメモリーのフォーマット形式について：「スキャン機能の主な仕様」(P. 233)
031-512				○		【原因】 メディア保存で書き込みエラーが発生しました。 【処置】 ・USB フラッシュメモリーにライトプロテクト機能がある場合は解除してください。 ・USB フラッシュメモリーが故障していないかどうか確認してください。 ・USB フラッシュメモリーのルートディレクトリーにあるファイルを削除して、スキャンし直してください。
031-515				○		【原因】 メディア内のファイル数が上限に達しました。 【処置】 USB フラッシュメモリーのルートディレクトリーにあるファイルを削除して、スキャンし直してください。
031-700	○					【原因】 接続プリンターに異常が発生しました。 【処置】 プリンターの操作パネルを確認してください。対処方法はプリンターの取扱説明書をご覧ください。
031-701	○					【原因】 接続プリンターとの通信が遮断されました。 【処置】 プリンターの接続を確認し、プリンターの電源が入っているか確認してください。
031-702	○					【原因】 接続プリンター側でジョブが中止されました。 【処置】 プリンターを確認してください。
031-710	○	○	○	○		【原因】 読み取り範囲の認識に失敗しました。 【処置】 原稿をセットし直し、スキャンし直してください。 再び同じメッセージが表示された場合は、表示内容を書き写してください。 そのあと、電源スイッチを切り、操作パネルのタッチパネルディスプレイが消灯してから、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。
031-720					○	【原因】 宛先表の復元に失敗しました。 【処置】 USB フラッシュメモリーに宛先表が保存されていることを確認してください。 USB フラッシュメモリーが故障していないかどうか確認してください。
031-721					○	【原因】 宛先表の保存に失敗しました。 【処置】 USB フラッシュメモリーに宛先表を保存できる空き容量があるかどうか確認してください。 USB フラッシュメモリーが故障していないかどうか確認してください。

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
031-722					○	【原因】 宛先表の保存 / 復元に失敗しました。 【処置】 CentreWare Internet Services、MultiWriter スキャンマネージャからアクセスしている可能性があります。CentreWare Internet Services、MultiWriter スキャンマネージャからのアクセスを中止して、保存 / 復元し直してください。
031-723					○	【原因】 宛先表の復元に失敗しました。 【処置】 宛先表の内容が適正でない可能性があります。本機から保存した宛先表かどうか確認してください。
031-724					○	【原因】 本機内の宛先数が最大登録可能数（350 件）を超えたため、すべての宛先表データを復元できませんでした。 【処置】 CentreWare Internet Services または MultiWriter スキャンマネージャで、本機内の不要な宛先を削除してから、復元を行ってください。 参照 ・「9.1 Webブラウザーでスキャナーの状態を確認/管理する」(P. 218) ・ MultiWriter スキャンマネージャのオンラインヘルプ
031-764			○			【原因】 SMTP サーバーとの接続時にエラーが発生しました。 【処置】 SMTP サーバー管理者にご相談ください。
031-765			○			【原因】 SMTP サーバーの容量が不足しています。 【処置】 SMTP サーバー管理者にご相談ください。
031-766			○			【原因】 SMTP サーバーでエラーが発生しました。 【処置】 SMTP サーバー管理者にご相談ください。
031-767			○			【原因 1】 宛先のメールアドレスが正しくありません。 【処置 1】 メールアドレスを確認して、スキャンし直してください。 【原因 2】 SMTPサーバーでPOP before SMTP認証エラーが発生しました。 【処置 2】 CentreWare Internet Services から、送信時の認証方式が POP before SMTP かどうか確認してください。POP before SMTP 認証を使用する場合は、POP3 サーバーの設定が必要です。 参照 ・「9.1 Webブラウザーでスキャナーの状態を確認/管理する」(P. 218)
031-768			○			【原因】 送信元のメールアドレスが正しくありません。 【処置】 メールアドレスを確認して、スキャンし直してください。
031-781		○				【原因】 ファイル転送時にサーバーに接続できませんでした。 【処置】 サーバーアドレスを確認してください。サーバーアドレスが正しい場合は、ネットワーク管理者に、ネットワーク環境やサーバー環境を確認するようご相談ください。
031-782		○				【原因】 ファイル転送時にサーバーにログインできませんでした。 【処置】 サーバー名、ログインユーザー名やパスワードなどを確認してください。

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
031-783		○				【原因】 ファイル転送時に指定されたサーバーパスが見つかりませんでした。 【処置】 設定されているサーバーのパス名やフォルダーのアクセス権を確認してください。
031-784		○				【原因】 ファイル転送時にサーバーへの書き込みエラーが発生しました。 【処置】 サーバーのディレクトリーに空き容量があるか、アクセス権があるか確認してください。
031-785		○				【原因】 サーバーのハードディスクの容量が不足しているため、ファイル転送ができませんでした。 【処置】 サーバーのハードディスク内の不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。
031-786		○				【原因】 スキャンデータの送受信でタイムアウトエラーが発生しました。 【処置】 ネットワークケーブルが断線していないか、正しく接続されているかどうか確認してください。 ネットワークケーブルに問題がない場合は、サーバー管理者にご相談ください。
031-787		○				【原因】 ディレクトリーの作成に失敗しました。 【処置】 ディレクトリー作成の権限があるかどうか確認してください。
031-788		○		○		【原因】 ファイル名が同じファイルが存在しました。 【処置】 ファイル名重複時の処理で［上書き保存］を指定するか、［ファイル名を変更して保存］を指定してください。または、保存先の同一名のファイルを削除してください。 参照 ・「ファイル名を設定する」(P. 58) ・「ファイル名を設定する」(P. 61)
031-789		○				【原因】 ファイル送信後の処理に失敗しました。 【処置】 ファイルのリネーム権限／削除権限があるかどうか確認してください。また、保存先の Windows Server 2003 に Service Pack1 がインストールされていない場合は、Service Pack1 をインストールしてください。
031-790		○				【原因】 ネットワークエラーが発生しました。 【処置】 ネットワーク環境の設定を確認してください。 参照 ・『ユーザーズマニュアル』「2 ネットワーク環境の設定」
031-950				○		【原因】 USB フラッシュメモリーの空き容量が不足しています。 【処置】 以下のいずれかの方法で処置してください。 ・ USB フラッシュメモリーに保存できる空き容量を確保する ・ 原稿の枚数を減らす ・ 解像度を下げる ・ フルカラーでスキャンする場合は圧縮率を上げる 参照 ・「読み取り解像度（読み取る解像度を指定してスキャンする）」(P. 75) ・「画像圧縮率（画像の圧縮率を指定してスキャンする）」(P. 75)

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
031-951				○		【原因】 メディア保存しようとしたファイルサイズが上限に達しました。 【処置】 以下のいずれかの方法で処置してください。 ・ 原稿の枚数を減らす ・ 解像度を下げる ・ フルカラーでスキャンする場合は圧縮率を上げる 参照 ・「読み取り解像度（読み取る解像度を指定してスキャンする）」(P. 75) ・「画像圧縮率（画像の圧縮率を指定してスキャンする）」(P. 75)
031-985			○			【原因】 メール送信できるデータサイズの上限に達しました。 【処置】 以下のいずれかの方法で処置してください。 ・ CentreWare Internet Services で、メール送信の「データサイズ上限値」を増やす ・ CentreWare Internet Services で、メール送信の「ページ分割送信の単位」を少なくする ・ 原稿の枚数を減らす ・ 解像度を下げる ・ フルカラーでスキャンする場合は圧縮率を上げる 参照 ・「9.1 Webブラウザーでスキャナーの状態を確認/管理する」(P. 218) ・「読み取り解像度（読み取る解像度を指定してスキャンする）」(P. 75) ・「画像圧縮率（画像の圧縮率を指定してスキャンする）」(P. 75)
031-986		○	○	○		【原因】 保存しようとしたファイルサイズがファイルフォーマットの上限に達しました。 【処置】 以下のいずれかの方法で処置してください。 ・ 原稿の枚数を減らす ・ 解像度を下げる ・ フルカラーでスキャンする場合は圧縮率を上げる 参照 ・「読み取り解像度（読み取る解像度を指定してスキャンする）」(P. 75) ・「画像圧縮率（画像の圧縮率を指定してスキャンする）」(P. 75)
031-987			○			【原因】 スキャンデータを蓄積する本機内のメモリーがいっぱいになりました。 【処置】 以下のいずれかの方法で処置してください。 ・ CentreWare Internet Services で、メール送信の「データサイズ上限値」を増やす ・ CentreWare Internet Services で、メール送信の「ページ分割送信の単位」を少なくする ・ 解像度を下げる ・ 画像を縮小して再送信する（A3 → A4 など） 参照 ・「9.1 Webブラウザーでスキャナーの状態を確認/管理する」(P. 218) ・「読み取り解像度（読み取る解像度を指定してスキャンする）」(P. 75) ・「画像圧縮率（画像の圧縮率を指定してスキャンする）」(P. 75)

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
062-790	○	○	○	○		【原因】 読み込んだ原稿が、コピー禁止の原稿です。 【処置】 「法律上の注意事項」(P. 11) を参照して、コピーできる原稿を確認してください。
131-701		○		○		【原因】 PC 保存またはメディア保存で、ファイル名を変更して保存しました。 【処置】 [閉じる] を押します。
131-702		○		○		【原因】 PC 保存またはメディア保存で、ファイル名を上書きして保存しました。 【処置】 [閉じる] を押します。
131-703	○	○	○	○		【原因】 スキャンした総枚数が最大蓄積枚数（500 枚）を超えました。 【処置】 ページを確認して残りの原稿を再セットし、スキャンし直してください。

その他のエラーについて

以下のようなメッセージが表示された場合の処置について説明します。

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
機械内部に異常が発生しました。 電源を切り、画面の表示が消えるのを確認してから電源を入れてください。 (xxx-yyy)	○	○	○	○	○	【原因】 エラーが発生しました 【処置】 電源スイッチを切り、操作パネルのタッチパネルディスプレイが消灯してから、再度、電源スイッチを入れてください。 再び同じメッセージが表示された場合は、「xxx-yyy」の表示内容を書き写してください。そのあと、電源スイッチを切り、操作パネルのタッチパネルディスプレイが消灯してから、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください

9 日常管理

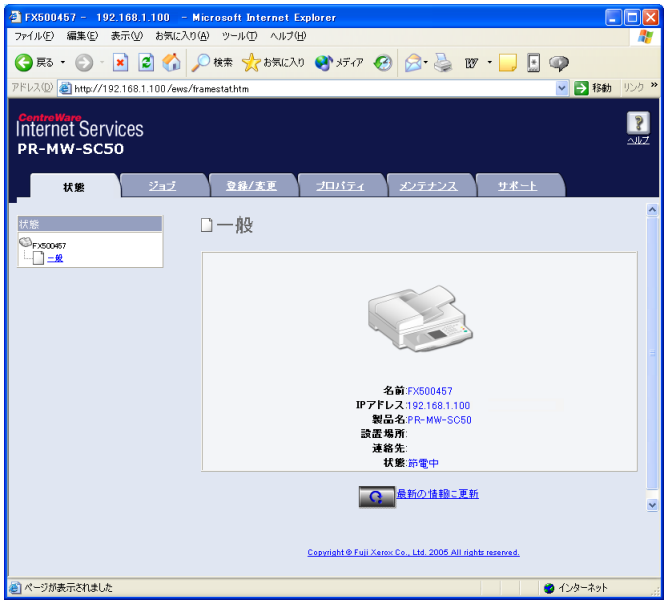
9.1 Web ブラウザーでスキャナーの状態を確認 / 管理する

本機を TCP/IP 環境に設置すると、ネットワーク上のコンピューターの Web ブラウザーを使用して、本機の状態を確認したり、本機の設定を行ったりできます。

この機能を、CentreWare Internet Services と呼びます。

CentreWare Internet Services では、本機で使用する宛先表の設定なども行うことができます。

参照
・ 宛先表の詳細：「4 宛先表 / 登録リストを使用する」(P. 116)



CentreWare Internet Services を使用するための設定

CentreWare Internet Services を使用できる環境、および使用するための設定について説明します。

対象ブラウザー

以下のブラウザーで動作することを確認しています。

・ Netscape 7.1 日本語版

・ Internet Explorer 6.0 日本語版

CentreWare Internet Services を使用するときの Web ブラウザーの設定

CentreWare Internet Services を使用する場合、プロキシサーバーを経由しないで直接本機のアドレスを指定することをお勧めします。

補足
・ プロキシサーバーを経由して本機のアドレスを指定すると、応答が遅くなったり画面が表示されなかったりすることがあります。

また、Web ブラウザーで表示言語の設定を変更すると、CentreWare Internet Services の操作画面を各国語表示に切り替えることができます。

参照
・ 設定方法：お使いの Web ブラウザーのオンラインヘルプ

本機側の設定

CentreWare Internet Services を使用する場合は、本機の IP アドレスが設定されていることと、［CW インターネットサービス］が起動されている必要があります。

［CW インターネットサービス］を停止している場合は、操作パネルで［起動する］に設定してください。

初期値は、［起動する］です。

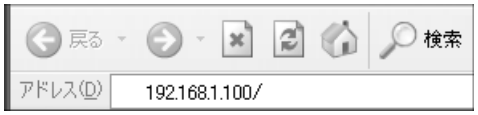
参照
・ 設定方法：「6.5 ネットワーク設定」の「プロトコル設定」(P. 158)

使用方法

本サービスを使用する手順は、次のとおりです。

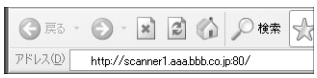
1. コンピューターを起動し、Web ブラウザーを起動します。
2. Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本機の IP アドレス、または URL を入力し、〈Enter〉キーを押します。

・ IP アドレスの入力例

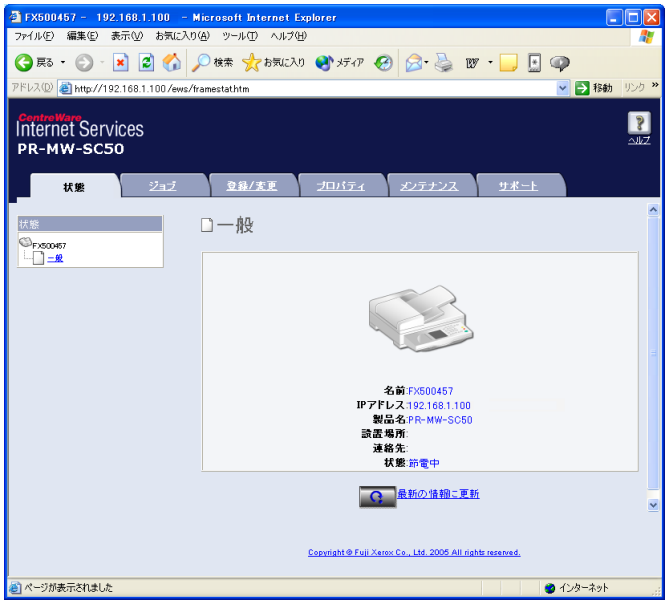


・ URL の入力例

補足
・ ポート番号を指定する場合は、アドレスの後ろに「：」に続けて「80」（初期値のポート番号）を指定してください。ポート番号は、CentreWare Internet Services の［プロパティ］＞［プロトコル設定］＞［HTTP］で変更できます。ポート番号を変更した場合は Web ブラウザーから接続するときに、アドレスの後ろに「：」に続けてポート番号を指定する必要があります。



CentreWare Internet Services のトップページが表示されます。



ネットワーク設定を変更するには

[プロパティ] タブで、ネットワークスキャナーとして使用するための設定を行うことができます。

CentreWare Internet Services で設定できる項目について

CentreWare Internet Services の各タブで設定できる主な機能は、次のとおりです。

タブ	ページ	主な機能
状態	一般	・スキャナーの情報や状態が表示されます。
ジョブ	ジョブ履歴	・コピーを含むスキャンしたジョブのうち、処理が終了した最新の 20 件分のジョブに関する詳細な情報が表示されます。
登録 / 変更	フォルダーの一覧	・宛先表フォルダーの一覧が表示されます。宛先表フォルダーを登録、変更、削除します。
	宛先の一覧	・宛先の一覧が表示されます。宛先を登録、変更、削除します。
	件名の一覧	・件名の一覧が表示されます。件名を登録、変更、削除します。
	コメントの一覧	・コメントの一覧が表示されます。コメントを登録、変更、削除します。
プロパティ	本体説明	・製品名が表示されます。また、スキャナーの名前、設置場所、連絡先、および機械管理者メールアドレスを設定します。
	本体構成	・スキャン機能の主な仕様が表示されます。
	カウンター表示	・現在までのコピーを含むスキャン量が表示されます。
	初期化	・［プロパティ］で設定した、NIC（ネットワークインターフェイスカード）の NV メモリーを初期化します。
	Internet Services 設定	・CentreWare Internet Services の機械管理者 ID と機械管理者パスワードを設定します。工場出荷時の機械管理者 ID は「admin」、機械管理者パスワードは「NECPRADMIN」です。運用する前に、工場出荷時のパスワードを必ず変更してください。
	ポート起動	・SNMP、SNTP クライアントを起動するかどうかを設定します。
	ポート設定	・Ethernet について設定します。
	プロトコル設定	・TCP/IP IP アドレスの取得方法､IP アドレスなど､TCP/IP について設定します。 ・SNMP SNMP のコミュニティ名について設定します。 ・FTP クライアント FTP サーバーとの接続開始タイムアウト時間について設定します。 ・SMB クライアント 保存先のコンピューターとの接続開始タイムアウト時間について設定します。 ・メール メールサーバーや送信時のデータサイズなどについて設定します。 ・SNTP クライアント SNTP サーバーや時間更新周期について設定します。 ・HTTP HTTP ポート番号やセッション数などについて設定します。
メンテナンス		・エラー履歴 最新の 20 件分のエラーに関する情報が表示されます。
サポート		・サポート情報が表示されます。弊社ホームページへのリンクがあります。

オンラインヘルプの使い方

各画面で設定できる項目の詳細については、［ヘルプ］ボタンを押して、オンラインヘルプを参照してください。

補足
・［ヘルプ］ボタンをクリックすると、弊社ホームページ上のオンラインヘルプが表示されます。
・オンラインヘルプを表示するには、Web ブラウザーを起動しているコンピューターがインターネットに接続できる必要があります。

9.2 スキャナーの清掃

ここでは、本機の清掃について説明します。
本体外部、本体内部の清掃方法に分けて説明します。

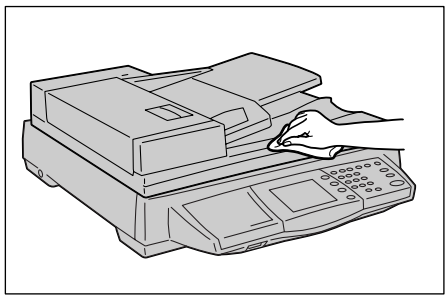
注記
- 機械を清掃する場合は電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから必ず抜いてください。電源スイッチを切らないで機械を清掃すると、感電の原因になるおそれがあります。
- 水または中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。
- ベンジンやシンナーなどの薬品類は使用しないでください。プラスチック製品の塗装、コーティングなどを傷めることがあります。
- 水でぬらしすぎると、機械が故障したりスキャン / コピーするときに原稿が破れたりするおそれがあるので注意してください。

補足
- 汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めの中性洗剤を少量含ませ、軽くふいてください。

本体外部の清掃

本体外部の清掃について説明します。

1. 水でぬらして固く絞った柔らかい布で、本体の外側をふきます。
2. 柔らかい布で、水分をふき取ります。



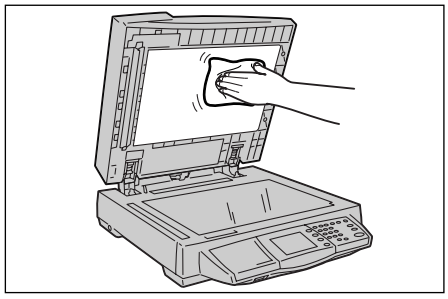
本体内部の清掃

いつもきれいなスキャン / コピーをするために、1 か月に 1 回をめどに清掃してください。

原稿カバーの清掃

補足
- 原稿カバーが汚れていると、スキャンやコピーで汚れが出たり、原稿サイズを正しく検知しないことがあります。

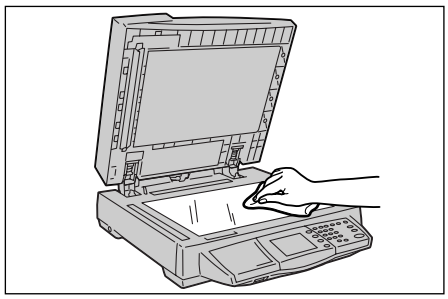
1. 水で湿らせた柔らかい布で、原稿カバーの汚れをふき取り、乾いた柔らかい布でからぶきします。



原稿ガラスの清掃

補足
・原稿ガラスが汚れていると、スキャンやコピーで汚れが出ることがあります。

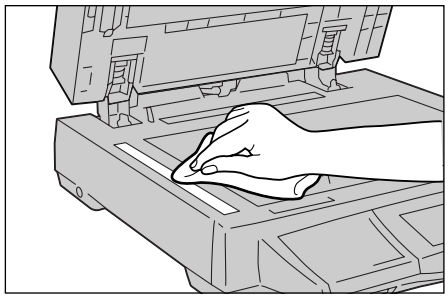
1. 水で湿らせた柔らかい布で、原稿ガラスの汚れをふき取り、乾いた柔らかい布でからぶきします。



原稿読み取り部の清掃

補足
・原稿読み取り部が汚れていると、スキャンやコピーで汚れが出たり、原稿づまりを起こすことがあります。

1. 水で湿らせた柔らかい布で、原稿読み取り部の汚れをふき取り、乾いた柔らかい布でからぶきします。

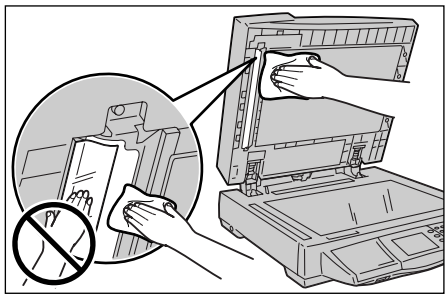


フィルム部の清掃

注記
・フィルム部は破損または変形しやすいので、強く押しすぎないでください。
・スキャナユニット PR-MW-SC50 の場合、白いフィルムと透明のフィルムがあります。透明のフィルムには触らないでください。

補足
・フィルム部が汚れていると、スキャンやコピーで汚れが出ることがあります。

1. 水で湿らせた柔らかい布で、フィルム部の汚れをふき取り、乾いた柔らかい布でからぶきします。



ローラー部の清掃

ローラー部が汚れていると、スキャンやコピーに汚れが出たり、原稿づまりの原因になることがあります。

いつもきれいなスキャン、コピーをするために、30,000 枚に 1 回をめどに清掃してください。

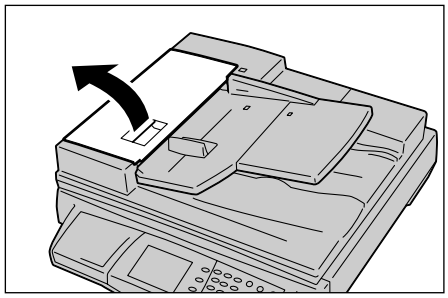
ローラー部は、水で濡らして固く絞った柔らかい布で清掃します。

注記

・ 布は水滴が落ちない程度に固く絞ってご使用ください。内部に水滴が落ちると、誤動作を起こす場合があります。

■ スキャナユニット PR-MW-SC50 の場合

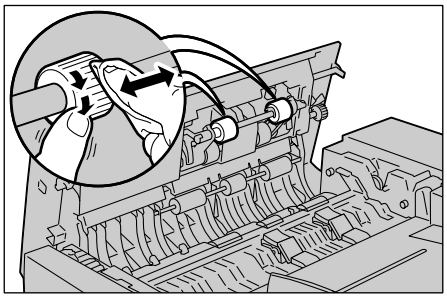
1. 自動原稿送り装置の左側カバーのレバーを引き上げて、左側カバーを止まるところまで開けます。



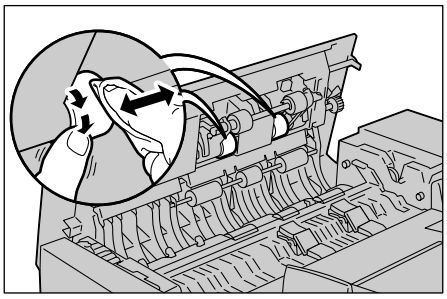
補足

・ カバーを充分に開くと、固定される位置があります。カバーは、ゆっくりと開けてください。

2. ピックアップローラー（2 個）を手で回しながら、図の矢印方向に清掃します。

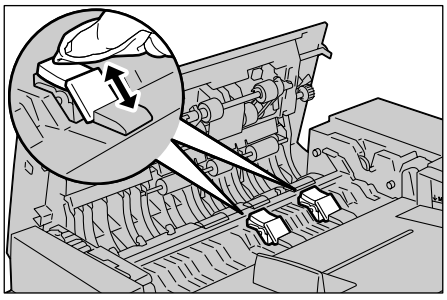


3. 給紙ローラー（2 個）を手で回しながら、図の矢印方向に清掃します。

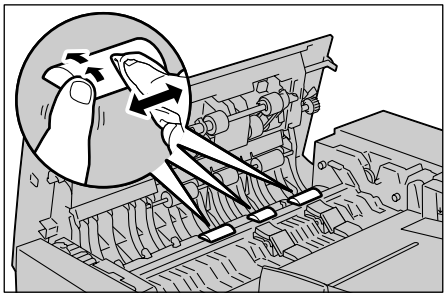


4. 分離パッド（2 個）の表面を図のように清掃します。

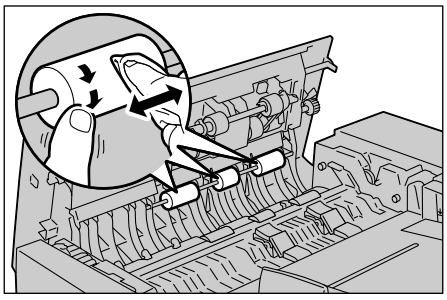
5. 分離パッドの前サバキゴムを図の矢印方向に清掃します。



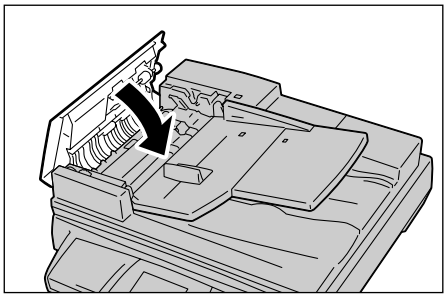
6. レジローラー（3 個）を手で回しながら、図の矢印方向に清掃します。



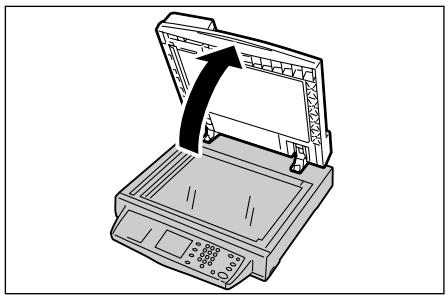
7. レジコロ（3 個）を手で回しながら、図の矢印方向に清掃します。



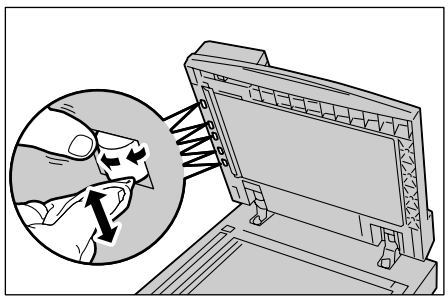
8. 自動原稿送り装置の左側カバーをカチッと音がするまで閉じます。



9. 原稿カバーを開けます。

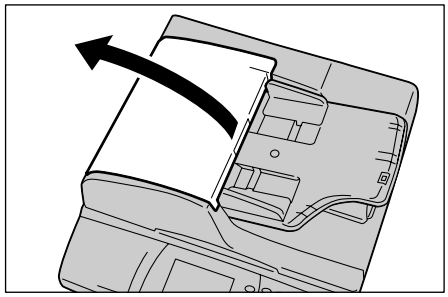


10. リードコロ（5 個）を手で回しながら、図の矢印方向に清掃します。



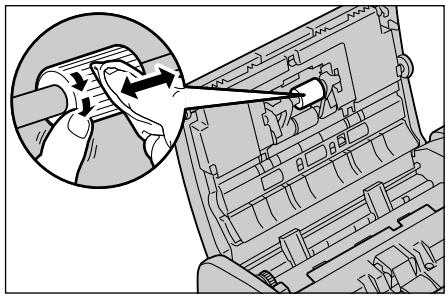
■ スキャナユニット PR-MW-SC40 の場合

1. 自動原稿送り装置の左側カバー手前の取っ手を引き上げて、左側カバーを止まるところまで開けます。

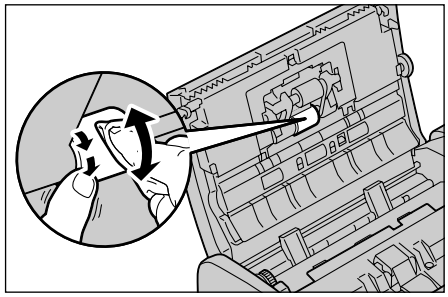


補足
・ カバーを充分に開くと、固定される位置があります。カバーは、ゆっくりと開けてください。

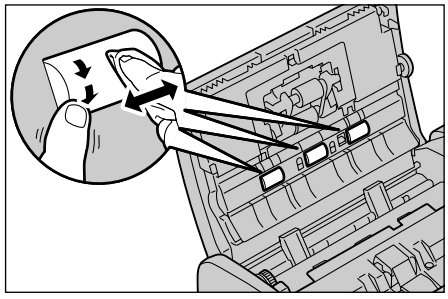
2. ピックアップローラーを手で回しながら、図の矢印方向に清掃します。



3. 給紙ローラーを手で回しながら、図の矢印方向に清掃します。

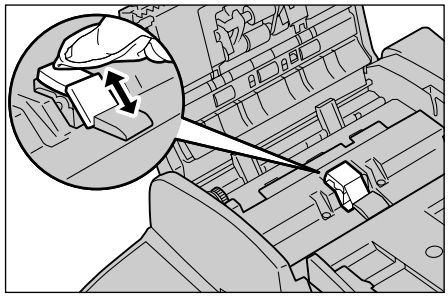


4. レジコロを手で回しながら、図の矢印方向に清掃します。



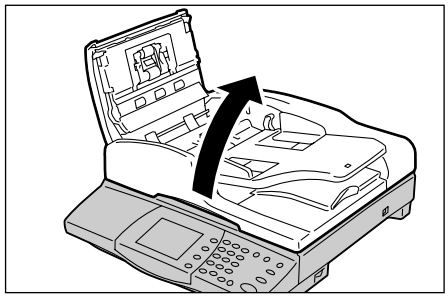
5. 分離パッドの表面を図のように清掃します。

6. 分離パッドの前サバキゴムを図の矢印方向に清掃します。



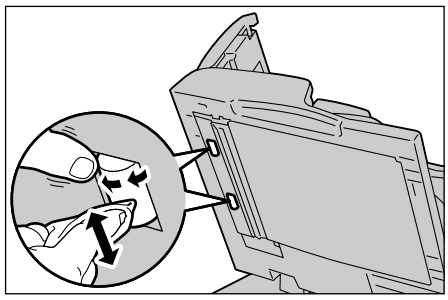
注記
・ 分離パッドが外れた場合は、カチッと音がするまで押して取り付けてください。

7. 原稿カバーを開けます。

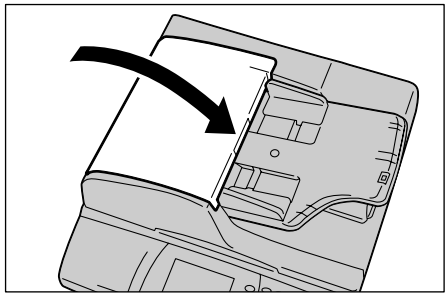


補足
・自動原稿送り装置の左側カバーを開けたまま、次のリードコロの清掃を行ったほうが、リードコロが回転しやすくなります。左側カバーを閉めた状態でリードコロを清掃することもできます。

8. リードコロ（2 個）を手で回しながら、図の矢印方向に清掃します。



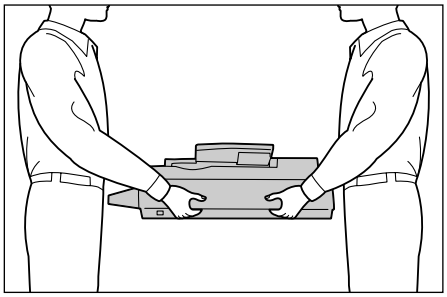
9. 自動原稿送り装置の左側カバーをカチッと音がするまで閉じます。



9.3 スキャナーを移動するときは

スキャナーを移動するときは、次の手順に従ってください。

⚠ 注意
- スキャナユニット PR-MW-SC50 の重さは、約 24.0kg です。必ず 2 人以上で持ち運んでください。
- スキャナユニット PR-MW-SC50 を持ち上げるときは、機械の前後に立って、左右両側の下方にあるくぼみを両手でしっかりと持ってください。
  スキャナユニット PR-MW-SC40 を持ち上げるときは、、機械の背面に向かって、左右両側の下方にあるくぼみを両手でしっかりと持ってください。
  操作パネルなど、両側のくぼみ以外を持って、持ち上げることは絶対にしないでください。落下によるケガの原因となるおそれがあります。

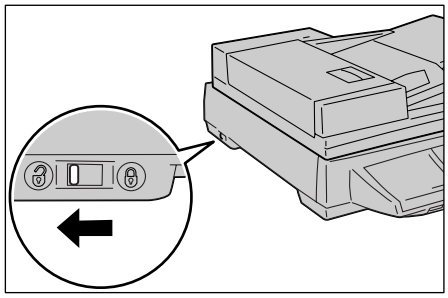


【スキャナユニット PR-MW-SC50 の場合】

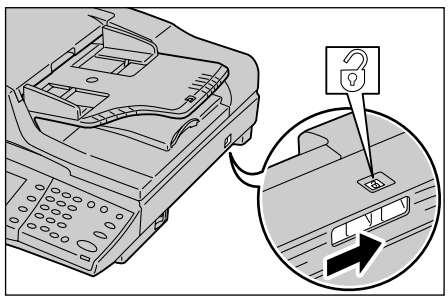
1. 原稿ガラスや自動原稿送り装置の原稿送りトレイに原稿がセットされている場合や、自動原稿送り装置の原稿受けに原稿がある場合は取り除きます。

2. キャリッジロックが解除されていることを確認します。
   解除されていないときは、次のようにして解除します。

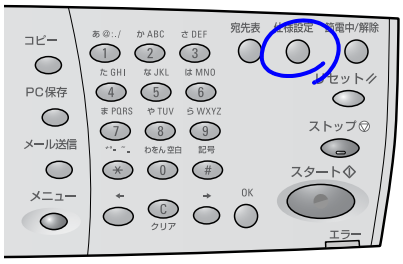
   スキャナユニット PR-MW-SC50 の場合は、キャリッジロックを解除マーク側（背面方向）にスライドします。



   スキャナユニット PR-MW-SC40 の場合は、ロックマーク（固定マーク）の下部裏側にあるキャリッジロックを解除マーク側（背面方向）にスライドします。

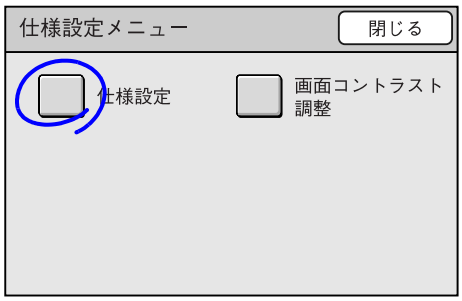


3. 操作パネルで〈仕様設定〉ボタンを押します。

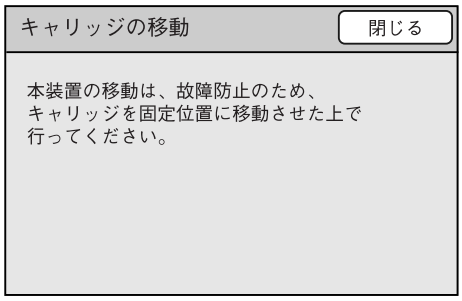


4. [仕様設定メニュー] 画面が表示されるので、[仕様設定] を押します。
   [認証] 画面が表示され、[機械管理者暗証番号] の入力を求められます。

5. 操作パネルの数字ボタンで、暗証番号を入力し、[確定] を押します。

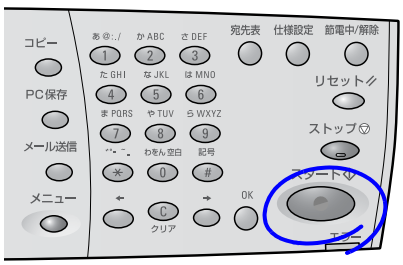


6. [共通設定] → [保守 / 診断] → [キャリッジの移動] の順に選択して [キャリッジの移動] 画面を表示します。

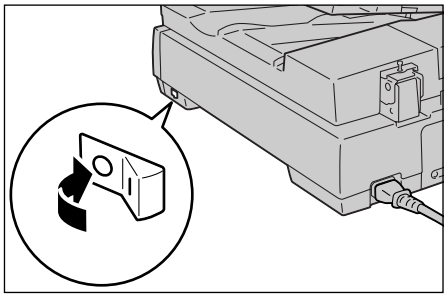


7. 操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。
   キャリッジが固定位置に移動します。

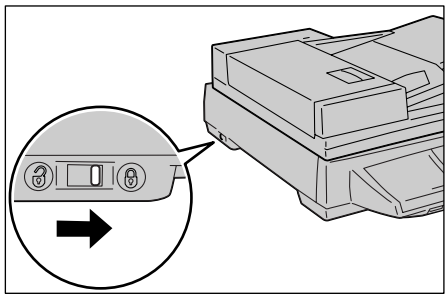
8. [電源の切り / 入り] 画面が表示されるまで [閉じる] ボタンを押します。



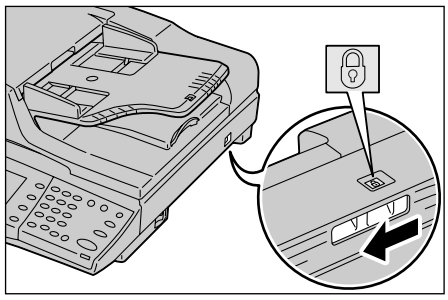
9. スキャナーの電源スイッチの〈○〉側を押して、電源を切ります。



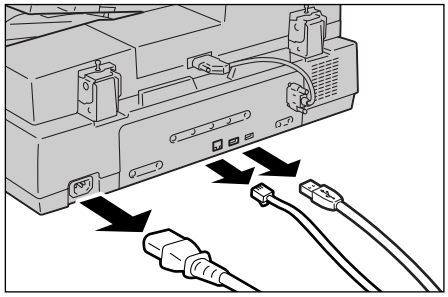
10. キャリッジをロック（固定）します。
スキャナユニット PR-MW-SC50 の場合は、キャリッジロックを前面側にスライドさせます。



スキャナユニット PR-MW-SC40 の場合は、ロックマークの下部裏側に手を挿入して、キャリッジロックを前面側にスライドさせてロックします。

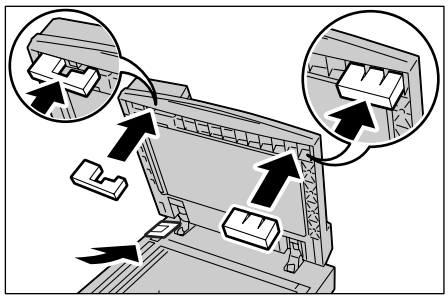


11. 電源コード、USB ケーブル、ネットワークケーブルなど、すべての接続コードを外します。

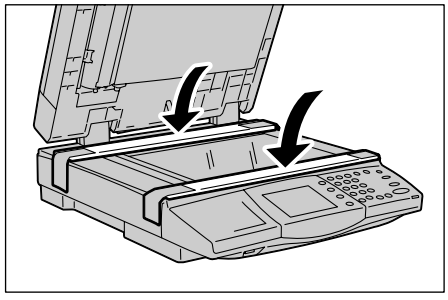


12. 設置時に取り外して保管しておいた緩衝材を取り付けます。

13. スキャナーを持って、静かに移動します。長距離を移動する場合は、梱包して運送してください。



スキャナユニット PR-MW-SC50



スキャナユニット PR-MW-SC40

A　付　録

A.1　主な仕様

スキャナーの主な仕様

項　目	内　容
形式	カラースキャナー（フラットベッド / シートフィード） 縮小光学系による CCD 固体走査方式
読み取りサイズ	スキャナユニット PR-MW-SC50 最大：297.0 × 432.0mm 最小：15.0 × 15.0mm スキャナユニット PR-MW-SC40 最大：215.9 × 297.0mm 最小：15.0 × 15.0mm
光学解像度	主走査：600dpi（23.6 ドット /mm） 副走査：600dpi（23.6 ドット /mm）
読み取り解像度	600、400、300、200dpi（23.6、15.7、11.8、7.9 ドット /mm）
読み取り階調	フルカラー　入力 30 ビット、出力 24 ビット グレースケール　入力 10 ビット、出力 8 ビット
原稿読み取り速度 （解像度 600dpi 時）	スキャナユニット PR-MW-SC50 倍率 / カラー / 白黒 50% / 97.32mm/sec / 209.16mm/sec 50%< m ≦ 100% / 48.66mm/sec / 104.58mm/sec 100%< m ≦ 200% / 24.33mm/sec / 52.29mm/sec スキャナユニット PR-MW-SC40 倍率 / カラー / 白黒 50% / 120.9mm/sec / 241.8mm/sec 50%< m ≦ 100% / 60.5mm/sec / 120.9mm/sec 100%< m ≦ 200% / 30.2mm/sec / 60.5mm/sec
インターフェイス	100BASE-TX/10BASE-T、USB2.0（Hi-Speed 対応、HOST USB）
出力形式	フォーマット モノクロ 2 値　：TIFF（シングルページ、およびマルチページ）、XDW、PDF グレースケール　：TIFF、JFIF(JPEG)、XDW、PDF カラー　：TIFF、JFIF(JPEG)、XDW、PDF **注記：非圧縮はサポートしていません。** 圧縮方式 モノクロ 2 値　：MH（写真）、MMR（文字、文字 / 写真） グレースケール　：JPEG カラー　：JPEG
対応プロトコル	TCP/IP（FTP、SMB、SMTP）
電源	AC100 ～ 240V ± 10%、50Hz/60Hz 共用
消費電力	スキャナユニット PR-MW-SC50 稼動時 / スタンバイ時 / 節電モード時 120W 以下 / 40W 以下 / 9W 以下 スキャナユニット PR-MW-SC40 稼動時 / スタンバイ時 / 節電モード時 100W 以下 / 35W 以下 / 9W 以下 本製品は、電源プラグがコンセントに差し込まれていても、電源スイッチが切れた状態では電力の消費はありません。

項　目	内　　容
大きさ	スキャナユニット PR-MW-SC50 幅 582.0 ×奥行 658.0 ×高さ 209.0mm スキャナユニット PR-MW-SC40 幅 448.0 ×奥行 502.0 ×高さ 194.0mm
質量	スキャナユニット PR-MW-SC50 :24.0kg スキャナユニット PR-MW-SC40 :15.0kg
機械占有寸法	スキャナユニット PR-MW-SC50 幅 732.0 ×奥行 1394.0mm スキャナユニット PR-MW-SC40 幅 648.0 ×奥行 1119.0mm

自動両面原稿送り装置の主な仕様

項　目	内　　容
原稿サイズ	スキャナユニット PR-MW-SC50（片面 / 両面） 最大：297.0 × 432.0mm 最小：100.0 × 148.5mm スキャナユニット PR-MW-SC40（片面 / 両面） 最大：215.9 × 355.6mm 最小：140.0 × 140.0mm
原稿種類	不透明及び半透明のシート状の原稿 スキャナユニット PR-MW-SC50: 35 ～ 120g/m^2 （両面時は 50 ～ 120g/m^2） スキャナユニット PR-MW-SC40: 60 ～ 105g/m^2
原稿収容可能枚数	50 枚　　**注記：**普通紙 60 ～ 100g/m^2
ページ読み取り速度	スキャナユニット PR-MW-SC50 **【片面】解像度 / 原稿サイズ　白黒　カラー / グレー** 300dpi/A4　40 枚 / 分　23 枚 / 分 600dpi/A4　25 枚 / 分　12 枚 / 分 **【両面】解像度 / 原稿サイズ　白黒　カラー / グレー** 300dpi/A4　10 枚 / 分　7 枚 / 分 600dpi/A4　7 枚 / 分　4 枚 / 分 スキャナユニット PR-MW-SC40 **【片面】解像度 / 原稿サイズ　白黒　カラー / グレー** 300dpi/A4　31 枚 / 分　20 枚 / 分 600dpi/A4　20 枚 / 分　10 枚 / 分 **【両面】解像度 / 原稿サイズ　白黒　カラー / グレー** 300dpi/A4　7.5 枚 / 分　5 枚 / 分 600dpi/A4　5 枚 / 分　3 枚 / 分

スキャン機能の主な仕様

項　目	内　　容
PC 保存	対応プロトコル：　TCP/IP（FTP、SMB） スキャンデータを保存する FTP サーバー OS： ・ Microsoft® Windows NT® Server 4.0（Service Pack 1） → IIS4.0 の FTP サービス ・ Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0（Service Pack 1） → Personal Web Server 4.0 の FTP サービス ・ Microsoft® Windows® 2000 Server/ Microsoft® Windows® 2000 Professional → IIS5.0 の FTP サービス ・ Microsoft® Windows® XP Professional → IIS5.1 の FTP サービス ・ Microsoft® Windows Server™ 2003（Service Pack 1） → IIS6.0 の FTP サービス ・ NetWare® 5.11J/5.12Jを使用する場合は、OS標準のFTPサービス スキャンデータを保存する SMB サーバー OS： ・ Microsoft® Windows® 98 ・ Microsoft® Windows® 98 Second Edition ・ Microsoft® Windows® Me ・ Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0 ・ Microsoft® Windows NT® Server 4.0 ・ Microsoft® Windows® 2000 Professional ・ Microsoft® Windows® 2000 Server ・ Microsoft® Windows® XP Home Edition ・ Microsoft® Windows® XP Professional ・ Microsoft® Windows Server™ 2003
メール送信	SMTP クライアント： RFC2821/2822 準拠、MIME Version 1.0(Base64) 対応サーバー：Sendmail8.9.3 以降
メディア保存	対応メディア：USB フラッシュメモリー 対応フォーマット：2GB 以下の FAT 形式または FAT32 形式

MultiWriter スキャンマネージャの動作環境

対応 OS	・ Microsoft® Windows® 98 ・ Microsoft® Windows® 98 Second Edition ・ Microsoft® Windows® Me ・ Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0（Service Pack4 以上） ・ Microsoft® Windows NT® Server 4.0（Service Pack4 以上） ・ Microsoft® Windows® 2000 Professional ・ Microsoft® Windows® 2000 Server ・ Microsoft® Windows® XP Home Edition ・ Microsoft® Windows® XP Professional ・ Microsoft® Windows Server™ 2003 補足 ・ DocuWorks は Microsoft® Windows NT® に対応してないため、Windows NTでは、DocuWorks文書のサムネール表示はできません。 ・ Microsoft® Windows® XP Home Edition では、宛先を登録するときに、かんたん設定モードを利用できません。
CPU	Pentium® III 400MHz 以上（Pentium® III 850MHz 以上推奨）
ハードウエア	PC/AT 互換機

メモリー	128MB 以上
ハードディスク空き容量	インストール時 : 20MB 以上 操作時 : 200MB 以上推奨
ソフトウエア	Microsoft Internet Explorer 5.0 以上
	メールアドレス帳をインポートする場合、対応するメールアプリケーションは、次のとおりです。 ・ Microsoft® Outlook® Express 5 ・ Microsoft® Outlook® Express 6 ・ Microsoft® Outlook® 2000 ・ Microsoft® Outlook® 2002 ・ Microsoft® Outlook® 2003
	DocuWorks 文書をサムネール表示する場合は、DocuWorks Viewer Light for Web 6.0.2 以降が必要です。
ディスプレイ	VGA 以上 （SVGA(800x600) 以上のグラフィックスカードを推奨）
その他	・ ネットワークインターフェイスカード ・ CD-ROM ドライブ（インストール時のみ）

倍率一覧表

		スキャン / コピー						
		A6	B6	A5	B5	A4	B4	A3
原稿	A6	100%	122%	141%	173%	200%	———	———
	B6	82%	100%	116%	142%	164%	———	———
	A5	71%	86%	100%	123%	141%	174%	200%
	B5	58%	70%	81%	100%	115%	141%	163%
	A4	50%	61%	70%	87%	100%	122%	141%
	B4	———	50%	58%	71%	81%	100%	115%
	A3	———	———	50%	61%	71%	86%	100%

A.2　オプション品の紹介

オプション品

主なオプション製品は以下のとおりです。お買い上げの際は、販売店までご連絡ください。

商　品　名	商品コード	備考
スキャナテーブル	ES100005	スキャナーを設置する専用のテーブルです。スキャナーとプリンターの設置スペースを効率化できます。

* 商品の種類や商品コードは 2005 年 10 月現在のものです。

A.3　補修用性能部品について

当社は機械の補修用性能部品（機械の機能を保持するために必要な部品）を製造打ち切り後 7 年間保有しています。

A.4　製品情報の入手方法

本機のファームウエアのバージョンアップについて

弊社では、スキャナー本体に組み込まれたソフトウエア（以下、ファームウエアと呼びます）を提供しています。最新のファームウエアは、下記の弊社ホームページのアドレス（URL）から取り出し、バージョンアップすることができます。

表示されたホームページの指示に従って、該当するファームウエアをダウンロードし、バージョンアップしてください。

http://nec8.com/

補足

・ 通信費用はお客様の負担になりますのでご了承ください。

A.5　注意 / 制限事項

ここでは、本機を使用するうえでの注意、および制限事項について説明します。

スキャン機能使用上の注意 / 制限

■ 白黒モード時の出力サイズについて

［カラーモード］に［白黒］を選択してスキャンした場合、出力サイズが［フルカラー］、［グレースケール］の場合に対して、最大で +16 ～ -16 画素の誤差が発生することがあります。

■ 両面原稿読み取り時のエラー（003-770）について

自動原稿送り装置から両面原稿を読み取った場合、原稿サイズ、画像解像度、読み取り倍率の組み合わせによって、拡大倍率が読み取り可能な範囲を超えてしまった場合は、エラーコード 003-770 のエラーになります。倍率を下げて、スキャンし直してください。

例：　A3 の両面原稿を、600dpi の画像解像度で、166% 以上に拡大した場合

■ 宛先表のバックアップについて

宛先の新規登録、追加登録を行った場合は、宛先表のバックアップをとることをお勧めします。宛先表のバックアップは、［仕様設定］＞［共通設定］＞［保守 / 診断］＞［宛先表の保守］で行います。

参照
・「宛先表の保守」(P. 153)

コピー機能使用上の注意 / 制限

■ 手差しトレイの用紙への出力について

［用紙選択］で［手差し］を選択して非定形サイズの用紙にコピーする場合、プリンターによっては設定が必要になる機種があります。詳しくは、プリンターの取扱説明書を参照してください。

■ A3 サイズ、両面印刷について（スキャナユニット PR-MW-SC50 の場合）

A3 サイズの原稿を、両面にコピーする（［両面 / 片面選択］で［片面→両面］または［両面］→［両面］を設定する）場合、プリンターによってはメモリー増設が必要になる機種があります。詳しくは、プリンターの取扱説明書を参照してください。

■ プリンターの用紙サイズ変更について

コピー実行中に、プリンターの給紙トレイの用紙サイズを変更した場合、用紙サイズ情報がコピーに正しく反映されない場合があります。

■ プリンターに同一サイズの用紙を縦 / 横にセットしている場合について

プリンターの給紙トレイの用紙サイズを、同一サイズで縦と横の両方でセットしている場合、用紙の有無に関わらず、縦が選択されます。

例：　A4、A4に用紙をセットしている場合

・両方に用紙がある場合　→　A4にコピーされる。

・A4に用紙がない場合　→　A4にはコピーされず、用紙切れになる。

■ 両面原稿読み取り時のエラー（003-770）について

自動原稿送り装置から両面原稿を読み取った場合、原稿サイズ、倍率選択の組み合わせによって、拡大倍率が読み取り可能な範囲を超えてしまった場合は、エラーコード 003-770 のエラーになります。倍率を下げて、コピーし直してください。

例： A3 の両面原稿を、166% 以上に拡大した場合

■ プリンターの状態について

プリンターが故障している場合、プリンターの状態を正しく取得できないことがあります。その場合は、プリンターの操作パネルの表示を確認してください。

プリンターの状態を、本機の画面に正しく表示するには、プリンターを修理してから、コピー機能を使用してください。

参照
・ プリンターの故障や修理について：プリンターの取扱説明書

A.6 用語集

【10BASE-T】

IEEE802.3 の規格の一つです。10Mbps、ベースバンド、ツイストペアケーブルを使った Ethernet（イーサネット）の接続方式です。

【100BASE-TX】

10BASE-T の拡張版で、FastEthernet（ファーストイーサネット）とも呼ばれるものの一つです。通信速度が 100Mbps で、10BASE-T の 10Mbps から大幅に高速になっています。

【A3】

420 × 297mm の用紙のことです。

【A4】

297 × 210mm の用紙のことです。

【A5】

210 × 148mm の用紙のことです。

【B4】

364 × 257mm の用紙のことです。

【B5】

257 × 182mm の用紙のことです。

【CD-ROM】

コンパクトディスク（CD）にコンピューター用ソフトウエアや画像などのデータを記録したものです。

【CMYK】

カラー印刷などでの色の表現方法です。C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）の 4 色に分解し、その 4 種類の色を重ね合わせて印刷します。

【DHCP】

Dynamic Host Configuration Protocol の略で、DHCP サーバーから DHCP クライアントに IP アドレスを自動的に割り当てるプロトコルのことです。

【DNS】

Domain Name System の略で、インターネットでホスト名へ対応する IP アドレス、または IP アドレスへ対応するホスト名を知るための名前解決サービスです。

【dpi】

Dot Per Inch の略で、1 インチ（約 25.4mm）幅に印字できるドット数を表す単位です。解像度を示す単位として使用します。

【HTTP】

インターネット上で WWW サーバーと通信をするためのプロトコルのことです。

【IP アドレス】

TCP/IP プロトコルによるネットワークで使用されるアドレスです。小数点で区切られた 4 つの数値（10 進数）で表します。

【JPEG ファイル】

JPEG は画像の圧縮方式で、JPEG ファイルとは、JPEG 方式で生成されたファイルです。圧縮率が高く、デジタルカメラで撮影した写真画像に多く使われています。

【NetWare】

Novell 社が開発したネットワーク OS です。

【OS】

コンピューターのハードウエアとソフトウエアの基本的な動きを制御し、管理するソフトウエアで、Operating System の略です。アプリケーションソフトウエアなどが動作するための土台となります。

【PDF ファイル】

このマニュアルでは、Adobe Systems 社が開発した Acrobat というソフトウエアで作成したオンラインドキュメントを「PDF ファイル」と呼びます。PDF ファイルを画面に表示するには、Adobe Reader というソフトウエアをコンピューターにインストールする必要があります。

【RGB】

スキャナーやディスプレイなどでの色の表現方法です。光の三原色である赤 (R)・緑 (G)・青（B）の 3 色の組み合わせで、すべての色を表現します。

【SMB】

Windows ネットワーク（Microsoft ネットワーク）上でデータを送信できるネットワーク通信方法で、Windows 98/Windows Me/Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003 上で使用できます。Samba というソフトウエアを使用すると、UNIX 系 OS で SMB を使用できます。ただし本機は、Samba が動作するサーバーに対応していません。

【SNMP】

ネットワークに接続された機器を、ネットワークを経由して管理するプロトコルです。

管理する側には SNMP マネージャーというソフトウエアを、管理される側には SNMP エージェントというソフトウエアを組み込んで実行します。

【TCP/IP】

DARPANET（Defense Advanced Research Project Agency NetWork）で開発されたネットワークプロトコルです。インターネットの標準プロトコルであり、パーソナルコンピューターから大型コンピューターまで、さまざまな機種で使用されています。

【TIFF ファイル】

Aldus 社（現在の Adobe Systems 社）と Microsoft 社によって開発された画像データのファイル形式です。

【USB】

Universal Serial Bus の略で、コンピューターと周辺機器との間のデータ転送方式の一つです。電源を入れたままで接続できる「ホットプラグ」機能に対応しており、コンピューターと周辺機器を簡単に接続できます。

【Web ブラウザー】

インターネットで、WWW サーバーの情報をコンピューターに表示し、見るためのソフトウエアです。代表的なものには、Netscape や Internet Explorer などがあります。

【WWW】

World Wide Web の略です。インターネットでホームページを提供するしくみのことです。

【アドレス】

ネットワーク上のノード（各コンピューターや端末など）を識別するために割り当てられる情報（一意の識別子）のことです。また、メモリーに個別に割り当てられた番地のこともアドレスと呼びます。

【アプリケーションソフトウエア】

コンピューター上で作業を行う道具となるソフトウエアのことです。ワープロ、表計算、グラフィックス、データベースなど、数多くのアプリケーションソフトウエアが販売されています。

【色空間】

機器で再現できる色の範囲や表現方式です。機器によって特性が異なるため各種の色空間があります。色の再現性を統一するために、国際標準として sRGB が発行されています。また、sYCC は sRGB より広い色空間をもち、デジタルカメラなどで採用されています。

【インストール】

ソフトウエアやハードウエアをコンピューターや周辺機器に組み込み、使えるようにすることです。ドライバーなどのソフトウエアをコンピューターのシステムに組み込むことや、ネットワーク拡張カードなどのハードウエアをコンピューターや周辺機器に組み込むことをいいます。

このマニュアルでは、主にコンピューターにソフトウエアを組み込むことを「インストール」と呼びます。

【インターフェイス】

互いに異なるシステム（系）が接触する部分を指します。コンピューターとスキャナーの間、人間と機械との間などを指す場合によく使用されます。

インターフェイスの仕様、特に電気的仕様のことを単にインターフェイスということもあります。

【インターフェイスケーブル】

複数の装置を相互に接続するケーブルのことです。

スキャナーとプリンターを直接接続する USB ケーブルや、スキャナーをネットワークに接続するイーサネットケーブルなどがあります。

【オンラインヘルプ】

コンピューターの画面に表示されるマニュアルです。

【解像度】

画像の細かさを表します。通常 1 インチあたりのドット数（単位は dpi）で表し、この数値が大きいほど解像度が高い（細部まで表現できる）といいます。

【階調】

色と色のなめらかさをいいます。グラデーションのステップ数で階調数を表し、その数値が大きいほどなめらかになります。

【キャリッジ】

スキャナーの読み取りヘッド部のことです。

【クリック】

マウスボタンを 1 回、押して離すことです。このマニュアルでは、マウスの左ボタンをクリックすることを「クリック」と呼び、右ボタンをクリックすることを、「右クリック」と呼びます。

また、マウスのボタンをすばやく 2 回続けて押し、離すことを「ダブルクリック」と呼びます。

【サーバー】

ネットワーク上で情報を蓄積し、ほかのコンピューターにサービスを提供するコンピューターのことをいいます。

逆に、サーバーにサービスを要求するコンピューターを「クライアント」といいます。

【初期値】

工場出荷時、および NV メモリー初期化時の設定です。

【ジョブ】

コンピューターなどが行う一連の処理を指します。本機では、スキャンまたはコピー 1 回の処理が 1 件のジョブになります。

【ソート】

複数部数を印刷したとき、1 部ごとに 1、2、3...1、2、3... の順で排出することを「ソート」と呼びます。

【ソフトウエア】

コンピューターを動かすためのプログラムです。OS もアプリケーションソフトウエアもソフトウエアの一種です。

【ネットワークスキャナー】

このマニュアルでは、イーサネットケーブルでネットワークに接続したスキャナーを「ネットワークスキャナー」と呼びます。

【プロトコル】

複数の装置やコンピューターシステムが、互いに通信するための約束事です。ハードウエア間で情報を転送する場合の手順の取り決めや、2 つのコンピューターがネットワークを介して通信するための手順の取り決めのことです。

【ポート】

コンピューターが周辺装置と情報をやりとりするための接続部分のことです。

【メートル坪量】

$1m^2$ の用紙 1 枚の質量です。

【ログイン】

コンピューターシステムの資源（ネットワーク上のハードディスクやスキャナーなど）にアクセスできる状態にすることです。また、ログインを終了することを「ログアウト」と呼びます。

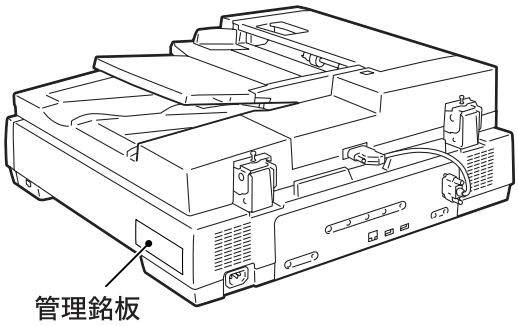
A.7　保証について

保証書について

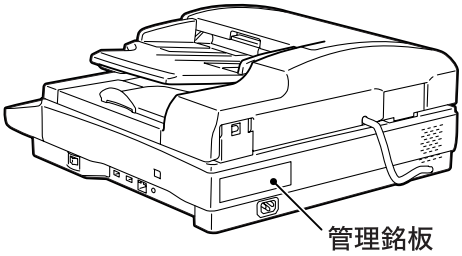
スキャナーには「保証書」が付いています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、「保証書」の記載内容に基づき、無料修理します。詳細については「保証書」、および次ページの「保守サービスについて」をご覧ください。また、スキャナーに添付の「NEC サービス網一覧表」に記載されているサービス窓口へお問い合わせください。

注記

・本体に製品の型式、SERIAL No.（製造番号）、定格、製造業者名、製造国が明記された管理銘板が貼ってあります（下図参照）。販売店またはサービス窓口にお問い合わせする際に、この内容をお伝えください。また、管理銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していないと、万一スキャナーが保証期間内に故障した場合でも保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前にご確認ください。



スキャナユニット PR-MW-SC50



スキャナユニット PR-MW-SC40

保守サービスについて

保守サービスは純正部品を使用することはもちろん、技術力においても安心してご利用いただける、当社指定の保守サービス会社をご利用ください。保守サービスには次のような種類があります。

・ 契約保守
年間一定料金で契約を結び、サービス担当者を派遣するシステムです。

・ 出張修理
サービス担当者がお客様のところに伺い、修理をするシステムです。料金は修理の程度、内容に応じて異なります。

保守サービスの種類

種　類	概　要	修理料金		お支払い方法	受付窓口*1
		保証期間内	保証期間外		
契約保守	ご契約いただきますと、修理のご依頼に対しサービス担当者を派遣し、修理いたします。（原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引き取りして修理する場合もありますのでご了承ください。）保守料は、システム構成に応じた一定料金を前払いしていただくため一部有償部品を除き、修理完了時にその都度お支払いいただく必要はありません。保守費用の予算化が可能になります。	機器構成、契約期間に応じた一定料金		契約期間に応じて一括払い	NECフィールディング（株）
出張修理	修理のご依頼に対してサービス担当者を随時派遣し、修理いたします。 （原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引き取りして修理する場合もありますのでご了承ください。）ご契約は不要です。	無料*2	修理料 + 出張料	その都度清算	

*1 受付窓口の所在地、連絡先などは添付の「NEC サービス網一覧表」、またはインターネットの Web ページ http://www.fielding.co.jp/per/index.htm をご覧ください。

*2 本製品は「出張修理対象品」ですので、保証期間内の出張修理は無料です。出張修理の対象となっていない製品は、出張料のみ有料となります。

スキャナーの寿命について

スキャナー製品の寿命は以下のとおりです

・PR-MW-SC50：
スキャン回数（A3 サイズ）42 万回（自動原稿送り装置 28 万回 / 原稿ガラス 14 万回）、または使用年数 5 年のいずれか早い方

・PR-MW-SC40：
スキャン回数（A4 サイズ）30 万回（自動原稿送り装置 25 万回 / 原稿ガラス 5 万回）、または使用年数 5 年のいずれか早い方

継続使用される場合や定期保守については、販売店または「NEC サービス網一覧表」に記載のサービス窓口にご相談ください。

補修用性能部品および消耗品について

本製品の補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は、製造打ち切り後 7 年です。

ユーザーズマニュアルの再購入について

ユーザーズマニュアルを破損、紛失されたときは、下記の PC マニュアルセンターでコピー複製版（白黒版）をお買い求めいただけます。お申し込みには、スキャナーの型番が必要になります。あらかじめお調べのうえ、お申し込みください。

品名：スキャナユニット PR-MW-SC50/PR-MW-SC40 ユーザーズマニュアル
なお、ユーザーズマニュアルの紛失に備えて、型番をメモしておくようにしてください。

NEC PC マニュアルセンター

URL： http://pcm.mepros.com/

電話： 03-5471-5215
受付時間　月曜から金曜　10：00 ～ 12：00/13：00 ～ 16：00
（土曜、日曜、祝祭日を除く）

FAX： 03-5471-3996
24 時間受付。ただし、いただいた FAX に対する回答は翌営業日以降になります。

補足
・ 製造終了後 7 年を経過した製品のマニュアルは販売しておりません。
・ 一部取り扱いのないマニュアルがあります。

情報サービスについて

・ プリンター製品に関する最新情報
インターネット「NEC8 番街」 URL：http://nec8.com/

・ プリンターに関する技術的なご質問、ご相談
NEC 121 コンタクトセンター
（電話番号、受付時間などについては、「NEC サービス網一覧表」をご覧ください。）

索引

「→○○○○」と記載しているものは、本索引内の○○○○の欄を参照してください。

記号・英数

2 アップ. 108
A 系 B 系表示（仕様設定）. 144
BOOTP. 159
CentreWare Internet Services 131
　オンラインヘルプの使い方. 221
　使用時のトラブル 209
　使用するための設定 218
　使用方法. 219
　設定できる項目 221
CW インターネットサービス（仕様設定）. . 158
C（クリア）ボタン. 16
DHCP 159
DHCP/Autonet. 159
DocuWorks. 65
Ethernet インターフェイスコネクター 13
Ethernet 設定（仕様設定）. 158
FTP 179
HTTP ポート. 158
IP アドレス（仕様設定）. 159
IP アドレスの取得方法（仕様設定）. 159
JPEG. 66
MultiWriter スキャン宛先表ツール 182
MultiWriter スキャンビューワ. 181
MultiWriter スキャンマネージャ . . . 117, 181
NVM 初期化（仕様設定）. 156
OK ボタン 16
PC 保存 51
PC 保存（仕様設定）. 147, 149
PC 保存プロトコル（仕様設定）. 179
PC 保存ボタン 15
PDF. 65
RARP 159
RGB 色空間（仕様設定）. 177
SMB 179
SNMP（仕様設定）. 157
TIFF. 65
TIFF ファイル形式（仕様設定）. 175
USB コネクター. 12, 13
USB フラッシュメモリー. 32
→ボタン 16
←ボタン 16

ア

宛先 44
　検索 128
　詳細表示. 129
　選択 127
　登録 183
宛先表 116
宛先表初期画面（仕様設定）. 178
宛先表ツール. 123, 182
宛先表の保守（仕様設定）. 153
宛先表フォルダー 116
　登録 184
宛先表ボタン. 16
暗証番号の設定（仕様設定）. 180, 150
異常警告音（仕様設定） 142
異常終了音（仕様設定） 141
異常入力音（仕様設定） 140
移動 228
色空間 177
色の選択 64, 92
印刷（MultiWriter スキャンビューワ）. . . 196
インチサイズ表示（仕様設定）. 144
内カバー 14, 198, 200
エラーランプ. 16
エラー履歴（仕様設定） 153
延長ガイド. 14
音の設定（仕様設定） 140
オプション品. 235
おまかせ画質調整 98
オンラインヘルプ
（CentreWare Internet Services） 221

カ

解像度 75
拡大コピー→倍率選択
拡大スキャン→読み取り倍率
各部の名称と働き 12
画質タイプの選択 68, 100
画質調整画面. 98
画像
　印刷 196
　表示 193
　編集 191, 194
　保存 196
画像圧縮率. 75
画像圧縮率（仕様設定） 176
画像編集アイコン 190
傾き補正 194
画面コントラスト調整 136
カラー（地図）（仕様設定）. 171
カラーバランス. 102
カラーバランス（仕様設定）. 167
カラーモード. 64, 92
カラーモード（仕様設定）. 165, 173
カラー（文字 / 写真）（仕様設定） 171
カラー（文字）（仕様設定）. 170
かんたん設定モード 185
機械管理者 ID 221
機械管理者暗証番号 132, 180
機械管理者情報の設定（仕様設定） 180
機械管理者パスワード 221
基点音（仕様設定） 142
機能初期画面（仕様設定）. 143

機能認証（仕様設定）. 148
機能の使用許可（仕様設定）. 146
機能ボタン. 15
基本画面 87
基本コピー画面（仕様設定）. 161
基本スキャン画面 63
キャリッジ. 12, 13, 155, 230
キャリッジロック 12, 13, 230
共通設定（仕様設定）. 136
共有名 55
ゲートウエイ（仕様設定）. 160
原稿受け 14
原稿送りトレイ 14, 199, 201
原稿ガイド. 14
原稿が詰まったとき 198
原稿カバー. 12
原稿カバー開閉センサー. 12, 29
原稿ガラス. 12
原稿検知ランプ 14
原稿サイズ入力 113
原稿サイズボタン 1 ～ 12（仕様設定）. . . . 145
原稿サイズボタン（仕様設定）. 144
原稿セット向き指定 77, 109
原稿セット向き指定（仕様設定）. . . . 168, 176
原稿の画質. 68, 100
原稿の画質（仕様設定）. 166
原稿の向き. 27
原稿の読み取りサイズ 113
原稿をセットする 25
検索
　宛先 128
件名 47
コピー 81
コピー機能設定初期値（仕様設定）. 163
コピー設定（仕様設定）. 161
コピー濃度. 97
コピー濃度（仕様設定）. 166
コピーの開始. 83
コピーの中止. 85
コピーボタン. 15
困ったときには. 197
コメント 49
コントラスト. 80
コントラスト（仕様設定）. 177

サ

サーバー 54
サイズが異なる原稿 29, 76, 111
サイズ検知切り替え（仕様設定）. 151
サイズ入力（仕様設定）. 144
彩度 105
彩度（仕様設定）. 167
サブネットマスク（仕様設定）. 160
地色除去 79, 101
地色除去（仕様設定）. 167, 177
地色除去レベル（仕様設定）. 169
時刻形式（仕様設定）. 137
時刻入力（仕様設定）. 138
システム時計 / タイマー設定（仕様設定）. . 136
下地の除去. 79, 101
自動原稿送り装置 14
自動リセット事前通知（仕様設定）. 142
自動リセット（仕様設定）. 139
シャープネス. 78, 104
シャープネス（仕様設定）. 166, 176
写真 68, 69, 100
縮小コピー→倍率選択
縮小スキャン→読み取り倍率
出力ファイル形式 65
出力ファイル形式（仕様設定）. 175
準備完了音（仕様設定）. 141
仕様 231
省エネ→節電モード
仕様設定 132
仕様設定ボタン. 16
使用できない原稿 26
使用できる原稿. 25
初期画面の設定（仕様設定）. 143
初期表示言語（仕様設定）. 144
ジョブ自動解除（仕様設定）. 139
ジョブの確認. 37, 85, 130
白黒（地図）（仕様設定）. 170
白黒（文字 / 写真）（仕様設定）. 170
白黒（文字）（仕様設定）. 169
仕分け 107
仕分け（仕様設定）. 168
数字ボタン. 15
スキャナー機能設定初期値（仕様設定）. . . . 173
スキャナー設定（仕様設定）. 173
スキャナーの選択 183
スキャナテーブル 235
スキャン 32
スキャンの開始. 35
スキャンの中止. 39
スタートボタン. 16
ストップボタン. 16
正常終了音（仕様設定）. 141
正常入力音（仕様設定 ）. 140
清掃 222
　原稿カバーの清掃 222
　原稿ガラスの清掃 223
　原稿読み取り部の清掃. 223
　フィルム部の清掃 223
　本体外部の清掃 222
　本体内部の清掃 222
　ローラー部の清掃 224
製品情報の入手方法 235
節電中 / 解除ボタン 16, 24
節電モード. 24
節電モード設定（仕様設定）. 139
操作パネル. 12, 15
送信者 44
ソート→仕分け
その他画面. 71, 106
その他（仕様設定）. 144
その他の設定（仕様設定）. 150
ソフトウエアバージョン（仕様設定）. 152

タ

タイムゾーン（仕様設定）. 138
タッチパネルディスプレイ. 15
蓄積 192
地図 100
中止
　コピー 85
　スキャン. 39
次の原稿があるとき 36, 84
手差し用紙サイズ（仕様設定）. 164
手差し用紙種類（仕様設定）. 164
電源コードコネクター 13
電源スイッチ. 13
電源を入れる. 23
電源を切る. 23
転送プロトコル. 54
登録ボタン 1 ～ 3（仕様設定）. 143
トラブル
　CentreWare Internet Services 使用時のトラブル. 209
　画質のトラブル 206
　機械本体のトラブル 202
　スキャナー機能使用時のトラブル 208
　ネットワーク関連のトラブル 209

ナ

入力モード. 17
ネットワーク設定（仕様設定）. 157
ノイズ除去. 195
濃度 70, 97
ノブ 14, 198, 200

ハ

バージョンアップ
　ファームウエア 235
倍率選択 90
倍率選択（仕様設定）. 165
倍率ボタン -3 段目（仕様設定）. 163
パスワード. 58
範囲指定モード 194
左側カバー. 14, 198, 200
左向き 28
日付入力（仕様設定）. 137
非定形サイズの原稿 28
ファイル形式. 65
ファイル名重複時の処理（仕様設定）. 179
ファイルの蓄積. 192
ファイル名. 48, 58, 61
ファイル名重複時の処理. 59, 62
フォルダー. 116
部数 83
付箋が貼られている原稿. 28
プリンター情報（仕様設定）. 155
プリンター認証の設定（仕様設定）. 172
プレビュー. 35
プレビュー表示（仕様設定）. 178
プロトコル設定（仕様設定）. 158
返信先アドレス. 48
ポート設定（仕様設定）. 157
補修用性能部品. 243
保守 / 診断（仕様設定）. 152
保存先の設定. 53
保存場所 56

マ

まとめて 1 枚 -2 アップ. 108
マルチページ TIFF 65
ミックスサイズ原稿送り. 29, 76, 111
ミックスサイズ原稿送り（仕様設定）169, 178
ミリ / インチ切り替え（仕様設定）. 150
メール送信. 42
メール送信（仕様設定）. 146, 149
メール送信ボタン 15
メールの本文→コメント
メディア保存. 60
メディア保存（仕様設定）. 147, 149
メニューボタン 15
文字の入力方法. 17

ヤ

ユーザー名. 56
用語集 238
用紙選択 88
用紙選択（仕様設定）. 164
用紙ボタン -2 段目（仕様設定）. 162
用紙ボタン -3 段目（仕様設定）. 162
読み込み濃度. 70
読み込み濃度（仕様設定）. 174
読み取り解像度. 75
読み取り解像度（仕様設定）. 174
読み取りサイズ. 72
読み取り倍率. 73
読める向き. 27

ラ

リセットボタン. 16
両面 / 片面選択. 94
両面 / 片面選択（仕様設定）. 165
両面原稿送り. 66
レバー 198, 200

ワ

わく消し 112
わく消し量（仕様設定）. 168